2021年度(令和３年度)

看 護 学 科 履 修 要 項

旭 川 医 科 大 学

目　　次

・旭川医科大学の教育理念、教育目標
・旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）
・旭川医科大学アセスメント・ポリシーについて

・旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）2019看護カリキュラム　カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）
・旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）2019看護カリキュラム　カリキュラムマップ
・令和３年度看護学科授業科目一覧および卒業要件（第１～３学年）

【必修科目（第１学年）】

1. 英語ＩＡ…… 15
2. 英語ＩＢ…… 17
3. 情報リテラシー…… 18
4. 初年次セミナー…… 19
5. 医療史・医療哲学…… 20
6. 看護社会論…… 21
7. 形態機能学…… 22
8. 生体観察実習…… 25
9. 栄養学…… 27
10. 生化学…… 28
11. 病理学総論…… 29
12. 感染制御学…… 30
13. 発達心理学…… 32
14. 臨床心理学…… 33
15. 看護学概論…… 34
16. 基礎看護技術学Ⅰ…… 35
17. 基礎看護技術学Ⅱ…… 37
18. コミュニケーション論…… 40
19. 人間生涯発達論…… 41
20. 地域看護学…… 42
21. 早期体験実習Ⅰ…… 43
22. 基礎看護学実習Ⅰ…… 45
23. 地域包括ケア論Ⅰ…… 46

【必修科目（第２学年）】

24. 英語ⅡＡ・ⅡＢ…… 47
25. 統計学…… 48
26. 病理学各論…… 49
27. 薬理学…… 50
28. 臨床病態治療学Ⅰ…… 51
29. 臨床病態治療学Ⅱ…… 53
30. 健康教育論…… 55
31. 保健統計…… 56
32. 公衆衛生論…… 58
33. 基礎看護技術学Ⅲ…… 59
34. 基礎看護技術学Ⅳ…… 61
35. 看護フィジカルアセスメント…… 62
36. 看護倫理…… 63
37. 看護理論…… 64
38. 早期体験実習Ⅱ…… 65
39. 基礎看護学実習Ⅱ…… 66
40. 地域包括ケア論Ⅱ…… 67
41. 成人看護学Ⅰ…… 68
42. 高齢者看護学Ⅰ…… 70
43. 小児看護学…… 71
44. 母性看護学…… 73
45. 精神看護学Ⅰ…… 75
46. 精神看護学Ⅱ…… 76

【必修科目（第３学年）】

47. 臨床薬理学…… 77
48. 臨床病態治療学Ⅲ…… 78
49. 疫学…… 80
50. 保健医療福祉システム論…… 82
51. 地域包括ケア論Ⅲ…… 84
52. 地域包括ケア実習…… 85
53. 成人看護学Ⅱ…… 86
54. 高齢者看護学Ⅱ…… 88
55. 実践看護技術学Ⅰ（成人）…… 89
56. 実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）…… 91
57. 在宅看護学…… 94
58. がん看護学Ⅰ…… 96
59. チーム医療・リハビリテーション看護論…… 98
60. 看護研究…… 99

【必修科目実習（第３学年】

61. 成人看護学実習Ⅰ（急性期）……101
62. 成人看護学実習Ⅱ（外来）……102
63. 成人看護学実習Ⅲ（慢性期）……103
64. 母性看護学実習……104
65. 精神看護学実習……105

【選択必修科目（専門科目）】
第３学年開講
66.　看護英語文献講読……107
67.　医療経済・看護経営論……108
68.　家族看護論……109
69.　認知症ケア論……110
70.　クリティカルケア論……111

【選択科目（一般基礎科目）】
第１学年開講
71.　生命科学（入門）……113
72.　生命科学（発展）……114
73.　看護化学……115

第２学年開講
74.　看護遺伝学……116
※上記以外の選択科目（一般基礎科目）については別冊紙『2021年度（令和３年度）選択科目履修要項』参照

【選択科目（専門基礎科目）】
第３学年開講
75.　保健医療福祉行政論……117

【選択科目（専門科目）】
第２学年開講
76.　公衆衛生看護学概論……119

第３学年開講
77.　助産学概論……121
78.　助産活動論Ⅰ……122
79.　公衆衛生看護活動論Ⅰ（個人・家族・集団）……123
80.　公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域アセスメント）……125

第２・３学年開講
81.　看護英語……127

・旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）平成24看護カリキュラム　カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）
・旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）平成24看護カリキュラム　カリキュラムマップ
・令和３年度看護学科授業科目一覧および卒業要件（第４学年）

【必修科目実習（第４学年）】
82.　成人看護学実習Ⅰ（慢性期）……137
83.　成人看護学実習Ⅱ（急性期）……138
84.　成人看護学実習Ⅲ（外来機能）…139
85.　高齢者看護学実習……140
86.　小児看護学実習Ⅰ……141
87.　小児看護学実習Ⅱ……142
88.　母性看護学実習……143
89.　精神看護学実習……144
90.　在宅看護学実習……145

【必修科目（第４学年）】
91.　母性看護学演習……147
92.　卒業研究……149
93.　医療安全論……150
94.　国際保健看護論……151
95.　総合実習……152

【選択科目（専門基礎科目）】
第４学年開講
96.　臨床検査論……153

【選択科目（専門科目）】
第４学年開講
97.　看護管理論……155
98.　看護教育論……156
99.　助産学基礎理論Ⅱ……157
100.　助産活動論Ⅱ……159
101.　助産活動論Ⅲ……161
102.　助産学実習……164
103.　公衆衛生看護活動論Ⅲ（公衆衛生看護管理）……165
104.　公衆衛生看護技術論……167
105.　公衆衛生看護学実習Ⅰ……170
106.　公衆衛生看護学実習Ⅱ……171

付：オフィスアワー一覧 ……174
令和３年度学年暦 ……182
令和３年度カレンダー ……183
看護学科実務経験のある教員等による授業科目の一覧表…… 184

旭川医科大学の教育理念、教育目標

教育の理念

豊かな人間性と幅広い学問的視野を有し、生命の尊厳と高い倫理観を持ち、高度な知識・技術を身につけた医療人及び研究者を育成する。また、地域医療に根ざした医療・福祉の向上に貢献する医療者を育てる。さらに、教育、研究、医療活動を通じて国際社会の発展に寄与する医師及び看護職者の養成に努める。

教育目標

旭川医科大学は上記の理念の下にこれらを達成するため、次のような目標を掲げる。

1. 幅広い教養とモラルを養うことにより、豊かな人間性を形成する。
2. 生命の尊厳と医の倫理をわきまえる能力を養い、病める人を思い遣る心を育てる。
3. 全人的な医療人能力や高度な専門知識を得るとともに、生涯に亘る学習・研究能力を身につける。
4. 幅広いコミュニケーション能力を持ち、安全管理・チーム医療を実践する資質を身につける。
5. 地域・僻地住民の医療や福祉を理解し、それらに十分貢献しうる意欲と能力を獲得する。
6. 積極的な国際交流や国際貢献のための幅広い視野と能力を習得する。

旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）
ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

旭川医科大学医学部看護学科では、教育の目標に沿って編成された年次カリキュラムを履修し、基準となる単位数を修得し、次の資質と能力を身につけたと認められる学生に対し学位（学士（看護学））を授与します。

「倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行」（姿勢・態度）

・医療チームの一員として高度な生命倫理に基づいた誠実で良識ある看護実践を行う姿勢・態度を身につけている。
社会に対して看護の使命を認識して実践する姿勢・態度を身につけている。

「地域社会・国際社会へ貢献するための能力」（意欲・関心）

・地域から国際社会に至るまで保健・医療・福祉に関する社会的ニーズを踏まえ、看護の実践研究を通して課題を解決する意欲を有する。
看護の専門職として、たえず自己研鑽する意欲を有する。

「看護学と医療・保健・福祉の看護関連領域に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識）

・幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を習得している。

「問題解決能力、発展的思考能力、研究心」（思考・判断）

・研究的視点から看護に関する問題を発見し、その解決のための思考力・判断力を身につけている。

「根拠に基づいた基礎的看護実践能力」（技能・表現）

・すべてのライフステージ・健康レベルに応じた、根拠に基づく基本的看護実践ができる技能及び表現力を身につけている。

旭川医科大学
アセスメント・ポリシーについて

１．学生の評価について

①評価方法をシラバスに明示する。

②評価基準を明示する。

レポートなどではルーブリックの公開、筆記試験については問題と解答の開示を推進する。

③異議申し立て期間を設けることを推奨する。

２．学生の評定について

①現状の「優」、「良」、「可」、「不可」に加えて、特に秀でたものに対し「秀」を設ける。ＧＰＡ上の評点については別に定める。

②「秀」は、上位５％以内の者に限定する。

③医学科においては、「秀」「優」の合計は、30％程度とする。看護学科においては、「秀」「優」の合計は、「良」「可」の合計を超えない程度とし、「可」の割合は「良」の割合以下とする。

④必修科目において、「秀」、「優」、「良」、「可」、「不可」の評定がなじまない科目については、「合格」「不合格」のみ判定を行いＧＰＡ判定に含めない。「合格」「不合格」評定を行う科目については、教育センターカリキュラム部門にて検討し、明示する。

補足説明

⑴各科目の「成績評価の基準等」の部分にある点数と評定の区分については、大まかな目安であり、アセスメント・ポリシーの２②～③の評定割合が優先される。

⑵「合格」「不合格」評定を行う科目は、下記のとおりとする。

早期体験実習Ⅰ（医学科・看護学科第１学年）、基礎医学特論（医学科第２学年）、選択必修コースⅠ～Ⅲ（医学科第３学年）、医学研究特論（医学科第４学年）、初年次セミナー（看護学科第１学年）

第 1 ～ 3 学 年

旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）
カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

看護学科では、高齢社会の到来、医療の高度化など、新たな医療・看護に対する社会の要請に応え、広い教養基盤に支えられ看護実践力を備えた看護専門職を養成するための看護基礎教育を行っています。また、保健師・助産師になるための選択履修科目をそれぞれ設けています。

教育課程は、一般基礎科目・専門基礎科目・専門科目の３群で構成し、さらに専門科目は「看護の基礎」「特性と看護」「看護の発展と探求」の３段階に配置し、看護学を体系的に学習できるよう配慮してあります。また、４年間を通して学ぶ「地域包括ケア論Ⅰ」～「地域包括ケア論Ⅳ」、３年時に「地域包括ケア実習」を配置しました。

当学科では講義・演習・実習の授業形態を有機的に組み合わせ、段階的かつ系統的な教育によって、看護実践ができる人材の養成を目指しています。

看護学科の学位授与の方針を実現するために、上記の方針を以下のとおり具体化して、カリキュラムを編成しています。

①「倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行」（姿勢・態度）

医療チームの一員として高度な生命倫理に基づいた誠実で良識ある看護実践を行う姿勢・態度を身につけている。

社会に対して看護の使命を認識して実践する姿勢・態度を身につけている。

１．看護職に必須な倫理を理解するために、第１学年に看護の基盤となる科目「看護学概論」「コミュニケーション論」「人間生涯発達論」を、さらに倫理の知識基盤である「医療史・医療哲学」を配置しています。第２学年に専門職倫理を深める「看護倫理」を配置しています。

２．医療チームの一員としての看護実践に備えるために、第１学年に「早期体験実習Ⅰ」を、第２学年に「早期体験実習Ⅱ」を配置しています。

３．人間という存在に対する畏敬の念を培うために、第１学年に「生体観察実習」を配置しています。また、ご遺体（解剖体）と向き合う中で医療職としての責任と自覚を身につけていきます。

４．社会的存在としての看護の姿勢・態度を身につけるために、第１学年から第４学年を通じて段階的に臨地実習を、また卒業前に「総合実習」を配置しています。

②「看護学と医療・保健・福祉の看護関連領域に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識）

幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を修得している。

５．文化・社会・自然に関する幅広い知識を身につけ多様な価値観に触れるために、教養科目を一般基礎科目と位置づけ、学習スキルやキャリア形成を育むために 「初年次セミナー」「情報リテラシー」を必修科目に配置しています。選択科目として、対象把握の有機的な理解のために「手話入門」をはじめ、個人の希望に合わせた様々な科目を配置しています。

6．生活体である人間を理解するための専門基礎科目を設定し、その履修を必修としています。第１学年には、人間の心と体を理解する科目と第 2 学年には疾病や治療、薬理に関する科目を配置しています。

7．看護の基礎的知識を学び、人間の各発達過程の特性と看護とに関する科目として、専門科目を設定し、臨床全般の看護の知識を学べるように配置しています。第３学年、第４学年には、看護の発展と探求の科目として、「認知症ケア論」「クリティカルケア論」「がん看護学Ⅱがんサバイバーシップ」「がん看護学Ⅲエンドオブライフケア」を選択履修ができるようにしています。

③「根拠に基づいた看護実践の基礎的能力」（技能・表現）
すべてのライフステージ・健康レベルの対象に応じた根拠に基づく看護実践ができる基礎的技能及び表現力を身につけている。

8．基礎的な看護技術を身につけるために、第１学年から第２学年において「基礎看護技術学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「看護フィジカルアセスメント」を配置しています。
また、第１学年の「基礎看護学実習Ⅰ」では患者の生活や看護を理解し、第２学年には看護過程を展開する「基礎看護学実習Ⅱ」を配置しています。

9．第３学年には第２学年で学んだ各領域別看護学の知識を基に、「実践看護技術学Ⅰ（成人領域）」「実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児の各領域）」、第４学年には「実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅領域）」の演習科目を配置し、講義内容と関連づけて看護実践能力を身につけることができるようにしています。

10. 第３学年では臨地実習前の技術の保証として、OSCE（Objective Structured Clinical Examination）を実施し、第３学年から第４学年では領域別看護学実習を行い、ライフステージの特徴や健康レベルを的確に把握し、個別的看護実践に結びつけることができるようカリキュラムを展開しています。

11. 第４学年には夜間の実習や複数の患者を担当するなどの「総合実習」を配置し、看護実践力をより向上できるようカリキュラムを展開しています。

④「問題解決能力、発展的思考能力、研究心」（思考・判断）
看護に関する疑問や問題を、研究的視点から解決に取り組むための思考力・判断力を身につけている。

12. 論理的に思考・判断することができるために、第１学年では「学ぶこと」を体験的に学習する「初年次セミナー」、第２学年では問題解決思考による看護過程を展開する「基礎看護技術学Ⅳ」、対象の健康をアセスメントする「看護フィジカルアセスメント」、データの処理を扱う「保健統計」を配置しています。第３学年には個人のみならず、集団や地域の健康に関する「保健医療福祉システム論」「疫学」を配置しています。

13. 獲得したさまざまな知識を用いて看護の現実問題の解決に取り組む基礎を身につけるために、第３学年に「看護研究」、第４学年に「卒業研究」を配置しています。

⑤「地域社会・国際社会へ貢献するための能力（意欲・関心）

地域から国際社会に至るまで保健・医療・福祉に関する社会的ニーズを踏まえ、看護の実践・研究を通して課題を解決する意欲を有する。

看護の専門職として、たえず自己研鑽する意欲を有する。

14. 学士課程での学び方を学ぶために第１学年に「初年次セミナー」を配置し学習意欲を高めます。

15. 地域医療に興味と関心を持ち北海道の地域特性に応じた医療ニーズを探索するために第１学年では近隣の地域で学ぶ「早期体験実習Ⅰ」、第２学年では多様な地域に滞在しながら学ぶ「早期体験実習Ⅱ」を配置しています。

16. 人々が住み慣れた地域で生活できるよう支え支援していく方法を第１学年から第４学年まで段階を踏みながら自ら探索していく「地域包括ケア論Ⅰ」～「地域包括ケア論Ⅳ」を４年一貫教育プログラムとして配置しています。

17. 地域社会および国際社会に貢献できるよう、第３学年に「保健医療福祉システム論」「英語文献講読」、第４学年に「国際保健・災害看護論」を配置しています。

旭川医科大学医学部看護学科　2019看護カリキュラム　カリキュラムマップ

一般基礎科目
専門基礎科目
専門科目（看護の基盤）
専門科目（特性と看護）
専門科目（コミュニティと看護）
専門科目（看護の発展と探求）
専門科目　選択科目

領域	意欲・関心	姿勢・態度	知識	思考・判断	技能・表現
キーワード	地域社会・国際社会へ貢献するための能力	倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行	看護学と医療・保健・福祉の看護関連領域に関する十分な知識と生涯学習能力	問題解決能力、発展的思考能力、研究心	根拠に基づいた基礎的看護実践能力
ディプロマ・ポリシー	地域から国際社会に至るまで保健・医療・福祉に関する社会的ニーズを踏まえ、看護の実践研究を通して課題を解決する意欲を有する。看護の専門職として、たえず自己研鑽する意欲を有する。	医療チームの一員として高度な生命倫理に基づいた誠実で良識ある看護実践を行う姿勢・態度を身につけている。社会に対して看護の使命を認識して実践する姿勢・態度を身につけている。	幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を習得している。	研究的視点から看護に関する問題を発見し、その解決のための思考力・判断力を身につけている。	すべてのライフステージ・健康レベルに応じた、根拠に基づく基本的看護実践ができる技能及び表現力を身につけている。

4年生

- 国際保健・災害看護論
- 看護管理・医療安全論
- 公衆衛生看護学実習
- 助産学実習
- 地域包括ケア論Ⅳ
- 専門科目選択必修科目群
  - がん看護学Ⅱ（がんサバイバーシップ）
  - がん看護学Ⅲ（エンドオブライフケア）
  - 看護教育論
  - 認知症ケア論
  - 看護英語文献購読
  - 家族看護論
  - クリティカルケア論
  - 医療経済・看護経営論
- 卒業研究
- 看護英語
- 総合実習
- 在宅看護学実習
- 高齢者看護学実習
- 小児看護学実習
- 実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）

3年生

- 公衆衛生看護活動論Ⅰ
- 地域包括ケア論Ⅲ
- 保健医療福祉行政論
- チーム医療・リハビリテーション看護論
- がん看護学Ⅰ
- 在宅看護学
- 高齢者看護学Ⅱ
- 成人看護学Ⅱ
- 臨床病態治療学Ⅲ
- 臨床薬理学
- 助産活動論Ⅰ
- 助産学概論
- 専門科目選択必修科目群
- 看護英語文献購読
- クリティカルケア論
- 認知症ケア論
- 家族看護論
- 医療経済・看護経営論
- 保健医療福祉システム論
- 疫学
- 看護研究
- 看護英語
- 成人看護学実習Ⅲ（慢性期）
- 成人看護学実習Ⅱ（外来）
- 成人看護学実習Ⅰ（急性期）
- 精神看護学実習
- 母性看護学実習
- 実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）
- 実践看護技術学Ⅰ（成人）
- 地域包括ケア実習

2年生

- 公衆衛生看護学概論
- 地域包括ケア論Ⅱ
- 精神看護学Ⅱ
- 精神看護学Ⅰ
- 母性看護学
- 小児看護学
- 高齢者看護学Ⅰ
- 成人看護学Ⅰ
- 公衆衛生論
- 保健統計
- 健康教育論
- 臨床病態治療学Ⅱ
- 臨床病態治療学Ⅰ
- 薬理学
- 病理学各論
- 統計学
- 看護遺伝学
- 一般基礎選択科目
- 英語ⅡA・ⅡB
- 保健統計
- 看護英語
- 早期体験実習Ⅱ
- 看護理論
- 看護フィジカルアセスメント
- 看護倫理
- 基礎看護技術学Ⅳ
- 基礎看護技術学Ⅲ
- 基礎看護学実習Ⅱ

1年生

- 地域包括ケア論Ⅰ
- 人間生涯発達論
- 臨床心理学
- 発達心理学
- 感染制御学
- 一般基礎選択科目
- 生体観察実習
- 病理学総論
- 看護社会論
- 生体観察実習
- 地域看護学
- 生化学
- 医療史・医療哲学
- コミュニケーション論
- 栄養学
- 英語ⅠB
- 形態機能学
- 英語ⅠA
- 早期体験実習Ⅰ
- 基礎看護学実習Ⅰ
- 基礎看護技術学Ⅱ
- 基礎看護技術学Ⅰ
- 看護学概論
- 情報リテラシー
- 初年次セミナー

令和３年度　看護学科授業科目一覧および卒業要件（第１～３学年）

	授業科目	単位数	授業形式	第１学年		第２学年		第３学年		第４学年		必修・選択の別
				前	後	前	後	前	後	前	後	
一般基礎科目	英語ⅠＡ	1	演習	○								必　修
	英語ⅠＢ	1	〃	○								
	英語ⅡＡ・ⅡＢ	1	〃			○						
	情報リテラシー	1	講義	○								
	統計学	1	〃			○						
	初年次セミナー	1	〃	○								
	医療史・医療哲学	1	〃	○								
	看護社会論	1	〃	○								
	生命科学（入門）	1	講義	○								選　択
	生命科学（発展）	1	〃		○							
	看護化学	1	〃	○								
	看護遺伝学	1	〃				○					選択（助産学選択者は必ず選択すること）
	教育学	1	〃	○		○						選　択
	医療文化史	1	〃		○							
	比較文化論	1	〃		○							
	環境科学	1	〃	○		○						
	数学概論	1	〃		○							
	社会の中の物理	1	〃	○		○						
	医学古典講読	2	〃	○		○						
	ドイツ語講読	2	〃	○		○						
	フランス語講読	2	〃	○		○						
	中国語講読	2	〃	○		○						
	ロシア語講読	2	〃	○		○						
	医事評論抄読	1	〃		○							
	現代言語学概論	1	〃	○		○						
	感情心理学	1	〃	○		○						
	地域社会論	1	〃	○		○						
	社会学Ⅰ	1	〃	○		○						
	社会学Ⅱ	1	〃		○							
	哲学基礎	1	〃		○							
	教養論	1	〃	○		○						
	言葉と文化	1	〃		○							
	医系文学	1	〃	○		○						
	法学	1	〃		○							
	経済学	1	〃		○							
	社会福祉論	1	〃	○		○						
	医療人間学	1	〃		○							
	医療のラテン語	1	〃	○		○						
	心身論	1	〃		○							
	世相史	1	〃		○							
	青少年文化論	1	〃		○							
	科学論文の読み方・書き方	1	〃		○							
	手話入門Ⅰ	1	〃	○		○						
	手話入門Ⅱ	1	〃		○							
	教養連携科目Ⅰ	1	〃	○	○							
	教養連携科目Ⅱ	2	〃	○	○							
専門基礎科目	形態機能学	4	講義	○								必　修
	生体観察実習	1	実習		○							
	栄養学	1	講義	○								
	生化学	1	〃		○							
	病理学総論	1	〃		○							
	病理学各論	1	〃			○						
	薬理学	1	〃				○					
	臨床薬理学	1	〃					○				
	感染制御学	2	〃		○							
	臨床病態治療学Ⅰ	2	〃			○						
	臨床病態治療学Ⅱ	2	〃				○					
	臨床病態治療学Ⅲ	2	〃					○				
	健康教育論	1	〃			○						
	疫学	2	〃						○			
	保健統計	2	〃				○					
	公衆衛生論	1	〃				○					
	保健医療福祉システム論	2	〃					○				
	発達心理学	2	〃	○								
	臨床心理学	2	〃		○							
	保健医療福祉行政論	1	〃						○			選択（公衆衛生看護学選択者は必ず選択すること）

※教養連携科目Ⅰ及び教養連携科目Ⅱは、複数の講義題目により行われ、それぞれ一の授業科目として履修することができる。

		授業科目	単位数	授業形式	第１学年 前	第１学年 後	第２学年 前	第２学年 後	第３学年 前	第３学年 後	第４学年 前	第４学年 後	必修・選択の別
専門科目	看護の基盤	看護学概論	1	講義	○								必修
		基礎看護技術学Ⅰ	1	演習	○								
		基礎看護技術学Ⅱ	2	〃		○							
		基礎看護技術学Ⅲ	1	〃			○						
		基礎看護技術学Ⅳ	1	講義			○						
		コミュニケーション論	1	〃	○								
		看護フィジカルアセスメント	1	〃				○					
		人間生涯発達論	1	〃		○							
		看護倫理	1	〃				○					
		看護理論	1	〃				○					
		地域看護学	1	〃		○							
		早期体験実習Ⅰ	1	実習	○								
		早期体験実習Ⅱ	1	〃			○						
		基礎看護学実習Ⅰ	1	〃	○								
		基礎看護学実習Ⅱ	2	〃				○					
	コミュニティと看護	地域包括ケア論Ⅰ	1	講義		○							
		地域包括ケア論Ⅱ	1	〃				○					
		地域包括ケア論Ⅲ	1	〃					○				
		地域包括ケア論Ⅳ	1	〃								○	
		地域包括ケア実習	1	実習					○				
	特性と看護	成人看護学Ⅰ	2	講義			○						
		成人看護学Ⅱ	2	〃					○				
		高齢者看護学Ⅰ	1	〃				○					
		高齢者看護学Ⅱ	1	〃					○				
		小児看護学	2	〃				○					
		母性看護学	2	〃				○					
		精神看護学Ⅰ	1	〃			○						
		精神看護学Ⅱ	1	〃				○					
		実践看護技術学Ⅰ（成人）	1	演習					○				
		実践看護技術学Ⅱ（精神･母性･小児）	2	〃					○				
		実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）	1	〃							○		
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3	実習						○			
		成人看護学実習Ⅱ（外来）	1	〃						○			
		成人看護学実習Ⅲ（慢性期）	2	〃						○			
		高齢者看護学実習	4	〃							○		
		小児看護学実習	2	〃							○		
		母性看護学実習	2	〃						○			
		精神看護学実習	2	〃						○			
	看護の発展と探求	在宅看護学	2	講義					○				
		がん看護学Ⅰ	2	〃					○				
		チーム医療･リハビリテーション看護論	1	〃					○				
		国際保健・災害看護論	1	〃							○		
		看護研究	1	演習						○			
		卒業研究	2	〃								○	
		在宅看護学実習	2	実習							○		
		総合実習	2	〃									○
		看護管理・医療安全論	1	講義							○		
		看護教育論	1	〃								○	選択必修（この中から２単位以上履修）【※助産学選択者及び公衆衛生看護学選択者は除く】
		看護英語文献講読	1	〃					○		○		
		がん看護学Ⅱ（がんサバイバーシップ）	1	〃							○		
		がん看護学Ⅲ（エンドオブライフケア）	1	〃							○		
		医療経済・看護経営論	1	〃					○			○	選択必修（この中から２単位以上履修）【※助産学選択者及び公衆衛生看護学選択者は除く】
		家族看護論	1	〃						○		○	
		認知症ケア論	1	〃						○		○	
		クリティカルケア論	1	〃						○		○	
		看護英語	1	演習				○		○		○	選択（履修条件あり）
		助産学概論	1	講義						○			選択【助産学選択者は必ず選択すること】
		助産活動論Ⅰ	1	〃						○			
		公衆衛生看護学概論	2	〃				○					選択【公衆衛生看護学選択者は必ず選択すること】
		公衆衛生看護活動論Ⅰ（個人･家族･集団）	2	〃					○				選択【助産学選択者および公衆衛生看護学選択者は必ず選択すること】

卒業要件単位数	必修科目107単位、選択必修科目４単位および選択科目13単位以上（一般基礎科目６単位以上、専門基礎科目および専門科目５単位以上の計13単位以上）、合計124単位以上を修得すること。
助産学選択者	助産師国家試験受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を満たし、助産学科目の全てを修得すること。次項、助産学選択者履修科目参照。
公衆衛生看護学選択者	保健師国家試験受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を満たし、公衆衛生看護学科目の全てを修得すること。次項、公衆衛生看護学選択者履修科目参照。

公衆衛生看護学選択者履修科目

授業科目	単位数	授業形式	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
健康教育論	1	講義			○						必修科目として修得する科目
公衆衛生論	1	〃				○					
保健医療福祉システム論	2	〃					○				
保健統計	2	〃			○						
地域看護学	1	〃		○							
在宅看護学	2	〃					○				
国際保健・災害看護論	1	〃							○		
疫学	2	〃						○			
小　計	12										
公衆衛生看護学概論	2	講義				○					注2
保健医療福祉行政論	1	〃						○			注1
公衆衛生看護活動論Ⅰ(個人･家族･集団)	2	〃					○				注2
公衆衛生看護活動論Ⅱ(地域アセスメント)	2	〃						○			注3
公衆衛生看護活動論Ⅲ(公衆衛生看護管理)	2	〃							○		
公衆衛生看護活動論Ⅳ（政策づくり）	1	〃								○	
公衆衛生看護技術論	2	演習							○		
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	実習								○	
公衆衛生看護学実習Ⅱ	2	〃								○	
小　計	17										
合　計	29										

注1）卒業要件の選択科目（専門基礎科目）単位数に含まれる。
注2）卒業要件の選択科目（専門科目）単位数に含まれる。
注3）卒業要件とは別に履修する科目。

助産学選択者履修科目

授業科目	単位数	授業形式	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
形態機能学	1	講義	○								必修科目として修得する科目＊
臨床病態治療学Ⅰ	1	〃			○						
保健医療福祉システム論	2	〃					○				
健康教育論	1	〃			○						
公衆衛生論	1	〃				○					
地域看護学	1	〃		○							
国際保健・災害看護論	1	〃							○		
公衆衛生看護活動論Ⅰ(個人･家族･集団)	1	〃					○				
小　計	9										
看護遺伝学	1	〃				○					注1
助産学概論	1	講義						○			注2
助産活動論Ⅰ	1	〃						○			
助産活動論Ⅱ	2	〃							○		注3
助産診断・技術学Ⅰ	1	演習							○		
助産診断・技術学Ⅱ	2	〃								○	
助産管理学	1	講義								○	
助産学実習	11	実習								○	
小　計	20										
合　計	29										

注1）卒業要件の選択科目（一般基礎科目）単位数に含まれる。
注2）卒業要件の選択科目（専門科目）単位数に含まれる。
注3）卒業要件とは別に履修する科目。
注4）上記単位数は助産師国家試験受験資格に必要な単位数であり，本学の修得単位数とは異なります。

必　修　科　目

【第１学年】

1. 英語ⅠA（必修）

担当教員	◎戸塚　　将		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	通　年	１単位	30コマ

履修目的・授業概要
本授業は、英語による医療情報の読解や聴解のトレーニング、および実際の医療現場に即した英語の基礎知識の実践演習を通して、英語力の維持と向上に不可欠な英語学習の習慣づけを図ることが目的である。

到達目標
①英語による基本的な医療情報の読解やディクテーションができるようになる。
②看護の場面で使用する頻度の高い基本的な表現を習得し、活用できる。
③体の部位や疾病に関する基本的な語彙や表現に関して、日本語と英語の対応関係が説明できる。

授業の形式
基本的な医療記事について、読解やディクテーションを課題演習形式で行います。医療関係に関する語彙や有用な表現についての小テストを課します。※ Zoom と manaba を使用

準備学習（予習・復習）等の内容と分量
指定した医療分野の教材について、事前に読み内容を理解しておくこと。音声教材については、事前に聞いて内容を理解しておくこと。医療分野で頻繁に使用される語彙やフレーズについて、事前に覚えてくること。

成績評価の基準等
①出席点：30点
②授業課題：10点 ×20回＝200点
③小テスト：２点 ×15＝30点
④単語課題：4000語レベル到達：20点
合　格　秀：250点、優：225点、良：200点、可：180点
不合格　180点未満
※不正を行った学生は原則失格となります。詳細は初回のガイダンス時に説明します。

学生へのメッセージ
英語の勉強には継続的な努力が必要です。毎回の課題を着実にこなしていくことで、目標の達成が可能となります。頑張ってください。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
First Aid !		金　星　堂	

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	ガイダンス	大学における英語学習の意義・将来の英語のニーズ・本授業の年間計画	戸塚
2	パソコン利用法	語彙学習ソフトの利用法・語彙レベル診断	〃
3	英語力診断①	英語力全般についての実力診断	〃
4	英語力診断②	英語力全般についての実力診断	〃
5	読解演習語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現	〃
6	読解演習語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成	〃
7	総合演習	英語演習	〃
8	総合演習	英語演習	〃
9	読解演習語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成	〃
10	読解演習語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（脳・神経系）	〃
11	読解演習語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（脳・神経系）	〃
12	読解演習語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（消化器系）	〃
13	読解演習語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（消化器系）	〃
14	読解演習語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（循環器・血液系）	〃
15	読解演習語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（循環器・血液系）	〃

英語ＩＡ　　第１学年・通年・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	読解演習 語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（呼吸器系）	戸塚
17	読解演習 語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（呼吸器系）	〃
18	総合演習	英語演習	〃
19	総合演習	英語演習	〃
20	読解演習 語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（泌尿器・生殖器系）	〃
21	読解演習 語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（泌尿器・生殖器系）	〃
22	総合演習	英語演習	〃
23	総合演習	英語演習	〃
24	読解演習 語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（耳鼻・咽喉系）	〃
25	読解演習 語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（耳鼻・咽喉系）	〃
26	読解演習 語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（皮膚・関節系）	〃
27	読解演習 語彙	医療記事の読解　医療現場での会話表現　医学用語の語構成（皮膚・関節系）	〃
28	総合演習	英語演習	〃
29	総合演習	英語演習	〃
30	まとめ	１年間のまとめ	〃

2. 英語ＩＢ（必修）

担　当 教　員	David Fariweather（非常勤）、 ◎戸塚　　将		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	通　年	１単位	30コマ

履修目的・授業概要

The goal of this class is to improve students' skills and confidence in using English. Students practice speaking and listening as well as studying grammar and vocabulary in order to attain basic conversation skills.

到達目標

Upon completion of the class students should be able to communicate in English about a variety of topics in a variety of situations. Students will also be able to give an opinion, backed up with reasons, about topics they are discussing.

授業の形式

As well as the textbook there will be supplementary materials. Students will often be asked to work in pairs or groups to complete exercises. Some short class presentations will also be required.

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

Students are expected to prepare for each class by reading the pages in the textbook that will be covered in that class. In additon, there will be short presentaions throughout the year that will require some preparation time.

成績評価の基準等

There will be two written tests which will be worth 70% of your grade. Both tests will have a listening component. 30% of your grade will come from pair and group work activities done in the classroom as well as overall effort. A score of 'S' will be given to students who achieve 90% or more on both tests as well as achieving as an average of 90% or more on the classroom assignments. Students will receive an 'A' for scores ranging from 80% to 89% on the tests and classroom assignments. A score of 'B' will be given to students who attain an average of 70% to 79% on the tests and classroom assignments. Students will be given a 'C' if they attain an average of 60 to 69% on the tests and assignments.

学生へのメッセージ

You will get out of this class what you put into it. Active participation in class is essential.

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
Headway Pre-Intermediate: Fifth Edition. Student BookA	Liz and John Soars	Oxford University Press	

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1～4	Unit 1	Present, past, future tense. Asking questions. Social expressions. Exchanging information	Fairweather（非常勤）
5～8	Unit 2	Present tenses. Collocations. Exchanging information about lifestyle. Expressing interest.	〃
9～12	Unit 3	Past Tenses. Adverbs. Time expressions. Telling stories. Researching a news story.	〃
13～16	Unit 4	Quantities and Articles. Discussions about shopping. Making requests. Role play.	〃
17～20	Unit 5	Verb patterns. Future intentions. Literal and idiomatic phrasal verbs. Talking about problems and advice. Discussing diets.	〃
21～24	Unit 6	Comparatives and Superlatives. Comparing things. Using synonyms and antonyms. Describing places. Discussion of multicultural places such as London.	〃
25～28	Exercise	Role plays and presentations	〃
29	Review	Review	〃
30	Review	Review	〃

3. 情報リテラシー（必修）〔電子メール・情報検索・データ処理・統計学〕

担当教員	◎高橋　龍尚（数理情報）、 岡崎　知也、熊本　慎也（情報基盤センター）、 田中　愛子、平澤　杏里、佐藤　恵介、 大西　詩織、糸林真優子（図書館情報課）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的

当該科目ではコンピュータを用いてデータを収集・加工・発信できる情報処理能力を習得します。現代の情報化社会においては、ネットワークや情報機器を用いた情報処理技術が、一般の社会のみならず、医療の現場でも重要な役割を果しています。ネットワークと情報機器を正しく理解し、適切な処理能力を身につけることを目標とします。また、看護学で必要な基本統計量と解析、グラフ作成技術、医学看護情報検索についても学びます。

到達目標

メール、ワード、エクセル、パワーポイント、マクロＶＢＡなどのソフトの使い方を理解し、レポートの作成や研究発表・論文の作成に使うことができる。エクセルを用いた数値計算やデータ処理ができ、基本統計量の説明ができる。様々なデータ形式に適したグラフを作成することができる。ホームページの作成では、ネットワークへの情報発信技術を習得する。看護学の論文で使われている統計学について説明ができる。

授業の形式

情報処理実習室でパソコンを利用して行います。プリントを配布することはありますが、特に教科書は用いません。毎回実習の最後に小テストを行います。履修者一人一人の疑問や質問に対しては、個別に直接対応・指導致します。
※新型コロナの感染状況により、対面授業の代わりに manaba でのオンライン授業を行う場合があります。

成績評価の基準等

受講態度、課題に対するレポートの内容、提出状況、出席状況、筆記試験の結果に基づいて総合的に評価します。原則として３分の２以上の出席を筆記試験の受験資格とします。出席、小テスト（20%）、レポート提出状況（40%）、最終テスト（40%）。筆記試験の内容は、授業で学んだ基礎知識を問う内容を予定しており、60点以上を合格とする。

学生へのメッセージ

情報処理実習室の空き時間を利用して積極的に学習しワークに慣れて下さい。質問等は実習時間内に限らずいつでも対応しますので、遠慮せず積極的にお尋ね下さい。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
わかりやすいデータ解析と統計学 ISBN 978-4-274-22111-8	高橋龍尚	オーム社	3,300 円
(参) Easy to understand data analysis and statistics ISBN 978-4274700613	Tatsuhisa Takahashi	Ohmusha Ltd.	3,960 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	はじめに	コンピュータ・インターネットの仕組みについて学ぶ	高橋 岡崎 熊本
2	基本操作	ログオン・ログオフの方法；パスワードの設定・変更；タイピング	高橋 岡崎 熊本
3	電子メール	電子メールの送信・受信・返信・転送；ネットワークセキュリティ；エチケット；件名；ＣＣ；ＢＣＣ	高橋 岡崎 熊本
4	情報検索	蔵書検索（ＯＰＡＣ）等の情報検索を中心に実習し、資料予約やセミナー室の利用など Web から図書館サービスを利用する方法もあわせて学ぶ	高橋 岡崎 田中 他
5	Word1	ファイル名・ファイルの保存方法；文章入力；表作成；英語文章入力；ページ設定	高橋 岡崎 熊本
6	Word2	図形の描画；図形の操作；図表ギャラリーの利用；地図の作成；画像ファイルの取込み；印刷	高橋 岡崎 熊本
7	プレゼンテーション	パワーポイントの基本操作;表の作成;図の作成・取込み；グラフの作成・取込み；アニメーション設定；配布資料の作成	高橋 岡崎 熊本
8	Excel1	データ入力；数式入力；行・列の挿入・削除；表計算；相対セル参照；絶対セル参照	高橋 岡崎 熊本
9	Excel2	棒グラフ；グラフエリアの書式設定；グラフの種類変更；追加データのグラフへの挿入；円グラフ；積み上げグラフ；折れ線グラフ	高橋 岡崎 熊本
10	データ解析と統計１	アンケート結果のデータ入力；データ置換；データの並べ替え；データベース関数の利用	高橋 岡崎 熊本
11	データ解析と統計２	統計分析ツールの利用；単純集計表；ヒストグラム；クロス集計；集計結果のグラフ化	高橋 岡崎 熊本
12	VBA1	アンケート結果のデータ入力；ＶＢＡ（Visual Basic Editor）を使用したデータ入力のためのユーザーインターフェース作成を学ぶ	高橋 岡崎 熊本
13	VBA2	マクロ；セキュリティ；ユーザーフォーム；テキストボックス；フレーム；オプションボタン；コマンドボタン	高橋 岡崎 熊本
14	WWW作成１	ソフトの基本操作；リンク；表の作成；箇条書きシンボル；文字飾り；画像の取込み；画像の表示；画像のリンク	高橋 岡崎 熊本
15	WWW作成２	看護学研究ページの作成	高橋 岡崎 熊本

4. 初年次セミナー（必修）〔大学生活と学び方、マインドマップ、看護キャリア、レポートの書き方、社会人マナー、ストレスマネジメント〕

担当教員	◎及川　賢輔、長谷川　博亮、河野　恵美（非常勤）、岩間　千草（看護部）、出村　　唯（看護部）、池田真由美（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

本科目は、全ての科目のための準備教育という位置付けで、看護学科新入生が、これからどう生きていくか、どう大学で学んでいくかについて、その方向付けができるよう導くことを目的とする。さらに良好な人間関係を築くための基本となる大学生としての言葉遣いや立ち居振る舞いおよびストレスとその対処法についても学ぶ。

到達目標

１．アイデンティティー・ステイタスとキャリアについて理解し、青年期における課題を知り、看護職を目指す現在の自分を中心に、過去と未来の自分像を見つめなおす。
２．看護職ひいては医療専門職の役割と必要な能力について理解し、考察する。
３．学問とは何かを理解し、事象を客観的にとらえ、論理的に考えること、問の立て方について学ぶ。
４．思考・情報を整理するための方法として、マインドマップについて学ぶ。
５．基本的な学習スキルのうち、自らの思考を表現し意味のあるものにするためのレポートの書き方を修得する。
６．「きちんと挨拶ができる」「笑顔で接する」「入室時にはノックをする」「相手や状況に合った言葉遣いができる」といったマナーの基本を身に付ける。
７．電話やＥメールのエチケットを理解する。
８．ストレスは自己成長に必要なものであることを理解する。
９．ジェネレーションギャップを知る。
10．対人傾向を知り、「あなたもＯＫ」「私もＯＫ」なコミュニケーションを理解することで、良好な人間関係構築に役立てる。

授業の形式

学年の半数は大学で対面式授業、残りの半数は自宅で Zoom 授業です。週ごとに指定された来学日を各自確認してください。来学に不安のある学生は自宅で Zoom 授業を受けても構いません。またネット環境が不安定な学生は、学生支援課に連絡した上で、席があれば対面授業または他の教室で Zoom 授業を受けることも可能です。学習支援システム manaba のアンケートに授業中提示されるパスコードを入力して提出すれば出席とします。アンケートは、授業開始時間より70分の間公開されますので、公開時間内に提出してください。場合によっては、全員が講義動画の視聴になることもありますので、manaba のコースニュースを注視するようにしてください。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

manaba の初年次セミナーのコースより、講義資料をダウンロードし、各自授業に備えてください。疑問点は manaba を通して質問するようにしてください。教科書「思考を鍛えるレポート・論文作成法」は必ず購入してください。

成績評価の基準等

15コマのうち10コマ以上の出席とレポートの提出をもって「合格」とします。

学生へのメッセージ

入学したばかりで、希望と不安が交錯しているところだと思います。そんな不安を取り除いたり、大学生活を乗り切るためのヒントや方法が、この科目を通して見つかることを願っています。それから、より豊かな学生生活を送るために、マナーとメンタルヘルスについても学びましょう。マナーは、相手のためでもあり、自分自身を輝かせ、自信を持っていろいろな人と関わっていくための便利なツールでもあります。また、良好な人間関係を築くことは、「心の栄養」にもなります。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 思考を鍛えるレポート・論文作成法（第３版）	井下千以子(著)	慶應義塾大学出版会	1,200 円
(参) マインドマップ超入門	トニー・ブザン(著)	ディスカバー・トエンティワン	1,200 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	オリエンテーション	初年次セミナーの概要と新型コロナウイルス感染症について学ぶ	及川
2	キャリアデザインについて	キャリアとは何か、アイデンティティー・ステイタスと青年期の課題などについて学ぶ	〃
3	看護師としてのキャリアと求められる能力	看護師のキャリアデザインと看護実践能力、社会人基礎力について学ぶ	〃
4	看護の世界	現在活躍中の看護師・保健師・助産師からのメッセージ（実際の仕事、キャリアについて） ※二輪草センターおよび看護職キャリア支援センターの共催により提供されるセミナーです。	岩間(非常勤)
5			出村(非常勤)
6			池田(非常勤)
7	論理的思考とマインドマップ	大学で学ぶ学問と論理的思考、問の立て方と思考の整理法、マインドマップについて学ぶ	及川
8	レポートの書き方	第１章　レポートを書く前に	〃
9		第２章　説得力のあるレポートを書くために	〃
10		第３章　レポートを書く	〃
11		第５章　レポートの作法	〃
12		文献検索とレポート評価	〃
13	大学生だからこそ！知っておきたいマナーの基本	コミュニケーション、電話や電子メールのエチケット・マナーを身に付ける。	河野(非常勤)
14			
15	看護学生とストレスマネジメント	自分自身の心身の緊張といったストレス反応に気づき、解消するための具体的な方法や資源について理解する。	長谷川

5. 医療史・医療哲学（必修）

担当教員	阿部　泰之、◎工藤　直志		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

医療は生や死、人間の尊厳、人生の意味といった、ある種「哲学的な」ものを扱う領域である。またそれを下支えする医学や看護学にも「哲学」の観点が必要とされる。哲学は言うなれば思考法の学である。つまり、どのように考えるかということを考え学ぶ学問であり、その意味で全ての学問に底流するものである。しかし、今の医学教育や看護教育は科学的な知見や経験則などを覚え込むことが中心となってしまっており、“考える”ことが極端に減ってしまっている。看護学を学び始めるこの時期に、何を学ぶか、何を覚えるか、ではなく、どう考えるかを本科目にて経験し、今後の学びを柔軟に取り入れる基礎体力を養うことを目的とする。

到達目標

一般目標（ＧＩＯ）

哲学・思想で用いられる原理的思考法を、看護学や臨床看護において用いることができる

個別行動目標（ＳＢＯｓ）

・原理的思考法について、どういったものかを説明できる

・看護の場面で原理的思考法がどのように活かされるのか述べることができる

授業の形式

２コマで１セットとする（２－15講目）。１コマ目は、各回の問に対する答えとして、哲学、思想家の考えを紹介する。２コマ目は、各回の問いに対して、自分なりに考え、その結果を授業時間内に回答して提出する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

シラバスに記載されているキーワード（例えば「自律」「科学」など）について、事前に調べて考えを膨らましておくこと。

講義終了後は履修内容についてまとめを行うこと。

成績評価の基準等

出席状況と授業時間内の小テスト：69点（１コマ欠席につき３点減点とする）

最終レポート：31点

上記の計100点で評価して、60点以上をもって合格とする

学生へのメッセージ

楽しく、かつ深い思考となるような工夫をしていきます。「哲学なんて」と構えずに気楽に参加してください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) ナニコレ？ 痛み×構造構成主義	阿部泰之	南江堂	2,800円
(参) 正解を目指さない!?人生最終段階の意思決定⇔支援	阿部泰之	南江堂	3,200円
(参) ケアの本質 ―生きることの意味	ミルトン・メイヤロフ	ゆみる出版	1,500円
(参) 病の語り　慢性の病いをめぐる臨床人類学	アーサー・クラインマン	誠信書房	4,200円
(参) 医療関係者のための信念対立解明アプローチ	京極　真	誠信書房	3,500円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	オリエンテーション	哲学的（原理的）思考法について概説し、本科目の狙いについて理解する	阿部(緩和ケア) 工藤(社会学)
2・3	病気とは何か？	「病気」とは何か？もともと存在するもの？人間が作り出したもの？	阿部(緩和ケア)
2・3	なぜ人は人をケアするのか？	なぜ人は人をケアする、もしくはしたいと思うのか？それは利己心から？それとも利他心から？	阿部(緩和ケア)
2・3	意見が対立したらどうしたらいい？	意見もしくは考えの対立はどうしたらよいのか？自他の価値観に気づく対話とは？	阿部(緩和ケア)
2・3	自律を尊重するとはどういうこと？	「自律を尊重する」という言葉が氾濫しているが、自律とはそもそも何か？を知る人は少ない。当人が決めることだけが自律なのか？	阿部(緩和ケア)
2・3	死とどう向き合うか？	人は必ず死を迎えることを知らない人はいない。にもかかわらず、なぜ人は死を恐れるのか？死とどう向き合ったらよいのか？	阿部(緩和ケア)
2・3	科学を用いながら愛ある医療をするには？	科学とはそもそも何か？「病気を診て人を診ず」逆に「人を診て病気を診ず」と言われないような医療をするにはどうしたらよいか？	阿部(緩和ケア)
2・3	人を「評価」するとはどういうことか？	医療においては患者や家族を「評価」する。評価とは何なのか？自分とは違う他者のことを評価することは可能なのか？	阿部(緩和ケア)

6. 看護社会論（必修）〔少子高齢化、家族、結婚、病気、労働〕

担当教員	工藤　直志		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

本科目の目的は、現代社会と看護師に関する知識を幅広く習得すること、人文学や社会科学の視点に立脚して医療と関連する社会問題を検討すること、解決策を提示できるようになることである。また、授業で扱う内容を前提として、現代社会における看護師の役割や将来のキャリアを考えることも目的とする。

到達目標

【一般目標】

人文学や社会科学の基礎的な知識を習得することを通じて、多様な価値観の存在に気づき、幅広い視点から社会問題を検討できる。

【個別目標】

①現代社会の特質や今後の動向を理解して説明できる。
②現代社会で看護師が果たしている役割を理解して説明できる。
③現代社会の特色や看護師の役割を理解し、自分の将来像やライフプランを明示できる。

授業の形式

特定の教科書は用いません。manaba のコンテンツで公開される講義資料を利用して受講してください。１～２コマごとに、manaba の小テストで授業内容に関わる課題に取り組みます。授業では、講義内容の理解を深めるために、映像資料なども積極的に利用します。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

各回の講義資料、下記の参考図書、授業で紹介する書籍などを用いて、授業内容を確認してください。また、普段から医療や福祉に関する情報に慣れ親しむようにし、授業内容と関連させて考えるようにしてください。これらの学習が、全15回の授業終了後に提出するレポートの準備になります。

成績評価の基準等

授業内の課題（60%）、全15回の授業終了後に提出するレポート（40%）から成績を評価します。欠席回数が６回以上の場合は、成績評価は「不可」となります。

学生へのメッセージ

講義内容への質問や疑問を教員に積極的に伝えるなど、授業に能動的な態度で参加してください。将来のライフプランを考える時に、本科目の内容が役立つように授業を進めたいと考えています。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) テキスト現代社会学［第３版］	松　田　健	ミネルヴァ書房	2,800 円
(参) 社会学	長谷川公一他	有　斐　閣	3,500 円
(参) 感情と看護	武　井　麻　子	医　学　書　院	2,400 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	ガイダンス	本科目のねらい、授業計画、成績評価などを理解する。	工藤(社会学)
2	日本社会の将来	日本社会の現状と今後の社会の特徴を理解する。	工藤(社会学)
3	少子高齢社会	現在の少子高齢社会への理解を深めて、新しい社会のかたちを考える。	工藤(社会学)
4	家族（1）	現代日本の家族の現状を理解する。	工藤(社会学)
5	家族（2）	価値観が多様化する社会での家族のかたちを考える。	工藤(社会学)
6	結婚	現代日本の結婚の現状を理解し、今後の結婚のかたちを考える。	工藤(社会学)
7	出産	現代日本の出産と不妊の現状を理解する。	工藤(社会学)
8	生殖補助医療	生殖補助医療を理解し、生命の誕生に関する課題を考える。	工藤(社会学)
9	出生前診断（1）	出生前診断の現状を理解する。	工藤(社会学)
10	出生前診断（2）	出生前診断の倫理的課題を考える。	工藤(社会学)
11	近代医療	近代医療の基本的な前提を理解し、医療への理解を深める。	工藤(社会学)
12	病気	病人役割を通じて、現代社会における病気を考える。	工藤(社会学)
13	健康	現代社会における健康のあり方を考える。	工藤(社会学)
14	労働	社会学の視点から、看護師の感情労働を検討する。	工藤(社会学)
15	レポートの書き方	レポート（論文）の取り組み方を学ぶ。	工藤(社会学)

7. 形態機能学（必修）〔解剖学、生理学〕

担当教員	平　義樹（コーディネーター）、 吉田　成孝（解剖学講座機能形態学分野）、 入部玄太郎（生理学講座自律機能分野）、 金子　智之（生理学講座自律機能分野）、 野口　智弘（生理学講座神経機能分野）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	通　年	４単位	60コマ

履修目的・授業概要

形態機能学は、一般的には解剖生理学の名称で知られ、人体の形態（形や構造）と機能（役割や働き）を学ぶための学問である。人体の形態と機能を知ることは、「人間」を理解するための第一歩であり、「医療」を学ぶための入り口である。ヒトの体のつくりや生理現象を深く理解し、正常な状態や健康な状態を知ることによって、病気の状態を把握するための基礎を確立する。

到達目標

一般目標：人体の形態や構造を正確に把握し、それに基づいて営まれている種々の生命現象、それらの関連性および全体像について理解し、論述することができる。
行動目標：各システムの構造と機能について説明できるようになることを学習の到達点（ゴール）とする。

授業の形式

担当者により授業の形式はさまざまであるが、時間の節約のために、パワーポイントによるスライドや手渡しプリント等を用いることが多い。履修主題および履修内容に沿って、形態と機能を相互に関連付けた内容とし、システム別・臓器別に講義を進める。したがって、講義内容を確認して予習すること。多くの講義資料については manaba より配布するので、あらかじめダウンロードし予習に活用すること。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

教科書を読み、当日の講義内容をあらかじめ大まかに理解して、その日の講義に臨むこと。講義終了後は、配布されたプリントを再度見直して講義内容を整理し、まとめを行うこと。理解できなかった点は参考書などで調べ、又は担当教員に質問して理解すること。理解できないままにしないこと。分野ごとの問題集をコーディネーターのウェブサイトから配布するので、時間を作って演習すること。

成績評価の基準等

基本的には、多肢選択形式の試験を、前・後期定期試験（９月および２月）期間中に計２回実施し、２回の試験の合計総得点の６割以上を合格とする。また、毎回講義に出席することは、医療職を目指す学生として当然の責務ではあるが、総講義時間数の３分の２の出席を、評価の前提とする。コロナ感染症により授業がオンラインのみおよびオンラインとの併用となった場合はオンラインで授業中に小テストを実施しその提出をもって出席とする他、小テストの結果を成績に反映させる。その場合小テストを全体の20%、定期試験を80%として評価する。

学生へのメッセージ

医療者を目指す以上、職種を問わず、人体の構造と機能を熟知しておく必要がある。形態機能学は、看護学の学習や看護の実践におけるさまざまな場面で、考え方の拠り所となるはずである。限られた時間内に、豊富な内容の講義が展開される。集中を切らさないよう、体調を整えて授業に臨んでほしい。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 解剖生理学	坂井建雄 岡田隆夫	医学書院	3,990 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1 2	人体の基本システム１「形態機能学の基礎知識」	形態機能学履修－必要な基礎知識〔ゴール〕①人体を区分し、各部の名称を列記できる。②基準面、投影線、体位、姿勢、体腔について述べられる。③位置・方向・動きを示す用語を整理できる。④各器官系の機能（植物・動物機能）が言える。⑤体液の区分と組成、生体の恒常性について解説できる。⑥バイタルサイン、死の定義等、生命の基本事象について説明できる。	平 ４／14 (水) 4, 5時限
3 4	人体の基本システム２「人体の成り立ち」	人体の構成要素（物質と構成単位）－階層性〔ゴール〕①分子から細胞小器官、細胞、組織、器官、器官系まで人体の階層性について解説できる。②上皮組織、筋組織、結合組織、神経組織の形態、種類、分布、機能等、組織学の基礎について説明できる。（人体を構成する「物質」・「細胞」については「看護化学」や「生命科学」で、「免疫系」については「感染免疫学」で学ぶ）	平 ４／15 (木) 5, 6時限
5 6	人体の基本システム３「膜の透過性・興奮性細胞」	神経・筋－興奮のしくみ〔ゴール〕①細胞膜の選択的透過性、イオンチャネル、静止膜電位、活動電位について理解できる。②ニューロンの構造や刺激受容・興奮伝導・シナプス伝達の機構について述べられる。③神経伝達物質の種類と作用について分類できる。④骨格筋細胞の微細構造、興奮－収縮連関、神経筋接合部、筋収縮の特性について説明できる。	野口 ４／21 (水) 4, 5時限
7 8	情報の受信・処理・発信システム１「中枢神経系の構造・機能」	情報処理の中枢－脳・脊髄〔ゴール〕①発生・分化を基に神経系を分類できる。②脊髄の構造と機能が言える。③脳幹の構成と働き、小脳の構造、間脳の位置と視床・視床下部の働き等について説明できる。④大脳皮質の構造と機能局在、大脳辺縁系と大脳基底核の構造を図上で説明できる。⑤髄膜や脳室と髄液の産生部位・循環、動・静脈の分布について解説できる。	平 ４／27 (火) 4, 5時限
9 10	情報の伝送システム１「末梢神経系－体性神経・自律神経」	中枢と末梢間－情報往来〔ゴール〕①求心性神経と遠心性神経の機能を対比できる。②脳神経（12対）の分布領域、機能を説明できる。③脊髄神経(31対)を分類し、神経叢・派生神経の分布域と機能が述べられる。④デルマトームが理解できる。⑤自律神経系の中枢を指摘できる。⑥交感・副交感神経系の構成と機能が言える。⑦自律神経系の伝達物質が挙げられる。	平 ４／28 (水) 4, 5時限
11 12	情報の受信・処理・発信システム２「脳の高次機能」	認知と情動、言語と身体、自分と他人－心は脳と脳の間に〔ゴール〕次の事柄の概略を説明できる。①脳の進化と機能区分（新皮質・辺縁系・基底核、間脳、小脳、中脳・橋・延髄）。②新皮質（認知）と辺縁系（情動）の葛藤と協調。③左脳（言語）と右脳（身体）の機能局在。④脳はミラーニューロンによって他人の脳の働きを推測する（心の理論）。	野口 ５／11 (火) 4, 5時限
13 14	情報の受信・処理・発信システム３「中枢神経と運動機能」	運動が意志を生む－随意運動の神経機構〔ゴール〕次の事柄の概略を説明できる。①随意運動は、反射・情動と違って、自分の意思で開始／中止ができる（運動の企画と実行）。②基底核は運動の適切さ、小脳は運動の正確さを制御する。③脳から脊髄へは複数の情報伝達経路が存在し、それぞれ役割が違う。④運動障害の種類と特徴。⑤姿勢反射の種類と関与部位。⑥脊髄反射の種類と回路。	野口 ５／25 (火) 4, 5時限
15	情報の受容システム１「感覚器系の構造」	情報・刺激の入力－感覚受容器〔ゴール〕①視覚器、平衡・聴覚器、味覚器、嗅覚器、等の構造について説明できる。②外皮（皮膚）の構造と役割や表皮の派生物の構造について話せる。	平 ５／26 (水) ４時限

形態機能学　　第１学年・通年・60コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	情報の受容システム１「感覚器系の構造」	③圧・触覚、温・冷覚、振動感覚、痛覚等の一般体性感覚装置を挙げ、局在や構造を説明できる。④深部感覚（筋紡錘・腱紡錘）や内臓感覚の受容装置の分布・構造について述べられる。	平５／26（水）５時限
17	情報の受容システム２「視覚」	木を見て森を見ず－光の受容と眼球運動〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①動眼神経（第ＩＩＩ脳神経）はものをよく見るために様々な調節を行う（開眼、眼球運動、遠近調節、縮瞳）。②明るい場所では錐体で見る。暗い場所では杆体で見る。③注意の対象を解像度の高い網膜中心部で見るために前庭動眼反射やサッケードが働く。④視覚異常。	野口６／１（火）4，5時限
18			
19	情報の受容システム３「聴覚・平衡覚」	視線の行方－音源定位と前庭反射〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①両耳間の音のずれを聴覚伝導路の脳幹部分で検出し、音の発生方向を割り出す（音源定位）。②前庭神経核は頭部の揺れと反対方向に眼球を動かし、視野を安定させる（前庭動眼反射）。③音のした方を反射的に見るとき、聴覚による音源定位・視覚によるサッケード・平衡覚による前庭脊髄反射・前庭動眼反射が協働する。	野口６／８（火）4，5時限
20			
21	情報の受容システム４「味覚・嗅覚」	風味－味覚と嗅覚の統合〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①５種類の基本味にはそれぞれ異なる味覚受容機構がある。②数百万種類の匂いを数百の嗅覚受容体の組み合わせで識別する。③ヒトの嗅覚は味覚を強化する。	野口６／９（水）4，5時限
22	情報の受容システム５「体性感覚・内臓感覚」	痛みは２回感じる－鈍痛と関連痛〔ゴール〕次の事柄を説明できる。①痛みは脊髄反射を引き起こす。②痛みは慢性化する。③内臓の痛みは関連痛として現れる。	
23	身体の支持・運動システム１「体温」	生命維持と全天候型活動の前提－体温の恒常性〔ゴール〕①体温を一定に保つ意義について述べることができる。②熱の産生・放散の仕組みと熱出納・効果器反応について解説できる。③中枢を含めた体温調節機構について説明できる。④発熱・解熱のメカニズムと様々な体温変動について解説できる。⑤高温障害・低温障害と温度適応（気候順化）について説明できる。	平６／15（火）4，5時限
24			
25	身体の支持・運動システム２「骨格」	体格の決定、姿勢・運動の支持－骨格〔ゴール〕①骨を形態により分類できる。②骨の機能が言える。③骨の発生・成長について述べられる。④骨の不動結合と関節を分類し、例示できる。⑤頭蓋骨の外観と内・外頭蓋底の特徴が述べられる。⑥椎骨の一般構造、脊柱の構成、胸郭の構造を説明できる。⑦上支帯骨・自由上肢骨と下肢帯骨・自由下肢骨の形態を対比できる。	平６／16（水）4，5時限
26			
27	身体の支持・運動システム３「骨格筋」	姿勢・運動の担い手－骨格筋〔ゴール〕①骨格筋の特徴が言える。②表情筋、咀嚼筋、頸部の筋の名称・作用が示せる。③浅・深胸筋、横隔膜の説明ができる。④前・側・後腹筋の名称と作用が述べられる。⑤浅・深背筋の走行と作用を概説できる。⑥主な上支帯・上腕・前腕・手の筋の名称と作用を整理できる。⑦主な下支帯・大腿・下腿・足の筋の名称と作用を整理できる。	平６／22（火）4，5時限
28			
29	物質の輸送システム１「心臓の構造」	血液循環（＝物質の輸送）の原動力－心臓〔ゴール〕①体循環・肺循環、右心・左心の特徴が言える。②心臓の位置、心音聴取部位が示せる。③心臓の外形と心嚢・心臓壁（心内膜・心筋・心外膜）の構造を述べることができる。④心臓の内景（心房・心室・房室弁・動脈弁、刺激伝導系）について説明できる。⑤冠状動脈・冠状静脈、心臓神経の分布について解説できる。	吉田６／23（水）4，5時限
30			
31	物質の輸送システム２「脈管の構造・走行・分布」	熱・物質の輸送路－脈管（血管、リンパ管）〔ゴール〕①動脈・毛細血管・静脈の構造が言える。②上行大動脈、大動脈弓、胸・腹大動脈およびその枝の走行を示せる。③上・下大静脈に注ぐ頭頸部、上肢・下肢（特に皮静脈）、内臓（特に門脈系と側副路）、体壁の静脈について話せる。④リンパ管・リンパ節の分布について説明できる。⑤胎児循環について解説できる。	吉田６／29（火）4，5時限
32			
33	物質の輸送システム３「血圧」	身体各部への血液輸送－血圧維持〔ゴール〕①血圧の成因が話せる。②血圧測定法を理解し、最高・最低・平均血圧、脈波、脈拍の意味が分かる。③血圧と血流量の関係について説明できる。④血圧の調節因子（自律神経・反射・液性因子・腎機能）を挙げて説明ができる。⑤微小循環と物質交換の関係について述べられる。⑥循環系の不調の例を挙げることができる。	平７／６（火）4，5時限
34			
35	物質の摂取・排泄システム１「血液」	熱・物質の媒体－血液〔ゴール〕①血液の組成と血球の分化が話せる。②赤血球（数・Hb濃度・Ht値・新生・破壊）の説明ができる。③Hbの構造と酸素解離曲線が理解できる。④貧血と赤血球増加症を対比できる。⑤白血球を分類し、その機能や血小板、血漿タンパク質の解説ができる。⑥血液凝固・凝固阻止機能、線維素溶解が分かる。⑦血液型と輸血について話せる。	平７／７（水）4，5時限
36			
37	物質の輸送システム４「心収縮のリズム」	心臓全体の収縮・弛緩のリズム－心臓の拍動〔ゴール〕①心拍動のリズムを作り出す機序が理解できる。②固有心筋細胞が同期する理由が話せる。③心房・心室の興奮伝播のしくみを説明できる。④心拍リズムの神経等による調節について理解できる。⑤心電図の導出方法を知り、波形の意味、アイントーフェンの三角形と心臓電気軸の解釈及び不整脈・心停止の説明ができる。	入部８／24（火）4，5時限
38			
39	物質の輸送システム５「心臓の機械的活動」	心房・心室の機械的収縮・弛緩－血液の拍出〔ゴール〕①心拍出量（１回拍出量・心拍数・毎分拍出量）を説明できる。②心周期（収縮・弛緩の各ステージにおける心房・心室の内圧と容積の関係、房室弁・動脈弁の開閉、大血管の内圧）について話せる。③心室の機能状態に影響する因子（前負荷・後負荷・心筋収縮性）が理解できる。④心音・心雑音の説明ができる。	入部８／25（水）4，5時限
40			
41	物質の摂取・排泄システム２「呼吸系の構造」	空気の吸入・呼出－呼吸器系〔ゴール〕①上気道（鼻腔・副鼻腔・咽頭・喉頭）の構造を話せる。②発声と構音のしくみが言える。③下気道（気管とその分岐―気管支・区域気管支・細気管支・肺胞管）の構造が示せる。④肺（肺葉・肺区域・肺胞・肺胞上皮・肺毛細血管）の構造が話せる。⑤肺に分布する血管、胸膜と胸郭、縦隔の内容、呼吸筋・呼吸補助筋の解説ができる。	平８／27（金）4，5時限
42			
43	物質の摂取・排泄システム３「呼吸器」	ガス交換－呼吸〔ゴール〕①外呼吸と内呼吸が区別できる。②気道と肺胞上皮の機能が話せる。③呼吸の実相と胸郭運動の関係が言える。④呼吸気量とスパイロメーターの説明ができる。⑤肺胞気・吸気・呼気・血液のガス分圧を比較できる。⑥肺の循環と血流の説明ができる。⑦呼吸運動の規律性とその調節を解説できる。⑧病的呼吸、換気障害、拡散障害の病態が分かる。	平９／１（水）4，5時限
44			
45	物質の摂取・排泄システム４「泌尿器系の構造」	血中不要物排泄の構造－泌尿器系〔ゴール〕①腎臓の位置、腎筋膜および構造（皮質・髄質・腎盤・腎乳頭・腎杯）を図示できる。②腎臓の組織（糸球体、尿細管、ヘンレのワナ、集合管、メサンギウム細胞、偽足細	金子９／３（金）４時限

形態機能学　　第１学年・通年・60コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
46	物質の摂取・排泄システム４「泌尿器系の構造」	胞、緻密斑、等）について説明できる。③腎臓の血流を順序立てて話せる。④尿路（尿管、膀胱、尿道）の構造を説明できる。⑤蓄・排尿反射機構を理解できる。	金子 ９／３ （金） ５時限
47 48	物質の摂取・排泄システム５「尿生成・体液調節	尿の生成と体液の恒常性－腎機能　〔ゴール〕①原尿の生成機序（糸球体ろ過）と組成が分かる。②物質の再吸収、尿の濃縮、尿成分の調整（ホルモンの影響）について理解できる。③クリアランス・糸球体ろ過量・腎血流量の関係を解説できる。④水分摂取量・排泄量と脱水について説明できる。⑤電解質異常、酸塩基平衡、アシドーシス・アルカローシスについて述べられる。	金子 ９／７ （火） ４，５時限
49 50	物質の摂取・排泄システム６「消化器系の構造」	摂取食物の通り道と付属腺－消化管・消化腺　〔ゴール〕①消化管の一般構造が図解できる。②口腔（歯、舌を含む）から肛門までの消化管（咽頭、食道、胃、小腸、大腸）の構造を順に説明できる。③消化管の付属腺（唾液腺、肝臓と胆路、膵臓と膵管）の構造を解説できる。④壁内神経叢と外来神経の分布・機能が理解できる。⑤腹膜と腸間膜の構造と分布が述べられる。	平 ９／８ （水） ４，５時限
51 52	物質の摂取・排泄システム７「消化・吸収・排泄」	汝とは－汝が食べた物そのもの　〔ゴール〕①咀嚼、嚥下、胃・腸の運動を説明できる。②消化管運動の神経性・体液性調節が話せる。③排便反射が言える。④消化液と胆汁の分泌機構について説明できる。⑤管内消化と膜消化の相違や各栄養素の消化・吸収の過程が話せる。⑥消化管機能の中枢性制御、摂食中枢と食欲の調節、嘔吐のメカニズムを説明できる。	平 ９／10 （金） ４，５時限
53 54	情報の伝送システム２「内分泌腺の構造と内分泌」	内分泌腺－液性情報（ホルモン）－標的細胞　〔ゴール〕①神経系と内分泌系の対比ができる。②内分泌細胞と外分泌細胞の形態・機能の比較ができる。③内分泌諸器官の分布や構造の説明ができる。④ホルモンを化学構造により３タイプに分類できる。⑤各タイプのホルモンの分泌様式と作用様式が分類できる。⑥分泌調節（階層性とフィードバック）について説明できる。	平 11／４ （木） ２，３時限
55 56	情報の伝送システム３「ホルモンの生理作用」	生体恒常性と生殖の体液性調節－ホルモンの作用　〔ゴール〕①内分泌細胞と分泌されるホルモンの対比ができる。②ホルモンの生理作用（成長と代謝の促進、適応力増進とホメオスタシス維持、本能行動発現、他の内分泌腺の機能状態調節）が分かる。③個別のホルモン作用が説明できる。特に血中Ca濃度と血糖の調節機構が言える。④内分泌異常について述べられる。	平 11／25 （木） ２，３時限
57 58	生命の継続システム１「生殖器系の構造」	命の引き継ぎ－生殖　〔ゴール〕①精子を図解できる。②男性の生殖器（精巣、巣巣上体、精管、精索、外陰部）と付属線（精嚢、前立腺、尿道球腺）を列挙できる。③勃起と射精のしくみを説明できる。④卵子を図解できる。⑤女性生殖器（卵巣、卵管、子宮、膣、女性外陰部）の構造を説明できる。⑥卵巣・子宮周期とホルモン変動の関連が言える。（「基礎助産学」関連分野）	平 １／21 （金） ４，５時限
59 60	生命の継続システム２「生殖・成長・老化」	受精、誕生、成長、老化、死－人間の一生　〔ゴール〕①原始生殖細胞、精子・卵子の形成、卵胞発育・排卵、受精、卵割、着床、妊娠、胚子・胎児の形成・発達、胎盤・臍帯の形成、胎児の性分化、等を経て分娩に至る過程を説明できる。②成長（身長・体重の変化・思春期の性成熟）や乳幼児期、少年期、青年期、壮年期、老年期の心身の特性および死について説明できる。	平 １／28 （金） ４，５時限

8. 生体観察実習（必修）〔解剖実習、脳実習、骨学実習、循環調整、脳波、腎機能〕

担当教員	平　義樹（コーディネーター）、 吉田　成孝（解剖学講座機能解剖学分野）、 春見　達郎（解剖学講座顕微解剖学分野）、 森永　涼介（解剖学講座顕微解剖学分野）、 金子　智之（生理学講座自律機能分野）、 野口　智弘（生理学講座神経機能分野）、 千葉　龍介（生理学講座神経機能分野）、 高橋　未来（生理学講座神経機能分野）、 赤坂　和美（臨床検査・輸血部）、 齊藤江里香（教育センター）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	後　期	１単位	45コマ

履修目的・授業概要

形態機能学で学習した解剖学や生理学のうち、特に重要と考えられる項目について、人体と直接触れあう実習を行い、人体の形態と機能についてより深く理解する。

到達目標

解剖学関連実習では、ご遺体（解剖体）や標本の観察を通して、各器官・器官系の立体的な配置と形態・構造に関する理解を深め、説明できるようになる。生理学関連実習では、学生自らが互いに検者および被検者となり、正確な手順・操作でデータを取得・記録できるようになる。さらにそのデータを分析・考察し、当該器官・器官系の機能を論理的に説明できるようになる。

授業の形式

グループ単位で各項目総当たりの実習を行う。実習項目によっては、服装や生活上の配慮が必要であるから、事前に行われるガイダンスにはか必ず参加すること。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

事前に配布する生体観察実習を熟読するとともに当該分野の形態機能学の講義を復習しておくこと。

成績評価の基準等

各実習におけるレポートの成績および実習直後に実施する試験（脳観察実習）を100点満点（出席点20点＋成績80点）で点数化し全実習の平均が60点以上を合格点とする。正当な理由のないレポートの未提出については厳しく対応し、特に複数の実習において未提出の場合は未提出分を含めて合格基準に達していても不合格とするので注意すること。コロナ感染症の感染状況により評価基準が変更される可能性がある。その場合は改めて通知する。

学生へのメッセージ

実習は直接ご遺体や測定機器に触れることのできる貴重な時間である。実習にまじめに取り組むことで学習内容に対する理解が自ずと深まることを理解してもらいたい。軽快な身のこなし、俊敏な頭の回転、真摯な学習態度を期待する。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
（特に教科書は指定しない。）			
「生体観察実習の手引き」	担　当　者	看護学科	０円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1 2 3 4 5	実習説明	①「生体観察実習の手引き」配布 ②実習全体に関する諸注意 ③実習事項と日程の周知・確認 ④グループ分け ⑤担当教員による項目ごとの諸注意 ⑥実習設備・物品・試薬等の準備 ⑦実習機器の調整や標本の確認	平
1 2 3 4 5	解剖実習見学	【実習目的】 医学科の解剖実習を見学する。体表からでは到底うかがい知れない諸器官の形態、構造および位置関係について実際に観察することによって理解を深め、内在する法則を考察する。同時に個人によってかなりの相違があることも認識する。また、解剖体に直接接することにより生命の尊厳や死について思いをめぐらし、さらには医の倫理をも考究する。 【到達目標】 ①解剖体に触れ、積極的に観察できる。 ②「解剖学実習見学の手引き」に記載された重要な構造について医学生に質問しあるいは解説を求めてより確かな知識とする。 ③解剖実習の見学を契機として人間の生と死について考察する。	平 吉田
1 2 3 4 5	脳観察実習	【実習目的】 ヒトの脳の標本を観察して、その形態・構造・機能についての理解を深める。 【到達目標】 ①担当教員によるヒト全脳標本、断面標本や分割標本を用いた示説を聞き、脳の全体像や内部の構造について「脳観察実習の手引き」に掲載された図と照合して理解を深める。 ②脳標本の観察を通じて、脳の形態・構造および主な機能について確認・整理できる。	平

生体観察実習　　第１学年・後期・45コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	骨学実習	【実習目的】 人体の個々の骨の形態学的特徴や骨格の構成について観察し理解を深める。 【到達目標】 ①骨標本を用いて個々の骨の特徴を観察し「骨学実習の手引き」の骨・関節・骨格を示す図中の空欄に学名や重要事項を記入して図を完成させる。 ②骨格交連標本を参考にして、骨標本の骨と骨を結合・関節させ、人体の骨格を再構築できる。 ③実際の骨標本を用いた質問に正確に答えることができる。	春見 森永
2			
3			
4			
5			
1	脳波実習	【実習目的】 他覚的な感覚検査法としての誘発脳波を記録する。臨床における生理学的指標としての脳波を実際に測定し、観察する。 【到達目標】 ①学生全員が検者と被検者の両方を体験する。全員が頭皮上電極を装着できる。 ②クリック音に対する聴性脳幹反応時の誘発脳波を記録できる。 ③記録した脳波から、脳の活動状態を解析し、その意味を論理的に説明することができる。	野口
2			
3			
4			
5			
1	循環機能実習Ⅰ（心電図）	【実習目的】 心電図の記録法と正常心電図の基本項目について学ぶ。また心臓における電気現象と機械現象の関連を理解する。 【到達目標】 ①学生が互いに検者と被検者になり、各自の心電図を正しい操作で記録できる。 ②記録した心電図から心拍数を算出し、また調律の正しさや異常波の有無などを分析して心臓の機能状態を把握し、論理的にまとめることができる。	赤坂 齊藤
2			
3			
4			
5			

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	循環機能実習Ⅱ（循環調節）	【実習目的】 急激な体位変換を行い、その際に起こる心臓レベルの循環調節反応や抵抗血管レベルでの調節を観察し理解を深める。 【到達目標】 ①学生が相互に検者と被検者になり、チルトテーブルを用いて仰臥した状態から急速に立位にし、その時の心拍数や血圧の変化を正確に計測することができる。 ②上記計測結果を分析し、体位変換による循環系への重力の影響および心臓機能の変化や末梢血管における反射による循環調節機能について論理的に解き明かすことができる。	千葉 高橋
2			
3			
4			
5			
1	腎機能実習（排泄）	【実習目的】 種々の水分負荷に伴う浸透圧クリアランスを求め、腎臓の持つ排泄機能について理解を深める。また、臨床において尿量を測定する意義について理解する。 【到達目標】 ①学生各自が水や生理食塩水を飲み経時的に採尿して、尿量や尿中クレアチニン濃度を正確に測定できる。 ②上記で得られたデータから糸球体ろ過量を計算し、水分負荷に伴う腎臓の排泄機能について論理的に記述することができる。	金子
2			
3			
4			
5			
1	レポート作成・提出	①実習項目ごとに指定された様式でレポートを作成する。 ②決められた期日までに指定された提出先（manaba、レポートボックスまたは担当教員等）に提出する。	平
2			
3			
4			
5			

9. 栄養学（必修）

担当教員	◎及川　賢輔、山内　明美（栄養管理部）、 久保田　のぞみ（非常勤）、 田邊　宏基（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

生体は、その恒常性を保つために、摂取した食物より、生体活動に必要な種々の物質を作り出している。栄養学では栄養・食事の基本的な理解と健康への寄与について学習する。

トラディショナルな栄養学に加え、医療従事者が現今最も求められている新しい栄養学の知識とその世界的動向を学ぶ。また看護実践に必要な栄養学の知識を教授する。

到達目標

1．生体構成成分の構造と機能を理解出来る。
2．糖質、脂質、タンパク質の体内での合成、分解を理解出来る。
3．栄養素の構成、主要な栄養素の正常時での働きを説明出来る。
4．各ライフステージにおける栄養学的留意点を理解出来る。

授業の形式

学年の半数は対面式授業、残りの半数は Zoom 授業です。来学に不安のある学生は自宅で Zoom 授業を受けても構いません。またネット環境が不安定な学生は、学生支援課に連絡した上で、席があれば対面授業または他の教室で Zoom 授業を受けることも可能です。manaba の小テストの提出をもって出席とします。小テストは、授業開始より70分の間公開されますので、公開時間内に提出してください。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

manaba の栄養学コースより講義資料をダウンロードし、各自授業に備えてください。疑問点は manaba を通して質問するようにしてください。

成績評価の基準等

「評価方法」：定期試験（100％）
「評価基準」：原則として定期試験の得点が60％以上で及第とします。ただし、15コマのうち10コマ以上の出席が必要です。追再試・レポート提出などの救済措置あり。

学生へのメッセージ

疾患の予防／治療としての食生活／生活習慣を栄養学的側面から理解し、将来諸君が看護師として活躍されるための基礎を築いて頂きたい。本科目では食事療法は入門のみ行い、不足分は成人看護学にて行うものとする。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座　専門基礎分野 人体の構造と機能［3］ 栄養学	小池五郎	医学書院	1,900 円
(参) 看護学生のための自己学習②　生化学・栄養学	鏡山博行	金芳堂	2,000 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	食生活の変遷と栄養素の摂取パターン	戦後からの食生活の変化に伴い、栄養素の摂取パターンが変わり、生活習慣病の発症変動の一因となっていることを理解する。	山内（栄養管理部）
2	ミネラル、ビタミンの栄養	ミネラル及びビタミンの分類について理解し、それぞれの栄養機能の概要を理解する。	〃
3	糖質	糖質の栄養学的意義を学び、糖質の種類（特にでんぷん）の違いが生体に与える影響について理解する。	田邊（非常勤）
4	脂質	脂質の栄養学的意義を学び、各種脂質（特に異なる脂肪酸）が生体に与える影響について理解する。	〃
5	食物繊維の栄養学的意義	食物繊維の定義を理解し、食物繊維が消化管を介した生理作用により健康維持に重要な役割を果たしていることを学ぶ。	山内（栄養管理部）
6	食事摂取基準	食事摂取基準の策定の特徴を学び、栄養素の摂取基準について理解する。	〃
7	たんぱく質	たんぱく質の栄養学的意義を学び、摂取するたんぱく質の量的な変化と生体内における窒素バランスの関係を理解する。	田邊（非常勤）
8	たんぱく質の栄養評価	摂取するたんぱく質の質的な違いが生体内に与える影響を学び、たんぱく質の質的な違いを評価する方法を理解する。	〃
9	思春期の栄養	思春期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と問題点について理解する。	山内（栄養管理部）
10	青年期～壮年期の栄養	青年期～壮年期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と問題点について理解する。	〃
11	妊産婦の栄養	妊娠期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と食事について理解する。	久保田（非常勤）
12	乳児期の栄養	乳児期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と調乳や離乳食について理解する。	〃
13	高齢期の栄養	高齢期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と問題について理解する。	山内（栄養管理部）
14	幼児期の栄養	幼児期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と幼児食について理解する。	久保田（非常勤）
15	学童期の栄養養	学童期に於ける生理学的特徴を学び、それに呼応する栄養学的留意点と食事のあり方について理解する。	〃

10. 生化学（必修）〔生体物質、エネルギー産生、代謝、遺伝子発現、免疫〕

担当教員	◎及川　賢輔、川辺　淳一、安田　　哲、宇和田　淳介		
対象学年	**開講期**	**単位数**	**コマ数**
第１学年	後　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

生体物質の基本的知識と生体代謝の分子的な仕組みを理解し、生体の恒常性がどのように維持されているかについて学ぶ。また臨床応用されている生化学検査の意味も理解し、生活習慣病、代謝病などの病態と免疫システムがいかに成り立つのかを分子生物学的・生化学的視点から考察できることを目指す。

到達目標

1. 生体構成成分の構造と機能を理解出来る。
2. 糖質、脂質、タンパク質の体内での合成、分解を理解出来る。
3. 核酸の構造、遺伝情報との関係、遺伝子発現について理解出来る。
4. 遺伝情報の誤り、代謝異常にもとづく疾病の成り立ちを理解出来る。
5. 主要な臓器の機能を生化学的側面から説明出来る。
6. 免疫に関わる物質や細胞の作用について説明出来る。
7. 移植と免疫反応について説明出来る。

授業の形式

Ｃ講義室で、ＰＣを用いた講義を行います。学年の半数は対面式授業、残りの半数は Zoom 授業です。講義開始後30分で公開される manaba のアンケートに、各講義中に提供されるパスコードを入力して提出すれば出席とします。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

復習に重点を置く学習をしてください。講義を受けた後は、小テストで知識の定着に努めてください。定期試験は、小テストから出題します。小テストは、正解付きのドリル形式になっていますので、何度でも挑戦できます。

成績評価の基準等

「評価方法」：定期試験（100％）来学の上実施する予定。
「評価基準」：原則として定期試験の得点が60％以上で及第とします。ただし、15コマのうち10コマ以上の出席が必要です。追再試・レポート提出などの救済措置あり。

学生へのメッセージ

疾患の成り立ちを生化学的側面から理解し、将来諸君が看護師として活躍されるための基礎を築いて頂きたい。本科目では教科書に基づき講義を行うため必ず購入し、授業に際し持参すること。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) よくわかる専門基礎講座　生化学	津田道雄	金原出版	2,100 円
(教) 休み時間の免疫学	斎藤紀先	講談社	2,000 円
(参) 看護学生のための自己学習②　生化学･栄養学	鏡山博行	金芳堂	2,000 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	オリエンテーション	本学科の構成と学習の仕方 生化学・免疫学概論	及川
2	細胞と生体構成成分・酵素	細胞の構造とその構成成分について理解する。また、酵素の役割と基本的性質、さらに酵素活性測定による診断法を理解する。	安田
3	糖質代謝	糖質の基本構造、種類、性質、役割、代謝について理解する。そして血糖調節の機構とその異常を理解する。	〃
4	脂質・アミノ酸・蛋白質の代謝	脂質・アミノ酸・蛋白質それぞれの基本構造、消化と吸収、役割、代謝およびその異常による疾患を理解する。	〃
5			〃
6	ヌクレオチド・核酸	蛋白質合成、及び遺伝に基本的役割を担うＤＮＡとＲＮＡの構造と代謝について理解する。さらにＤＮＡ複製、転写、翻訳の機構を理解する。	宇和田
7	遺伝子診断・治療	遺伝子工学、ＤＮＡ診断、遺伝子治療など、その応用と可能性について理解する。	〃
8	水、無機質、ビタミン、ホルモン	生体に含まれる水や無機質、ビタミン、ホルモンの性質、役割、及びその調整について理解する。	〃
9			〃
10	免疫に関わる物質・細胞	補体、抗体、抗原、好中球、単球・マクロファージ、樹状細胞、ＮＫ細胞・ＮＫＴ細胞について学ぶ。	及川
11	リンパ球の世界（１）	Ｂ細胞の分化とクラススイッチ、Ｔ細胞の分化と種類 (Th1, Th2, Th17, Treg) について学ぶ。	〃
12	リンパ球の世界（２）	細胞傷害性Ｔ細胞の反応、胸腺によるＴ細胞の教育、Ｂ細胞・Ｔ細胞の多様性について学ぶ。	〃
13	移植と免疫	移植と免疫反応について学ぶ。	〃
14	臓器の生化学（１）肝臓の機能	肝臓の機能を生化学的観点から理解し、解剖学・生理学的知識をリンクさせる。	〃
15	臓器の生化学（２）腎･筋・脳・神経・血液の機能	腎・筋肉・脳・神経組織・血液の生化学的機能や代謝について理解する。	〃

11. 病理学総論（必修）〔病理学、医学、疾患、免疫システム〕

担当教員	及川　賢輔		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	後　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

看護を行う上で、患者の抱える「疾患」の知識が不可欠です。その基盤となるのが医学であり、さらにその中核・礎をなすのが「病理学」という学問になります。病理学は疾病の成り立ちを明らかにする学問で、診療に直結する「臨床医学」の根拠となります。

本学科では、疾患を大まかに分類する病理学の総論的な考え方と、基本病態について学んで行きます。中でも「アレルギー」と「感染症」は将来医療現場で必ず遭遇する重要な病態で、その理解のために、病原体を排除する生体内機構としての「免疫システム」について学びます。

到達目標

1. 病理学総論の枠組みを理解し、その説明ができる。
2. 主要病態の原因、発症メカニズム、形態学的変化および機能的変化、臨床的事項を説明出来る。
3. 微生物に対応する宿主側の反応としての種々の防御機構と免疫反応の宿主への傷害的作用が理解出来る。
4. 上記１～３を統合して、病んでいる患者の全体像を理解出来る。

授業の形式

Ｃ講義室にてＰＣを用いた講義を行います。学年の半数は対面式授業、残りの半数は Zoom 授業です。講義開始後30分で公開される manaba のアンケートに、授業中提供されるパスコードを入力し提出すれば出席とします。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

復習に重点を置く学習をしてください。講義を受けた後は、小テストで知識の定着に努めてください。定期試験は、小テストから出題します。小テストは、正解・解説付きのドリル形式になっていますので、何度でも挑戦できます。

成績評価の基準等

「評価方法」：定期試験（100％）　学内で実施の予定
「評価基準」：原則として定期試験の得点が60％以上で及第とします。ただし、２／３以上の出席が必要です。追試・レポート提出などの救済措置あり。

学生へのメッセージ

履修内容を理解する上で前期から始まっている形態機能学の知識が必要になってきますので、適宜復習してください。各種疾患を整理する枠組みが出来るようにと期待しています。教科書は必ず購入してください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座　病理学　第6版	大橋健一	医学書院	2,400 円
(教) 休み時間の免疫学　第3版	斎藤紀先	講談社	2,000 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	オリエンテーション	授業の進め方・日程に関するオリエンテーションを行い、病理学とは何かについて概説する。	及川
2	細胞と組織の障害	細胞の基本構造をそれらの機能変化、細胞障害に対する細胞の適応、細胞死について学ぶ。	〃
3 4	循環障害	正常循環とその調節を学び、充血、うっ血、虚血、出血、血栓、塞栓、梗塞、水腫、ショック、高血圧、低血圧について理解する。	〃
5 6	免疫① 細菌感染に対する防御反応の流れ	感染とは何なのか、細菌の侵入から炎症反応に至る生体内の反応をおおまかに捉える。細菌感染に対する防御反応の中で、オプソニン化の役割を果たす抗体がどのように産生されるかについて学ぶ。	〃
7	免疫② ウイルスに対する防御反応の流れ	ウイルスの感染に対する免疫反応を大まかに捉える。細菌感染との違い、自然免疫過程と獲得免疫の過程について学ぶ。	〃
8	感染症	感染症について学ぶ	〃
9	免疫③ 免疫と病気のメカニズム（1）	炎症とⅠ型アレルギー疾患について学ぶ。	〃
10	免疫④ 免疫と病気のメカニズム（2）	Ⅱ型・Ⅲ型・Ⅳ型アレルギー疾患と免疫不全症について学ぶ。	〃
11	代謝障害	生活習慣病、代謝障害について学ぶ	〃
12	老化と死	老化・個体の死による生体の変化を理解しそれに伴って生ずる疾患・病態について学ぶ	〃
13	先天異常と遺伝子異常	先天異常（奇形含む）、遺伝子･染色体異常、について学ぶ。	〃
14 15	腫瘍	腫瘍の定義・分類、腫瘍発生のメカニズム･性状･生体の腫瘍に対する反応、腫瘍の診断と治療、疫学、さらに腫瘍免疫について学ぶ。	〃

12. 感染制御学（必修）〔病原微生物、細菌、ウイルス、感染症、感染予防、感染管理〕

担当教員	◎及川　賢輔、松田　泰幸、吉田　逸朗（非常勤）、感染制御部		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	後　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

感染症の原因である「病原体（細菌･ウイルスなど）」の生物学的性状を理解し、これら微生物の増殖と生体応答との相互関係から起こる感染症の発症機序を把握する。この基盤の上に、感染症治療学や、スタンダードプリコーションなど基本的な感染予防対策の概念と実際について理解し、院内感染や新興感染症の特徴・問題点と、その予防・管理についても学ぶ。

到達目標

1．細菌、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア、およびウイルスに属する病原微生物の性状を理解し、これらの微生物の増殖と生体応答との相互反応から起こる感染症の発症機序を理解出来る。
2．主な感染症の治療法について説明できる。
3．感染症の予防対策の概念と実際について説明できる。
4．院内感染・新興感染症の特徴について説明できる。

授業の形式

学年の半数は対面式授業、残りの半数は Zoom 授業です。manaba の小テストの提出をもって出席とします。小テストは、授業開始時間より70分の間公開されますので、公開時間内に提出してください。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

manaba の感染制御学コースより講義資料をダウンロードし、各自授業に備えてください。疑問点は manaba を通して質問するようにしてください。

成績評価の基準等

「評価方法」：定期試験（100％）
「評価基準」：原則として定期試験の得点が60％以上で及第とします。　ただし、30コマのうち20コマ以上の出席が必要です。追再試・レポート提出などの救済措置あり。

学生へのメッセージ

感染症という疾病の成り立ちとその原因としての病原微生物、実際に看護師が、どのような役割を果たすべきなのか、実践的な感染制御・管理を学ぶ学科です。目に見えないミクロの世界で何が起こっているのか…学んでいきましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座専門基礎分野　疾病のなりたちと回復の促進［4］ 微生物学	吉田眞一編	医学書院	2,200円
(参) 休み時間の免疫学(第3版)	斎藤紀先	講談社	2,000円
(参) シンプル微生物学(改訂第6版)	小熊惠二ら編	南江堂	3,200円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	病原微生物学序論	ヒト病原体としての微生物の種類と生物界における位置を学習し、感染症成立に必須の３要素を把握する。	吉田(非常勤)
2	細菌学総論１　細菌の生物学	病原体としての細菌が、二分裂増殖する原核生物であることを理解し、細菌の分類、形態、構造の概要を把握する。	〃
3	細菌学総論２　滅菌と消毒	高圧蒸気滅菌、ガス滅菌等の滅菌法、及び各種薬剤等による消毒法の原理を学習し、感染防御におけるスタンダードプリコーションの理念を理解する。	〃
4			〃
5	細菌学総論３　化学療法	細菌感染症に対する化学療法薬の作用機序を学習し、薬剤耐性菌出現機序並びに抗菌薬適正使用の理念を理解する。	〃
6	細菌学総論４　細菌感染の成立と予防	病原細菌の侵襲作用と毒素産生性について学習し、細菌感染の成立が、病原細菌の毒力と宿主の抵抗力のバランスに依存することを理解して、細菌による医療関連感染症の発生防止対策に関する基本的知識を習得する。	〃
7	細菌学各論１　病原球菌	代表的なヒト病原球菌であるスタフィロコッカス属、ストレプトコッカス属、ナイセリア属等の性状、並びにそれらのよる感染症の概要を把握する。	〃
8			〃
9	細菌学各論２　病原杆菌（1）	代表的なグラム陰性病原杆菌である腸内細菌科、ビブリオ科、シュードモナス科、スピロヘータ科等の性状、並びにそれらのよる感染症の概要を把握する。	〃
10	細菌学各論３　病原杆菌（2）	代表的なグラム陽性杆菌であるクロストリジウム属、コリネバクテリウム属、マイコバクテリウム属等の性状、並びにそれらによる感染症の概要を把握する。	〃
11	細菌学各論４　マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア論	マイコプラズマ、リケッチア、及びクラミジアの微生物学的特徴を学習し、これらによる主なヒト感染症の概要を把握する。	〃
12			〃
13	ウイルス学総論１　ウイルスの生物学	濾過性病原体と呼ばれるウイルスの、分類法、構造、増殖サイクルを、細菌と対比しながら学習し、その生物学的特徴を把握する。	松田
14	ウイルス学総論２　ウイルス感染症の予防と治療（1）	ウイルス感染を制御する抗ウイルス薬の作用機序について理解する。	〃
15	感染制御学１　感染源と感染経路	感染源・感染経路について学ぶ。	感染制御部

感染制御学　　第１学年・後期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	ウイルス学総論３ ウイルス感染症の予防と治療（２）	ウイルス感染を予防するためのウイルスワクチン及びウイルス感染を診断するための検査法について理解する。	松田
17	ウイルス学各論１ ＲＮＡウイルス（１）	オルソミクソウイルス科、パラミクソウイルス科、ピコルナウイルス科に属する、代表的なヒト病原ウイルスの性状、感染様式と標的臓器、並びに病態を理解する。	〃
18	感染制御学２ 滅菌と消毒	滅菌と消毒について学ぶ。	石上
19	感染制御学３ 感染症の検査	感染症の検査と診断について学ぶ。	感染制御部
20	感染制御学４ 感染症治療学	化学療法の基礎と各種化学療法薬、耐性菌について学ぶ。	〃
21	感染制御学５ 感染症の現状と問題点	感染症の現状と問題点、新興・再興感染症について学ぶ。	〃
22	感染制御学６ 医療関連感染症対策の基本	手指衛生、個人防護具、スタンダードプリコーション、医療廃棄物、ワクチンと予防接種について学ぶ。	石上
23	感染制御学７ 医療器材別の医療関連感染対策	医療器材別の医療関連感染対策について学ぶ。	〃
24	ウイルス学各論２ ＲＮＡウイルス（２）	トガウイルス科、フラビウイルス科に属する代表的なウイルスの性状、感染様式と標的臓器、並びに病態を学ぶ。	松田
25	ウイルス学各論３ ＲＮＡウイルス（３）	レトロウイルスについて、その感染の概要と起こす病気を把握する。	〃
26	感染制御学８ 手術部位感染症対策	手術室の感染制御と手術部位感染症対策、血液･体液暴露対策について学ぶ。	石上
27	感染制御学９ 看護師からみた感染制御	院内感染対策上の看護師の役割について学ぶ。	〃
28	ウイルス学各論４ ＤＮＡウイルス（１）	ポックスウイルス科、アデノウイルス科、パピローマウイルス科、ポリオーマウイルス科、パルボウイルス科について、それぞれの機構と特徴を理解する。	松田
29	ウイルス学各論５ ＤＮＡウイルス（２）	ヘルペスウイルス科のウイルスの構造と、その感染経路並びに潜伏感染機序を理解する。	〃
30	ウイルス学各論６ 肝炎ウイルス、腫瘍ウイルス、及びプリオン	Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅ型肝炎ウイルスの各々の特徴を理解する。腫瘍をおこすウイルスの種類とその発がん機序を理解する。プリオンについて、その概念と生化学的特徴を理解する。	〃

13. 発達心理学（必修）

担当教員	◎高橋　雅治、池上　将永		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

本講義の目的は、基礎心理学、及び、発達心理学についての基本的な知識を修得することである。

基礎心理学とは、人間の心理・行動の基本的な性質を研究する分野である。基礎心理学を理解することは、発達心理学や臨床心理学等の心理学応用分野を理解する上で欠かすことができない。本講義の前半では、基礎心理学の基礎知識を体得する。

一方、発達心理学とは、心理・行動の発達的変化全般を研究する分野である。本講義の後半では、医療活動に必要とされる発達心理学の基礎知識を学ぶ。

到達目標

1．人間の感覚、知覚、注意、記憶、学習、動機づけ、情動についての基礎知識を説明できる。
2．乳児期から老年期にわたる心理的・行動的変化についての基礎知識を説明できる。

授業の形式

オンラインによる講義を中心として、必要に応じてビデオ教材等も利用する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

履修前に、履修主題について、参考書等により予習を行うこと。講義終了後に、履修した内容についてまとめること。

成績評価の基準等

成績評価は、出席、および、レポートの成績に基づいて総合的に行う。全体の３分の２の出席を評価の前提とする。総合得点が60点以上を合格とする。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

発達心理学がもたらした様々な知識は、将来の医療活動にとって重要であるのみならず、自分の成り立ちや自分という人間の今後の展開を考える上で有用である。学生諸君の積極的な参加を望む。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 心理学辞典	中島ら（編）	有　斐　閣	6,800円(税抜)

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1 2 3	心理学の基礎	実証科学としての心理学の基礎について学ぶ。	高橋(雅) 池上 (心理)
4 5 6	知覚	人間が外界から情報を取り入れる仕組みについて学ぶ。	〃
7 8 9	記憶	短期記憶・長期記憶の仕組みを理解する。	〃
10 11 12	学習	経験により行動が変化する仕組みについて学ぶ。	〃
13 14 15	動機づけと情動	人間を行動に駆り立てる動機づけの仕組み、及び、情動の性質を理解する。	〃
16 17	発達心理学とは	進化と発達の関係、系統発生の視点から見た個体発生としての発達について学ぶ。	〃
18 19	知覚と運動の発達	知覚と運動の発達を研究する手法、視覚と聴覚の発達過程、運動の発達過程について学ぶ。	〃
20 21	認知の発達	様々な概念の形成、思考の発達、推論の発達、メタ認知の発達について理解する。	〃
22 23	言語と思考の発達	言語の機能、音韻の獲得、音声の弁別、語彙の発達、言語を用いたコミュニケーションの発達を学ぶ。	〃
24 25	自我と社会性の発達	乳児期の遊び、児童期の遊び、社会的関係の発達について理解する。	〃
26 27	青年期の発達	青年期の心理とつまずき、青年の自立、成人への過渡期としての青年期について理解する。	〃
28 29	中年期以降の発達	中年期のストレスと危機、老人期の知能、幸福感、および、ソーシャルサポートなどについて学ぶ。	〃
30	総　括	講義全体を総括し、生涯発達という観点について理解を深める。	〃

14. 臨床心理学（必修）

担　当 教　員	丸山　利弥（非常勤）、佐藤　博昭（非常勤）、 ◎長谷川博亮（コーディネーター）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	後　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

臨床心理学を概念的だけではなく、演習など体験を通して理解を深め、病を抱えて苦しんでいる人の心理的問題をどのようにとらえ、どのように理解し、そしてどのように対応していくかを学ぶ。

加えて、講義を自分自身を客観的に見つめるきっかけにし、援助者側のメンタルヘルスにも関心を持つ。

到達目標

・臨床心理学の基礎知識や社会的位置付けを知る。
・心理療法の理論や事例を学び、心理学的視点からみた援助者としての姿勢・態度を知る。
・心理査定の基本的な理論の説明、簡単な解釈が出来るようにする。

授業の形式

スライドや講義内容を紹介するのにパワーポイントを用い、講義内容を取りまとめたプリントを配付する。演習やグループワークも取り入れる。
※新型コロナの状況により、演習やグループワークを中止し、manaba による自己学習になる場合がある。また分散登校になる場合もある。履修内容の変更の場合、修正シラバスを manaba に掲示する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

シラバスに記載されている内容を確認し、講義各回のテーマについて、各種書籍、文献等を利用し予習すること。実習、グループワークで感じたこと、考えたことは講義終了後、周囲の友人たちと共有して欲しい。

成績評価の基準等

成績評価は、毎講義終了時の小レポート、および講義内で扱った内容に関連したテーマが与えられるレポートを用いて総合的に行う。
※新型コロナの状況により、授業方法が変更になった場合、成績評価の基準を変更する。その場合、速やかに manaba に掲示する。

学生へのメッセージ

ただ講義を聴いているだけではなく、課題やグループワーク等体験を通して理解し、しっかり考えられるようになってほしい。ぜひ、楽しんでください。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(参) DSM-5　精神疾患の分類と診断の手引	American Psychiatric Association	医学書院	4,860 円（税込）
(参) 心理療法ハンドブック	乾　吉祐他	創元社	3,780 円（税込）
(参) 心理アセスメントハンドブック	上里一郎(監)	西村書店	15,120 円（税込）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1 2 3	心理査定１	知能検査について演習を通して学ぶ	丸山 佐藤 (非常勤)
4 5 6	心理査定２	人格検査について演習を通して学ぶ	
7 8 9	心理療法１	基本となる心理面接技法や精神力動的心理療法などについて学ぶ	丸山 佐藤 (非常勤)
10 11 12	心理療法２	グループワークを通して集団精神療法やピアカウンセリングについて学ぶ	
13 14 15	心理療法３	人間学的アプローチ、その他の心理面接技法について学ぶ	
16 17 18	心理療法４	認知行動療法について学ぶ	丸山 佐藤 (非常勤)
19 20 21	事例１	統合失調症・感情障害・強迫性　障害・発達障害・思春期に特徴的な事例など心理士との関わりを中心に学ぶ	丸山 佐藤 (非常勤)
22 23 24	事例２		丸山 佐藤 (非常勤)
25 26 27	事例３		
28 29 30	事例４		丸山 佐藤 (非常勤)

15. 看護学概論（必修）

担当教員	◎升田由美子、神成　陽子、 松尾　　昂（地域医療連携室）、 原口眞紀子（看護部）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	１単位	15コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

【履修目的】

これから大学で学ぶ「看護」および「看護学」について概観し、看護の基本的知識と看護実践者としての基盤を学習する。

【到達目標】

一般目標：

看護に関する基本的知識を学び、看護の対象である人間の尊厳と倫理観、現代社会と医療における看護の役割について理解する。

行動目標：

1．看護の構成概念である「人間」「健康」「環境」「生活」について説明することができる。
2．社会の中で行われる看護実践について、看護を取り巻く環境、法と倫理、保健医療福祉活動の観点から理解する。
3．看護の職業的発展と看護教育の変化およびそれらの関係性について理解する。
4．現代社会における看護実践の実際と課題について理解する。

授業の形式

履修主題に関する予習をした上で講義とグループ学習、発表を取り入れながら授業を進める。授業の理解を確認するため、講義終了時に講義内容に関する問題を各自で作成し、提出を課す。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

履修主題・履修内容について教科書・参考書により予習する。事前・事後学習についてはガイダンスで配付する「学習要項」をよく読み、計画的に取り組むこと。

成績評価の基準等

出席状況：10点（１コマ欠席につき２点減点）
定期テスト：50点（教科書と自筆ノートの持ち込み可）
事前・事後学習などの提出物：20点
課題レポート：20点（ルーブルック評価による）
計100点のうち、60点以上をもって単位を認定する。

学生へのメッセージ

これから大学で学ぶ「看護」そして「看護学」とは何かについて皆さんとともに考える科目です。この科目を通して、一人一人が自分の看護観を形成し、育てていくことを期待しています。大学生としてふさわしい主体的に学ぶ姿勢をもち、課題や授業に取り組んで下さい。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座　専門分野Ⅰ 基礎看護学〔1〕看護学概論　第17版	茂野香おる、他	医学書院	2,400円+税
(教) 看護覚え書	ナイチンゲール 湯槇ます他訳	現代社	1,700円+税
(教) 看護の基本となるもの	ヘンダーソン 湯槇ます他訳	日本看護協会出版会	1,100円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス・看護とは	本科目の目的・目標、学習内容・方法について、履修上の留意点について「看護」についてミニワーク	升田
2	看護とは	看護を実践するために必要な思考技術とともに「看護」について学ぶ。	〃
3	看護職の発生と歴史	看護職の形成に影響した哲学的伝統と社会的要因を理解する。	〃
4	看護の定義	ナイチンゲール、ヘンダーソンの書籍を参考に、「看護」の定義について学ぶ。	〃
5	看護の構成要素①人間	看護の対象である「人間」の基本的欲求について学ぶ。	〃
6	看護の構成要素②環境	看護の構成要素である「環境」と人間とのかかわりについて学ぶ。	神成
7	看護の構成要素③健康	看護の構成要素である「健康」の概念と看護のかかわりについて学ぶ。	〃
8	看護の対象と「生活」	看護の対象（個人・家族・集団）について学ぶ。対象の「生活」とは何か学ぶ。	升田
9	看護の実践とは	看護実践とは何かについて学ぶ。	〃
10	看護実践における法と倫理	我が国の看護職に係る法体系と看護実践の法的根拠を学ぶ。	〃
11	〃	看護実践における倫理について学ぶ。 ①看護者の倫理綱領 ②看護学生の倫理行動規準	〃
12	看護教育制度	看護職の専門性の発展と看護教育の変遷について学ぶ。	〃
13	チーム医療	保健医療活動における他職種の役割理解を通してチーム医療について学ぶ。	松尾（地域医療連携室）
14	医療制度と看護管理	我が国の現代医療制度と看護管理の目的について学ぶ。	原口（看護部）
15	まとめ	保健医療福祉活動が直面する課題と看護職の役割について学ぶ。	升田

16. 基礎看護技術学Ⅰ（必修）

担当教員	◎一條　明美、升田由美子、神成　陽子、佐藤　貴子、大宮　　剛（看護部）、江口　明子（非常勤）、大友　麻紀（非常勤）、高橋　幸恵（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	１単位	30コマ

履修目的・授業概要

看護技術の概念を理解し、看護ケアに必要な基本技術を科学的根拠に基づき学ぶ。

到達目標

1．看護技術の概念を理解し、看護実践における看護技術の位置づけを説明できる。
2．看護における観察・記録・報告の目的、必要性、方法を説明し、看護実践上の意義を述べられる。
3．医療における感染予防の重要性、標準予防策を理解し、基本技術を身につける。
4．ボディメカニクスの原理を理解し、看護実践におけるボディメカニクスの意義を述べられる。
5．看護実践におけるバイタルサインの観察の意義と観察のための留意点を述べられる。
6．療養生活における生活環境の意義が述べられる。
7．日常生活における活動と休息の意義を述べられる。
8．看護実践における安全・安楽・自立の重要性を理解し、以下の技術の基本を身につける。手指衛生、呼吸測定、脈拍測定、血圧測定、体温測定、ベッドメーキング、体位変換・体位保持。

授業形式

講義･演習を行う。教科書、資料、視聴覚教材を用いて進める。単元または演習ごとに事前学習、事後学習を課す。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

事前に単元ごとの学習目標と事前学習の資料を配付します。該当の教科書・参考書を熟読し、事前学習を行い講義に出席してください。また、事前学習は提出期限までに提出してください。

演習は、実施する看護技術の手順を覚えて出席してください。手順がわからないと演習が円滑に行えず、時間内に終わらない場合があり、グループメンバーに迷惑がかかります。演習後は、事後学習資料を配付しますので学習し、期限までに提出してください。演習で学習した看護技術はその後の演習で看護技術を学ぶ際に必要となります。また、実技試験の対象になります。主体的に学習計画を立て、繰り返し練習してください。必要なとき、いつでも実施できるよう身につけることが目標です。そのために、個別指導が受けられる実習室アワーを設けます。詳細は、講義の中で説明します。

成績評価の基準等

定期試験70％：中間試験（実技）35％、期末試験（筆記）35％
定期試験の受験資格は試験までの出席が２／３以上であること
提出物30％　遅滞は受理しない（未提出とする）
定期試験と提出物の合計が100点満点中60点以上で合格とする
ただし、再試験の評価は可を限度とする

学生へのメッセージ

この科目では卒業までに最低限必要な看護技術の中でも、特に基礎となる内容を学びます。授業の理解には形態機能学の知識が必要です。学習の状況に応じて、予習・復習をしましょう。演習は患者役、観察者または評価者をおいて全員が実施します。技術を実施するだけでなく、患者の立場で考えたり、他者の技術を客観的に見て、お互いに学びましょう。また、技術を身につけるためには、反復練習が必要です。実習室アワーを利用して積極的に学習することを期待します。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる	医学書院	2,600円+税
(教) 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ	茂野香おる	医学書院	2,900円+税
(教) 看護技術がみえるvol.1 基礎看護技術	医療情報科学研究所編	メディックメディア	3,300円+税
(教) 看護ヘルスアセスメント	稲葉佳江編	メヂカルフレンド社	3,500円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	科目の概要、学習方法を学ぶ。基礎看護学実習室の使用方法を学ぶ。	一條
2	看護技術の概念	看護技術とは何か、看護実践における看護技術の位置づけを学ぶ。看護実践における安全・安楽の重要性を学ぶ。	〃
3	観　察	看護における観察の意義を学ぶ。観察の目的、方法（コミュニケーションを含む）を学ぶ。	〃
4	〃	〃	〃
5	記録・報告	看護の情報とは何か、看護における記録・報告（SBAR）の意義を学ぶ。	〃
6	感染予防	感染の要因と感染予防における看護師の役割について学ぶ。	一條
7	〃	標準予防策について学ぶ。医療廃棄物の管理を学ぶ。	〃
8	ボディメカニクス	ボディメカニクスの定義、原理、動作の経済性および看護への活用について学ぶ。	〃
9	感染予防	演習：日常的な手洗い、衛生的手洗い（手指消毒）を学ぶ。	一條 佐藤
10	〃	〃	〃
11	バイタルサインの観察	バイタルサインとは何かを学ぶ。呼吸・循環・体温の観察の意義を学ぶ。	一條
12	〃	〃	〃
13	〃	演習：呼吸、体温、脈拍の観察方法を学ぶ。	一條 神成 佐藤 江口 大友 高橋
14	〃	演習：血圧測定の方法を学ぶ。	〃
15	〃	演習：血圧測定の方法を学ぶ。	〃

基礎看護技術学Ⅰ　　第１学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	バイタルサインの観察	演習：血圧測定の方法を学ぶ。	一條 神成 佐藤 江口 大友 高橋
17	生活環境	環境因子と環境調整の意義を理解する。患者の生活環境とその整備について学ぶ。毎日の病床整備について学ぶ。	一條
18	〃	〃	〃
19	〃	演習：病床の環境整備に関して事例を用いて学ぶ。	〃
20	〃	演習：環境調整の技術（ベッドメーキング）を学ぶ。	一條 神成 佐藤 江口 大友 高橋
21	〃	〃	〃
22	〃	〃	〃
23	〃	〃	〃
24	活動と休息	人間にとっての活動と休息の意義を学ぶ。サーカディアンリズムを理解する。	一條
25	〃	全身の酸素化と酸素化が活動に与える影響を学ぶ。	〃
26	〃	廃用性変化とその予防について学ぶ。日常生活動作、姿勢と体位について学ぶ。移動（歩行・移乗・移送）の援助について学ぶ。	〃
27	〃	演習：臥床患者の体位変換と体位保持の技術を学ぶ。	一條 神成 佐藤 大宮 江口 大友 高橋
28	〃	〃	〃
29	〃	〃	〃
30	〃	〃	〃

17. 基礎看護技術学Ⅱ（必修）

担当教員	◎一條　明美、升田由美子、神成　陽子、佐藤　貴子、江口　明子（非常勤）、大友　麻紀（非常勤）、高橋　幸恵（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	後　期	２単位	60コマ

履修目的・授業概要

人間の日常生活の対する理解を深め、日常生活に関する援助技術を科学的根拠に基づいて学ぶ。援助技術に共通な安全・安楽・自立の視点を踏まえ、基本的な方法について学ぶ。

到達目標

1　人にとっての日常生活の意義と日常生活を援助することの意義を述べられる。
2　健康生活における食と栄養の意義を説明できる。
3　対象に適した食と栄養に関する基本技術を身につける。
4　日常生活における清潔の意義を説明できる。
5　対象に適した身体の清潔に関する基本技術を身につける。
6　罨法の基礎的知識に基づき、冷罨法・温罨法が実施できる。
7　日常生活における排泄の意義を説明できる。
8　対象に適した排泄の基本技術の身につける。
9　医療における感染予防の重要性、方法を理解し、基本的な技術を身につける。
10　対象の個別性、多様性に合わせた看護援助について説明できる。
11　看護実践における安全・安楽・自立の視点を踏まえ、以下の技術の基本を身につける。
リネン交換、病衣交換、洗髪、清拭、部分浴、口腔ケア、陰部洗浄、食事介助、床上排泄の介助、腹部のフィジカルアセスメント、浣腸、導尿、無菌操作

授業の形式

講義･演習を行う。教科書、資料、視聴覚教材を用いて進める。単元または演習ごとに事前学習・事後学習を課す。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

事前に単元ごとの学習目標と事前学習資料を配付する。該当の教科書、参考書を熟読し、事前学習を行い講義に出席する。また、事前学習は期日までに提出する。演習は実施する技術の手順を覚えて出席する。手順がわからないと演習が円滑に行えず、時間内に終わらない場合があり、グループメンバーに迷惑がかかる。演習後は事後学習資料に基づき学習し、期日までに提出する。

成績評価の基準等

1. 小テスト：30％
2. 定期試験：40％
　＊筆記試験が合格基準に満たないに場合は、再試験を行なう。再試験に合格でない場合は、次年度再履修となる
　＊筆記試験の再試験を受けた場合は、総合評価は「可」とする
3. 提出物：レポート課題など（30％）
　＊課題は、その都度提示する。課題の規定に沿っていない提出物は評価対象とならない場合があるので注意すること
　＊提出遅滞は受理しない

学生へのメッセージ

この科目では日常生活に関わる援助の基本を学びます。演習で学ぶ技術は臨床で対象者に援助する時の基本となるものです。技術を身につけるためには提示された事前学習（予習）に取り組み、演習を充実させ、事後学習（復習）することが必須です。また、ボディメカニクスや体位変換など基礎看護技術学Ⅰで学んだ技術が必要です。必要時復習しながら学習されることを期待します。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる	医学書院	¥2,700＋税
(教) 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ	茂野香おる	医学書院	¥2,900＋税
(教) 看護技術がみえるvol.2 基礎看護技術	医療情報科学研究所編	メディックメディア	¥3,300

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	日常生活援助とは	日常生活とはなにか、日常生活を援助することの意義を学ぶ。	一條
2	食と栄養	健康な生活における食の意義を学ぶ。	神成
3	〃	栄養状態のアセスメントについて学ぶ。	〃
4	〃	演習：臥床患者の食事援助について学ぶ。	神成 一條 佐藤 江口 大友 高橋
5	〃	〃	〃
6	〃	〃	〃
7	〃	健康状態に応じた栄養摂取の方法を学ぶ	神成
8	〃	〃	〃
9	清　潔	臥床患者の口腔内清潔法を学ぶ。	〃
10	〃	演習:臥床患者の口腔内清潔法を学ぶ。	〃
11	生活環境	臥床患者のリネン交換を学ぶ。	一條
12	〃	演習：臥床患者のリネン交換を学ぶ。	一條 神成 佐藤 江口 大友 高橋
13	〃	〃	〃
14	〃	〃	〃
15	清　潔	健康な生活における身体の清潔、整容の意義を学ぶ。	一條

基礎看護技術学Ⅱ　　第１学年・後期・60コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	清　潔	身体の清潔、整容のアセスメントについて学ぶ。患者の健康状態に合わせた身体の清潔の援助方法について学ぶ。	一條
17	〃	身体の清潔の援助方法とその原則について学ぶ。	〃
18	〃	健康な生活における衣の意義、衣のアセスメントについて学ぶ。更衣の援助方法を学ぶ。	〃
19	〃	臥床患者の病衣交換（長病衣・ズボンの交換）の技術を学ぶ。	〃
20	〃	洗髪の目的、基本的な方法および留意点を学ぶ。	神成
21	〃	演習：臥床患者の病衣交換（長病衣・ズボンの交換）の技術を学ぶ。	一條 神成 佐藤 江口 大友 高橋
22	〃	〃	〃
23	〃	〃	〃
24	〃	演習：ケリーパッドを使用した臥床患者の洗髪の方法を学ぶ。	〃
25	〃	〃	〃
26	〃	〃	〃
27	〃	演習：基本的な清拭の方法を学ぶ。上半身の清拭の援助方法を学ぶ。	〃
28	〃	〃	〃
29	技術トレーニング	技術トレーニング	〃
30	清　潔	演習：臥床患者の清拭・足浴の援助方法を学ぶ。	〃

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
31	清　潔	演習：臥床患者の清拭・足浴の援助方法を学ぶ。	一條 神成 佐藤 江口 大友 高橋
32	〃	〃	〃
33	〃	演習：臥床患者の陰部洗浄の技術を学ぶ。	〃
34	〃	〃	〃
35	技術トレーニング	既習の援助技術を発展的に学ぶ。	一條 升田 神成 佐藤 江口 大友 高橋
36	〃	〃	〃
37	〃	患者の健康状態に合わせた身体の清潔の援助方法について学ぶ。（課題の説明）	一様
38	〃	罨法の目的、適応、種類を学ぶ。温熱刺激による生体への反応を学ぶ。	〃
39	〃	演習：温罨法、冷罨法の援助方法を学ぶ。	〃
40	〃	〃	〃
41	排　泄	健康な生活における排泄の意義を学ぶ。	神成
42	〃	排泄状態のアセスメントについて学ぶ。	〃
43	〃	自然な排尿のための援助を学ぶ。	〃
44	〃	自然な排便のための援助を学ぶ。	〃
45	〃	健康状態に応じた排泄の援助について学ぶ。腹部のフィジカルアセスメントについて学ぶ。	〃

基礎看護技術学Ⅱ　　第１学年・後期・60コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
46	排　泄	浣腸の目的、適応、方法について学ぶ。	神成
47	〃	演習：腹部のフィジカルアセスメントについて学ぶ。	神成 一條 佐藤 江口 大友 高橋
48	〃	演習：グリセリン浣腸について学ぶ。	〃
49	〃	演習：床上排泄の援助（便器・尿器の使用）を学ぶ。	〃
50	感染予防	感染予防技術の種類と方法、留意点について学ぶ。	神成
51	排　泄	導尿の目的、適応、方法を学ぶ。	〃
52	感染予防	演習：無菌操作の原則、清潔・不潔の判断について学ぶ。	神成 一條 佐藤 江口 大友 高橋
53	〃	演習：個人防護用具の着脱について学ぶ。	〃
54	〃	〃	〃
55	排　泄	演習：一時的導尿の目的、方法について学ぶ。シミュレータを用いて導尿の技術を学ぶ。	〃
56	〃	〃	〃
57	〃	〃	〃
58	技術トレーニング	既習の援助技術を発展的に学ぶ。	一條 升田 神成 佐藤 江口 大友 高橋
59	〃	〃	〃
60	まとめ	看護実践と看護技術の関係を考える。	一條

18. コミュニケーション論（必修）〔言語・非言語、対人関係、自己理解、傾聴〕

担当教員	◎長谷川博亮		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

人間関係を個人から集団レベルまで広く捉えながら、コミュニケーション理論の理解とそれに基づいたスキルを学ぶ。さらに、臨地の場において様々な状況にある対象者と関係を形成し、看護援助の質を高めるために必要なコミュニケーションの活用法を考察する。

到達目標

1．人間関係とコミュニケーションの関係を説明できる。
2．言語的・非言語的コミュニケーションの基本概念を理解し、コミュニケーションの可能性と限界について説明できる。
3．対人援助する上で効果的なコミュニケーション技法について演習を通して実践できる。
4．コミュニケーションにおける自己理解の必要性について説明できる。

授業の形式

講義が中心です。講義前に資料を配布します。
グループワークやロールプレイ等を講義の中で数多く取り入れます。
※新型コロナの状況により、グループワークやロールプレイを中止し、manabaによる自己学習になる場合がある。また分散登校になる場合もある。履修内容の変更の場合、修正シラバスをmanabaに掲示する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

履修主題毎に関連する資料をmanaba上に提示するので、予習をして授業を受けてください。
コミュニケーションは学びの他に、実践を積み重ねていくことも重要なので、ロールプレイ等をしながら自己理解を深めてください。

成績評価の基準等

①出席状況　30％
（15回出席：30点　14～13回：20点　12～10回以上：10点）
②小テスト　30％
（第１回目：15点　第２回目：15点）
③最終レポート試験　40％
※新型コロナの状況により、授業方法が変更になった場合、成績評価の基準を変更する。その場合、速やかにmanabaに掲示する。

学生へのメッセージ

コミュニケーションを深めていくためには能動的な姿勢が重要です。最初はロールプレイをしても恥かしく思い消極的になることもあるかもしれません。しかし、そのような部分も自己理解しながら主体的に参加してください。この授業が終わると、看護学実習等で人とのかかわりがきっと変化することでしょう。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 人間関係論	長谷川　浩	医学書院	2,160円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス・授業の進め方	・成績評価 ・コミュニケーション論のねらい ・「伝える」「受けとる」体験	長谷川
2	社会とコミュニケーション	・グループ・ダイナミクス	長谷川
3	言語的コミュニケーション	・言語的コミュニケーションの機能と種類	長谷川
4	非言語的コミュニケーション	・非言語的コミュニケーション機能と種類	長谷川
5	自己理解	・自己を客観視する ・自己開示と自己呈示	長谷川
6	コミュニケーションの苦悩 小テスト	・視聴覚教材 ・第１回目の小テスト	長谷川
7	カウンセリングの基本的態度からコミュニケーションを理解する	・傾聴とは （相手の心と言葉を五感で聴く）	長谷川
8		・受容と共感 （相手の全てを認め話を聴く）	長谷川
9		・「受容」「共感」「傾聴」の実際 ロールプレイを通して体験する	長谷川
10	アサーション 小テスト	・アサーションの基本概念 ・自分のアサーション度は？ ・自己の権利を主張するとは？	長谷川
11		・場面に応じたアサーション ・アグレッシブな自己主張と不利益 ・看護とアサーション ・第２回目小テスト	長谷川
12	コーチング	・コーチングの基本概念 ・相手を突き動かす質問 ・コーチングの効果を体験する	長谷川
13	リーダシップとメンバーシップ	・多職種連携を体験する ・多職種連携に必要な視点	長谷川
14		・リーダーの役割と必要性 ・メンバーの役割と機能	長谷川
15	まとめ	・看護におけるコミュニケーション ・レポート課題に関して	長谷川

19. 人間生涯発達論（必修）〔人間、生涯発達、発達課題〕

担当教員	◎森、長谷川、服部、牧野、野中、巻島、非常勤・伊藤　幸子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	通　年	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

看護学の基本概念の一つである「人間」を理解するために、「人の生涯における発達」という視点から人間をとらえる。発達に関する理論、発達の原初である受精期・胎芽胎児期から老年期に渡る心と身体の発達、セクシャリティの発達、家庭を作り親になることの発達、さらに加齢に伴う身体的衰退、老化、さらに締めくくりの時を迎えることの意味などについて学ぶ。

到達目標

1．人間の生涯にわたる発達の意味を説明できる。
2．乳幼児期から老年期までの心と身体の発達について説明できる。
3．人のセクシャリティの発達を説明できる。
4．ライフステージ各期における社会的側面の発達について説明できる。

授業の形式

講義中心（プリント資料、パワーポイントや動画など視聴覚教材などを用いる）

状況によりオンライン授業と分散登校による対面授業を併用します。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

履修主題毎に関連する資料を提示し、manabaで提示するので予習をしてくること。

成績評価の基準等

講義の内容に関連したテーマのレポートを課し、統合して60点以上を合格とする。出席は15コマ中、10コマ以上出席のものを評価の対象とする。出席は15回で10ポイント加算、10回以上14回で５ポイント加算する。

学生へのメッセージ

人間の一生の心と身体の発達や社会的側面の課題がテーマである。関連するニュースやカレントトピックスなどに関心を寄せ、自分自身の考えを持って参加すること。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 看護のための人間発達学　第５版	舟島なをみ他	医学書院	3,240円
(参) 生涯人間発達論　第２版	服部祥子	医学書院	2,052円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	本科目の意義、履修方法、評価方法についてガイダンスする。	長谷川
2	人間の発達と成長	「発達」「成長」の定義、Eriksonの「生涯発達」の概念を中心に学ぶ。	長谷川
3	受精期から胎児期の発育	受精期～胎児期の過程と発育、その環境としての母体について学ぶ。	伊藤
4	出産期から新生児期の心と身体の発達	出産期～新生児期の心と身体の発達について学ぶ（未熟児、分娩期障害、愛着と愛着障害、幼児虐待）。	伊藤
5	乳幼児期の心と身体の発達	乳幼児期の形態・機能的側面の発達について学ぶ。	森
6	乳幼児期の心と身体の発達	乳幼児期の心理・社会的側面の発達について学ぶ。	森
7	思春期の心と身体の発達	思春期の健康課題（社会と自己形成の関係や心の混乱に影響する要因）について学ぶ。	長谷川
8	セクシャリティの発達	幼児期から老年期まで、生涯にわたるセクシャリティの発達、生殖における健康について学ぶ。	巻島
9			巻島
10	成人期の心と身体の発達	成人期の発達として、職業アイデンティティの発達、創造していくこと（家庭を作ることと、未来につなぐもの）、親になること、喪失体験について学習する。	長谷川
11			長谷川
12	更年期の心と身体の発達	更年期の心と身体、社会的側面の特徴について学ぶ。	伊藤
13	老年期の心と身体の発達	人生の総括の時期を迎える高齢者の発達と健康寿命の維持について学ぶ。	服部
14	老年期の心と身体の発達		野中
15	老年期の心と身体の発達		牧野

20. 地域看護学（必修）

担当教員	◎塩川　幸子、藤井　智子、水口和香子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	後　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

地域看護は、病人の訪問看護活動に由来しており19世紀中頃に１つの地域（イギリスのリバプール）での組織的な活動に始まるとされている。その背景には、ナイチンゲールがすでに看護の領域に病院看護とともに地域看護を位置づけるとした考えがあった。病院・施設あらゆる地域の看護活動が網羅されるもので、人々が地域・病院・施設いずれにあっても、必要なときに必要な看護が継続的に総合的に提供される看護のしくみ、保健医療福祉ネットワークされたシステムを看護でつくり出すことの重要性を理解する。看護師、保健師、助産師は PHC に基づく看護活動の必要性を理解する。

ここでは、地域看護の概念を広く捉えることとする。

到達目標

・地域看護は、地域で生活している人々の健康や QOL の向上を目指した活動であることを理解する。
・保健師・助産師・看護師の看護職がこぞって協力し合い、地域の中で看護をとおして住民の健康を守ることを理解する。
・地域特性（地域医療含む）をふまえ、地域で生活する人々の看護のあり方について深める。

授業形式

講義、グループワーク、地域見学を考えています。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

世の中の移り変わり、人々が生活するということについて考えをまとめておくこと。毎回の講義終了後、履修主題について自分の考えをまとめておくこと。

成績評価の基準等

出席（15%）、レポート（20%）、試験（65%）から総合的に評価します。

２／３以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。

学生へのメッセージ

地域を対象とした看護とは何だろう、地域社会における人々の生活、暮らしを基盤にした看護とは何だろう、健康な人への看護とは何だろう……と次々に疑問が湧くことを望んでいます。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 看護師教育のための地域看護概説	眞船拓子編集	ヌーベルヒロカワ	2,100 円
(参) ナイチンゲール著作集第２巻	薄井担子訳	現代社	3,672 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	なぜ地域を基盤とした活動が重要か	学生が住んでいた「地域」に着目し、あらゆる健康段階にある人々が懸命に生きていることを理解し、地域を基盤にした活動の重要性を学ぶ。	塩川
2	地域看護活動と看護理論	ナイチンゲールの看護理論から地域看護の原点を学ぶ。北海道巡回看護師制度をとおして地域看護の原点を学ぶ。	〃
3	〃	地域看護の基盤となる主要概念であるプライマリヘルスケアとヘルスプロモーション、ノーマライゼーション、セルフケアについて学ぶ。	〃
4	地域看護と公衆衛生看護	「地域看護とは何か」のコンセンサスは得られていない現状であるが、相違点・類似点・関連性等について学ぶ。	〃
5	地域看護活動の展開	地域看護活動の展開過程を理解する。	〃
6	地域看護の対象としての個人・家族	地域での生活者としての健康・生活を見る視点、家族をみる視点をとおし家族支援の意義について学ぶ。	〃
7	〃	〃	〃
8	地域看護の行われる場の活動と特質①	地域看護活動分野・活動対象・活動方法について具体的に理解する。	〃
9	地域看護の行われる場の活動と特質②	地域看護活動分野・活動対象・活動方法について具体的に理解する。（インタビュー）	塩川 水口
10	〃	〃	〃
11	〃	〃	〃
12	地域看護の行われる場の活動と特質③	〃 （インタビュー結果の報告）	藤井 塩川 水口
13	〃	〃	〃
14	地域看護活動における技術	地域で行われる家庭訪問、健康相談、健康診査、健康教育、地区組織活動の基本と看護職の連携調整技術を学ぶ。	藤井
15	地域看護の展望	地域特性（地域医療含む）をふまえ、地域で生活する人々のニーズに添う看護のあり方について模索する。	〃

21. 早期体験実習Ⅰ（必修）〔地域医療・社会福祉・保健行政・コミュニケーション・プロフェッショナリズム〕

担当教員	◎野津　　司（地域医療教育学） 教育センター　地域医療教育部門 服部ユカリ（老年看護学）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	１単位	38コマ

履修目的・授業概要

早期体験実習Ⅰは、医学生の早期に医療・保健・福祉について基本的な事柄を学び、医療者として必要な能力・行動規範に対する関心を高める演習です。医学科・看護学科の合同科目です。

到達目標

【一般目標】

将来活動する、地域に根差した質の高い医療者となるために、地域社会における医療・保健・福祉の役割を学び、医療者に必要とされる能力や行動規範を理解する。

【行動目標】

⑴高齢者や介助が必要な人の視点に立ち、個別のケースでふさわしい支援方法を見つけることができる。
⑵医科大学で学ぶ学生にふさわしい、安全で衛生的な行動ができる。
⑶医療・保健・福祉の現場において多職種関連が必要な理由を説明できる。
⑷実習を通して学んだ事柄から、自分自身の将来あるべき医療者の姿を説明することが出来る。

授業の形式

⑴オリエンテーション：manaba を使った自己学習。
⑵グループワーク：manaba のプロジェクト機能（チームスレッド）を使って、各テーマについて議論します。
⑶学内演習：学外施設実習で必要となる可能性がある項目のうち、高齢者体験・食事介助・車椅子・標準手洗いについて manaba を使った自己学習を行います。
⑷反プロフェッショナリズムに関するワークショップ：反プロフェッショナリズムに関するワークショップに参加し、医療者としての行動規範・倫理観について考察します。
⑸発表会：各班に与えられた課題についてまとめたことを発表し、情報の共有と意見交換を manaba 上で行います。
⑹各自で思い描いた医療者としての将来像を、レポートにまとめて提出します。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

参考書としてあげた「アカデミック・スキルズ」などの大学でも学び（高等教育）に必要な情報が書かれた書籍を読了しておくこと。大学での学び方をすでに理解していることを前提に評価を行います。

成績評価の基準等

出席は１）原則２／３以上、２）出席確認用の小テストで平均60％以上。講義科目については補講なしですが、プロフェッショナリズム、アンプロ発表会は必須授業とします。必須授業では補講を行います。補講を受けることで、休んだ時間の２／３の出席を認めます。なお忌引・公休の場合は、補講を受けることで、全て出席とします。

小テスト　得点率60％以上（全ての平均）
アンプロレポート　成績ラベルＣ以上
レポート　成績ラベルＣ以上
報告会資料　成績ラベルＣ以上
チームスレッド評価（報告会の質疑・応答）　成績ラベルＣ以上

５つの評価項目で全てで合格レベルに達している場合に単位を認定します。

成績は合格・不合格でつけられます。

学生へのメッセージ

早期体験実習は、学外実習で病院・診療所・介護施設などの医療福祉現場に接することで、医療者としての必要な資質・行動規範を身をもって体験することが目的です。残念ながら今年度は実習を行えません。自己学習を通じて、可能な限り「必要な資質･行動規範」を理解できるように組んであります。しかしながらすべてを網羅することはできません。参考書を読むことで理解を深めることを期待します。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 実践！患者満足度アップ	前田　泉	日本評論社	1,760 円
(参) チーム医療とは何か	細田満和子	日本看護協会出版社	2,640 円
(参) 超高齢社会の基礎知識	鈴木隆雄	講談社現代新書（電子書籍あり）	814 円
(参) アカデミック・スキルズ（第２版）－大学生のための知的技法入門	佐藤　望　他	慶応義塾大学出版会	1,100 円
旭川医科大学病院　院内感染対策マニュアル Ver 4 2014改訂版	旭川医科大学病院感染制御部	旭川医科大学病院ホームページ内	無料（学内限定）

日　時	コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2021／５／６	4	ガイダンス	講義	野津
	5	資料検索の方法	講義	井上
	6	レポート課題と書き方	講義	井上
2021／５／12	4	高齢者とのコミュニケーション	講義	服部
	5	インターネットからの引用について	講義	井上
	6	ＧＷ１	ＧＷ	井上 その他参加可能者
2021／５／17	4	Topic1	ＧＷ	佐藤 その他参加可能者
	5	医療者のプロフェッショナリズムとは１	講義＋ＧＷ	井上 その他参加可能者
	6	医療者のプロフェッショナリズムとは２	講義＋ＧＷ	井上 その他参加可能者
2021／５／18	1	手洗い演習について	講義＋ＧＷ	井上 その他参加可能者

早期体験実習Ⅰ　　第１学年・前期・38コマ（必修）

日　時	コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2021／５／18	2	車椅子演習について	講義＋ＧＷ	野津 その他参加可能者
	3	高齢者体験について	講義＋ＧＷ	藤井 その他参加可能者
	4	食事のケアについて	講義＋ＧＷ	山根 その他参加可能者
	5	医師のキャリアと養成課程	講義	野津
	6	看護職のキャリアと養成課程	講義	山根
2021／５／19	1	保健・福祉行政	講義	西條
	2	介護施設・制度	講義	齊藤
	3	地域包括ケア	講義	藤井
	4	養育と療育～地域で育む環境	講義	井上
	5	地域医療連携	講義	佐藤
	6	連携とはなにか？失敗例から学ぶ	講義＋ＧＷ	井上 その他参加可能者
2021／５／20	1	アンプログループワークの進め方	講義＋ＧＷ	蒔田 その他参加可能者
	2	ＧＷ	ＧＷ	蒔田 その他参加可能者
	3	ＧＷ	ＧＷ	蒔田 その他参加可能者

日　時	コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
2021／５／20	4	投票結果とアンプロ行動	講義	蒔田 その他参加可能者
	5	振り返りＧＷ	ＧＷ	蒔田 その他参加可能者
	6	プロダクト作成	自習	蒔田 その他参加可能者
2021／５／21	1	発表会について	講義	井上
	2	発表会準備ＧＷ１	ＧＷ	井上 その他参加可能者
	3	発表会準備ＧＷ２	ＧＷ	井上 その他参加可能者
	4	発表会準備ＧＷ３	ＧＷ	井上 その他参加可能者
	5	発表会準備ＧＷ４	ＧＷ	井上 その他参加可能者
2021／５／24	1	発表会１	ＧＷ	佐藤 その他参加可能者
	2	発表会２	ＧＷ	佐藤 その他参加可能者
	3	発表会３	ＧＷ	佐藤 その他参加可能者
	4	発表会４	ＧＷ	佐藤 その他参加可能者
	5	発表会５	ＧＷ	佐藤 その他参加可能者
	6	まとめ	講義	佐藤 その他参加可能者

22. 基礎看護学実習Ⅰ（必修）

担当教員	◎神成　陽子、升田由美子、 一條　明美、佐藤　貴子、江口　明子（非常勤）、 大友　麻紀（非常勤）、他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	１単位	40時間

履修目的・授業概要

１．患者の生活を理解する。
２．患者が受けている看護を理解する。
３．看護実践に必要な基本的態度を身につける。

到達目標

１．患者の生活（入院前・退院後を含む）を理解する。
　１）患者の一日の生活（入院前・退院後を含む）を把握し、述べることができる。
　２）患者が生活している環境を把握し、述べることができる。
　３）身体的・心理的・社会的側面から統合体である患者の生活について考え、述べることができる。
　４）患者の入院生活と看護について自分の考えを述べることができる。
２．患者が受けている看護を理解する。
　１）看護援助を受けている患者を観察することができる。
　２）実践されている看護の必要性について知識を活用して考え、述べることができる。
　３）実践されている看護の安全・安楽・自立について述べることができる。
　４）看護実践におけるコミュニケーション（患者－看護師間、看護師－看護師間、患者－学生間）の重要性を述べることができる。
　５）医療がチームで実践されていることについて述べることができる。
３．看護実践に必要な基本的態度を身につける。
　１）看護実践の見学や体験を通して患者の安全・安楽・自立について考え、看護師のとるべき行動について述べることができる。
　２）看護チームにおける連絡･報告の重要性を理解し、行動できる。
　３）看護学生として倫理的な行動をとることができる。

授業の形式

実習ガイダンス：①基礎看護学実習Ⅰの概要（目的・方法）、②看護学生の倫理行動規準、③実習時に必要な感染予防、について行う。
病院実習：旭川医科大学病院で４日間行う。10グループに分かれ、看護師と共に行動し、看護実践場面・入院患者とのコミュニケーションの見学･体験、それぞれの学びの共有、実習記録の記述を行う。旭川医科大学病院および入退院センターの看護活動について学ぶ。
報告会：実習最終日に各グループの実習の学びを報告・共有する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

臨地看護学実習はこれまでに学習した知識を全て用い、実際の臨床の場で学ぶ。そのためには学内での学習を十分に行うことが必要となる。特に、看護学概論、基礎看護技術学Ⅰで学習したことの復習が、基礎看護学実習Ⅰの予習となる。看護とは何かを自分の言葉で説明できる、統合体としての人間と生活、コミュニケーション、バイタルサインの観察・生活環境・活動と休息に関する情報収集項目とアセスメントの視点を頭に入れ実習に臨む。

実習は実習ガイダンスから始まる。ガイダンスは実際の臨床の場で実習を行う上での準備となり、不可欠なものである。実習要項、臨地看護学実習ガイドラインを熟読し、必ず出席する。

成績評価の基準等

１．ガイダンス・病院実習状況（出席を含む）・実習記録：75点（ルーブリック評価）
２．実習レポート：15点（ルーブリック評価）
３．報告会参加状況：10点（ルーブリック評価　発表資料の内容および完成度４点・発表内容・発表態度４点・参加態度２点）

上記総合点が60点以上であることで合格とする。単位認定には２／３以上の出席（ガイダンスを除く）を必要とする。実習記録の提出が遅滞した場合は評価対象とならない場合があるので、十分注意する。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

初めての臨地看護学実習はみなさんの看護観の土台を培うものです。みなさんの取り組みが学内では得られない学びの大きさ・深さに反映します。心と体と頭脳の準備を十分整えることが大切です。大変緊張する場面が多いですが、学内での学習を基礎にして、多くを学び、看護の素晴しさ、厳しさを肌で感じ、看護を学んでいくこと・看護職へのモチベーションが高まることを期待します。

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	実習ガイダンス	実習心得 実習概要説明	神成 升田 一條 佐藤 他
2	〃	実習概要説明 臨地看護学実習における健康管理 実習グループ別ガイダンス	
3			
4	〃	看護実践に必要な基本的態度・倫理的な行動 グループ課題の発表・共有	〃
5		臨時看護学実習における感染予防	〃
6 ～33	病院実習 および 学内実習	臨地看護学実習実践編を参照	神成 升田 一條 佐藤 江口 大友 他
34～40	全体報告会	各グループの実習の学びを報告・共有する。	〃

23. 地域包括ケア論Ⅰ（必修）

担当教員	◎山根由起子、升田由美子、服部ユカリ、児玉真利子（特任）、塩川　幸子、神成　陽子、苫米地真弓、巻島　　愛、山口　希美、松田奈緒美、牧野　志津、山田　咲恵、他看護学科教員全員、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	通　年	１単位	15コマ

授業の形式概要（履修目的・到達目標）

履修目的

住み慣れた地域で暮らし続けるために生活の場にいる人々が必要なことは何か、発達段階や健康レベルも視野に地域包括ケアについて主体的に学習をする。

地域社会へ貢献する能力と課題解決意欲を養う。

到達目標

1．地域包括ケアに関する知識を得て説明できる。
2．地域の特性を示し、暮らす人々の支援の必要性を検証する。
3．地域住民にとっての課題と健康にも影響することは何か解釈する。
4．共有した情報を整理、分析、統合して地域に必要なことを論理的に発展的に述べる。
5．可能な範囲で地域活動へ参加する。

授業の形式

オンライン形式で行う。大学の行動指針に従い、可能な状況なら地域へ出向き、地域特性把握や地域生活体験をする。

教科書および配布資料を参考にする。実際に地域包括ケアに携わる専門家による講義を行う。グループワークで学生同士の学習を深め、グループ内で話し合ったことをまとめて発表することにより学習内容を共有する。地域に出向き、特性を把握し、生活するために必要なことや不足していることなど情報を得る。学習者は課題の発表やレポートを作成する。地域活動に参加できれば感想を提出する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

実際に見て聞いて感じて考えて、必要な支援を学習する。グループで地域に出向く計画をする。発表に向けたグループワークによる準備、適宜事前・後の課題を課す。文献や資料、発表による共有などから実際に学んだことをポートフォリオにまとめる。

成績評価の基準等

出席姿勢10%　　課題レポートなど提出物：60%
提出遅滞減点あり
グループ発表：30%（ルーブリック評価）
合計100点のうち60点をもって合格とする。

学生へのメッセージ

学生が地域住民の一員として地域包括ケアに携われることは何でしょうか。また、自ら学習し気づき、行動できることは何でしょうか。地域の人々のニーズを把握し、どのような支援がその人らしく暮らし続けるために必要か、地域包括ケアの実践者に学びながら、学生同士で自主的に学習や計画を進めましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) よくわかる地域包括ケア	隅田、藤井、黒田	ミネルヴァ書房	2,500 円
(参) 地域包括ケアのすすめ	東京大学高齢社会総合研究機構(編)	東京大学出版会	3,500 円
(参) 地域包括ケアシステムのすすめ	宮崎（監）、豊島、立石（著）	ミネルヴァ書房	2,800 円
(参) 地域療養を支えるケア　在宅看護論①	臺、石田、山下編者	メディカ出版	3,400 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	ガイダンス・地域包括ケア概論	地域包括ケアについて４年間で学ぶ概要、１年生で学ぶことを知る。 地域包括ケアシステムの概念、役割、ＩＣＦ概念などについて学習する。 超高齢・少子社会のデータから現状を知り今後の予測をする。 プロフェッショナリズムのグループワーク（自分の心構え）。 課題の説明を受けてグループワークの学習体制を整える。	升田 山根
2			
3	担当地域の地域包括ケアシステムの理解	チーム（各地域）について先輩の２年生から説明を受ける。	山根 塩川
4	地域包括ケアシステムの理解	グループで各テーマについて調べて説明出来るように manaba プロジェクト上でまとめる。（教科書、参考文献、インターネット、可能なら図書館利用の活用）①住まいの種類と生活環境②病院医療（入院治療）③かかりつけ医（在宅医療含む）④介護保険⑤在宅系サービス⑥介護予防サービス⑦施設・居住系サービス⑧生活支援・介護予防⑨地域包括支援センター⑩ケアマネジャー⑪リハビリテーション、⑫住民組織などの用語について調べてパワーポイントにまとめる。	山根 各チーム 教員
5			
6	各役割の共有学習	グループワークで学習した内容を発表する。地域包括ケアの中で担う諸役割や意味を理解する。	各チーム 教員 山根統括
7	地域包括ケアに関する専門家の役割	地域包括ケアに携わる専門家の講義。 まちづくり委員会の市職員、訪問看護ステーション所長など。 自分たちで学習したことの確認、多職種や医療者以外との連携について理解する。 対象が住む地域の特性を把握するスキルを学ぶ。	山根 非常勤講師 各チーム 教員
8	地域体験	地域特性把握グループで計画する。	山根 各チーム 教員数人
9		地域特性把握グループで計画又は地域に出向く。 地域に出向き検証する。発表に向けてまとめる。 地域活動への参加 ☆地域住民と行うレクリエーションの実施 ☆老人クラブ、子供支援、自主サークルなどへの参加、お手伝い。 時間割りにかかわらず、地域のイベントの日程に合わせて活動参加する。 地域住民の生活を知る意図をもってイベント参加した際に必ず地域住民と話して交流する。活動内容と見聞きして得られた情報とそれに対する感想をレポートにまとめる。 ＊コマ数９、10、11、12、13の内容はグループ内で地域体験や地域に出向き特性把握、検証、発表に向けてまとめる時間にグループ内で話し合い、感染状況みながら流動的に進める。	各チーム 教員
10			
11			
12			
13			
14	地域体験報告	地域特性把握（地域生活体験）発表会 グループでまとめたものを発表する。 １年生と２年生の合同発表会	山根 塩川 升田 教員全員
15			

必　修　科　目

【第２学年】

24. 英語Ⅱ A・Ⅱ B（必修）

担　当 教　員	◎桑名　保智・三好　暢博、 Gwendolyn Gallagher（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	前　期	１単位	30コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

本授業は日本人教員担当のクラスと外国人教員担当のクラスに展開することにより、受講者が英語の基礎的な四技能をバランスよく習得することを目的とします。

【履修目的】
（桑名・三好）グローバル化に対応した、基礎英語力を身につけることです。
（Gallagher）We will practice conversations in clinical situations. We will use an English textbook for health professionals, and students will prepare for class by completing listening exercises for homework with the accompanying CD. There will be an oral term test if conditions permit.

【到達目標】
（桑名・三好）Voice of America の外国人向けの放送に対して、１）聞き取りができる、２）放送を書き起こすことができる、３）音読することができる、４）日本語に翻訳できる、５）翻訳した日本語を英語に戻すことができる。
（Gallagher）Students will be able to describe and query basic symptoms, give basic instructions as will be useful in a physical examination, and express some of the actions they might perform while dealing with patients.

授業の形式

（桑名・三好）指定された記事を読み、語い、内容理解、リスニングなどの課題に取り組みます。
（Gallagher）We will be using a medical English textbook with accompanying CD, and a dictionary will be useful. We will ocasionally vary our lesson by using supplementary material. If and when we have face-to-face classes, we will begin each class with news and seasonal, non-medical topics.

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

（桑名・三好）１時間程度の予習が必要です。
（Gallagher）Before each class, students should review the exercises in the textbook covered in the previous lesson. When assigned, students should complete listening homework using the textbook and accompanying CD. Students will also prepare questions for American nurses and study the resulting answers for a quiz. We will have an opportunity to talk about news, small or large, personal or public, at the beginning of each class. In order to participate, students should reflect on recent happenings in their life before each class and think about how to explain them in English. Students should expect to do about one hour of preparation.

成績評価の基準等

８／31までに ALC 「英単語パワーアップコース　医学・医療編：５．看護とケア」を終了させていることを単位認定の前提とします。日本人教員及び外国人教員が下記の要領で算出したスコアの合計を100点満点に換算し評価します。【秀】90点以上かつ上位５％、【優】80点以上、【良】79点～70点、【可】69点～60点
（桑名・三好）出席点15点、課題130点（10点満点×課題13回）の計145点を100点満点に換算。
（Gallagher）Class performance（70％），test（30％）

学生へのメッセージ

授業内の学習だけでは英語力がつくことはありません。各自意欲的に取り組んでください。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
Vital Signs＜Revised Edition＞	Morooka	南　雲　堂	2,000円+税

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1 2	ガイダンス	・履修上の注意・確認テスト	桑名･三好
		・Getting to Know You：Class Mechanics	Gallagher（非常勤）
3 4	総合演習	到達度確認テスト	桑名･三好
		・Unit 1 Hospital Departments（English names of departments and medical specialties）	Gallagher（非常勤）
5 6	総合演習	・VOA Learning English	桑名･三好
		・Unit 1 Hospital Departments（English names of departments and medical specialties）	Gallagher（非常勤）
7 8	総合演習	・VOA Learning English	桑名･三好
		・Unit 3 Parts of the Body（Introduction to symptoms）	Gallagher（非常勤）
9 10	総合演習	・VOA Learning English	桑名･三好
		・Unit 3 Parts of the Body（Introduction to symptoms）	Gallagher（非常勤）
11 12	総合演習	・VOA Learning English	桑名･三好
		・Unit 4 Illnesses（more symptoms）	Gallagher（非常勤）
13 14	総合演習	・VOA Learning English	桑名･三好
		・Unit 4 Illnesses（more symptoms）	Gallagher（非常勤）
15 16	総合演習	・VOA Learning English	桑名･三好
		・Unit 5 Daily Routine（Anticipating and answering inpatient questions）	Gallagher（非常勤）
17 18	総合演習	・VOA Learning English	桑名･三好
		・Unit 5 Daily Routine（Anticipating and answering inpatient questions）	Gallagher（非常勤）
19 20	総合演習	・VOA Learning English	桑名･三好
		・Unit 5 Daily Routine（Anticipating and answering inpatient questions）	Gallagher（非常勤）
21 22	総合演習	・VOA　Learning　English	桑名･三好
		・Unit 6 Hospital Objects（tools that nurses use）	Gallagher（非常勤）
23 24	総合演習	・VOA Learning English	桑名･三好
		・Unit 8 Hospital Directions（giving simple instructions to patients）	Gallagher（非常勤）
25 26	総合演習	・VOA Learning English	桑名･三好
		・Unit 8 Hospital Directions（giving simple instructions to patients）	Gallagher（非常勤）
27 28	総合演習	・VOA Learning English	桑名･三好
		・Review	Gallagher（非常勤）
29 30	試験	・VOA Learning English	桑名･三好
		・Test	Gallagher（非常勤）

25. 統計学（必修）〔統計学入門〕

担当教員	◎寺本　　敬		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	前　期	１単位	15コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

［履修目的］

医学、看護学を学習する上で、収集したデータを統計学的に処理する技術は基本的素養の一つです。従って、看護学科においては統計学が必修科目として展開されています。本講義では、高校数学の確率統計から、ｔ検定、カイ二乗検定等の統計的仮説検定の基礎まで解説します。また統計処理ソフト（ＳＰＳＳ）を利用して、より実践的なノンパラメトリックな検定手法等も学びます。

［到達目標］

データをどのように統計処理し、計算するかを学び、結果の解釈ができることを目標とします。

授業の形式

［新型ウイルス感染防止対策］

分散登校スケジュールに沿って、講義室での座学形式、情報処理室でのパソコン利用形式、およびオンライン授業を併用します。授業後半（８回から15回まで）は、オンライン授業とパソコン利用形式に分けて実施し、グループ分けと日程は manaba の授業ページで案内します。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

［新型ウイルス感染防止対策］

座学形式では市販教科書を使い、manaba 上に授業資料ファイルと音声ファイルを準備します。パソコン利用形式では、テキスト冊子を配布します。それぞれ授業前に確認しておいてください。

成績評価の基準等

授業への３分の２以上の出席が必要です。対面形式の筆記試験は実施しませんが、複数回の代替レポートを提出していただきます。manaba 授業ページで指示した小テストへの取り組み、それぞれ点数を加味して、60％以上を合格として５段階評価します。

学生へのメッセージ

講義はできるだけ丁寧に行うつもりですが、高等学校の時と比較するとスピードが速く感じられるかもしれません。質問は授業時間内に限らず対応しますので、遠慮せずにお尋ねください。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
（教、座学形式）新統計入門	小　　平	裳　華　房	2,000 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	ガイダンス	学習目的、到達目標	寺本
2	記述統計と確率分布	度数分布、代表値	寺本
3	記述統計と確率分布	分散、確率、確率変数	寺本
4	記述統計と確率分布	確率分布、二項分布、正規分布	寺本
5	記述統計と確率分布	正規分布、標準正規分布	寺本
6	推測統計	統計的有意性、信頼区間	寺本
7	推測統計	母集団と標本	寺本
8	推測統計	母平均の推定１	寺本
9	推測統計	母平均の推定２	寺本
10	推測統計	統計的仮説検定	寺本
11	推測統計	母平均の検定	寺本
12	アプリケーションの使い方	ＳＰＳＳ　の基本操作	寺本
13	アプリケーションの使い方	基本統計量とヒストグラム	寺本
14	ソフトによる検定	２　群間の比較、ノンパラメトリック検定	寺本
15	ソフトによる検定	分割表の検定	寺本

26. 病理学各論（必修）〔病理学、臨床医学、疾患、病態〕

担当教員	及川　賢輔		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

看護師の業務は「医師の行う医療行為の補助」と「患者の療養上の世話」であり、患者の抱える「疾患」すなわち「医学」の知識が不可欠です。その医学の中核・礎をなすのが「病理学」で、本学科はそれを学ぶために開設されています。病理学は疾病の成り立ちを明らかにする学問であり、診療に直結する「臨床医学」の根拠となります。

本学科では、１年後期に履修した「病理学総論」の知識を基盤とし、重要な疾患の概念・病因・病態・病理組織学的事項・臨床的事項について臓器ごとに学んで行きます。

到達目標

１．各臓器に発症する主要疾病の原因、発症メカニズム、形態学的変化および機能的変化、臨床的事項を説明出来る。
２．１を踏まえて、病んでいる患者の全体像を理解出来る。

授業の形式

Ｂ講義室にてＰＣを用いた講義を行います。学年の半数は対面式授業、残りの半数はZoom授業です。講義資料はmanabaからダウンロードしてください。講義開始後30分で公開されるmanabaのアンケートに、授業中提供されるパスコードを入力すれば出席とします。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

復習に重点を置く学習をしてください。講義後は、小テストで知識の定着に努めてください。定期試験は、小テストから出題します。小テストは、正解･解説付きのドリル形式になっていますので、何度でも挑戦できます。

成績評価の基準等

「評価方法」：定期試験（100％）　大学にて行う予定
「評価基準」：原則として定期試験の得点が60％以上で及第とします。追試・レポート提出などの救済措置あり。

学生へのメッセージ

各疾患の捉え方、エッセンスを解説していきます。履修内容を理解する上で１年生で学んだ解剖学・生理学・生化学・病理学総論の知識が必要になってきますので、適宜復習してください。本学科は同時に始まる臨床病態治療学の基礎になります。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座　病理学	大　橋　健　一	医　学　書　院	2,400円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1 2 3	各論① 循環器疾患	血管および心臓疾患の病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患群を以下に示す。 血管の疾患／先天性心疾患／虚血性心疾患／心筋症／心膜の疾患／弁膜症／不整脈	及川
4	各論② 血液・造血器系の疾患	代表的な血液・造血器系疾患（貧血／白血病／悪性リンパ腫）および免疫不全症、敗血症などの病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。	〃
5	各論③ 呼吸器系の疾患	頭頸部を含む気道・呼吸器系に発症する代表的疾患について、その病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患を以下に示す。 肺炎／気管支喘息／肺塞栓症／肺がん／悪性胸膜中皮腫／胸腺腫	〃
6			〃
7 8	各論④ 消化器系の疾患	食道～大腸に至る消化管、肝臓・胆管系、膵臓に発症する代表的疾患について、その病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患を以下に示す。 食道がん／胃がん／大腸がん／炎症性腸疾患／肝炎／肝硬変／肝がん／胆石症／膵炎／膵がん	〃
9 10	各論⑤ 腎･泌尿器･生殖器系および乳腺の疾患	腎・泌尿器系、生殖器系、乳腺に発症する代表的疾患について、その病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患の一部を以下に示す。 糸球体腎炎／腎不全／腎細胞がん／尿路がん／前立腺がん／子宮頸がん／子宮体がん／卵巣腫瘍／乳がん	〃
11 12	各論⑥ 内分泌系の疾患	内分泌器官の代表的疾患について、その病因・病態・病理組織学的特徴、臨床的事項について学ぶ。学習する疾患の一部を以下に示す。 下垂体腺腫／尿崩症／バセドウ病／橋本病／甲状腺がん／アジソン病／原発性アルドステロン症／クッシング症候群／褐色細胞腫	〃
13 14	各論⑦ 脳・神経・筋肉系の疾患	脳・神経系および筋肉系の代表的疾患（脳血管障害／感染症／神経変性疾患／脳腫瘍など）の病態について学ぶ。	〃
15	各論⑧ 骨･眼･耳･皮膚の疾患	骨・関節系、感覚器、皮膚の代表的疾患（骨折／関節リウマチ／骨肉腫／緑内障／白内障／中耳炎／皮膚腫瘍）の病態について学ぶ。	〃

27. 薬理学（必修）

担当教員	◎結城　幸一、中山　　恒、田崎　嘉一		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	後　期	１単位	17コマ（予定）

履修目的・授業概要

薬物の生体への薬理作用を理解する。これには、薬物の用量と作用の関係、薬物の作用機構や薬物の副作用などが含まれる。ついで、これらの基本をふまえて、各臓器や器官系でのさまざまな疾患や病態に使用される薬物について理解を深めることを目的とする。

到達目標

主な薬物の薬理作用について説明できる。この講義で扱う薬物は、抗感染症薬、消毒薬、免疫治療薬、抗アレルギー薬、抗炎症薬、末梢神経作用薬、中枢神経作用薬、心血管系作用薬、呼吸器作用薬、消化器作用薬、物質代謝作用薬、抗がん薬である。

授業の形式

オンライン授業（manaba、zoom）と対面授業の併用でおこなう。
講義は、教科書に沿って進められるが、理解を深めるために関連資料（manaba の提示）も使用する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

・講義は、効率良く進めるために、教科書を一度読んでいることを前提に行われる。よって各講義の履修主題に関係する教科書の分野を、講義の前に必ず一度読んでおく。
・講義終了後は、配付資料を参考に教科書をもう一度読み、各単元末のゼミナールを学習し、内容の理解を深めること。
・講義終了後は、配信した講義資料を参考に、教科書をもう一度読み、各単元末のゼミナールを学習し、内容の理解を深めること。

成績評価の基準等

筆記試験（70％）、manaba での小テスト（30％）の合計で評価する。筆記試験の受験資格として規定の出席率は必須とする。なお、manaba での小テストの提出をもって出席とする。登校しての定期試験ができなくなった場合は、再度成績評価の基準を見直し、その時点で可能な方法に変更し、manaba で周知する。
筆記試験問題は、講義の範囲内からほぼ均等に出題する。

学生へのメッセージ

薬理学の教科書には膨大な数の薬物が記載されている。これらを、全て記憶することは不可能であり、まず薬理学の基本と必要最低限の薬物を憶えるように努力してほしい。また、講義を効率的に進めるため、学生諸君の積極的な予備学習を期待する。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 専門基礎分野　薬理学	吉岡充弘　他	医学書院	2,300円＋税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	薬理学総論1	薬理学とは何か。その基本概念や方法論を理解する。また、薬理作用の発現や薬物動態を学習する。	中山(薬理)
2	薬理学総論2	薬効に影響を及ぼす様々な要因への理解を深める。また、薬物の有害作用について学ぶ。さらに、薬物の適用経路と特徴を理解する。	〃
3	抗感染症薬と消毒薬	感染症の治療薬としての抗感染症薬と感染予防の観点からの消毒薬について学ぶ。	〃
4	免疫治療薬	免疫反応のしくみを理解し、それを基に免疫抑制薬、免疫増強薬について学ぶ。	結城(薬理)
5	抗アレルギー・抗炎症薬	アレルギーや炎症の概念を理解し、抗アレルギー薬、抗炎症薬、痛風治療薬について学ぶ。	〃
6	末梢神経系作用薬	末梢での神経活動に作用する薬物として、交感・副交感神経系作動薬、筋弛緩薬や局所麻酔薬について学ぶ。	中山(薬理)
7	中枢神経作用薬1	中枢神経系に作用する薬物として、全身麻酔薬、睡眠薬と抗不安薬について学ぶ。	田崎(薬剤部)
8	中枢神経作用薬2	中枢神経系作用薬として、抗精神病薬、抗うつ病、パーキンソン病治療薬、抗てんかん薬、麻薬について学ぶ。	〃
9	心血管系作用薬1	心血管系作用薬として、抗高血圧薬、抗狭心症薬、心不全治療薬について学ぶ。	結城(薬理)
10	心血管系作用薬2	心血管系作用薬として、抗不整脈薬、利尿薬、高脂血症治療薬について学ぶ。	〃
11	心血管系作用薬3	心血管系作用薬として、血液作用薬について学ぶ。	中山(薬理)
12	呼吸器作用薬	呼吸器作用薬として喘息治療薬や鎮咳薬、去痰薬、呼吸促進薬などについて学ぶ。	結城(薬理)
13	消化器作用薬	消化器作用薬として消化性潰瘍治療薬や、制吐薬、下剤、止痢薬などについて学ぶ。	〃
14	物質代謝作用薬	物質代謝作用薬として、糖尿病治療薬、骨粗鬆症治療薬や各種ホルモン製剤について学ぶ。	〃
15	抗がん薬	がん治療に用いられる薬物の抗がん作用のしくみを理解する。また、各抗がん薬の特徴について学ぶ。	〃
16・17	薬害被害者の声を聴く	医学科との合同講演会（日時・テーマ未定）	未定

28. 臨床病態治療学Ⅰ（必修）〔臨床医学、精神科、小児科、小児外科、婦人科、産科、麻酔科、手術と看護〕

担当教員	コーディネーター：◎及川　賢輔 担当臨床医学講座：精神医学、小児科、小児外科、産婦人科、麻酔科、歯科口腔外科、看護部		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	前　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

本科目は、健康障害を有する人に対する、健康回復のための看護ケアに必要な知識として、「臨床診断･治療学」について学ぶ。臨床病態治療学Ⅰでは、精神疾患、小児の疾患、婦人科系疾患、口腔外科的疾患、口腔ケア、麻酔科学に関する講義を展開する。講義では、各疾患の病因・概念・病態・診断法・治療法と、麻酔法や周術期の合併症について、現在の標準的な考え方に加え、最新の知見に基づいた up-to-date な内容、大学病院で行われる最先端の診療についても教授する。さらに産科領域の内容として、周産期の正常と異常、ヘルスプロモーションについて学修する。

なお本科目は助産選択学生において、「助産診断・技術学」の妊娠・分娩・産褥期の生殖生理及び逸脱状態を理解するために必要な科目としても位置付けらる。

到達目標

1．主要な疾患の成り立ちが理解出来る。
2．診断法の意味、適応を理解出来、診断への道筋を理解出来る。
3．診断の結果をもとに治療法の選択肢を列挙出来それぞれの短所、長所を理解出来る。
4．病期や予後判定などの意義が理解出来る。
5．上記を統合し患者への援助を考えることが出来る。

授業の形式

学年の半数は対面式授業、残りの半数は Zoom 授業です。manaba の小テストの提出をもって出席とします。小テストは、授業開始より70分の間公開されますので、公開時間内に提出してください。履修の順番はシラバスと異なる場合がありますので、manaba に提示する講義日程を参照してください。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

manaba の臨床病態治療学Ⅰのコースより講義資料をダウンロードし、各自授業に備えてください。疑問点は manaba を通して質問するようにしてください。

成績評価の基準等

「評価方法」：定期試験（100％）　大学にて実施の予定
「評価基準」：原則として定期試験の得点が60％以上で及第とします。ただし、30コマのうち20コマ以上の出席が必要です。追試・レポート提出などの救済措置あり。

学生へのメッセージ

専門基礎で得た解剖・生理・病理学の知識を復習・補強しつつ、将来皆さんが勤務するかもしれない病棟・診療現場の風を感じながら、臨床医学の神髄を学んでください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 看護のための臨床病態学　第４版	浅野嘉延編	南　山　堂	8,800 円
(参) 病気がみえる　vol.9 婦人科･乳腺外科　第４版	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア	3,300 円
(参) 病気がみえる　vol.10 産科　第４版	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア	3,600 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	気分障害	気分障害の診断、治療について学ぶ	精神医学
2	中毒性精神障害	中毒性精神障害の診断、治療について学ぶ	〃
3	てんかん	てんかんの診断、治療について学ぶ	〃
4	認知症	認知症の診断、治療について学ぶ	〃
5	睡眠覚醒障害	睡眠覚醒障害の診断、治療について学ぶ	〃
6	統合失調症	統合失調症の診断、治療について学ぶ	〃
7	小児の遺伝性疾患	人の遺伝学の基礎、代表的遺伝性疾患について学ぶ。	小児科
8	新生児医療・低出生体重児	新生児期の異常について学ぶ。	〃
9	小児神経疾患	小児に特徴的な神経疾患（脳性麻痺、発達障害など）について学ぶ。	〃
10	小児の腫瘍	代表的小児腫瘍（白血病、脳腫瘍等）について学ぶ。	〃
11	小児心疾患	先天性心奇形、川崎病について学ぶ。	〃
12	小児感染症	小児期に多く見られる代表的感染症（肺炎、髄膜炎）について学ぶ。	〃
13	予防接種	予防接種について学ぶ。	〃
14	小児外科Ⅰ	小児外科の特殊性について学ぶ。	外科（小児）
15	リプロダクティブヘルス１	性感染症について学ぶ。	産婦人科

臨床病態治療学Ⅰ　　第２学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	リプロダクティブヘルス２	避妊法について学ぶ。	産婦人科
17	小児外科Ⅱ	小児外科疾患および、その外科的対応について学ぶ。	外科（小児）
18	手術看護と手術室	手術看護と大学病院手術室について学ぶ。	看護部
19	婦人科疾患とヘルスプロモーション１	婦人科良性疾患について学ぶ。	産婦人科
20	婦人科疾患とヘルスプロモーション２	婦人科腫瘍性疾患（子宮頚癌、体癌、卵巣腫瘍）について学ぶ。	〃
21	う蝕と歯周疾患	齲蝕症、歯肉炎、歯周病、歯性病巣感染	歯科口腔外科
22	口腔ケア	口腔ケアの重要性について学ぶ。	〃
23	局所麻酔	局所麻酔（薬理・脊髄麻酔・硬膜外麻酔）について学ぶ。	麻酔科
24	全身麻酔	全身麻酔を学ぶ。	〃
25	女性のライフサイクル	性機能と内分泌動態、受精、初期発生、妊娠について学ぶ。	産婦人科
26	周産期と女性のヘルスプロモーション１	妊娠各期の異常（流産、子宮外妊娠、早産、妊娠中毒症）について学ぶ。	〃
27	周産期と女性のヘルスプロモーション２	分娩（正常、異常）について学ぶ。	〃
28	周産期と女性のヘルスプロモーション３	産褥の生理と病理について学ぶ。	〃
29	成長と発達	ホルモンの働きについて学ぶ。	小児科
30	糖尿病・栄養障害	小児の糖尿病について学ぶ。また小児期における栄養障害についても学ぶ。	〃

29. 臨床病態治療学Ⅱ（必修）〔臨床医学、内科、外科〕

担当教員	コーディネーター：◎及川　賢輔 担当臨床医学講座：内科（循環・呼吸・神経病態内科、旧第二内科、旧第三内科）、外科（心臓大血管、血管、呼吸器・腫瘍病態、消化管、肝胆膵・移植）、呼吸器センター		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	後　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

本科目は、健康障害を有する人に対する、健康回復のための看護ケアに必要な知識として、「臨床診断･治療学」について学ぶ。臨床病態治療学Ⅱでは、循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患、造血器系疾患、代謝内分泌系疾患、膠原病、腎疾患、神経疾患についての講義を展開する。講義では、各疾患に関する病因・概念・病態・診断法・治療法について、現在の標準的な内容に加え、最新の知見に基づいた up-to-date な内容、大学病院で行われる最先端の診療についても教授する。

到達目標

1．主要な疾患の成り立ちが理解出来る。
2．診断法の意味、適応を理解出来、診断への道筋を理解出来る。
3．診断の結果をもとに治療法の選択肢を列挙出来それぞれの短所、長所を理解出来る。
4．病期や予後判定などの意義が理解出来る。
5．上記を統合し患者への援助を考えることが出来る。

授業の形式

学年の半数は対面式授業、残りの半数は Zoom 授業です。manaba の小テストの提出をもって出席とします。小テストは、授業開始時間より70分の間公開されますので、公開時間内に提出してください。履修の順番はシラバスと異なる場合がありますので、manaba に提示する講義日程を参照してください。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

manaba の臨床病態治療学Ⅱのコースより講義資料をダウンロードし、各自授業に備えてください。疑問点は manaba を通して質問するようにしてください。

成績評価の基準等

「評価方法」：定期試験（100％）　大学にて実施の予定
「評価基準」：原則として定期試験の得点が60％以上で及第とします。ただし、30コマのうち20コマ以上の出席が必要です。追試・レポート提出などの救済措置あり。

学生へのメッセージ

専門基礎で得た解剖・生理・病理学の知識を復習・補強しつつ、将来皆さんが勤務するかもしれない病棟・診療現場の風を感じながら、臨床医学の神髄を学んでください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 看護のための臨床病態学 第４版	浅野嘉延　編	南　山　堂	8,800 円
(参) 病気がみえる　vol.1～8	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア	3,200～3,700 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	高血圧	高血圧について学ぶ。	循環・呼吸・神経病態内科
2	心臓・弁膜疾患	弁膜疾患に対する外科的対応について学ぶ。	外科（心臓）
3	虚血性心疾	狭心症、心筋梗塞、不整脈について学ぶ。	循環・呼吸・神経病態内科
4	心筋症・弁膜症・心不全	心筋症、弁膜症、心不全について学ぶ。	〃
5	代謝内分泌疾患Ⅰ	糖尿病の病態生理、治療、ケアについて学ぶ。	旧二内
6	肝癌の手術	肝癌の手術と術後管理、予後について学ぶ。	外科（肝胆膵・移植）
7	上部消化管疾患	食道、胃、十二指腸疾患について学ぶ。	旧三内
8	下部消化管疾患	小腸、大腸の疾患について学ぶ。	〃
9	膵胆管系の疾患	膵癌、胆管癌などについて学ぶ。	〃
10	代謝内分泌疾患Ⅱ	糖尿病合併症について学ぶ。	旧二内
11	血管疾患	閉塞性動脈硬化症、バージャー病、動脈瘤、静脈瘤の外科的治療について学ぶ。	外科（心臓）
12	肝移植手術	移植医療、肝移植の適応疾患、手術と術後管理について学ぶ。	外科（肝胆膵・移植）
13	貧血・出血性疾患	種々の貧血性疾患、出血傾向について学ぶ。	旧三内
14	白血病・悪性リンパ腫	血液悪性疾患について学ぶ。骨髄移植についても学ぶ。	〃
15	食道癌の手術	食道癌の手術と術後の管理について学ぶ。	外科（消化管）

臨床病態治療学Ⅱ　　第２学年・後期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	胃の手術	胃の手術と術後管理、予後について学ぶ。	外科（消化管）
17	腸の手術	腸の手術と術後管理、予後について学ぶ。	〃
18	膵胆管系疾患の手術	膵胆管系の癌に対する手術、術後管理、予後について学ぶ。	外科（肝胆膵・移植）
19	呼吸器感染症	呼吸器感染症（市中肺炎、院内感染、結核、耐性菌感染症等）について学ぶ。	呼吸器センター
20	閉塞性肺疾患	慢性気管支炎、肺気腫、気管支喘息などについて学ぶ。	〃
21	神経疾患	神経変性疾患、脱髄疾患について学ぶ。	循環・呼吸・神経病態内科
22	代謝内分泌疾患Ⅲ	下垂体、甲状腺、副腎の疾患について学ぶ。	旧二内
23	肺癌	肺癌について学ぶ。	呼吸器センター
24	呼吸不全	呼吸不全の病態、治療について学ぶ。	〃
25	肺疾患の手術	肺の良性、悪性腫瘍の手術、術後管理について学ぶ。	〃
26	乳腺疾患の手術	良性、悪性腫瘍の鑑別、外科的治療について学ぶ。	〃
27	腎疾患・透析療法	腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全について学ぶ。	循環・呼吸・神経病態内科
28	肝疾患	肝炎、肝硬変、肝癌について学ぶ。	旧三内
29	膠原病Ⅰ	自己免疫疾患の概念について学ぶ。	旧二内
30	膠原病Ⅱ	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎などについて学ぶ。	〃

30. 健康教育論（必修）〔健康行動理論、自己効力感、ストレスコーピング、ソーシャルサポート〕

担　当 教　員	◎伊藤　俊弘（看護学科）、 久保　千夏（学内特別講師／看護部）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

健康教育論の目的は、健康および健康教育に関連する概念・モデルについて広く学び、看護学の各専門領域で実際に行われる健康指導の基礎となる知識を習得することである。

本講義ではＷＨＯによる健康の定義をはじめ、生活習慣病等の健康教育に関連する様々な健康行動理論を学び、さらに若者に対する性教育に必要な知識や喫煙防止教育についても学ぶ。

到達目標

「健康」、「健康教育」、「ヘルスプロモーション」の概念を説明できる。

健康行動理論に関する各モデルの概念とその活用法の基本を習得し、様々な症例に対応できる知識を身につける。

授業の形式

講義は、教科書と manaba に掲載した講義資料を用いて行う。講義では健康教育に必要な知識をまとめ、必要に応じてレポートの提出を行う。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

事前に教科書をよく読み、さらに配布した課題に必要事項を記入し、それぞれの健康教育の特徴を理解すること。

成績評価の基準等

評価は定期試験の成績（70％）、レポート（20％）、および講義の出席状況（確認テスト含む10％）により評価する。出席は10回出席を０点として11回目から２点ずつ加算し15回出席で10点とする。定期試験が60点以上であっても総合評価で不可となる場合もあり得るので、課題提出と出席は怠らないこと。出席の確認は確認テストをもって行い、出席が２／３に満たない場合は原則として定期試験が受けられないので注意すること。

学生へのメッセージ

一般の人々に、健康やＱＯＬなど疾病予防に関する知識をわかりやすく説明し理解してもらえるように、講義の内容習得に努めること。本講義を通して人々の健康意識を向上させる様々なアプローチを学び、将来の仕事に生かせることを期待しています。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎	松　本　千　明	医歯薬出版	1,800 円
医療・保健スタッフのための健康行動理論　実践編	松　本　千　明	医歯薬出版	1,800 円
〈参考図書〉新版　健康教育ナビゲーター	渡　邉　正　樹	大修館書店	2,100 円
〈参考図書〉保健スタッフのためのソーシャル・マーケティングの基礎	松　本　千　明	医歯薬出版	1,800 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	健康・健康教育・ヘルスプロモーション ・健康行動モデルの意義　健康信念モデル	ＷＨＯの健康の定義、ＷＨＯのヘルスプロモーションに関するオタワ憲章とバンコク憲章について学ぶ。 健康教育における健康行動モデルの意義について学ぶ。 健康信念モデル（ヘルスビリーフモデル）の概念と活用について学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
2	自己効力感	自己効力感の概念と活用について学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
3	変化のステージモデル	変化のステージモデルの概念と活用について学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
4	ＨＩＶ予防	ＨＩＶ予防における看護職の役割について学ぶ。	久保千夏 (看護部)
5	計画的行動理論	計画的行動理論の概念と活用について学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
6	ストレスとコーピングとソーシャルサポート	ストレスとそれに対するコーピングの概念と活用について学ぶ。ソーシャルサポートの概念と活用について学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
7	コントロール所在	コントロール所在の概念と活用について学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
8	健康行動理論の現場への応用	講義の前半で学んだ健康行動理論を現場に応用するための方法を学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
9	食事療法	健康行動の観点に基づいて食事療法によるやる気とアドヒアランスを高める為の働きかけについて学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
10	運動療法	健康行動の観点に基づいて運動療法によるやる気とアドヒアランスを高める為の働きかけについて学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
11	薬物療法	健康行動の観点に基づいて薬物療法へのやる気とアドヒアランスを高める為の働きかけについて学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
12	手技	健康行動の観点に基づいて患者にとってやり慣れない手技へのやる気とアドヒアランスを高める為の働きかけについて学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
13	健康増進プログラム	健康行動の観点に基づいて健康増進プログラムへの参加のやる気とアドヒアランスを高める為の働きかけについて学ぶ。	伊藤俊 (看護学)
14 15	ソーシャルマーケティング	商業分野のマーケティングの考え方や技術を健康教育プログラムの計画、実施、評価のプロセスに生かす方法を学ぶ。	伊藤幸 (看護学)

31. 保健統計（必修）〔統計学、人口統計、保健統計調査、情報処理〕

担当教員	◎伊藤　俊弘（看護学科）、 西篠　泰明（社会医学講座） 吉岡　英治（社会医学講座） 神田　浩路（社会医学講座） 佐藤　遊洋（社会医学講座）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	通　年	２単位	30コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

【履修目的】

統計学は、地域・集団の健康状態を正しく評価するためには必須の学問で、看護師・保健師・助産師が必ず身に着けるべき知識である。疫学調査などを行う場合にも正しい方法を用いて評価することが求められている。本稿は講義では統計学の基礎知識を身につけるとともに、日本で行われている様々な保健統計調査および統計情報の取扱いについて正しく説明できるようになることを目標とする。

【到達目標】

・統計に関する幅広い基礎知識を習得し、主な統計方法の特徴をそれぞれ説明できる。
・統計調査について概説できる。
・情報処理に関する必要な知識・方法を習得し効率的に文献検索できる。

授業の形式

講義は複数の教員によるオムニバス方式で行う。各教員が教科書に沿った内容に従い、パワーポイントを中心に行う。さらに、情報処理室における統計処理ソフト（ＳＰＳＳ）を用いた演習を行う。

学生主体、問題解決型教育を意識した授業とする。状況に応じた様々な統計解析の方法に関する基礎知識に加え、保健医療分野に関係のある重要な保健統計調査とその動向について教授する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

講義資料は manaba を通して配信する。シラバスに記載されている履修内容を確認するとともに、配信資料をダウンロードして内容を確認しておき、教科書等で予習してくること。講義終了後は、講義内容を整理し実際に統計解析が行えるように内容を整理しておくこと。

成績評価の基準等

定期試験の成績、課題または小テストおよび講義の出席状況等を勘案してルーブリック評価により評価する。定期試験が60点以上であっても総合評価で不可となる場合もあり得るので、課題提出と出席は怠らないこと。

出席が２／３に満たない者は原則として定期試験が受けられないので注意すること。

学生へのメッセージ

保健統計学は、卒後の調査・研究には必須の知識です。統計処理には多くの計算を伴いますが、計算についてはＰＣの統計処理ソフトで行うのが一般的になりつつあります。そのため統計に関する正しい知識を身につけることが重要となりますので、状況に応じた統計解析の方法を確実に習得するように心がけましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
標準保健師講座（別巻２） 疫学・保健統計学	牧本清子他	医学書院	2,800 円
国民衛生の動向		厚生労働統計協会	2,500 円
図説　国民衛生の動向		厚生労働統計協会	1,650 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	保健統計を学ぶ意義、講義の進め方、評価の方法など講義の概要と統計に関する基礎知識についてガイダンスを行う。	伊藤（看護）
2 3 4 5	保健統計の基礎（１）（２）（３）	①データの種類と分布、測定と尺度など、統計解析を行うために必要な基礎知識を学ぶ。 統計に関するあらゆる状況で知っておくべき知識である。 ②主な確率分布（正規分布、二項分布など）および代表値（平均値、中央値、最頻値）と散布度（分散と標準偏差、四分位数とパーセンタイル値）について学ぶ。 ③関連の指標（相関・散布図、回帰、クロス集計など）について学ぶ。	吉岡（社会）
6 7	演習（１）	確率分布・相関・回帰分析・クロス集計について統計パッケージによる計算方法について演習を行う（情報処理室２）。	伊藤（看護）
8	保健統計の基礎（４）	統計分析１： 推定と検定（点推定と区間推定、帰無仮説と統計学的有意性）について学ぶ。	吉岡（社会）
9	保健統計の基礎（５）	統計分析２： 推定と検定（割合に関する推定と検定）について学ぶ。	西條（社会）
10	保健統計学の基礎（６）	統計分析３： 推定と検定（平均に関する推定と検定）について学ぶ。	西條（社会）
11	保健統計学の基礎（７）	統計分析４： 推定と検定（相関に関する検定、ノンパラメトリック検定）について学ぶ。	西條（社会）
12 13	演習（２）	統計分析１～４に関する計算方法について演習を行う（情報処理室２）。	伊藤（看護）
14	保健統計学の基礎（８）	統計分析５： 多変量解析1.　重回帰分析について学ぶ。	西條（社会）
15	保健統計学の基礎（９）	統計分析６： 多変量解析2.　ロジスティック回帰分析について学ぶ。	西條（社会）

保健統計　　第２学年・通年・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	演習（３）	多変量解析について実際の計算方法について学ぶ	伊藤（看護）
17			
18	人口統計（１）	人口統計１： 人口静態統計・人口動態統計について学ぶ。 人口統計２： 生命表と主な健康指標について学ぶ。	神田（社会）
19	人口統計（２）		
20	人口統計（３）		
21	演習（４）	年齢調整死亡率：直説法と間接法の計算方法を学ぶ	伊藤（看護）
22			
23	保健統計調査１	保健統計調査：わが国の基幹統計について学ぶ。	伊藤（看護）
24	保健統計調査２		
25	保健統計調査３	保健統計調査：わが国の基幹統計以外の統計調査について学ぶ。	佐藤（社会）
26	保健統計調査４		
27	保健統計調査５		
28	保健医療・情報管理	保健医療情報の管理・活用と関連する法令・指針について学ぶ	伊藤（看護）
29	まとめ１	保健統計のまとめ（推定と検定）	伊藤（看護）
30	まとめ２	保健統計のまとめ（統計調査）	伊藤（看護）

32. 公衆衛生論（必修）〔公衆衛生、疾病予防、保健行政、各種保健活動、環境衛生〕

担当教員	◎伊藤　俊弘（看護学科）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	後　期	１単位	15コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

【履修目的】

公衆衛生学は、人間集団に対して疾病の予防と健康増進およびＱＯＬ向上などについて医療制度・地域保健・環境保健・産業保健など幅広い分野が関わっている。人の健康が多要因から成り立っていることを理解し、健康増進と疾病の予防のために、広い視野に立って考え行動することができるように、知識と方法論を修得することを目的とする。

【到達目標】

人間集団全体、または各年齢層（母子、青少年、成人、高齢者）毎の活動の場（学校や職場、地域など）における公衆衛生活動について組織・職種・制度などの「しくみ」と法規や規則などの「きまり」の両面から具体的な例を示して説明できる。

授業の形式

講義は教科書の分類に基づき、パワーポイントを使用して行う。講義資料は manaba を通して配布する。授業の最後に知識の整理を進めるために小テストを数回行う。

授業内容に関する質問は、授業中の他、オフィスアワーなど放課後だけでなく、電子メールでも受け付けるので遠慮なく質問してください。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

講義資料は manaba を通して配信する。 シラバスに記載されている履修内容について教科書だけでなく国民衛生の動向にも目を通して、日本の状況・問題点等を把握しておくこと。講義後は配布資料の空欄部分を完全に埋め、知識を整理すること。

成績評価の基準等

定期試験の成績、課題または小テストおよび講義の出席状況等を勘案しルーブリック評価表を用いて評価する。出席は10回出席を０点とし、出席状況に応じて加算する。定期試験が60点以上であっても総合評価で不可となる場合もあり得るので、課題提出と出席は怠らないこと。

出席が２／３に満たない者は原則として定期試験が受けられないので注意すること。

学生へのメッセージ

公衆衛生学は、医療関係をはじめ多くの職業に関係する重要な科目です。それゆえ講義の対象範囲は非常に多岐に渡っていますが、看護学の各専門領域と深く関わっているので、そのことを意識して学習することを期待しています。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
わかりやすい公衆衛生学	清水忠彦他	ヌーヴェルヒロカワ	2,200 円
国民衛生の動向　2017／2018版（前期「保健統計Ｉ」で使用）		厚生労働統計協会	2,500 円
図説国民衛生の動向　2017／2018版（保健統計学Ｉで使用）		厚生労働統計協会	1,650 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	公衆衛生学総論	公衆衛生の歴史と健康の定義、疾病予防、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションなど健康に関わる概念を理解する。	伊藤（看護）
2 3	感染症予防	感染症の成立の三要因（病原体・感染経路・宿主）を介した感染予防対策を理解するとともに、関係法規からわが国の感染症対策を学び、国内外で問題になっている感染症の動向を理解する。	伊藤（看護）
4 5	食品保健と栄養	わが国の食品安全と食品管理のしくみを理解し、食中毒の原因と発生動向について学ぶ。 わが国の国民栄養の現状と食事摂取基準などの栄養対策を学び、健康食品などの動向についても理解する。	伊藤（看護）
6 7	環境保健	生活環境から地球規模の環境まで人間の健康に影響を及ぼす環境要因と環境汚染による健康被害とその対策について学ぶ。上下水道および廃棄物処理のしくみを学び、公衆衛生におけるこれらの意義を理解する。	伊藤（看護）
8	保健行政 地域保健災害対策	わが国の地域保健に係る仕組みを学び、地域における保健活動の現状と災害時における保健医療活動について理解する。	伊藤（看護）
9	母子保健・学校保健	母子保健に係る出生や死亡に関する保健統計指標の動向と母子保健対策の制度と法律を学ぶ。	伊藤（看護）
10	生活習慣病老人保健	がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病の発症・死亡動向と予防対策、さらに高齢者をとりまく状況と疾病動向を学ぶ。	伊藤（看護）
11 12	難病精神保健障害者保健	国際生活機能分類をとおして障害者の健康状態を学ぶとともに難病患者を含む障害者に対する福祉施策や自立支援のしくみを理解する。	伊藤（看護）
13 14	産業保健	職場の安全衛生管理のしくみと労働衛生に関連する法律、職場の安全衛生を支える制度とともに労働に関る様々な健康障害について学ぶ。	伊藤（看護）
15	これからの公衆衛生	近年の公衆衛生に関する様々な問題を取り上げ、それらの問題の現状と対策の取組み等について学ぶ。	伊藤（看護）

33. 基礎看護技術学Ⅲ（必修）

担当教員	◎神成　陽子、升田由美子、一條　明美、平　義樹、佐藤　貴子、小野　尚志（薬剤部）、鈴木　宏（臨床検査・輸血部）、江口　明子（非常勤）、大友　麻紀（非常勤）他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	前　期	１単位	30コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

【履修目的】
1．リスクマネージメントに対する理解を深めながら、診療に伴う援助技術を学ぶ。
2．実施する看護を説明する方法・態度を身につける。
3．与薬･検査に関連した医療チームにおける看護師の役割を学ぶ。
4．看護の対象の症状や受ける治療･検査に応じた看護援助を学ぶ。

【到達目標】
1．与薬の目的を述べることができる。
2．薬物療法における看護の意義を述べることができる。
3．与薬における援助を理解し、基本看護技術として注射薬の準備、皮下注射、筋肉内注射、点滴静脈内注射の準備と観察ができる。
4．検査の目的を述べることができる。
5．検査における看護の意義を述べることができる。
6．検査における援助を理解し、基本看護技術として静脈血採血ができる。
7．与薬・検査に関連した医療チームにおける看護師の役割を述べることができる。
8．看護の対象の症状や受ける治療・検査に応じた看護援助について述べることができる。

授業の形式

看護技術の実践に必要な知識を講義、小テストで学習する。技術演習を行うための学修支援システム manaba を用いた予習･事前課題を行った後に演習を行う。演習は学生同士で看護者役、患者役、観察者の役割をグループで行いながら進める。講義・演習ともに教科書・資料・パワーポイントなどを使用する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

各履修主題・履修内容の事前に配付される資料に基づき、予習をする。予習には履修内容の看護技術について、演習で実施できるように方法・留意点を覚えることを含む。正確・安全な看護技術が習得できるよう、具体的な予習内容や事後課題がある。患者役となる対象者の安全を確保できるための予習と復習を課題として課す。課題の実施について、内容に不足がある場合は、再提出を課す。

成績評価の基準等

1．定期試験　60％
2．小テスト（演習毎）　10％
3．提出課題　20％
4．講義・演習への参加状況10％（欠席１コマにつき２点の減点、遅刻は３回で１コマ分の欠席として減点）
３の提出遅滞、未提出は評価の対象としないため、十分注意する。
以上の総合点が60点以上であることで合格とする。

学生へのメッセージ

演習では、単に手順を覚えるのではなく、１年次に学んだ形態機能学で学んだ知識を活用し、安全・正確で根拠に基づいた看護技術を習得することが求められます。１年次から学んでいるように、実施する看護について説明し同意を得る能力も必要です。また講義・演習は順序性もって構成しています。欠席した場合、次の演習に進むことは非常に困難になります。体調・生活の管理に努めるとともに、知識・態度・技能を身につけられるよう主体的に学習することを期待します。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座　専門分野Ⅰ②基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる	医学書院	2,600円+税
(教) 系統看護学講座　専門分野Ⅰ②基礎看護技術Ⅱ	茂野香おる	医学書院	2,900円+税
(教) 看護がみえる vol.1 基礎看護技術	医療情報科学研究所編	メディックメディア	3,300円+税
(教) 看護がみえる vol.2 臨床看護技術	医療情報科学研究所編	メディックメディア	3,300円+税
(参) 医療安全とリスクマネジメント	嶋森好子	ヌーヴェルヒロカワ	2400円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	基礎看護技術学Ⅲの講義演習の進め方と自己学習の必要性を理解する。	神成
2	診療関連技術における看護師の役割	診療関連技術における看護師の役割と法的責任を学ぶ。	〃
3	与　薬	与薬における看護師の役割と責任を学ぶ。 与薬の種類と方法、留意点を学ぶ。	神成
4 5	与薬に関する看護技術（1）注射器の清潔な取扱い	演習：注射器の無菌的取扱いのモデルを見る。注射器の無菌的取扱いの方法を学ぶ。	神成 升田 一條 佐藤 江口 大友 他
6	与薬：皮下注射・筋肉注射	皮下注射・筋肉注射の目的・方法、実施時の観察点、注意点について学ぶ。	神成
7	与薬に関する看護技術（2）注射部位の選択	演習：正確・安全に注射法を行うための注射部位の選択方法を学ぶ	神成 升田 一條 平 佐藤
8 9	与薬に関する看護技術（3）皮下注射	演習：皮下注射技術のモデルを見る。皮下注射技術を学ぶ。	神成 升田 一條 佐藤 江口 大友 他
10 11	与薬に関する看護技術（4）筋肉内注射	演習：筋肉内注射技術のモデルを見る。筋肉内注射技術を学ぶ。	神成 升田 一條 佐藤 江口 大友 他
12	薬物療法を受ける患者の看護	薬剤師と看護師の連携について学ぶ。	小野 (薬剤部)
13	与薬：点滴静脈内注射	点滴静脈内注射の目的・方法、実施時の観察点、注意点について学ぶ。	神成
14	与薬に関する看護技術（5）:様々な注射法	様々な注射法について、トレーニングを行う。	神成 升田 一條 佐藤
15	薬物療法を受ける患者の看護	事例を用いて薬物療法を受ける患者の看護について学ぶ。	神成

基礎看護技術学Ⅲ　　第２学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16 17	与薬に関する看護技術（６）点滴静脈内注射	演習：点滴静脈内注射技術のモデルを見る。 点滴静脈内注射技術を学ぶ。 療養生活の中で点滴静脈内注射を実施中の患者・環境の観察について学ぶ。	神成 升田 一條 佐藤 江口 大友 他
18	検　査	検査における看護師の役割と責任を学ぶ。 検査の種類と方法、留意点について学ぶ。	神成
19	採　血	採血の目的・方法、実施の観察点、注意点について学ぶ。	神成
20 21	検査に関する看護技術（１）:採血	演習：採血技術モデルを見る。 採血の技術を学ぶ。	神成 升田 一條 佐藤 江口 大友 他
22 23	検査に関する看護技術（２）:採血	演習：グループで採血技術トレーニングを行い採血の技術を学ぶ。	神成 升田 一條 佐藤 江口 大友 他
24 25	検査に関する看護技術（３）:採血	演習：人形モデルで採血を行い、採血を受ける患者の一連の採血技術を学ぶ。	神成 升田 一條 佐藤 江口 大友 他
26	検査を受ける患者の看護	臨床検査技師と看護師の連携について学ぶ。	鈴木 (臨床検査・輸血部)
27	検査を受ける患者の看護	事例を用いて検査を受ける患者の看護について学ぶ。	神成
28	症状がある患者の看護	事例を用いグループワークを行う。症状があり治療・検査を受けながら療養生活を送る患者の観察および看護援助の計画を考える。	神成 升田 一條 佐藤 江口 大友 他
29 30		演習：症状があり治療・検査を受けながら療養生活を送る患者の観察および看護援助を学ぶ。	神成 升田 一條 佐藤 江口 大友 他

34. 基礎看護技術学Ⅳ（必修）

担当教員	◎一條　明美、升田由美子、神成　陽子、佐藤　貴子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	前　期	１単位	15コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

【履修目的】
看護過程の展開に関する基礎的な知識・考え方を学び、論理的思考・判断力に基づいた看護実践のための基本を修得する。紙上事例による事例展開を行い、個人ワークとグループワーク、全体発表によって看護過程による思考方法を理解する。

【到達目標】
一般目標
科学的思考技術であり問題解決技法である看護過程を理解し、根拠に基づいた看護実践のための看護過程の展開ができるようになる。
行動目標
１．看護実践と看護過程の関係について説明できる。
２．看護過程の構成要素を列挙できる。
３．紙上事例に対して看護過程を展開し、ゴードンの機能的健康パターンに沿ってアセスメントした内容を記述することができる。
４．紙上事例に対して看護問題の明確化、看護目標の決定、看護計画の立案を行い、具体策までを記述することができる。
５．グループワークおよび全体発表を通して、紙上事例に対する看護過程と看護実践を説明し、記述することができる。
６．評価とは何かについて理解し、評価方法を説明することができる。
７．情報収集のための面接技術について理解し、対象者に対する面接を行うことができる。

授業の形式

講義およびグループワークと全体発表により学ぶ。１～６コマは看護過程について講義を行う。７～14コマはグループワークと全体発表によって紙上事例の看護過程を展開する。グループワークはファシリテータである教員の助言を受けながら学生が主体となって進める。別途看護過程展開に関するオフィスアワーを行う。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

この科目は毎回事前学習課題を課し、提出を求める。ガイダンスで配付する学習スケジュールに記載された予習内容（課題）に沿って、紙上事例についてアセスメントなど看護過程のプロセスを学習し、講義やグループワークに臨む。

成績評価の基準等

出席状況：10点（１コマ欠席につき２点減点）
小テストおよび事前学習課題等の提出物：20点（遅滞１回につき２点減点）
最終課題：70点（ルーブリック評価）によって評価を行う。
計100点のうち60点以上をもって合格とする。

学生へのメッセージ

「基礎看護学実習Ⅱ」で担当する患者さんに根拠のある看護を実践するために看護過程について学びます。また、「看護フィジカルアセスメント」と連動する科目になります。既習内容を活用し、自己学習を行い、看護過程に関する理解を深めましょう。グループワークを有益なものとするには個人ワークをしっかりと行うことが必要です。事前・事後学習にも真摯に取り組むことを期待しています。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる	医学書院	2,600円+税
(参) ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断　第５版	江川隆子編	ヌーヴェルヒロカワ	2,300円+税

※看護過程に関する参考書を１冊は用意すること。書籍部、図書館または教員研究室にある書籍を実際に見て自分が使いやすいと思うものを選んでください。

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス 看護過程とは	看護過程とは何かについて理解する。看護過程の構成要素について理解する。	升田
2	情報とは何か	看護にとって必要な情報とは何かについて理解し、情報収集とその整理方法を学ぶ。データベースの活用方法を知る。	〃
3	アセスメントとは何か	情報の分析・解釈について学ぶゴードンの機能的健康パターンを用いてアセスメントを行う。	〃
4	看護問題とは何か	看護問題の抽出と記述方法について学ぶ。全体像が表す情報と記述方法について学ぶ。	〃
5	看護目標と看護計画	看護問題の優先順位の決定方法及び看護目標について学ぶ。短期目標・長期目標の設定方法について学ぶ。	
6	看護計画と実施・評価	初期計画における具体策の立案方法を学ぶ。評価方法とその意義を学ぶ。	〃
7	ワーク①アセスメント	紙上事例を用いて対象者を把握するプロセスを体験・理解する。グループワークによりアセスメントを行う。	一條 升田 神成 佐藤
8		グループワークによりアセスメントを行う。	〃
9	ワーク②全体像と問題の明確	グループワークにより全体像を検討する	〃
10		〃	〃
11	全体像の発表	各グループの全体像を共有する	〃
12	ワーク③初期計画	グループワークにより初期計画を検討する。	〃
13		〃	〃
14	初期計画の発表	各グループの初期計画を共有する	〃
15	看護過程展開のまとめ	看護過程の展開と看護実践の関係を整理する	〃

35. 看護フィジカルアセスメント（必修）

担当教員	◎神成　陽子、升田由美子、一條　明美、 平　　義樹、佐藤　貴子、 江口　明子（非常勤）、大友　麻紀（非常勤）他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	通　年	１単位	15コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

【履修目的】
1．看護技術としてのフィジカルアセスメントの概念、目的、意義について理解する。
2．フィジカルアセスメントに必要な共通技術を学ぶ。
3．看護の対象の健康状態および療養生活をアセスメントする方法を学ぶ。
4．看護の視点から、得られた情報の分析・解釈について学ぶ。

【到達目標】
1．看護技術としてのフィジカルアセスメントの概念、目的、意義について説明できる。
2．身体各機能のアセスメントに必要な基本的知識（解剖学的位置および機能）を活用できる。
3．身体各機能の観察に必要な・技術・態度について説明できる。
4．身体各機能について、問診、視診、触診、打診、聴診をし、対象者の健康状態および療養生活のアセスメントに必要な所見を得るポイントを説明できる。
5．得られた所見をアセスメントおよび看護過程の各段階で情報として活用できる。

授業の形式

講義（フィジカルアセスメントの実践に必要な知識）およびグループワーク（演習形式を含む）を主に行う。フィジカルアセスメントの実践に必要な知識について、小テストでの学習も行う。グループワークは基礎看護技術学Ⅳと連動したものとなるため、適宜共通の事例を用いる。フィジカルアセスメントについて、学生同士で行うものと模擬患者を用いたものがある。模擬患者を用いた演習ではアセスメント方法などについて発表を行う。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

この科目はフィジカルアセスメント技術について方法・留意点を覚えることに加え、これまで学習してきた形態機能学に関する学習を予習として行う。この予習を基に、グループワークなどに臨み、正確・安全なフィジカルアセスメント技術を習得する。フィジカルアセスメントで得られた所見をもとに、アセスメントを記録する事後課題を提示する。課題の実施について、内容に不足がある場合は、再提出を課す。

成績評価の基準等

1．定期試験　60％
2．小テスト（演習毎）　10％
3．提出課題　20％
4．講義・演習への参加状況10％（欠席１コマにつき２点の減点、遅刻は３回で１コマ分の欠席として減点）
３の提出遅滞、未提出は評価の対象としないため、十分注意する。以上の総合点が60点以上であることで合格とする。

学生へのメッセージ

この科目では形態機能学で学んだ知識、基礎看護技術学Ⅳで学ぶ看護過程の考え方を活用し、身体各機能のアセスメントを行います。フィジカルアセスメントは看護過程の一側面であるアセスメントを指し、後期に行う基礎看護学実習Ⅱにも関係する看護技術です。患者さんから得られた所見について療養生活に関連させたアセスメントが理解できるよう、積極的に臨むことを期待しています。基礎看護技術学Ⅳと関係が大きい科目であり、欠席した場合、双方の科目の履修内容の理解が非常に困難になります。体調・生活の管理に努めることも大切です。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 看護ヘルスアセスメント	稲葉佳江編	メヂカルフレンド社	3,500円+税
(参) 系統看護学講座 解剖生理学	坂井建雄 岡田隆夫	医学書院	3,800円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス・フィジカルアセスメント	看護フィジカルアセスメントのガイダンスを行う。看護技術としてのフィジカルアセスメントについて学ぶ。	神成
2	フィジカルアセスメント（1）生きていく機能：神経系	脳神経、感覚、高次脳機能のフィジカルアセスメントを学ぶ。事例に基づき、＜認知・知覚＞パターンのアセスメントを行う。	神成 升田 一條 佐藤 江口 大友 他
3	フィジカルアセスメント（2）生きている機能：栄養吸収・排泄機能	栄養状態のフィジカルアセスメントを学ぶ。 事例に基づき、＜栄養・代謝＞パターンのアセスメントを行う。	神成 升田 一條 平 佐藤 江口 大友 他
4		腹部の観察および排泄機能のフィジカルアセスメントを学ぶ。 を学ぶ。 事例に基づき、＜排泄＞パターンのアセスメントを行う。	
5	フィジカルアセスメント（3）生きている機能：呼吸・循環機能	呼吸・循環機能のフィジカルアセスメントを学ぶ。 事例に基づき、＜活動・運動＞パターンのアセスメントを行う。	神成 升田 一條 平 佐藤 江口 大友 他
6			
7			
8	フィジカルアセスメント（4）生きていく機能：運動調節・運動機能	運動調節・運動機能のフィジカルアセスメントを学ぶ。 事例に基づき、＜活動・運動＞パターンのアセスメントを行う。	神成 升田 一條 平 佐藤 江口 大友 他
9			
10	フィジカルアセスメント（5）:看護実践への活用①	事例に基づき、既習のフィジカルアセスメントを活用し、看護計画のうちの観察計画を検討する。	神成 升田 一條 江口 大友 他
11			
12			
13	フィジカルアセスメント（6）:看護実践への活用②	事例に基づき、立案した観察計画をフィジカルアセスメントを活用し実施する。模擬患者を観察し、必要な所見を得る方法を学ぶ。	神成 升田 一條 江口 大友 他
14			
15		フィジカルアセスメントで得られた所見の記録について学ぶ。	

36. 看護倫理（必修）

担　当 教　員	◎升田由美子、一條　明美、神成　陽子、 佐藤　貴子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	後　期	１単位	15コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

【履修目的】

看護を実践する場では、さまざまな形の問題や葛藤が生じる。看護者として適切な倫理的意思決定と行動をするために必要な基本的知識を学習する。

【到達目標】

一般目標：

看護実践に必要な看護倫理に関する基本的知識を理解するとともに、看護実践における倫理的問題やジレンマとその対処法について理解する。

行動目標：

1．看護実践に必要な看護倫理に関する基本的知識である看護倫理原則、看護者の倫理綱領について説明できる。
2．紙上事例、ＤＶＤ事例、抑制体験演習に基づき、看護実践における倫理的問題やジレンマとその対処法について倫理的に分析し、自分の考えを述べることができる。
3．チームカンファレンス（グループ学習）により、チームの一員としての看護実践を考え、発表することができる。

授業の形式

講義、グループ学習を行う。紙上事例、ＤＶＤ事例などを用いて看護実践における倫理的問題やジレンマについて検討する。抑制体験を行い、看護者・対象者両者の立場から抑制について考察する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

適宜、学習のまとめのレポートや授業中に行う個人ワーク・グループワークの内容の提出を求める。manaba による小テストを行う。

成績評価の基準等

出席状況：10点（１コマ欠席につき５点減点）
事前・事後学習などの提出物：10点
定期テスト・小テスト：60点　レポート：20点（ルーブルック評価による）
計100点のうち、60点以上をもって単位を認定する。

学生へのメッセージ

自分自身にある「倫理」観と向き合いながら、看護者としてあるいは看護学生として看護実践の基盤となる看護倫理について学びましょう。チームカンファレンスを通して、倫理的意思決定と看護実践について全員で考えましょう。授業での意見交換を重視しますので、積極的に参加しましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 看護学テキスト　NiCE 看護倫理　改訂第３版	小西恵美子編	南　江　堂	2,300円+税
(参) 看護実践の倫理 第３版	サラＴ.フライ他	日本看護協会出版会	2,200円+税
(参) 医療倫理のＡＢＣ 第４版	井部俊子監修 服部健司他編	メヂカルフレンド社	2,900円+税

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	ガイダンス・看護倫理とは	講義の進め方についてガイダンスを行う。看護倫理の定義、倫理原則について学ぶ。	升田
2	看護倫理原則	ビーチャムとチルドレスによる倫理原則、フライによる倫理原則について学ぶ。	〃
3	看護者の倫理綱領	日本看護協会（2003）が示す「看護者の倫理綱領」について学ぶ。	〃
4	看護学生の倫理行動規準	「看護学生の倫理行動規準」について学び、看護学生に求められる倫理的態度を理解する。	〃
5	看護実践と看護倫理	看護実践における倫理的問題について事例を通して検討する。 紙上事例：看護学生Ｐさん	〃
6	事例検討 抑制（身体拘束）	抑制に関する事例を通して、倫理的態度についてグループで検討する。	〃
7	〃	検討した内容を共有する。	〃
8	〃	演習：抑制体験	升田 一條 神成 佐藤
9	〃	〃	〃
10	〃	ＤＶＤ事例について、個人ワーク後にグループで検討する。	〃
11	〃	〃	〃
12	〃	ＤＶＤ事例について、グループで検討する。	〃
13	〃	抑制に関する事例を通して、倫理的課題についてグループで検討･発表する。	升田
14	〃	検討結果を発表し、事例に関しての意見交換を行う。	〃
15	まとめ	看護実践と倫理についてこれまでの学習のまとめを行う。看護者に必要な倫理的態度について考える。	〃

37. 看護理論（必修）

担当教員	◎升田由美子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	後　期	１単位	15コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

【履修目的】
看護実践の科学的基盤となる看護理論とは何かを学び、看護実践に看護理論がどのように活用されるかを理解する。
【到達目標】
一般目標：
看護理論とは何かについて理解するとともに、代表的な看護理論について説明することができる。
行動目標：
１．看護理論の定義と歴史的変遷について理解し、看護理論のタイプを説明できる。
２．看護実践で用いられるニーズ論、危機理論について説明できる。
３．以下の看護理論について理解し、看護実践での活用について説明できる。
①ニーズ論（ヘンダーソン）
②哲学としての看護理論（ナイチンゲール、ウィーデンバック）
③ケアリング理論（ワトソン、ベナー他）
④セルフケア理論（オレム他）
⑤システム理論・適応モデル（ロイ、ジョンソン他）
⑥目標達成理論（キング）
⑦文化的ケア理論（レイニンガー）
⑧人間関係の看護理論（トラベルビー他）
⑨キャリア発達の理論（ベナー、シャイン他）
⑩ヘルスプロモーションモデル（ペンダー）
４．実習で行った自分自身の看護実践場面について看護理論に基づいて振り返り分析することができる。

授業の形式

講義およびグループワーク、学生によるプレゼンテーションを組み合わせて行う。上述した看護理論①～⑩は個人で行う事前学習と疑問の明確化、学生によるプレゼンテーションと質疑応答、評価を行う。
授業のまとめとして、各自の実習における看護実践場面を看護理論の視点から分析・考察するレポートを記述する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

看護理論①～⑩について各自が教科書・参考書を用いて事前学習（指定様式あり）を行う。プレゼンテーションを担当する看護理論に関しては課外の時間を活用してグループワークを行い、発表内容をまとめる。
課題レポートを作成し、期日までに提出する。

成績評価の基準等

定期テスト：40％
出席・小テスト20％
提出課題：30％
レポート：20％（ルーブルック評価による）
出席２／３以上かつ上記内容を100点満点で換算し、60点以上で単位を認定する。

学生へのメッセージ

これまでの学習内容を活用し、積極的に自己学習を行い、看護理論に関する理解を深めましょう。「看護理論」というと苦手意識をもつ人も多いです（私もそうでした）。しかし、看護理論を用いることは看護実践のパワーとなります。この科目を通して、あなた自身のお気に入りの看護理論を見つけてください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 看護学テキスト　NiCE 看護理論　改訂第３版	筒井真優美編	南　江　堂	2,200円+税
(教) 看護の基本となるもの	ヘンダーソン 湯槇ます他訳	日本看護協会出版会	1,100円+税
(参) 看護理論家の業績と理論評価	筒井真優美編	医学書院	6,400円+税
(参) フォーセット看護理論の分析と評価　新訂版	フォーセット 太田喜久子他訳	医学書院	4,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス・看護理論とは	講義の進め方についてガイダンスを行う。看護理論と看護実践の関係について学ぶ。	升田
2	看護理論の歴史的変遷	看護理論の歴史的変遷を概観し、看護理論の意義を理解する。看護理論のタイプについて学ぶ。	〃
3	危機理論	看護理論と関係の深い「危機理論」について学ぶ。	〃
4	ニーズ論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してヘンダーソンのニーズ論について学ぶ。	〃
5	哲学としての看護理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してナイチンゲールおよびウィーデンバックを中心として哲学としての看護理論について学ぶ。	〃
6	ケアリング理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してケアリングの概念およびケアリングに関する理論について学ぶ。	〃
7	セルフケア理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してセルフケア理論について学ぶ。	〃
8	システム理論・適応モデル	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してシステム理論・適応モデルについて学ぶ。	〃
9	目標達成理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通して目標達成理論について学ぶ。	〃
10	文化的ケア理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通して文化的ケア理論について学ぶ。	〃
11	人間関係の看護理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通して人間関係の看護理論について学ぶ。	〃
12	キャリア発達理論	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してキャリア発達理論について学ぶ。	〃
13	看護理論についてのまとめ	プレゼンテーションのまとめ、学習した看護理論の活用方法について理解する。	〃
14	ヘルスプロモーションモデル	学生のプレゼンテーションと質疑応答を通してヘルスプロモーションモデルについて学ぶ。	〃
15	看護理論と看護実践	自らの看護実践場面について、看護理論を用いて分析しレポートにまとめる	〃

38. 早期体験実習Ⅱ（必修）

担当教員	教育センター　地域医療教育部門構成員 ◎藤井　智子、山根由起子、塩川　幸子、 森　　浩美、巻島　　愛、野中　雅人、 牧野　志津、松田　奈緒美、水口和香子、 山口　希美、山田　希恵		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	前　期	１単位	１　週

履修目的・授業概要

各人の１年間の学習体験を踏まえ、将来地域医療の担い手となる者として、地域での人々の生活、地域の保健医療福祉サービスの状況等を知ることを目的とし、宗谷・留萌・遠紋・十勝・空知管内の保健医療福祉施設で学習を実施します。地域での人々の暮らし、生活の実態を知り、医療、保健、福祉の現場に直接触れることにより、将来看護職者になるための学習の意味を知ると共に、地域包括ケアシステム、社会における看護職者の立場、役割を理解していただき地域医療への興味と関心を高めていただきたいと思います。

到達目標

・人々の生活、暮らしの実態を知り、地域の特性や健康課題について考える。
・地域の保健医療福祉サービスの状況や特徴を理解する。
・看護師、保健師、助産師の活動を見学し、地域の看護職の役割を考える。

詳細は、実習要項に示す。

授業の形式

宗谷、留萌、遠紋、空知、十勝地域の保健・医療・福祉の関係施設で実施する。多様な施設の見学、地域の特性を知るための産業の見学、病院の見学および看護ケアの体験を行う。

学内プレ発表（半日）
臨地実習　４日
学内発表　１日（準備含む）
学習形態　グループ学習

＊実習は７～８月の間で１週間行う。実習地により時期が異なることに留意し実習地を選択すること。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

実習マニュアル等は熟読すること。

実習先が決まったら、その地域や、病院の特色について調べること、そこで何を学びたいか、実習目標を考え、そのためには何を体験したいか、具体的に考え、準備すること。

毎日の体験から何を学び何を期待されているのかまとめ、報告会に生かして下さい。

成績評価の基準等

報告書（約60％）、各実習施設の評価（約30％）を主な評価対象とし、さらに出席状況・報告会（約10％）を加え、総合的に評価します。

学生へのメッセージ

広域的、かつ医療過疎地域をあらゆる角度から体験して下さい。わたしたち看護職に何が求められているのか、地域の住民や地域医療の場で働くスタッフから学んで下さい。

39. 基礎看護学実習Ⅱ（必修）

担当教員	◎一條　明美、升田由美子、神成　陽子、佐藤　貴子、学内特別講師（看護部教育担当副部長、経営企画部師長）、田坂　久子、稲垣　邦子、江口　朋子（非常勤講師）、他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
２学年	後　期	２単位	81コマ

履修目的・授業概要

1．入院患者を統合体として理解し、療養生活上の看護援助を行う。
2．看護実践に必要な基礎的看護技術を習得する。
3．対人関係を築くために必要なコミュニケーション能力を高める。

到達目標

1．受け持ち患者および家族との対人関係を築くことができる。
2．受け持ち患者の療養生活を身体・心理・社会的側面からとらえ、看護計画に沿って看護援助ができる。
3．看護チームメンバーの役割について理解する。
4．看護学生として、倫理行動規準に基づいた行動をとることができる。
5．看護実践、リフレクションを通して、自己の課題を明らかにする。

授業の形式

1．学内において実習ガイダンス（実習の概要・倫理行動規準・健康管理等の説明）を行う。
2．病棟実習は旭川医科大学病院で行う。入院患者を受け持ち、看護実践（情報収集、計画立案、実施・評価）を行う。
3．病棟実習期間中は実習後、学内で実習の振り返り、翌日の行動計画立案、記録の記載（グループ別・個別指導を含む）などを行う。
4．病棟での受け持ち実習終了後に学内で実習全体を振り返るリフレクションを行う。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

目標達成のためには、これまでに学習した内容をすべて統合させることが求められる。基礎看護技術学Ⅳで学習した看護過程の展開方法および受け持ち患者の看護実践に必要な知識と看護技術を復習する。事前に教員から提示される予習・復習内容（解剖生理学や疾患、検査、治療、実践することが多い看護技術等）を参考に個人・グループで学習する。また、全ての実習終了後は、実習中の指導内容、受け持ち患者の経過および看護実践を振り返り、アセスメント・全体像・看護計画・経過記録の修正（復習）を行い、記録の最終提出を行う。

成績評価の基準等

1．ガイダンス・病棟実習状況（出席を含む）・実習記録：85点（ルーブリック評価）
2．実習レポート：15点（ルーブリック評価）

単位認定には２／３以上の出席（ガイダンスを除く）を必要とする。総合点が60点以上であることで合格とする。実習記録の提出が遅滞した場合は評価対象とならない場合があるので、十分注意する。

学生へのメッセージ

これまでに学習した内容を活用し、積極的に実習に取り組んでください。実習でより良い学びを得るには日頃の学習が非常に重要です。また、体調管理も重要です。感染予防を十分に行い、生活習慣を整えて、実習に臨みましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1 2 3	実習ガイダンス	実習心得 実習概要説明 病院ガイダンス（看護部教育担当副部長） 健康管理に関して（保健管理センター）	一條 升田 ほか
4 5	〃	セキュリティポリシーガイダンス（経営企画部師長） 実習グループ別ガイダンス（実習担当教員）	一條 升田 神成 佐藤 ほか
6 7	〃	実習に必要な看護技術の練習 受け持ち患者への同意書説明の練習	〃
8～77	病棟実習および学内実習	臨地看護学実習実践編を参照	〃
78 79 80 81	リフレクション	受け持ち患者の援助を振り返る	〃

40. 地域包括ケア論Ⅱ（必修）

担当教員	◎塩川　幸子、升田由美子、山根由起子、服部ユカリ、児玉真利子、神成　陽子、苫米地真弓、巻島　　愛、松田奈緒美、牧野　志津、山口　希美、山田　咲恵、他看護学科教員、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	通　年	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

地域住民の健康増進のための課題・健康問題を明確にし、より良い地域包括ケアについて考える。

住民の健康課題に関するニーズを把握し、その解決に向けた方略を実施するための準備を行う。

到達目標

Ⅰ．地域住民の生活について１年次より引き続き検討し、健康上の課題や問題点に対し、能動的に必要とする資源やケアについて考えることができる。
　１．地域包括ケアに関連するサービス提供機関を列挙し説明できる。
　２．保健・医療・福祉制度、在宅医療や多職種連携を支える制度を説明できる。
　３．地域包括ケアにおける多機関、多職種連携・協働について説明できる。
　４．複数の対象者のニーズと、その地域のニーズを理解する。
Ⅱ．コミュニケーション能力を活用し、地域住民のニーズを把握することができる。

授業の形式

講義・グループワーク・プレゼンテーション
インタビュー（学外）
地域生活体験（学外）

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

実際に見て聞いて感じて考えて、必要な支援を学習する。グループでケア実践者や住民へのインタビューを計画する。発表に向けたグループワークによる準備、適宜事前・後の課題を課す。文献や資料を用いて実際に学んだことをポートフォリオにまとめる。

成績評価の基準等

出席状況　15％（１コマにつき１点）
参加姿勢　10％（報告連絡相談姿勢、参加希望提出後予定変更は減点）
試験　　30％
提出物　　25％（提出遅滞減点あり）
発表会　　20％（ルーブリック評価）
合計100点のうち60点をもって合格とする。

学生へのメッセージ

１年次での学習を生かし、引き続き地域住民の一員として地域包括ケアについて学び、活動しましょう。インタビューを通して地域の人々のニーズを把握し、どのような支援がその人らしく暮らし続けるために必要か分析しましょう。

担当地区について、１年生とも連携し、より主体的に地域活動に参画することを期待します。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) よくわかる地域包括ケア	隅田好美、藤井博志、黒田研二編	ミネルヴァ書房	2,500円＋税
(参) 地域包括ケアのすすめ	東京大学高齢社会総合研究機構(編)	東京大学出版会	3,500円＋税
(参) 地域包括ケアシステムのすすめ	宮崎徳子監修、豊島泰子、立石宏昭編	ミネルヴァ書房	2,600円＋税
(参) ナーシング・グラフィカ 在宅看護論（1）地域療養を支えるケア　第6版	臺有桂、石田千絵、山下留理子編	メディカ出版	3,400円＋税

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	ガイダンス	科目の目的と到達目標・スケジュール・地域活動等。担当地区について各自まとめて提出。１年生へのメッセージを添える。	升田 塩川
2	地域包括ケアにおける制度	保健・医療・福祉制度、在宅医療や多職種連携を支える制度など地域包括ケアにおける制度について学習する。	升田 非常勤
3			
4	担当地域の理解	１年生を対象に、担当地区および地域活動参加についてプレゼンテーションを行う。各自でビデオメッセージ作成	塩川 山根 各チーム 教員
5		地域を看護の視点で理解するための「地区把握」について学ぶ。	塩川
6	地域住民・担い手へのインタビュー	地域や生活上の課題を見出すインタビューの準備を行う（インタビューガイド作成）。	塩川 各チーム 教員
7		家庭訪問等によるインタビューを行い、地域の生活上の課題などを住民と共に発見する。	
8			
9	地域生活体験	地域活動に参加する。 活動からの学びを報告書にまとめる。	
10			
11	地域の課題分析	インタビューから得られた情報を分析し、地域の持つ課題を明らかにする。	
12		地域活動についてまとめ、報告の準備を行う。	
13	地域生活体験報告	地域活動やこれまでの学びを報告し、地域包括ケアに必要な機関、制度、役割を議論する。住民の多様なニーズに応えるために必要な医療や多職種連携を考える。 グループでまとめたものを発表する（写真を用いても良い）。 １年生と２年生の合同発表会。	塩川 山根 升田 教員全員
14			
15	実習での実践計画	地域包括ケアシステムによって解決可能な課題を見出す。 地域包括ケア論Ⅲ・実習に向けた準備を行う。	塩川 升田

41. 成人看護学Ⅰ（必修）

担当教員	◎阿部　修子、荒　ひとみ、苫米地　真弓、 山口　希美、松田　奈緒美、 國本　紅美子（学内特別講師）、 伊藤　　史（非常勤講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	前　期	２単位	30コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

履修の目的

・成人看護学の対象である成人期の特徴や健康問題を理解し、成人看護学の重要性と健康増進や疾病予防など成人保健活動における看護職の役割を学ぶ。

・成人各期、健康の諸段階、多様な健康障害の各側面から、成人を対象とした看護の特徴を理解する。

・成人における急性期、周手術期、慢性期、リハビリテーション期、終末期、緩和ケアなどの健康段階に応じた看護を学ぶ。慢性期において代表的な健康障害である慢性呼吸不全看護への看護を通して理解を深める。

到達目標

授業の開始時に資料で提示する。

授業の形式

板書、プリント資料および視聴覚機器などを用いた講義、グループワークなど

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

記載されているキーワードについて教科書参考書にて予習してくること。関係する既習学習は復習しておく。

講義終了後は、配布されたプリントを整理し履修主題についてまとめを行うこと。各履修主題達成目標についても考えをノートにまとめておくこと。

成績評価の基準等

定期試験（80%）、課題レポートなどの提出物および出席状況（20%）により評価する。成績は、評価による得点により、90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、60点以下を不可とする。

学生へのメッセージ

成人看護学の対象者は、学生の皆さんの時期から始まります。成人看護学Ⅰでは、対象者のさまざまな健康状態に必要な看護支援について考えていきます。「もし、自分がこのような健康状態であったらどう思うか」、また「看護職にどのような看護援助を求めるか」など、想像力を働かせて講義に参加することを期待します。なお、教科書は３年の成人看護学Ⅱ・成人看護学演習でも使います。また教科書「リハビリテーション看護（南江堂）」は、リハビリテーション看護学と同じものを使います。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護学成人看護学概論	林直子他編	南江堂	2,400円+税
(教) 急性期看護・クリティカルケア	明石恵子他編	メヂカルフレンド社	2,800円+税
(教) 周術期看護	明石恵子他編	メヂカルフレンド社	3,800円+税
(教) 成人看護学慢性期看護	鈴木久美他編	南江堂	3,300円+税
(教) リハビリテーション患者	酒井郁子他編	南江堂	2,700円+税
(教) E.がん患者の看護第３版	氏家幸子監修	廣川書店	2,200円+税
(教) 終末期看護：エンドオブライフケア	田村恵子他編	メヂカルフレンド社	3,000円+税
(教) 成人看護学　成人看護技術	野崎真奈美他編	南江堂	3,000円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	成人看護学のガイダンス 成人看護学の対象	授業の概要 成人看護学の対象について学ぶ	阿部
2	成人の発達と役割	成人各期の発達課題と成人の役割について学ぶ	〃
3	成人の生活と健康（1）	成人の生活と、生活が健康におよぼす影響について学ぶ	〃
4	成人の生活と健康（2）	〃	〃
5	成人の健康問題と看護（1）	成人の健康問題と看護について学ぶ	〃
6	成人の健康問題と看護（2）	〃	〃
7	成人保健の動向	人口構造や死亡の動向、成人期における疾病構造や受療行動の動向について学ぶ	荒
8	慢性疾患患者の看護（1）	慢性期にある患者の看護を学ぶ	〃
9	慢性疾患患者の看護（2）	〃	〃
10	慢性疾患患者の看護（3）	〃	〃
11	慢性疾患患者の看護（4）	〃	〃
12	急性期にある患者の看護（1）	急性期にある患者の看護について学ぶ	阿部
13	急性期にある患者の看護（2）	〃	〃
14	急性期にある患者の看護（3）	〃	〃
15	急性期にある患者の看護（4）	〃	〃

成人看護学Ⅰ　　第２学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	回復期およびリハビリテーション期の患者の看護（1）	回復期およびリハビリテーションが必要な患者の看護について学ぶ	荒
17	回復期およびリハビリテーション期の患者の看護（2）	〃	〃
18	回復期およびリハビリテーション期の患者の看護（3）	〃	〃
19	回復期およびリハビリテーション期の患者の看護（4）	〃	〃
20	慢性呼吸不全の患者の看護（1）	慢性呼吸不全の患者の看護について学ぶ（慢性呼吸不全の患者）	伊藤(非常勤講師)
21	慢性呼吸不全の患者の看護（2）	〃	〃
22	周手術期にある患者の看護（1）	周手術期にある患者の看護について学ぶ	阿部
23	周手術期にある患者の看護（2）	〃	〃
24	周手術期にある患者の看護（3）	〃	〃
25	周手術期にある患者の看護（4）	〃	〃
26	検査と看護	検査（主にＩＶＲ）と看護について学ぶ	山口
27	緩和ケアを受ける患者の看護(1)	緩和ケアを受ける患者の看護について学ぶ	國本(学内特別講師)
28	緩和ケアを受ける患者の看護(2)	〃	〃
29	終末期にある患者に対する看護（1）	終末期にある患者に対する看護について学ぶ	阿部
30	終末期にある患者に対する看護（2）	〃	〃

42. 高齢者看護学Ⅰ（必修）

担　当 教　員	◎服部ユカリ、牧野　志津、野中　雅人、 間瀬智子（学内特別講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	後　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

高齢者看護学の理念を学ぶ。高齢者の身体・生理的、心理・発達的、社会的特徴の理解をもとに、老年期に多い疾患の特徴と看護を学ぶ。

到達目標

1　高齢者への看護の基本的な考え方が理解できる。
2　高齢者の身体・生理的・心理・発達的特徴を説明できる。
3　老年期に多い疾患の特徴と看護について説明できる。

授業の形式

manaba での講義、分散登校＋ zoom

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

シラバスの内容について、教科書･参考書等で予習してください。
講義終了後は講義内容に該当する高齢者看護学の教科書だけでなく、他の科目の教科書や資料・参考書を読み、資料と合わせて主題について整理・統合してください。

成績評価の基準等

小テスト20％。レポート30％。試験50％
なお、試験が実施できない場合は小テスト50％とレポート50％で評価します。
また、レポートを提出しない場合は単位を認定しないことがありますので注意してください。
通信状態等の影響がある場合は、学生の不利益にならないよう対処します。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

講義の内容は必要な知識のごく一部でしかありません。
自ら考え、貪欲に学んでください。
質問を歓迎します。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教)系統看護学講座　老年看護学	北川公子編	医学書院	2,730円
(教)系統看護学講座　老年看護病態･疾病論	佐々木英忠編	医学書院	2,310円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	高齢者看護の理念	高齢者看護学の特徴と理念を考察する	服部
2	高齢者の特徴１	老年期の特徴の概要を学ぶ	服部
3	高齢者の特徴２	高齢者の身体的特徴と生活への影響を理解する	服部
4	高齢者の特徴３	感覚器の加齢変化と高齢者に多い眼科系疾患を理解する	間瀬
5	高齢者の特徴４	高齢者の循環器・呼吸器の生理的変化と生活への影響を理解する	服部
6	高齢者の特徴５	高齢者の消化器・泌尿器の生理的変化と生活への影響を理解する	服部
7	高齢者の特徴６	高齢者の精神・心理的変化と生活への影響を理解する	服部
8	高齢者の特徴７	老年期の発達課題を学ぶ	服部
9	高齢者看護の基本１	老年期症候群と看護	服部
10	高齢者看護の基本２	老年期症候群と看護	服部
11	高齢者看護の基本３	老年期症候群と看護	服部
12	高齢者看護の基本４	高齢者看護に活用できる理論を学ぶ	服部
13	高齢者看護の基本５	高齢者の看護とエンパワメントを学ぶ	服部
14	高齢者看護の基本６	高齢者に関する倫理的課題 高齢者の人権擁護と虐待防止を考察する	服部
15			服部

43. 小児看護学（必修）

担当教員	◎森　浩美、学内特別講師、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	後　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

本科目の目的は、小児看護学の基礎として、①小児と家族が生きる社会環境について理解する、②小児と家族の権利、健康や成長・発達に関する知識を修得する、③小児と家族の権利を擁護するために必要な倫理的態度を探求することである。小児と家族に関わる社会環境や法律・施策、統計データなどを概観する。その後、成長・発達段階別、症状別、状況別に小児の特徴と看護について学ぶ。さらに、学習の過程では、常に子どもと家族の権利について考え、看護師としての倫理的行動について理解する。

到達目標

1．小児と家族を取り巻く社会環境について説明できる。
2．小児と家族の権利、健康、成長・発達について説明できる。
3．小児看護の役割と責務について説明できる。
4．小児と家族を看護する者としての倫理的態度について説明できる。

授業の形式

これまでの学習を基盤にして、小児看護学の基礎について解説します。主に教科書、資料、パワーポイント、ＤＶＤを用いた講義形式で行い、随時、グループワークも取り入れる予定です。

また、状況によりオンライン授業も組み込まれる。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

教科書、参考書を元に、シラバスに記載されている内容について予習して臨んでください。講義終了後は教科書や配布資料を読み返し、復習してください。グループワークでは自己の意見を持って積極的に臨んでください。

成績評価の基準等

レポート30％、後期試験70％とし、合わせて60％以上を合格とします。試験は授業内容の理解、レポートは課題と記述内容の整合性や意見の論理性などを評価します。レポートの評価項目は課題配布時に提示します。また、全コマ数の２／３以上を出席しないと後期試験を受けることはできません。

学生へのメッセージ

「子どもと家族の権利」「子どもと家族にとっての最善」「小児看護の役割・責務」について、学生の皆さんと考えるような授業にしたいと考えております。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 小児看護学Ⅰ	岡田洋子他	医歯薬出版	2,730円
(教) 小児看護学Ⅱ	岡田洋子他	医歯薬出版	2,940円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	小児看護の理念	小児看護の対象を明確にし、小児看護の目的、役割・責務について説明できる。	森
2		子どもの権利について説明できる。	〃
3	小児看護に関連する法律・施策、保健統計	小児と家族に関連する法律・施策、保健統計について概説できる。	〃
4	小児の成長・発達と看護	小児の特性、成長・発達の原則、発育評価について説明できる。	〃
5		乳児期の小児の成長・発達と看護について説明できる。	〃
6			〃
7		幼児期の小児の成長・発達と看護について説明できる。	〃
8			〃
9		学童期・思春期の小児の成長・発達と看護について説明できる。	〃
10			〃
11			〃
12	症状別にみる小児と家族の看護	症状別に小児の看護について説明できる。 ①発熱　②嘔吐　③下痢 ④便秘　⑤痛み	〃
13			〃
14			〃
15	状況別にみる小児と家族の看護	外来を受診する小児と家族の看護について説明できる。	〃

小児看護学　　第２学年・後期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	状況別にみる小児と家族の看護	外来を受診する小児と家族の看護について説明できる。	森
17		入院している小児と家族の看護について説明できる。	〃
18			〃
19		周手術期の小児と家族の看護について説明できる。	〃
20			〃
21		在宅療養をする小児と家族の看護について説明できる。 （医療的ケアを必要とする小児を中心に）	森 学内特別講師 非常勤講師
22			
23			
24			
25			
26		終末期の小児と家族の看護について説明できる。	森
27		特別な支援を必要とする小児と家族の看護について説明できる。（児童虐待を中心に）	〃
28			〃
29			〃
30	小児看護の課題	小児看護にある課題について説明できる。	〃

44. 母性看護学（必修）〔看護学、母性、女性のライフステージと健康課題、周産期の看護、母子関係促進の看護〕

担当教員	◎山内まゆみ、巻島　愛、杉山　結理、 本村　勅子（学内特別講師）、 横浜　祐子（学内特別講師） 伊藤　幸子（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	後　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

母性看護学における基本的な知識を学習する。女性のライフステージにおける健康課題と看護、リプロダクティブヘルス／ライツの概念、周産期の女性と新生児の生理的・心理的・社会的特徴と看護、母子関係を促進する看護を理解する。

到達目標

1．女性の各ライフサイクルの健康課題を述べることができる。
2．母子保健のための主な法律と施策を述べることができる。
3．周産期の女性の健康のアセスメントと看護ケアについて述べることができる。
4．胎児発育、新生児の健康度のアセスメントと看護ケアについて述べることができる（ＮＩＣＵに入院する新生児を含む）。
5．新たな家族を迎える準備、必要な退院指導について述べることができる。
6．母乳育児を確立するために必要な支援の方法を述べることができる。
7．母子関係を促進する看護について述べることができる。

授業の形式

講義が中心となるが、積極的な参加・発言を期待する。大学のＢＣＰレベルにより分散登校の可能性、方法変更の可能性がある。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

シラバスや配布する資料から、学習内容について教科書・参考書で予習してくること。講義後は時間内に配布された資料の自分の理解度を確認し、教科書をまとめるなどの復習をしておくこと。これらのことを前提として進める。

成績評価の基準等

出席３分の２以上のものを評価の対象とする（遅刻・早退は２回で１回の欠席とする）。試験は中間試験と後期試験の２回行う。その平均点60点以上を合格とする。但し、中間試験後の追再試は行わない。授業時間中の態度、課題に対する取り組み姿勢は、参考点とする。

※大学のＢＣＰレベルにより成績評価方法変更の可能性がある。

学生へのメッセージ

この科目は次年度に行われる母性看護学演習および実習の看護過程の展開に必要な基礎知識として、位置づけられていることを踏まえ、主体的に予習・復習に取り組み、学習してほしい。また、近い将来の自分自身のこととして、リプロダクティブヘルス、母子保健をとらえること。将来、助産師課程の選択を考える学生は、助産基礎教育の基盤となるため確実な知識としてほしい。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 母性看護学〔１〕母性看護学概論　第14版	森　恵　美　他	医　学　書　院	2,500円＋税
(教) 母性看護学〔２〕母性看護学各論　第14版	森　恵　美　他	医　学　書　院	3,100円＋税
(参) 新生児学入門　第５版	仁志田博志	医　学　書　院	5,800円＋税
(参) 新訂版　写真でわかる母性看護技術 アドバンス［Web動画付］	平澤恵美子(監)	インターメディカ	3,200円＋税

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	オリエンテーション	母性看護学の位置づけ、母性の意味、用いられる概念と看護理論について学習する。	山内
2	女性のライフステージ・母性の発達	女性のライフステージ各期（思春期・成熟期・更年期）の特徴と健康課題について学習する。また、母性の発達について学習する。	山内
3	母子保健の動向、母子保健に関連する法律と施策	母子保健統計からその動向を学び、母子の健康を守るための法律と施策を学習する。	伊藤
4	妊婦の看護①	妊娠による身体的変化とその経時的変化ついて学習する。	伊藤
5	妊婦の看護②	妊婦の心理社会的特徴について学習する。	伊藤
6	妊婦の看護③	妊婦の健康と胎児の健康について、アセスメントの視点を学習する。	伊藤
7	妊婦の看護④	妊娠によって生じる日常生活の変化をアセスメントし、必要な看護を学習する。	伊藤
8	妊婦の看護⑤	妊婦に起こりやすいトラブルについて学習する。	伊藤
9	妊婦の看護⑥	妊婦に必要な健康教育について学習する。	杉山
10	産婦の看護①	分娩の機序と経過、産婦の身体的特徴について学ぶ。	巻島
11	産婦の看護②	分娩が母体と胎児に与える影響と胎児の健康について学ぶ。	巻島
12	産婦の看護③	分娩経過に伴う産婦の心理、家族の心理を学ぶ。	巻島
13	産婦の看護④	分娩経過に伴う看護目標と産婦のケアについて学ぶ。	巻島
14	産婦の看護⑤	分娩期に正常から異常へ逸脱した産婦の看護について学ぶ（帝王切開を含む）。	巻島
15	褥婦の看護①	褥婦の身体的変化の経時的特徴を学ぶ	山内

母性看護学　　第２学年・後期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	褥婦の看護②	産褥期の退行性変化である性器の復古（悪露の変化）、全身の回復について学び、褥婦のセルフケアへの支援について学ぶ。	山内
17	褥婦の看護③	産褥期の進行性変化（乳房の変化、母乳分泌の過程）と乳房のケア、母乳育児支援について学ぶ。	山内
18	褥婦の看護④	産褥期の心理的変化と母子相互作用、家族の役割調整について学ぶ。	山内
19	褥婦の看護⑤	産褥期に起こりやすいマイナートラブルについて学ぶ。	山内
20	褥婦の看護⑥	新しい家族を迎えるための、退院後の生活指導や育児指導の必要性とその視点について学ぶ。	山内
21	新生児の看護①	新生児の看護の特徴について学ぶ。	山内
22	新生児の看護②	新生児の生理的特徴とその経時的変化を理解する。	山内
23	新生児の看護③	新生児の健康をアセスメントする。	山内
24	新生児の看護④	新生児の適応を促進する看護を学ぶ。	山内
25	新生児の看護⑤	新生児におこりやすい異常と看護について学ぶ。	山内
26	新生児の看護⑥	適切で安全な養護がなされるための、退院後の生活に向けた新生児の看護について学ぶ。	山内
27	ハイリスク新生児の看護	ハイリスク新生児、ＮＩＣＵからＧＣＵの役割と看護について学ぶ	本村
28			
29	思春期の健康	思春期に起こりやすい健康問題、課題と支援について学ぶ。	横浜
30	更年期の健康	更年期に起こりやすい健康問題、課題と支援について学ぶ。	伊藤

45. 精神看護学Ⅰ（必修）

担当教員	◎長谷川博亮		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

精神看護の対象を発達的側面や社会的側面から理解し、精神障害の有無にかかわらず、全ての人の心の健康を支えるための看護について必要な基礎的知識と視点を学ぶ。

到達目標

1. 精神医療が成立するまでの歴史的経緯と法制度を理解し、その中で精神科患者の人権がどう捉えられてきたか説明することができる。
2. 精神看護の対象の特徴を発達的視点や社会的視点と関連させながら説明することができる。
3. 精神障害の影響について個人と社会的要因を関連させながら説明することができる。
4. 精神科における行動制限の特徴と人権を擁護するための法的制度、及び看護について理解することができる。
5. 精神の健康を多角的に捉え、精神看護における人間理解と自己理解の必要性について説明することができる。
6. 現代の精神医療の課題をふまえ、精神看護の可能性と役割について考えることができる。

※新型コロナの状況により、manabaによる自己学習になる場合がある。また分散登校になる場合もある。履修内容の変更の場合、修正シラバスを manaba に掲示する。

授業の形式

主として講義形式です。講義前に必ず資料を配布しますが、考える材料として活用して欲しいため、講義内容を“聴き”そして“感じ”最後に“自分で考え”それを資料に書き込んで学びを深めてください。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

参考図書を示していますので、講義内容の部分をあらかじめ読んでから参加すると良いでしょう。復習ができるように各履修主題を終えた後に課題用紙も配布しますが、強制はしません。

成績評価の基準等

①出席状況　出席２／３以上（６回以上の欠席は最終試験は受けることができない）
②最終試験　100％
※新型コロナの状況により、授業方法が変更になった場合、成績評価の基準を変更する。その場合、速やかに manaba に掲示する。

学生へのメッセージ

精神看護の人権擁護の第一歩は、主体的に学び対象者を理解しようとすることから始まります。決して大きいことはしなくてよいので、真摯に学んでください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 精神看護の基礎　精神看護学[1]	武井麻子、他	医学書院	2,376 円
(参) 精神看護の展開　精神看護学[2]	武井麻子、他	医学書院	2,376 円
(参) 精神看護学Ⅰ　精神保健学	吉松和哉、他	ヌーヴェルヒロカワ	2,376 円
(参) 精神看護学2　精神臨床看護学	川野雅資	ヌーヴェルヒロカワ	2,916 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	精神看護学のガイダンス	・授業の進め方・成績評価 ・精神看護とは何かを理解	長谷川
2	精神医療の歴史的変遷	・精神医療の成立 ・精神医療と社会・法制度	長谷川
3		・精神科患者の人権と自立 ・精神医療の課題と可能性	長谷川
4	精神の機能と健康	・精神の概念と機能 ・精神機能の障害	長谷川
5		・パーソナリティと防衛機制 ・精神障害と健康の視点	長谷川
6	生涯発達と精神の問題	・幼児期～学童期の発達と精神の問題 （親や友人関係の影響）	長谷川
7		・思春期・青年期の発達と精神の問題 （自己と向き合う不安）	長谷川
8		・成人期の発達と精神の問題 （社会関係の影響）	長谷川
9		・老年期の発達と精神の問題 （人生の統合と孤独）	長谷川
10	生活の場と精神保健	・学校・職場、地域における メンタルヘルス	長谷川
11	現代社会と精神の危機	・ストレス社会と健康問題 ・危機理論と精神保健	長谷川
12		・暴力と健康問題 ・児童虐待死から見えるもの	長谷川
13		・統計データから自殺問題を考察 ・自殺と精神疾患の関連性	長谷川
14	精神看護と人権擁護	・精神科における行動制限 ・精神保健福祉法の理解	長谷川
15	精神看護と自己理解	・精神科における感情の活用 ・プロセスレコードの概念	長谷川

46. 精神看護学Ⅱ（必修）

担当教員	◎長谷川博亮、石川　千恵		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	後　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

精神障害の基本的知識を踏まえながら、精神症状が対象者に及ぼす影響を精神機能、身体機能、生活機能、社会機能から多角的に捉え、対象者の発達段階を考慮した回復（リカバリー）と自立・自律を促進する看　護援助について学ぶ。

到達目標

１．精神障害の特徴を対象者への影響と関連させながら理解できる。
２．理論的背景を踏まえながら精神科治療について理解できる。
３．精神障害の影響を多角的に考えながら、対象者の精神状態の回復（リカバリー）や安定に必要な情報収集とアセスメントができる。
４．対象者の個別性を踏まえながら、自立・自律を考慮した看護援助の視点を身につける。
５．精神科治療における看護師の役割を説明できる。
６．精神科における医療安全管理（危機管理を含む）の留意点と看護について説明できる。
７．リエゾン看護について理解し、精神看護の多様性と可能性を深める。
８．精神障害と社会復帰について理解し、対象者を地域で支える“人”“場”“制度”について説明できる。

授業の形式

主に講義形式です。講義前に必ず資料を配布します。事例も多く提供していきたいと思います。事例についてはその講義の復習として位置づけてください。様々な文献を検討しながら自己学習して、皆さんのアセスメント能力を高めて欲しいと考えています。
※新型コロナの状況により、manabaによる自己学習になる場合がある。また分散登校になる場合もある。履修内容の変更の場合、修正シラバスを manaba に掲示する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

予習をして欲しい内容は、事前に皆さんにお知らせします。各自、図書館等で学習してください。復習については事例を提供します。

成績評価の基準等

①出席状況　出席２／３以上
（※６回以上欠席の場合は、最終試験が受けられません）
②最終試験　100％
※新型コロナの状況により、授業方法が変更になった場合、成績評価の基準を変更する。その場合、速やかに manaba に掲示する。

学生へのメッセージ

精神看護における現象は、視覚化やデータ化ができないことも多いため、我々は、様々な理論的背景を理解し、知識を得る必要があり　ます。おそらく膨大な知識量になるでしょう。“専門職になる＝対象者と向き合い続ける”ということはそう簡単なことではありません。積極的にコツコツと学んでください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 精神看護の基礎　精神看護学[1]	武井麻子、他	医学書院	2,376 円
(参) 精神看護の基礎　精神看護学[2]	武井麻子、他	医学書院	2,376 円
(参) 精神看護学Ⅰ　精神保健学	吉松和哉、他	ヌーヴェルヒロカワ	2,376 円
(参) 精神看護学Ⅱ　精神臨床看護学	川野雅資	ヌーヴェルヒロカワ	2,916 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	精神看護学Ⅱのガイダンス	・授業の進め方・成績評価 ・精神看護学Ⅱが目指すこと	長谷川
2 3	統合失調症と看護	・統合失調症の基本的理解 ・精神症状と生活への影響 ・薬物療法と副作用 ・ストレス脆弱性－対処技能モデル ・社会生活技能訓練の実際 ・統合失調症と自立支援 ・統合失調症と看護の留意点	長谷川
4 5	気分障害と看護	・気分障害の基本的理解 ・うつ病と身体の関係 ・不眠と看護 ・気分障害と自殺企図 ・薬物療法と副作用 ・新型うつ病 ・気分障害と看護の留意点	長谷川
6	不安障害と看護	・不安の定義 ・不安障害の基本的理解と治療 ・不安障害と看護の留意点	長谷川
7	身体表現性障害と看護	・身体表現性障害の基本的理解 ・疾病利得の理解 ・身体表現性障害と看護の留意点	長谷川
8	摂食障害と看護	・摂食障害の基本的理解 ・摂食障害が身体に及ぼす影響 ・摂食障害と看護の留意点	長谷川
9	物質関連障害と看護	・物質関連障害の基本的理解（アルコール依存と薬物依存） ・物質関連障害と看護の留意点	長谷川
10	パーソナリティ障害と看護	・パーソナリティ（ＰＤ）の概念 ・ＰＤの基本的理解 ・ＰＤと看護の留意点	長谷川
11	自閉症スペクトラム障害と看護	・自閉症スペクトラム障害の基本的理解 ・自閉症スペクトラム障害と看護の留意点	長谷川
12	精神科における安全医療管理と看護	・安全管理・危機管理の特徴 ・行動制限と留意点 ・人権擁護を踏まえた看護援助 ・精神科と医療チーム	石川
13	リエゾン看護	・リエゾン看護の概念 ・身体疾患と精神障害 ・リエゾンと医療チーム	石川
14	老年期と精神障害	・認知症と精神症状 ・せん妄の基本的理解	長谷川
15	精神障害と社会復帰	・精神障害と自立 ・長期入院患者と地域生活 ・リカバリーの概念 ・精神障害を支える地域の力	長谷川

必　修　科　目

【第３学年】

47. 臨床薬理学（必修）〔薬理作用、薬物動態、薬物治療、副作用、薬剤関連法規〕

担当教員	◎及川　賢輔、 ◎田﨑　嘉一（薬剤部／臨床研究支援センター）、 中馬　真幸（薬剤部）、 神山　直也（臨床研究支援センター）、 眞鍋　貴行（臨床研究支援センター）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

薬理学で学んだ薬理作用を確認しながら、薬が疾患の治療に用いられる理由を理解し、投与前の準備から投与後のアセスメントまでの薬の適正使用に関して、知っておかなければならない基本的事項、薬物相互作用など投薬・与薬場面における注意事項について学ぶ。さらに、副作用、有害事象などを含む薬物療法に関連したヒトの反応、薬物投与濃度計算、薬物管理、などについても学び、薬物療法中の看護援助に関連する知識を習得する。

到達目標

1．各症状・疾患に使用する薬剤を列挙できる。
2．代表的な薬剤の薬理作用を説明できる。
3．看護業務に必要な薬の知識を列挙できる。

授業の形式

ＰＣを用いた講義を行います。学年の半数は対面式授業、残りの半数は Zoom 授業です。出欠確認は、講義開始後30分で公開される manaba のアンケートで行います。休み時間を含む次の講義開始時間までに、各講義中に提供されるパスコードを入力して提出してください。自習用の小ドリルも提供します。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

下記指定の教科書は必ず購入してください。復習に重点を置く学習で良いのですが、履修内容について、あらかじめ教科書を読み、予習しておくことが望ましいです。講義を受けた後は、小テストで知識の定着に努めてください。

成績評価の基準等

「評価基準」：原則として定期試験の得点が60％以上で及第とします。ただし、15コマのうち10コマ以上の出席が必要です。追再試・レポート提出などの救済措置あり。

学生へのメッセージ

薬の臨床使用に関する臨床薬理学を学ぶことは、患者ケアにおいて最も重要な事項の一つです。臨床現場で最も多い医薬品関連インシデントを減らすことにもつながります。臨床薬理学は、薬理学を習得されることを前提としていますので、薬理学の復習をしながら理解を深めてください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち② 臨床薬理学	古川裕之(編)	メディカ出版	3,400 円
(参) 今日の治療薬2021 解説と便覧	浦部晶夫ら(編集)	南江堂	5,060 円
(参) 薬がみえる　vol.1～４	医療情報科学研究所(編)	メディックメディア	3,600～3,900 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	臨床薬理学と医薬品総論	臨床薬理学および薬物治療の基盤となる知識、法令を学ぶ。	田﨑
2	薬物動態とその変化	医薬品の体内動態とともに臓器障害時、加齢による変化を学ぶ。	中馬
3	看護業務に必要な薬の知識	薬剤の単位、看護計算、処方箋の読み方、添付文書を理解する。	〃
4	生活習慣病に用いる薬剤１	高血圧・狭心症・心筋梗塞・不整脈・心不全の治療薬と臨床薬理を学ぶ。	眞鍋
5	生活習慣病に用いる薬剤２	脂質異常症・糖尿病・脳血管障害の治療薬と臨床薬理を学ぶ。	〃
6	がん・痛みに使用する薬剤	抗がん薬の適応・作用機序と有害作用及びその対策を理解する。疼痛治療の原則とオピオイド鎮痛薬の特徴を理解する。	〃
7	脳・中枢神経系疾患の薬剤１	中枢神経系の働きとパーキンソン病、アルツハイマー型認知症に対する臨床薬理を学ぶ。	田﨑
8	脳・中枢神経系疾患の薬剤２	抗てんかん薬、精神疾患に対する薬剤（向精神薬）の臨床薬理を学ぶ。	〃
9	感染症に使用する薬剤	化学療法薬の作用機序、適応、消毒薬の適応と有害作用、予防接種について学ぶ。	中馬
10	救命救急時に使用する薬剤	救命救急の必要な急性期病態と、緊急時に使用する医薬品の特徴、使用上の注意点について学ぶ。	〃
11	呼吸器関連疾患で使用する薬剤	呼吸器関連疾患の薬物療法について理解する。また鎮咳薬・去痰薬についても学ぶ。	〃
12	アレルギー・免疫不全状態の患者に使用する薬	ステロイドなど抗アレルギー薬の適応症、作用機序、投与方法、副作用、及び膠原病に使用する薬剤について理解する。	及川
13	消化器系疾患に使用する薬	消化性潰瘍薬、制吐薬等の作用機序と使用法、有害反応と看護における注意点について学ぶ。	神山
14	その他の症状に対する薬剤１	代謝機能障害、内分泌障害、血液・造血器障害、腎機能障害、性・生殖機能障害について学ぶ。	〃
15	その他の症状に対する薬剤２	皮膚傷害、視覚障害、痛みに使用する薬、水分・電解質・輸液について学ぶ。	及川

48. 臨床病態治療学Ⅲ（必修）：〔臨床医学、腎泌尿器外科、脳外科、眼科、整形外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、皮膚科、放射線科、臨床検査医学、救急医学〕

担当教員	コーディネーター：◎及川　賢輔 担当臨床医学講座：腎泌尿器外科、脳外科、眼科、整形外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、皮膚科、放射線科、臨床検査医学、救急医学		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

本科目は、健康障害を有する人に対する、健康回復のための看護ケアに必要な知識として、「臨床診断・治療学」について学ぶ。臨床病態治療学Ⅲでは、腎・泌尿器外科的疾患、脳外科的疾患、整形外科的疾患、眼疾患、耳鼻咽喉科的疾患、皮膚疾患、さらに、臨床検査医学、放射線医学などの統合的分野、救急医学などの急性期医療についての講義を展開する。講義では、各疾患に関する病因・概念・病態・診断法・治療法について、現在の標準的な内容に加え、最新の知見に基づいた up-to-date な内容、大学病院で行われる最先端の診療についても教授する。

到達目標

1．主要な疾患の成り立ちが理解出来る。
2．診断法の意味、適応を理解出来、診断への道筋を理解出来る。
3．診断の結果をもとに治療法の選択肢を列挙出来それぞれの短所、長所を理解出来る。
4．病期や予後判定などの意義が理解出来る。
5．上記を統合し患者への援助を考えることが出来る。

授業の形式

学年の半数は対面式授業、残りの半数は Zoom 授業です。manaba の小テストの提出をもって出席とします。小テストは、授業開始時間より70分の間公開されますので、公開時間内に提出してください。履修の順番はシラバスと異なる場合がありますので、manaba に提示する講義日程を参照してください。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

manaba の臨床病態治療学Ⅲのコースより講義資料をダウンロードし、各自授業に備えてください。疑問点は manaba を通して質問するようにしてください。

成績評価の基準等

評価方法」：定期試験（100％）　大学にて実施の予定
「評価基準」：原則として定期試験の得点が60％以上で及第とします。ただし、30コマのうち20コマ以上の出席が必要です。追試・レポート提出などの救済措置あり。

学生へのメッセージ

専門基礎で得た解剖・生理・病理学の知識を復習・補強しつつ、将来皆さんが勤務するかもしれない病棟・診療現場の風を感じながら、臨床医学の神髄を学んでください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 看護のための臨床病態学 第４版	浅野嘉延編	南山堂	8,800 円
(参) 病気がみえる　vol.7、11～14	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア	3,200 ～ 3,700 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	尿路性器感染症	腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎、前立腺炎について学ぶ。	腎泌尿器外科
2	尿路結石	上部尿路結石、膀胱結石について学ぶ。	〃
3	排尿障害	排尿困難、尿失禁について学ぶ。	〃
4	尿路性器腫瘍	腎癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍について学ぶ。	〃
5	脳血管障害	脳出血、脳梗塞、くも膜下出血について学ぶ。	脳外科
6	頭部外傷	頭部外傷の診断、治療、予後について学ぶ。	〃
7	脳腫瘍	脳腫瘍の診断、治療、予後について学ぶ。	〃
8	前眼部病変	前眼部病変の診断、治療と看護ケアについて学ぶ。	眼科
9	外傷性疾患	骨折、脊髄損傷、膝靭帯損傷について学ぶ。	整形外科
10	変形性股関節症	変形性股関節症の病態と治療、人工関節について学ぶ。	〃
11	後眼部病変	後眼部病変の診断、治療と看護ケアについて学ぶ。	眼科
12	アトピー性皮膚炎	アトピー性皮膚炎の診断、治療について学ぶ。	皮膚科
13	皮膚に表現される感染症	皮膚に表現される感染症について学ぶ。	〃
14	皮膚悪性腫瘍	悪性黒色腫について学ぶ。	〃
15	耳疾患	難聴、めまいについても学ぶ。	耳鼻咽喉科・頭頸部外科

臨床病態治療学Ⅲ　　第３学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	咽頭・喉頭疾患	咽頭・喉頭における炎症、良性悪性腫瘍について学ぶ。	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
17	鼻疾患	鼻・副鼻腔における炎症、良性悪性腫瘍について学ぶ。	〃
18	放射線と医療	放射線の基礎を学ぶ。	放射線科
19	放射線診断学（胸部）	胸部の画像診断について学ぶ。	〃
20	放射線診断学（腹部）	腹部の画像診断について学ぶ。	〃
21	放射線治療学	放射線治療について学ぶ。	〃
22	検体の採取と輸血	検体の採取と保存の方法と輸血の検査について学ぶ。	臨床検査
23	生化学検査	血液生化学検査について学ぶ。	〃
24	一般検査と血液検査	一般検査（尿検査･便検査）、血液検査（血算）について学ぶ。	〃
25	生理機能検査（心電図･呼吸機能）	生理機能検査（心電図･呼吸機能検査）について学ぶ	〃
26	救急プライマリーケアとショック	救急プライマリーケアとショックについて学ぶ。	救急医学
27	救急蘇生と脳蘇生・脳死	救急蘇生と脳蘇生･脳死について学ぶ。	〃
28	重症救急病態と患者管理	重症救急病態と患者管理について学ぶ。	〃
29	災害医療・トリアージ	災害医療・トリアージについて学ぶ。	〃
30	骨粗鬆症	骨粗鬆症の病態と治療について学ぶ。	整形外科

49. 疫学（必修）〔疫学、疫学調査、メタアナリシス、スクリーニング、公衆衛生看護〕

担当教員	◎伊藤　俊弘（看護学科）、 西條　泰明（社会医学講座）、 吉岡　英治（社会医学講座）、 神田　浩路（社会医学講座）、 佐藤　遊洋（社会医学講座）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	通　年	１単位	30コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

【履修目的】

本講義は、看護師の活動や保健師による保健指導に加えて公衆衛生・産業保健活動に必要な疫学の基礎知識を学ぶ。

疫学は人間集団において健康とそれに関連する事象の頻度と分布を明らかにし、健康に関連する問題の有効な対策に役立て公衆衛生の発展を目指す分野である。保健、医療、看護等の分野のほか地域活動においても疫学の知識は必須となっている。

【到達目標】

以下に示した項目について習得することを目標とします。

1．疫学で用いられる調査方法、疫学指標を理解し説明できる。
2．各疾患の疫学についても概説できるようになる。
3．疫学に関する演習等から疫学の研究方法について理解する。

授業の形式

講義は複数の教員によるオムニバス方式で行う。各教員が教科書に沿った内容に従い、パワーポイントを中心に行う。学生主体、問題解決型教育を意識した授業とする。講義資料等を参考に予習を行っておくこと。講義の後半で疫学に関連した演習を行い、総合的な疫学の応用力を養う。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

講義資料はmanabaを通して配信する。シラバスに記載されている履修内容を教科書等にて予習してくること。講義終了後は、配信された資料や講義内容を整理し内容のまとめを行うこと。

成績評価の基準等

講義後の確認テスト（20%、出席点含む）、課題レポート（２回、10%）および定期テスト（70%）により評価する。出席は20回出席を０点とし、出席状況に応じて加算する。定期試験が60点以上であっても出席、確認テストおよび課題提出状況により総合評価で不可となる場合もあり得るので、課題提出と出席は怠らないこと。

出席が２／３に満たない者は原則として定期試験が受けられないので注意すること。

学生へのメッセージ

疫学手法は、保健師のみならず看護師や助産師においても重要な知識である。講義内容を確実に理解して、看護研究や卒業研究において研究論文を読み、自ら調査・研究を行えるように、疫学の勉強を続けるための基礎を確実に身に着けてもらいたい。講義はカリキュラムに示された項目に基づいて進めるので、あらかじめ教科書等を予習して受講することを期待する。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
標準保健師講座〈別巻２〉疫学・保健統計学	牧本清子他	医学書院	2,800円
国民衛生の動向　2020／2021	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会	2,450円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	疫学の講義の進め方について説明し、疫学の紹介をおこなう。疫学の歴史をとおして疫学の原理を学ぶ	伊藤
2	疾患の概念（1）	疫学の定義と分類（記述疫学と分析疫学）、曝露と疾病発生（危険因子、診断基準、疫学調査での診断の妥当性）を学ぶ	西條（社会）
3	疾患の概念（2）	因果関係（時間的関係、強固性と一致性、多要因原因説）を学ぶ	西條（社会）
4	疫学研究における倫理	疫学研究における倫理（疫学研究に関する倫理指針、法令等）を学ぶ	西條（社会）
5	疾病頻度の指標	指標の考え方（割合、率、比）、割合（有病率、累積罹患率、致命率、相対頻度）、率（罹患率、死亡率）を学ぶ	吉岡（社会）
6	曝露効果の指標（1）	相対危険（罹患率比・死亡率比、累積罹患比＜リスク比＞、オッズ比、ハザード比）を説明できる。	吉岡（社会）
7	曝露効果の指標（2）	寄与危険（寄与危険、寄与危険割合、人口＜集団＞寄与危険、人口＜集団＞寄与危険割合を説明できる。	吉岡（社会）
8	疫学調査法（1）	対象集団の選定（母集団と対象集団、標本抽出法、無作為抽出）を説明できる。調査方法①－記述疫学を説明できる。	伊藤
9	疫学調査法（2）	調査方法②－生態学的研究、横断研究を説明できる。	伊藤
10	疫学調査法（3）	調査方法③－コホート研究を説明できる	神田（社会）
11	疫学調査法（4）	調査方法④－症例対照研究を説明できる	神田（社会）
12	疫学調査法（5）	調査方法⑤－介入研究を説明できる	神田（社会）
13	疫学調査法（6）	調査方法⑥－メタアナリシス・システマチックレビューを説明できる	西條（社会）
14	誤差	疫学研究における誤差（偶然誤差と系統誤差、精度と妥当性）を説明できる	吉岡（社会）
15	交絡と偏り	交絡とその制御方法（交絡の概念、研究計画段階での交絡の制御方法、解析段階での交絡の制御方法）、偏り〈バイアス〉（選択の偏り、情報の偏り）を説明できる	吉岡（社会）

疫学　　第３学年・通年・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	因果関係	疫学における因果関係の立証、多要因原因説について説明できる。	西條（社会）
17	補講 アウトブレイク	補講　アウトブレイクについて学ぶ	伊藤（看護）
18・19	スクリーニング	スクリーニング　スクリーニングの目的と要件、評価（敏感度と感度、陽性的中度、偏り＜バイアス＞）を説明できる	伊藤（看護）
20	疾病登録	疾病登録の意義、がん登録、循環疾患の登録について説明できる。	伊藤（看護）
21	主な疾患の疫学（１）	母性関連疾患、小児疾患、がん、心血管疾患（高血圧を含む）、脳血管疾患、糖尿病の疫学について概説できる	佐藤（社会）
22・23	主な疾患の疫学（２）	難病、精神疾患、感染症、事故、学校保健、産業保健、環境の疫学について概説できる	佐藤（社会）
24	社会疫学・政策疫学	社会疫学（健康の社会的決定要因、健康格差）、政策疫学（政策の決定方針、リスクファクターと予防対策）について説明できる。	伊藤
25	臨床疫学	臨床疫学（ケア効果の評価、エビデンスに基づく公衆衛生看護）について概説できる。	西條（社会）
26・27	疫学演習１	疫学関連問題の演習１ 疫学指標の計算問題	伊藤（看護）
28・29	疫学演習２	疫学関連問題の演習２ 疫学指標の計算問題など	伊藤（看護）
30	疫学のまとめ		伊藤（看護）

50. 保健医療福祉システム論（必修）

担当教員	◎藤井　智子、児玉真利子、塩川　幸子、中澤　香織（非常勤）、石戸谷康治（非常勤）、多田　伝生（非常勤）、旭川市役所の職員（非常勤）、難病連（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

わが国の健康課題の変化とそれに対応した保健医療福祉制度の変遷、および制度を支える法体系、財政のしくみについて学びます。歴史を踏まえ、現在の人々の健康を支えるために保健、医療、福祉がどのようにかかわりあっているのかを概観し、看護職として求められていることは何か、果たすべき役割、について学びます。

到達目標

・保健医療福祉制度の歴史、法的基盤および財政のしくみについて理解する。
・社会福祉の概念をとらえ、障がい者、高齢者、労働者、子ども、女性が抱える問題について知り、社会福祉政策の現状と課題について理解する。
・多様化・複雑化する社会福祉問題への援助について看護の機能とあり方について考えることができる。

授業の形式

保健医療福祉の各専門分野で研究、活躍されている講師陣のオムニバス形式による講義

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

講義前には教科書の該当部分をよく読み臨んでください。配られた資料、プリントは講義終了後よく読んでください。

成績評価の基準等

・定期試験（各講師から出題）（85％）、出席状況（15％）により総合的に評価します。

学生へのメッセージ

人々の健康、生活を守るには医療だけではなく多様な分野の専門職と協力しながらしくみをつくっていかなければなりません。患者・住民に近い存在である看護職がどのような力を発揮すべきか考えてください。また、新聞・テレビ等のマスメディアに報道される保健医療福祉問題の話題に注意を向けてください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 健康支援と社会福障制度③　社会福祉	山崎泰彦他	メヂカルフレンド	2,000円
(教) 健康支援と社会福障制度④　関係法規	山本光昭	メヂカルフレンド	2,200円
(参) 地方自治体と高齢者福祉・教育福祉の政策課題	横山純一	同文館出版	2,808円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	保健医療福祉のめざすもの	・なぜ法律や制度を学ぶのか ・看護と福祉領域のつながり ・保健・福祉・医療の連携とシステムづくり	藤井
2	地域保健法と保健活動	健康づくり・疾病予防に関連する法規および施策の概観 ・母子保健対策	塩川
3		・健康づくり対策（健康日本21） ・感染症対策	〃
4		・難病・がん対策	〃
5	医療の質と医療経済の構造	・国民医療費の推移と財源構成 ・診療報酬の仕組み ・医療保険料の仕組み ・患者負担	藤井
6		・少子高齢化の進展 ・高齢者介護費の推移と財源構成 ・介護報酬の仕組み ・介護保険料の仕組み、利用者負担	〃
7		・国民負担率とその国際比較 ・医療提供体制 ・地域医療と自治体立病院	〃
8		・今後の社会保障の課題と展望	〃
9	看護と経済	・診療報酬制度を看護を評価する指標としての観点から理解する	児玉
10		・経済的側面から看護実践を理解する	〃
11	社会福祉の基礎と応用	・社会福祉の概念・考え方 ・社会福祉の起源、歴史、範囲	中澤（非常勤）
12		・生活者の健康と福祉 ・生活および生活構造、生活の障害とは	〃
13		〃	〃
14		社会福祉の援助とソーシャルワーク ・ソーシャルワークの体系 ・ソーシャルワークの方法	〃
15		〃	〃

保健医療福祉システム論　　第３学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	社会福祉の基礎と応用	社会福祉の援助とソーシャルワーク ・ソーシャルワークの体系 ・ソーシャルワークの方法	中澤 (非常勤)
17	社会保障・社会福祉の法規	・社会福祉諸法における基本理念と施策体系	〃
18		・障がいを持った人々への医療保障、生活ニーズを保障する制度を理解する	〃
19		・介護保障の制度をライフステージごとに理解する	〃
20		・精神に障害をもった人々の医療・生活を保障する制度を理解する	〃
21	社会福祉制度の概要と活動の実際	①年金保険・公的扶助 福祉事務所、ケースワーカーの役割	市役所職員 (非常勤)
22		〃	〃
23		②障がい者福祉制度 市町村福祉部門の役割	〃
24		〃	〃
25		患者の立場から 患者会の活動と役割	難病連 (非常勤)
26		〃	〃
27		③成年後見制度と地域福祉	石戸谷 (非常勤)
28		〃	〃
29		⑤児童家庭福祉 児童相談所、児童福祉司の役割	多田 (非常勤)
30		〃	〃

51. 地域包括ケア論Ⅲ（必修）

担当教員	◎升田由美子、山根由起子、服部ユカリ、塩川　幸子、神成　陽子、苫米地真弓、巻島　　愛、山口　希美、松田奈緒美、牧野　志津、山田　咲恵、他看護学科教員全員、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	通　年	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

これまでに学習した地域住民の生活と健康、健康課題を踏まえて、具体的に地域包括ケアの実践を行う準備を行い、地域包括ケア論実習で実践につなげる。また、実践した活動の評価を行い、より良い地域包括ケアについて検討する。

上級学年として、これまでの地域活動について１・２年生に伝達する。

到達目標

1．地域と地域住民の生活や健康に関する課題を明確にする
2．課題解決に向けた具体的な方略を検討する
3．実際の活動のための計画を立案し、実践（地域包括ケア実習）につなげる
4．実施した内容の評価を行い、今後の地域活動について検討する

授業の形式

オンラインでの講義とグループワーク、地域活動参加、活動報告を行う。感染予防対策を取りながら、可能な範囲での対面講義や地域活動参加を行う。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

１・２年次の地域包括ケア論の活動を活かし、地域住民の特徴（健康状態・発達段階）等を踏まえたアセスメントやかかわりができるように準備する。

成績評価の基準等

・出席と小テスト：30％
・講義終了後の提出物（manaba で提出）：40％
・地域活動参加後の報告書：15％
・グループ発表：15％

学生へのメッセージ

１・２年次での地域活動を活かし、看護大学生、そして将来の医療者として地域包括ケアに主体的に取り組み、これからの地域の健康づくりに貢献しましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) よくわかる地域包括ケア	隅田好美、藤井博志、黒田研二編	ミネルヴァ書房	2,500円+税
(参) 地域包括ケアのすすめ	東京大学高齢社会総合研究機構(編)	東京大学出版会	3,500円+税
(参) 地域包括ケアシステムのすすめ	宮崎徳子監修、豊島泰子、立石宏昭編	ミネルヴァ書房	2,600円+税
(参) ナーシング・グラフィカ在宅看護論（1）地域療養を支えるケア　第6版	臺有桂、石田千絵、山下留理子編	メディカ出版	3,400円+税

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	ガイダンス	地域包括ケア論Ⅲの内容と進め方「新しい生活様式」及び旭川医科大学ＢＣＰレベルに対応した地域活動参加計画	升田他
2	各地区の健康課題	各地区での健康課題・ニーズに即したケア実践について検討する。	〃
3	〃	〃	〃
4	地域活動参加	各担当地区の地域活動に参加する。（日程は地域活動の実施状況により変更する）	各地区担当教員
5	〃	地域活動について事前に内容を把握し、学生の役割を明確にして参加する。	〃
6	〃	地域活動終了時には「地域活動報告書」を作成し、活動の評価を行う。	〃
7	「げんき種」実施内容検討	地域包括ケア実習「げんき種」での実践内容の検討	各地区担当教員
8	〃	〃	〃
9	〃	〃	〃
10	実習での実践プログラム	地域包括ケア実習「げんき種」での実施内容を具体化し、プログラムを作成する	各地区担当教員
11	〃	役割分担・実施準備	〃
12	〃	〃	〃
13	「げんき種」実施報告	各地区の「げんき種」実施報告会を通して活動を全体で共有する。大講義室での報告をＺＯＯＭで中継する	全員
14	〃	〃	〃
15	〃	〃	〃

52. 地域包括ケア実習（必修）

担当教員	◎升田由美子、山根由起子、服部ユカリ、塩川　幸子、神成　陽子、苫米地真弓、巻島　　愛、山口　希美、松田奈緒美、牧野　志津、山田　咲恵、他看護学科教員全員、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	１単位	45コマ

履修目的・授業概要

地域包括ケア論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを通して立案した、地域住民の健康課題・問題解決のための対策・改善案などを、看護学生として担当地区の住民と協働して実行する。１・２年次から継続している学習を基盤とし、将来の医療人として「発展」するため能動的活動をより具体的に実施する段階である。さらに学習成果を地域住民に報告し、学生とともに住民自身が地域医療を担う人材であるという意識を共有する。

内容としては、1. 健康セミナー「げんき種」の実施、2. 地域包括ケアに関連した活動を行う専門職へのインタビュー、3. 地域包括ケアセンターでの見学実習を行い、これからの地域包括ケアを統合的に理解するとともに実践能力習得を目的とする。

到達目標

1．地域包括ケア論Ⅱ、地域包括ケア論Ⅲで抽出した対象者・対象者の生活する場の持つ問題（課題）について、実態の確認や問題解決・課題達成に向けて具体的な活動を行う。
2．各グループで実践した内容について発表会を通して共有する。
3．地域住民とともに学修の成果を共有し、今後の課題・目標について検討できる。

授業の形式

1．旭川医科大学の近隣地区である緑が丘・西神楽・神楽の３地区に分かれ、各地区で課題となっている事柄に対する課題解決に向けての取り組み参画並びに企画の実施
2．地域で活動する専門職へのインタビュー
3．地域包括ケアセンターや老人福祉センター等での見学実習

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

これまでの地域包括ケア論や他科目の学びを活用し、地域住民の特徴（健康状態・発達段階）等を踏まえたアセスメントやかかわりができるように準備する。

成績評価の基準等

実習目標の到達度（70%）
学習態度（10%）
実習記録およびレポート（20%）
ルーブリック評価によって上記評価対象を総合的に評定する。

学生へのメッセージ

１・２年次での地域活動の活かし、看護大学生、そして将来の医療者として地域包括ケアに主体的に取り組み、これからの地域の健康づくりに貢献しましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) よくわかる地域包括ケア	隅田好美、藤井博志、黒田研二編	ミネルヴァ書房	2,500円+税
(参) 地域包括ケアのすすめ	東京大学高齢社会総合研究機構(編)	東京大学出版会	3,500円+税
(参) 地域包括ケアシステムのすすめ	宮崎徳子監修、豊島泰子、立石宏昭編	ミネルヴァ書房	2,600円+税
(参) ナーシング・グラフィカ 在宅看護論（1）地域療養を支えるケア　第6版	臺有桂、石田千絵、山下留理子編	メディカ出版	3,400円+税

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1－3	ガイダンス	地域包括ケア実習の内容と進め方 「新しい生活様式」及び旭川医科大学ＢＣＰレベルに対応した実習計画の確認	升田他
4・5	「げんき種」準備	地域包括ケア論Ⅲで検討した「げんき種」実施内容を引き続き検討し、具体的な役割分担などを決定する。	〃
6－8	〃	〃	〃
9－14 15－20 21－26 27－32	地域での実践	以下の１～３について、各地区ごとに取り組む １．健康セミナー「げんき種」 ①「げんき種」実施の準備 ②「げんき種」実施 ③地域の担当者と「げんき種」実施後の評価 ２．地域で活動する専門職への聞き取り調査 ３．地域包括ケアセンター等、地域包括ケアの実践の見学・活動参加	各地区担当教員
33－38	地域での実践のまとめ	各地区の「げんき種」実施報告会の準備を行う。	各地区担当教員
	〃	〃	〃
39－45	地域活動参加	各地区の地域活動に参加する。 ※日程は地域活動の実施状況による	各地区担当教員

53. 成人看護学Ⅱ（必修）

担　当 教　員	◎苫米地真弓、阿部　修子、荒　ひとみ、 山口　希美、松田奈緒美、学内特別講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	２単位	30時間

履修目的・授業概要

成人看護学Ⅰで学習した成人期にある対象者の特徴と関連する看護理論を踏まえて、様々な健康問題を有する患者および家族を、身体的、心理・社会的側面から多角的にとらえ、看護を展開するために必要な知識および援助方法について学習する。

到達目標

1. 健康問題（疾患）を有する患者および家族の特徴を身体的、心理・社会的側面から説明できる。
2. 患者が抱える健康問題（疾患）の特徴や誘因、症状について説明できる。
3. 健康問題（疾患）を有する患者に実施される検査および治療について説明できる。
4. 健康問題（疾患）を有する患者および家族のアセスメントの視点と看護援助について説明できる。

授業の形式

講義は、教科書および配布資料に基づいて進め、必要時、視聴覚機器などを活用した講義形式で行う。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

事前に履修主題に関係する教科書の範囲を一読しておくことが望ましいでしょう。予習・復習を兼ねて、講義範囲に関連する課題・レポートの提出を求めることがあります。提出された課題・レポートの内容が不十分だった場合は、再提出してもらうことがあります。講義終了後は、教科書や配付資料をもとに、計画的に復習しておくことが望ましいでしょう。

成績評価の基準等

定期試験（85％）、課題･レポート（15％）の得点の合計で評価する。定期試験の出題範囲は、講義内容（教科書、配付資料）と課題･レポートの内容を含む。なお、定期試験の受験資格は、講義時間数の３分の２以上の出席とする。成績は、各評価による合計得点により、90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、60点未満を不可とする。

学生へのメッセージ

後期から開始される臨地看護学実習に向けて、主体的かつ積極的な講義への参加姿勢を期待します。なお、教科書は２年生で購入した成人看護学の教科書を使用します。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 慢性期看護(改訂第３版)	鈴木久美他編	南　江　堂	3,300円+税
(教) リハビリテーション看護(改訂第２版)	酒井郁子他編	南　江　堂	2,400円+税
(教) 急性期看護：クリティカルケア	明石惠子他編	メヂカルフレンド社	2,800円+税
(教) 周術期看護	明石惠子他編	メヂカルフレンド社	3,800円+税
(教) E. がん患者の看護(第３版)	氏家幸子監修	廣川書店	2,200円+税
(教) 成人看護技術(改訂第２版)	野崎真奈美他編	南　江　堂	3,000円+税

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	脳・神経疾患患者の看護（1）	脳・神経疾患患者の看護について学ぶ	苫米地
2	脳・神経疾患患者の看護（2）	〃	〃
3	脳・神経疾患患者の看護（3）	〃	〃
4	脳・神経疾患患者の看護（4）	〃	〃
5	脳・神経疾患患者の看護（5）	〃	〃
6	呼吸器疾患患者の看護（1）	呼吸器疾患患者の看護について学ぶ	山口
7	呼吸器疾患患者の看護（2）	〃	〃
8	呼吸器疾患患者の看護（3）	〃	〃
9	呼吸器疾患患者の看護（4）	〃	〃
10	腎・泌尿器疾患患者の看護（1）	腎・泌尿器疾患患者の看護について学ぶ	阿部
11	腎・泌尿器疾患患者の看護（2）	〃	〃
12	腎・泌尿器疾患患者の看護（3）	〃	〃
13	腎・泌尿器疾患患者の看護（4）	〃	〃
14	血液・造血器疾患患者の看護(1)	血液・造血器疾患患者の看護について学ぶ	松田
15	血液・造血器疾患患者の看護(2)	〃	〃

成人看護学Ⅱ　　第３学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	内分泌・代謝疾患患者の看護（1）	内分泌・代謝疾患患者の看護について学ぶ	阿部
17	内分泌・代謝疾患患者の看護（2）	〃	〃
18	内分泌・代謝疾患患者の看護（3）	〃	〃
19	消化器疾患患者の看護（1）	消化器疾患患者の看護について学ぶ	苫米地
20	消化器疾患患者の看護（2）	〃	〃
21	消化器疾患患者の看護（3）	〃	〃
22	消化器疾患患者の看護（4）	〃	〃
23	消化器疾患患者の看護（5）	〃	〃
24	循環器疾患患者の看護（1）	循環器疾患患者の看護について学ぶ	荒
25	循環器疾患患者の看護（2）	〃	〃
26	循環器疾患患者の看護（3）	〃	〃
27	循環器疾患患者の看護（4）	〃	〃
28	循環器疾患患者の看護（5）	〃	〃
29	整形外科疾患患者の看護（1）	整形外科疾患患者の看護について学ぶ	学内特別講師
30	整形外科疾患患者の看護（2）	〃	〃

54. 高齢者看護学Ⅱ（必修）

担当教員	◎服部ユカリ、佐藤　伸之、牧野　志津、 野中　雅人、 植山さゆり（学内特別講師）、 内島みのり（非常勤講師）、 中田　真依（非常勤講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

高齢者の個別性に応じた老年看護の展開ができるよう、基本となる知識の修得と感性を涵養する。また、健康障害・生活障害が家族や地域とどのような関係があるかについても理解し、高齢者を支える社会制度の現状とあり方について学ぶ。

到達目標

1　老年期に多い疾患・徴候の予防と看護について説明できる。
2　認知症の基礎知識を学び、患者や家族の看護について説明できる。
3　高齢者看護の倫理について説明できる。
4　高齢者に関連する社会資源について説明できる。

授業の形式

manaba での講義、分散登校＋ zoom

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

シラバスの内容について、教科書･参考書等で予習してください。
講義終了後は講義内容に該当する高齢者看護学の教科書だけでなく、他の科目の教科書や資料・参考書を読み、資料と合わせて主題について整理・統合してください。

成績評価の基準等

小テスト20％。レポート30％。試験50％
なお、試験が実施できない場合は小テスト50％とレポート50％で評価します。
また、レポートを提出しない場合は単位を認定しないことがありますので注意してください。
通信状態等の影響がある場合は、学生の不利益にならないよう対処します。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

講義の内容は必要な知識のごく一部でしかありません。
自ら考え、貪欲に学んでください。
質問を歓迎します。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
高齢者看護学Ⅰと同じ			

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	高齢者に多い疾患と看護１	新型コロナウイルス感染症と情報リテラシーについて考える、高齢者の肺炎と看護について学ぶ	服部
2	高齢者に多い疾患と看護２	高齢者のヘルスアセスメント、高齢者に多い脳血管疾患とその看護について学ぶ	服部
3	高齢者に多い疾患と看護３	高齢者に多い循環器疾患について学ぶ	佐藤
4	高齢者に多い疾患と看護４	高齢者に多い骨折と予防・看護について学ぶ	中田
5	高齢者の検査・治療と看護１	高齢者に対する検査と看護について学ぶ	野中
6	高齢者の検査・治療と看護２	高齢者の薬物療法と看護について学ぶ	野中
7	高齢者の検査・治療と看護３	高齢者の手術療法と看護の実際について学ぶ	植山
8	高齢者に多い疾患と看護４	高齢者のせん妄とうつの看護について学ぶ	中田
9	高齢者に多い疾患と看護５	認知症の原因疾患と症状について学ぶ	服部
10	高齢者に多い疾患と看護６	認知症の看護について学ぶ	服部
11	高齢者に多い疾患と看護７		服部
12	高齢者に多い疾患と看護８	認知症高齢者の家族への看護について学ぶ	服部
13	介護予防	介護予防・非薬物療法（音楽療法・フォトボイス等）について学ぶ	内島
14	高齢者を支える制度１	介護保険制度を理解しサービス利用に関する看護職の役割と多職種連携について学ぶ	牧野
15	高齢者を支える制度２	高齢者の権利擁護とエンドオブライフケアについて学ぶ	牧野

55. 実践看護技術学Ⅰ（成人）（必修）

担当教員	◎荒　ひとみ、阿部　修子、苫米地真弓、山口　希美、松田奈緒美、野中　雅人、日野岡蘭子（学内特別講師）、田中　理佳（学内特別講師）、眞鍋　真実（非常勤講師）、宗万　孝次（学内特別講師）その他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	１単位	30コマ

履修目的・授業概要
健康障害を生じている成人期の患者に必要な看護援助を習得する。

到達目標
1．呼吸機能障害患者に治療・検査・処置に関連した看護援助を行うことができる。
2．水分出納管理が必要な患者に看護援助を行うことができる。
3．糖尿病を持つ患者に必要な検査・処置に関連した看護援助を行うことができる。
4．糖尿病患者の看護の実際を学ぶ。
5．放射線療法を受ける患者の看護の実際を学ぶ。
6．化学療法を受ける患者の看護の実際を学ぶ。
7．医療器具の安全な取り扱いの知識を学ぶ。
8．ストーマを造設した患者の看護の実際を学ぶ。
9．外来における看護を学ぶ。
10. 緊急対応が必要な患者に看護援助を行うことができる。
11. 手術を受ける患者に必要な検査・処置に関連した看護援助を行うことができる。
12. 成人期にある患者の初期計画を立案し、その評価とカンファレンスを行うことができる。

授業の形式
模擬患者やシミュレーターを活用しての学内演習を行う。看護過程の展開に関してはグループワークやプレゼンテーション形式で行う。学内特別講師が担当の時は講義を受ける。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量
演習においては、事例に関係する既存学習と既存技術（必要なフィジカルアセスメントの技術、バイタルサインの測定、検査の目的、使用薬剤の作用・副作用等々）の復習をすること。また配布資料にある事前学習の課題は必ず行うこと。

成績評価の基準等
成績は、定期試験（80%）、レポート課題（20%）により評価する。また定期試験の受験資格は、講義時間数の３分の２以上の出欠とする。成績評価は90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、59点以下を不可とする。

学生へのメッセージ
演習を行うためには、事前学習と十分な準備を必要とします。グループ演習ですので、準備ができていないメンバーがいると演習の課題が終了できません。積極的な参加を期待します。学内特別講師の講義は臨床での最新の看護です。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護学　成人看護技術（改訂第２版）	野崎真奈美他編	南　江　堂	3,000円＋税
(参) 臨床看護技術パーフェクトナビ	猪　俣　克　子	学　　研	4,410円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	呼吸機能に障害のある患者に対する看護援助技術	呼吸機能に障害のある患者を設定、肺・胸郭のフィジカルアセスメント、呼吸状態の観察、酸素吸入、パルスオキシメーター測定、ネブライザー吸入、筋肉内注射、ＰＰＥ（個人防護具）の装着、口・鼻腔内吸引などの演習を行う。	阿部 荒 苫米地 山口 松田
2			
3			
4	水分出納管理が必要な患者に対する看護援助技術	水分出納の管理が必要な患者を設定、静脈確保、静脈内注射、輸液の管理（輸液速度の調節）や輸液ポンプ、シリンジポンプ、膀胱留置カテーテルの取り扱いの演習と尿及び浮腫の観察を行う。	阿部 荒 苫米地 山口 松田
5			
6			
7	糖尿病を持つ患者に対する看護援助技術	糖尿病患者を設定、糖尿病患者に必要な簡易血糖測定、インスリン専用シリンジを使用した皮下注射、インスリン専用注入器を用いた自己注射とその指導について演習を行う。	阿部 荒 苫米地 山口 松田
8			
9			
10	放射線療法と看護（1）	放射線療法を受ける患者の看護の実際（臓器別のアセスメントと看護実践）について学ぶ。	野中
11	糖尿病患者の看護（1）	糖尿病患者の看護の実際について学ぶ。	未定 （学内特別講師）
12	糖尿病患者の看護（2）		
13	放射線療法と看護（2）	放射線療法を受ける患者の看護の実際（放射線療法における看護）について学ぶ。	野中
14	化学療法と看護（1）	化学療法を受ける患者の看護の実際について学ぶ。	眞鍋 （学内特別講師）
15	化学療法と看護（1）		

実践看護技術学Ⅰ　　第３学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	医療機器の取り扱い（1）	医療現場（病棟・ＩＣＵ・手術室など）で使用されている医療機器を安全に取り扱うための知識を学ぶ	宗万（学内特別講師）
17	医療機器の取り扱い（2）		
18	事例展開（1）	事例展開のガイダンス	阿部
19	ストーマ造設患者の看護（1）	ストーマを造設した患者の看護の実際について学ぶ。	日野岡（学内特別講師）
20	ストーマ造設患者の看護（2）		
21	外来看護	外来における看護を学ぶ	田中（学内特別講師）
22	緊急時の看護援助技術	救急処置が必要な患者を設定、一次救命処置、ＡＥＤ、二次救命処置である気管内挿管時の看護援助や急変時の看護援助について演習を行う。	阿部 荒 苫米地 山口 松田
23			
24			
25	手術を受ける患者に対する看護援助技術	周術期にある患者を設定、手術前の呼吸器合併症予防のための看護援助（呼吸訓練・深部静脈血栓症予防など）、術前処置（剃毛など）、手術後の観察（麻酔からの覚醒の観察や呼吸音聴取など）や各種ドレーンの管理と観察の演習を行う。	阿部 荒 苫米地 山口 松田
26			
27			
28	事例展開（2）	初期計画の評価とカンファレンスを行う。	阿部 荒 苫米地 山口 松田
29			
30			

56. 実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）（必修）

担当教員	◎石川　千恵、長谷川博亮、山内まゆみ、森　浩美、巻島　愛、杉山　結理、矢田しずえ、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	２単位	60コマ

履修目的・授業概要

母性看護学、精神看護学、小児看護学における看護専門技術を習得する。加えて、看護師としての倫理的態度についても考察し、対象者の生活の質を保証するための看護実践能力を身につける。

母性看護学では、褥婦および新生児の事例を用いて看護過程を展開し、産後の母子に必要な看護計画を立案する。また、母性看護に特有な看護技術を修得する。

精神看護学では、対象者の成長・発達的視点を考えながら、精神症状に応じた看護過程を展開する。さらに、治療的側面から対象者の安全と人権に配慮した看護技術を習得する。

小児看護学では、成長・発達の視点から小児を理解し、科学的根拠に基づく症に看護技術を習得する。加えて、小児と家族を看護の対象とする看護師としての倫理的態度を養う。

到達目標

母性・精神・小児看護に必要な看護実践能力を統合し、多様な健康問題や発達段階にある対象者に、適切な看護技術を用いた支援の一部を実施できる。

母性１．褥婦、新生児の事例を用いた看護過程を展開し、産後の母子に必要な情報収集から看護計画までを記述できる。
母性２．シミュレーション学習等から、安全で倫理的態度を伴った母性看護技術を実践できる。
精神１．対象のリカバリーを考慮した看護の理解と技術を獲得する。
精神２．対象への安全管理の視点をもつと同時に倫理的配慮ができる。
小児１．成長発達の著しい子どもと家族の看護に必要な技術を修得する。
小児２．子どもと家族の権利を理解し倫理的態度を修得する。

授業の形式

講義・シミュレーション・グループワークを活用した学内演習を行う。加えて、学習支援システム manaba を活用した自宅自己学習やオンライン授業を取り入れる。大学のＢＣＰレベルにより分散登校の可能性、方法変更の可能性がある。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

各専門領域より、事前課題・復習課題が提示される。課題を適切に理解し、期日までに必ず行うこと。演習期間が長期にわたる。そのため、既習済みの看護技術は、自己学習時間を活用して積極的に自己練習・学習を行うこと。後期に予定する臨地実習で提供可能な看護技術の到達度にしておくこと。参考図書は提示していない。各領域の学びに有効な図書を選定して学習を強化すること。

成績評価の基準等

成績評価は、領域（母性・小児・精神看護学）ごとの出席２／３以上をもって評価対象とする。1. 評価項目:①出席点、②領域ごとの到達度、③合同演習の到達度　④学習への取り組み姿勢　2. 得点の換算割合：①出席点30％、②領域ごとの到達度（④学習への取り組み姿勢を含む）20％（３領域で60％）、③合同演習の到達度（④学習への取り組み姿勢を含む）10％で100％と換算し、合計60％以上を合格とする。
3. 到達度の評価方法は、領域、合同演習ごとに提示予定。
※大学のＢＣＰレベルにより成績評価方法変更の可能性がある。

学生へのメッセージ

後期臨地実習で必要な知識と技術が大半を占めます。この科目の中で目標達成を目指し、終了後も臨地実習で実践可能なレベルまで復習してください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) ナーシンググラフィカ 小児看護技術	中野綾美(編)	メディカ出版	3,520 円
(教) 系統看護学講座　専門分野Ⅱ 母性看護学２（第17版）	森恵美（著）	医学書院	3,300 円
(教) 新訂版　写真で分かる 母性看護技術アドバンス	平澤恵美子(監)	インターメディカ	3,520 円
(教) エビデンスに基づく精神科看護ケア関連図　改訂版	川野雅資	中央法規出版	3,520 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	産褥期のメンタルヘルスと家族成員の成長発達を促す援助	ガイダンス	担当全教員
2		合同演習個人 or グループワーク	担当全教員
3		合同演習個人 or グループワーク	担当全教員
4	小児看護の役割・責務	小児と家族を看護する看護師の役割・責務を理解する	森 矢田
5	対象理解と看護	小児の成長・発達を理解する	森 矢田
6		小児の事故防止について理解する	森 矢田
7	小児のフィジカルアセスメント技術	小児サイズのシミュレーターを使用し、フィジカルアセスメント技術を習得する	森 矢田
8			森 矢田
9			森 矢田
10	小児の急性期看護	周術期の小児と家族への看護を理解する	森 矢田
11			森 矢田
12		小児の救急救命技術を理解する	森 矢田
13	小児の生活援助技術	小児と家族に対する生活援助技術を理解する （主に食行動、排泄行動、清潔行動）	森 矢田
14			森 矢田
15			森 矢田

実践看護技術学Ⅱ　　第３学年・前期・60コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	健康問題をもつ小児と家族	健康問題をもつ小児と家族を理解し、看護を考察する	森 矢田
17			森 矢田
18			森 矢田
19	健康問題をもつ小児と家族	小児と家族を看護する看護師としての倫理的態度を考察する （ロールプレイングを通して）	森 矢田
20			森 矢田
21	まとめ	小児と家族を看護する看護師としての役割・責務を理解する	森 矢田
22	母性看護の支援に必要な看護技術	・母性看護学領域の演習オリエンテーション ・下記項目に必要な看護実践能力を学ぶ（説明、実践、ビデオ学習等） １．妊婦健康診査 ２．褥婦のフィジカルアセスメント ３．新生児の抱き方・着替え・おむつ交換	山内 巻島 杉山 非常勤講師
23			山内 巻島 杉山 非常勤講師
24			山内 巻島 杉山 非常勤講師
25	看護過程	紙上事例の紹介、母性看護学に有用な看護過程（褥婦、新生児）のポイント、課題の提示（説明）	山内 巻島 杉山 非常勤講師
26	母性看護の支援に必要な看護技術	・下記項目に必要な看護実践能力を学ぶ（説明、実践、ビデオ学習等） ４．新生児のバイタルサインズ測定・出生直後の身体計測 ５．産痛緩和法・分娩促進のケア	山内 巻島 杉山 非常勤講師
27			山内 巻島 杉山 非常勤講師
28	看護過程	紙上事例の看護過程を展開する（褥婦・新生児）し、疑問点の明確化、および解決（説明、グループワーク等）	山内 巻島 杉山 非常勤講師
29	母性看護の支援に必要な看護技術	・下記項目に必要な看護実践能力を学ぶ（説明、実践、ビデオ学習等） ６．新生児のフィジカルアセスメント ７．乳頭・乳輪マッサージ、授乳援助	山内 巻島 杉山 非常勤講師
30			山内 巻島 杉山 非常勤講師

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
31	看護過程	紙上事例の看護過程を展開する（褥婦・新生児）し、疑問点の明確化、および解決（説明、グループワーク等）	山内 巻島 杉山 非常勤講師
32	母性看護の支援に必要な看護技術	・下記項目に必要な看護実践能力を学ぶ（説明、実践、ビデオ学習等） ８．沐浴・洗髪 ９．ノンストレステスト（ＮＳＴ）	山内 巻島 杉山 非常勤講師
33			山内 巻島 杉山 非常勤講師
34	看護過程	紙上事例の看護過程を展開する（褥婦・新生児）し、疑問点の明確化、および解決（説明、グループワーク等）	山内 巻島 杉山 非常勤講師
35	母性看護の支援に必要な看護技術	・自己練習を行う。 沐浴（洗髪法を含む）、褥婦のフィジカルアセスメント、他	山内 巻島 杉山 非常勤講師
36			山内 巻島 杉山 非常勤講師
37	看護過程	・紙上事例の看護過程を展開する（疑問点の解決、自己課題の明確化等 ・合同課題に対する疑問点の対応等	山内 巻島 杉山 非常勤講師
38	母性看護の支援に必要な看護技術	・既習の母性看護技術を自己練習（課題の明確化を含む）	山内 巻島 杉山 非常勤講師
39	テスト	・母性看護領域に関する試験を行う（60分）	山内 巻島 杉山 非常勤講師
40	精神看護のガイダンス	・精神看護学演習オリエンテーション	長谷川 石川
41		・精神障害の内的体験と接近法（説明）	長谷川 石川
42		・事例提示：事例を分析し、対象者の内的体験を様々な視点から理解し、接近法を考察する。	長谷川 石川
43	様々な精神症状と看護（アセスメントする）	・精神症状と看護（説明） ・事例紹介	長谷川 石川 非常勤講師
44		個人ワーク（アクティブラーニング） ・事例の精神症状を調べる ・精神症状が及ぼす影響を理解する	長谷川 石川 非常勤講師
45		個人ワーク（アクティブラーニング） ・事例における問題点を明確化する	長谷川 石川 非常勤講師

実践看護技術学Ⅱ　　第３学年・前期・60コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
46	様々な精神症状と看護（リカバリーを考慮した看護援助を考える）	ロールプレイ ・事例について看護計画を立案する ・具体的なケアの方向性を見出す	長谷川 石川 非常勤講師
47		ロールプレイ ・事例について看護計画を立案する ・具体的なケアの方向性を見出す	長谷川 石川 非常勤講師
48		ロールプレイ ・事例について看護計画を立案する ・具体的なケアの方向性を見出す	長谷川 石川 非常勤講師
49	精神科治療と看護	精神科治療と看護（説明）	長谷川 石川 非常勤講師
50		グループワーク ・精神科治療の概要を調べる ・看護の留意点を考える	長谷川 石川 非常勤講師
51		グループワーク ・精神科治療の概要を調べる ・看護の留意点を考える	長谷川 石川 非常勤講師
52	精神科治療と看護	ロールプレイ（精神科治療の実際） ・治療のポイント看護の役割を明確にする ・多職種の連携の必要性を知る	長谷川 石川 非常勤講師
53		ロールプレイ（精神科治療の実際） ・治療のポイント看護の役割を明確にする ・多職種の連携の必要性を知る	長谷川 石川 非常勤講師
54		ロールプレイ（精神科治療の実際） ・治療のポイント看護の役割を明確にする ・多職種の連携の必要性を知る	長谷川 石川 非常勤講師
55	精神看護における安全管理と倫理観	精神科における暴力のエビデンス（ＣＶＰＰＰから看護介入を考える）	長谷川 石川 非常勤講師
56		行動制限と看護 ・緩和抑制帯の構造と看護の留意点	長谷川 石川 非常勤講師
57		緩和抑制帯の実際（デモンストレーション） 患者・看護者側の視点から倫理を含めた留意点を考察する。	長谷川 石川 非常勤講師
58	産褥期のメンタルヘルスと家族成員の成長発達を促す援助	ロールプレイ	担当 全教員
59		ロールプレイ	担当 全教員
60		ロールプレイ・まとめ	担当 全教員

57. 在宅看護学（必修）

担当教員	◎山根由起子、山田　咲恵、奥田　久美（特任）、白瀬　幸絵（非常勤）、辻　　紀子（非常勤）、他非常勤		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

履修目的

病気になっても住み慣れた場所で生活する療養者を支える在宅看護や福祉について修得する。

授業概要

幅広い年齢を対象として生活の場で全人的に捉えた支援を必要とし、臨床判断・実践能力をもち地域の人的・社会的資源を活用して適切に個別に応じる在宅看護について学修する。

到達目標

１．在宅療養が必要な対象者と家族の支援が必要なことを説明できる。
２．在宅における看護師の役割について説明できる。
３．医療処置を必要とするケアを述べられる。
４．病気になっても生活の場で療養者を支える意義が述べられる。
５．在宅療養者における看護過程の展開の方法を具体的に記述する。
６．法令・制度（人的・社会的資源）の活用について関係づけられる。
７．意思決定支援やコミュニケーションの方法が述べられる。
８．在宅看護における倫理や対象を取り巻く環境への配慮が説明できる。
９．ケアや看護観を深め看護の専門職としての意欲をもつことができる。

授業の形式

主にハオンライン授業（manaba と Zoom）と分散登校による対面授業を併用する。

グループワークを行う場合はmanabaプロジェクト又はZoomのブレイクアウトルームで行う。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

予習

シラバスで予定されている内容について教科書・参考書に目を通す。

復習

授業で学んだことを復習する。指示がある時はオンラインレポートに学びや感想を提出する。授業をきっかけとして他の文献や新聞などで情報を得て、在宅看護に関する理解を深める。

成績評価の基準等

課題提出：30％①在宅看護過程の吟味、②ペーパーペーシェントの看護過程提出（目標１、２、３、４、５、６、８、９）、③ケアに関するレポート提出（目標１、２、３、４、７、８、９）

定期試験：50％　授業時間数２／３以上出席した者が受験できる（目標１～８）

授業態度：20％　オンラインレポート提出　提出指示あり（目標１～９）

によって評価を行う。提出遅滞は減点の上評価する。

計100点のうち60点以上をもって合格とする。

学生へのメッセージ

在宅看護を取り巻く背景は、年月と共に変化する過程で在宅療養者の増加が見込まれる。様々な疾患を抱える療養者が在宅で安心・安楽・安全に生活する支援や再入院予防を図るケア等多岐にわたる看護が必要である。情報から個別性を大切にして、その人が住み慣れたところで最期まで過ごすためのケアは療養者のみでなくその家族にも及ぶ。在宅療養を続けるための社会資源やシステムも学び、療養者に寄り添う訪問看護師としての役割の理解や知識を自律的に学ぶことを期待する。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 在宅看護論	河原佳代子他(著)	医学書院	2,600 円
(教) 在宅看護過程	河野あゆみ(編)	医学書院	3,800 円
(参) 写真でわかる訪問看護アドバンス	押川真喜子(監)	インターメディカ	2,700 円
選択文献			2,000 円前後

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	ガイダンス	オリエンテーション、授業概要の説明、授業の導入、在宅医療をイメージする	山根
2	在宅看護の特徴	訪問看護、対象者の特徴、在宅看護の役割など	山根
3	在宅療養支援の方法	在宅看護の提供方法、療養場所の移行、連携	山根
4	在宅療養支援の方法	在宅医療の実際	宮本 山根
5	療養上のシルクマネジメント	薬剤管理、感染など	山根
6		転倒、フレイル、災害など	山根
7	在宅看護に関わる制度と訪問マナー	介護保険制度について学ぶ	山田
8		訪問看護の制度について学ぶ	山田
9		ケアマネジメントと社会資源 在宅生活を支えるために ～旭川市の社会資源（いきいき長寿を基に）を学ぶ～	山田
10	在宅療養者の支援	糖尿病、透析	山田
11		精神疾患	山田
12	医療処置を必要とする人のケア	がん、精神障害、事前指示書とＤＮＲの実際を学ぶ	辻 山田
13	在宅療養者の支援	神経・筋疾患	山根
14		脳卒中後遺症、認知症	山根
15		摂食嚥下障害	山根

在宅看護学　　第３学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	ケアの視点	コミュニケーションの方法	山根
17		在宅における家族看護	山根
18		看護やケアへの気づきを深める ディスカッション	山根
19	在宅療養支援の方法	ケアマネージャー 訪問看護と介護	生田目 山田
20	医療処置を必要とする人のケア	小児、認知症による療養者の実際を学ぶ	白瀬 山田
21	ケアの視点	看護やケアへの気づきを深めてレポートする	山根
22	在宅看護過程の展開	在宅における疾患別看護過程の展開方法について学ぶ	山根
23			山根
24		症例別看護過程の批判的吟味 ワーク	山根
25		一事例における看護過程の展開 グループワーク 看護過程を作成する	山根
26			山根
27			山根
28	在宅療養者の支援 緩和ケア 終末期ケア	緩和ケアにおける疼痛管理	奥田
29		終末期の支援	片岡 山根
30		エンドオブライフケアと意思決定支援	山根

58. がん看護学Ⅰ（必修）

担当教員	◎濵田　珠美、石川　洋子、 真鍋　真実（化学療法認定看護師）、 國本紅美子（がん看護専門看護師）、 三栖あずさ、清水　知沙、江口　卓也		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

近年、エビデンスに基づくがん医療は、先進的な技術を伴い、高度化・複雑化している。また、がん医療の主体であるがんと共に生きる人、その家族の療養の状況も多様化している。こうした社会、状況の理解に基づき、高度で専門的ながん看護の基本的知識として必要な援助テーマとアプローチなどを学び、ロールプレイなどを通して、がんを持つ人とその家族ががんと共生することを支援する技術、倫理的課題について取り組みＱＯＬを高めるための実践を導く基本的がん看護を学ぶ。

到達目標

一般目標：
我が国のがんの現状とその対策・治療方法についての理解をふまえ、がん医療の主体であるがんと共に生きる人、その家族が主体的に健康問題を解決するために求められる看護の基本的アプローチを理解し、言語化する。
行動目標：
１．我が国で多いがん（乳がん、肺がんなど）と共に生きる人とその家族の健康問題を説明できる。
２．がん（乳がん、肺がんなど）と共に生きる人とその家族の共生の過程を支えるアプローチと支援のあり方について表現できる。
３．がんと共に生きる人（乳がん、肺がんなど）とその家族へのチームアプローチの重要性と看護の役割を説明できる。

授業の形式

講義では、がんと共に生きる人とその家族の特徴ならびに看護の特異性に関する概念・理論を紹介しながら、がんと共に生きる人とその家族を支援するための方策を解説する。また、ロールプレイにより、がんと共に生きる人の症状を体験的に理解し、正確なアセスメント、緩和ケア方策を効果的にするための看護技術の学習へとつなげる。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

シラバスに記載されているキーワードについて教科書・参考図書にて予習してくること。乳がん・肺がん・大腸がん・生殖器系がんと共に生きる人の体験が書かれた闘病記などを各講義前に１冊読んでおくこと。講義終了後は、配布されたプリントを読み返し、疑問点、看護ケアについてまとめ、次回の講義にそなえること。

成績評価の基準等

１．出席率が60％を下回る者は受験資格をもたない。
２．出席状況の小テスト（10％）、
学習態度ならびに成果発表状況（20％）、
援助技術に関する課題レポート（30％）、
期末テスト（40％）。

学生へのメッセージ

がんを持ち生きる人とその家族がどこにいようとも、がん医療チームのメンバーとして看護の役割を担うため、がん看護の知識、技術、態度を学び、効果的がん看護実践につながる基盤を培うことを期待します。がん看護コアカリキュラムは、がん看護実践に必要な知識を体系的にまとめた基礎から応用まで活用できる優れた教科書です。一緒に基礎から始めましょう。そして、４年生への発展的がん看護学Ⅱとがん看護学Ⅲへの関心と取り組みを深めることを期待しています。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) がん看護コアカリキュラム	監訳 小島操子、 佐藤禮子	医学書院	11,000円 ＋税
(教) 成人看護学 E．がん患者の看護　第3版	監修：氏家幸子 編集：小松浩子、 土居洋子	廣川書店	2,200円 ＋税
(参) 看護学テキスト　がん看護学	編集：鈴木久美、 林直子、 佐藤まゆみ	南江堂	2,600円 ＋税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス・がんの動向	欧米・わが国のがんの動向、がん患者の病態、がん医療及び治療の特殊性について学ぶ。	濵田
2	予防メカニズム	がんと共に生きる人について生じる身体メカニズムの変化について学ぶ。	濵田 石川
3	ＱＯＬ	がんと共に生きる人とその家族のＱＯＬの概念の重要性について学ぶ。	濵田
4	がんに伴う苦痛症状－栄養・排泄状態の変化	がんと共に生きる人が体験する苦痛症状及びそれらの諸症状によって生じる全人的痛みについて学ぶ。	石川 濵田
5	がんに伴う苦痛症状－呼吸・循環の変化	がんと共に生きる人が体験する苦痛症状及びそれらの諸症状によって生じる全人的痛みについて学ぶ。	三栖
6	がんに伴う苦痛症状－痛み	がんと共に生きる人が体験する苦痛症状及びそれらの諸症状によって生じる全人的痛みについて学ぶ。	國本
7	がんの集学的治療１	がんと共に生きる人が体験する薬物療法を理解し、それらが進むプロセスで生じる全人的痛みについて学ぶ。	濵田 石川
8	がんの集学的治療２	がんと共に生きる人が体験する放射線療法を理解し、それらが進むプロセスで生じる全人的痛みについて学ぶ。	濵田 石川
9	がんの集学的治療３	がんと共に生きる人が体験する免疫療法を理解し、それらが進むプロセスで生じる全人的痛みについて学ぶ。	濵田 石川
10	がんの予防	がんの動向をふまえ、たばこなどの影響を学び、がん予防の重要性について学ぶ。	濵田
11	肺がんと共に生きる人の看護ケア	肺がんの動向をふまえ、肺がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	濵田
12	大腸がんと共に生きる人の看護ケア	大腸がんの動向をふまえ、大腸がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	國本
13	乳がんと共に生きる人の看護ケア	乳がんの動向を踏まえ、乳がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	清水 濵田
14	遺伝性がんと共に生きる人と家族への看護ケア	遺伝性がんの動向を踏まえ、遺伝性の要因により発症したがん患者と発症する可能性を持つ家族への遺伝カウンセリングなどと看護の役割を学ぶ。	濵田
15	生殖器系がんと共に生きる人の看護ケア	生殖器系がんの動向をふまえ、生殖器系がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	石川 濵田

がん看護学Ⅰ　　第３学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	血液がんと共に生きる人と家族への看護ケア	血液がんの動向を踏まえ、血液がんと共に生きる人とその家族の特徴と支援について学ぶ。	江口
17	がん患者の理解とセルフケア支援	がんと共に生きる人が取り組む治療過程を理解し、セルフケア支援のアプローチを学ぶ。	真鍋
18	がん患者の理解と支援① 症状マネジメント	がんと共に生きる人の症状体験を理解し、症状マネジメントのアプローチを学ぶ。	濵田 石川
19	がん患者の理解と支援② エンドオブライフケア	がんと共に生きる人が歩むコースを理解し、エンドオブライフケアのアプローチを学ぶ	濵田 石川
20	がん患者の看護過程①	事例紹介：がん看護の看護過程を展開しその特徴を学ぶ。	濵田 石川
21	がん患者の看護過程①	看護過程：がん看護の看護過程を展開しその特徴を学ぶ。	濵田 石川
22	がん患者の看護過程②	同上	濵田 石川
23	がん患者の看護過程③	同上	濵田 石川
24	がん患者とその家族への援助技術	がん患者への看護技術の適用を検討する。	濵田 石川
25	がん患者とその家族への援助技術	がん患者への看護技術の適用を検討する。	濵田 石川
26	がん患者とその家族への援助技術	がん患者への看護技術の適用を検討する。	濵田 石川
27	援助技術の適用	がん患者への看護技術の適用を行い考察する。	濵田 石川 学内特別講師
28	援助技術の適用	がん患者への看護技術の適用を行い考察する。	濵田 石川 学内特別講師
29	援助技術の適用	がん患者への看護技術の適用を行い考察する。	濵田 石川 学内特別講師
30	まとめ	がんと共に生きる人とその家族への援助技術について学習成果と課題	濵田 石川

59. チーム医療・リハビリテーション看護論（必修）

担当教員	◎野中　雅人、服部ユカリ、大田　哲生、 呂　　隆徳（学内特別講師）、 佐藤　　聖（学内特別講師）、 村岡　法彦（学内特別講師）、 高橋　佑弥（学内特別講師）、 大宮　　剛（学内特別講師）、 非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

リハビリテーションの概念と看護の役割やリハビリテーション専門職のの役割とチーム医療を理解する。

到達目標

1．チーム医療について説明できる
2．リハビリテーションの理念を理解する
3．リハビリテーション看護の役割を説明できる
4．リハビリテーション専門職の役割を説明できる

授業の形式

manaba、分散登校＋zoom

準備学習（予習・復習）

シラバスの内容について、教科書・参考書で予習してください。
講義終了後は、他の科目の教科書や資料・参考書を読み、主題について整理しておいてください。

成績評価の基準等

小テスト20%、レポート30%、試験50%
試験が実施できない場合は、小テストとレポートで評価します

学生へのメッセージ

リハビリテーションは医療・看護のすべての対象者に関わる概念です。参考書等も活用して主体的に学んでください。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) リハビリテーション看護	酒井郁子他編	南　江　堂	2,400 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	チーム医療の概念	チーム医療とは	服部
2	チーム医療の概念	チーム医療に必要な要素	非常勤講師
3	リハビリテーションの概念	リハビリテーション医療と専門医の役割	大田
4	リハビリテーションが必要な患者の心理	患者の心理とリハビリテーションについて学ぶ（1）	服部
5	リハビリテーションが必要な患者の心理	患者の心理とリハビリテーションについて学ぶ（2）	服部
6	リハビリテーション専門職の役割	理学療法士の役割を学ぶ	呂
7	リハビリテーション専門職の役割	作業療法士の役割を学ぶ	高橋
8	リハビリテーション専門職の役割	言語聴覚士の役割を学ぶ	佐藤
9	リハビリテーション看護	リハビリテーション看護の実際を学ぶ（1）	大宮
10	リハビリテーション看護	リハビリテーション看護の実際を学ぶ（2）	大宮
11	リハビリテーションとチーム医療	がんのリハビリテーションを学ぶ	村岡
12	リハビリテーションとチーム医療	地域包括ケアとリハビリテーションを学ぶ	大田
13	リハビリテーションとチーム医療	ライフサイクルに沿ったリハビリテーションを学ぶ	服部
14	リハビリテーションとチーム医療	リハビリテーションに関する課題学習	服部
15	リハビリテーションとチーム医療	チーム医療に関する課題学習	服部

60. 看護研究（必修）〔研究法・研究倫理・質的研究・量的研究・研究論文の作成〕

担当教員	伊藤　俊弘、看護学科全教員、糸林真優子、田中　愛子、大西　詩織、佐々木杏里、田北　智子、佐藤　恵介（学内特別講師／図書館）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	１単位	30コマ

履修目的・授業概要

【履修目的】
1．看護研究に必要な基礎知識・技術・態度について学ぶ。
2．実践科学であると言われている看護学における看護研究の意義とその特徴を理解する。
3．自然科学の模倣から出発した看護研究が目指す、人間の意識や体験といった主観性に着目した研究方法について理解する。

到達目標

1．看護領域でよく用いられる研究（事例研究・調査研究・実験研究）の方法とプロセスについて説明できる。
2．看護研究でよく用いられる用語に関して、定義を説明できる。
3．学んだ研究方法に関して、その実際を文献を通して検証できる。
［演繹法：量的研究、帰納法：質的研究］
［事例研究・調査研究・実験研究］
4．看護研究を行う学生として準備が出来ている。
［遅刻・欠席がない／教科書を活用している／課題が期限内に提出される］
5．４年生で行う卒業研究の「研究課題」の研究計画が完成されている。

授業の形式

授業は、前半は主に manaba を用いた講義と演習を１セットとして展開し、知識と技能がともに習得されるよう企画しています。後半は看護学科の各領域に配属され、領域の担当教員の指導を受けながら４年生の卒業研究を実施するための研究計画を立案・発表を行います。看護研究は、研究に関する知識を学んだだけでは習得できないものです。知識と共に、研究データを収集する技能や得られたデータを分析する技能、実践能力を身に着けるよう努力してください。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

1．前半は講義を中心にに知識の習得を行い、後半は研究作成の実際を演習をとおして学ぶようにプランを組み立てています。
2．学習が積み上げられていくよう復習をしっかり行ってください。
3．復習を通して疑問や不明な点が生じたら、いつでも申し出てください。

成績評価の基準等

成績は、課題の提出および講義の出席状況等を勘案したルーブリック評価により評価する。ルーブリック評価基準は講義中の態度も含まれる。提出課題は研究論文（ケーススタディ／調査研究／実験・準実験研究／質的研究）のクリティークの各レポート

学生へのメッセージ

看護研究を学びながら、日常生活で見聞きする人権や倫理的配慮について、さらに実習で見聞きする看護場面と重ね合わせ、興味・関心、問題意識を育てていってほしいと思います。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
これからの看護研究 －基礎と応用－　第３版	小笠原知枝・ 松　木　光　子	ヌーヴェルヒロカワ	3,990 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	ガイダンス	・看護研究の講義日程、看護研究とは科学としての看護における研究の意義・目的 ・研究倫理と研究者の責務を理解する。	伊藤（看護）
2 3	文献の検索	・電子ジャーナル、医学中央雑誌 WEB 版 CINAHL, Medline, PubMed, OPAC の使い方を習得する。 ※講義は第２講目から第１情報処理室（リモート講義の場合、自宅）で行う予定です	司書
4	看護研究の基礎知識	研究デザイン ・主な研究デザインの種類とそれらの特徴について学ぶ。	伊藤（看護）
5		・実験研究・準実験研究の特性について理解する。 ①操作、②コントロール、③無作為 ・質問紙調査票を用いた調査研究の特性について理解する。	山根（看護）
6		・事例研究の特性について理解する ・質的研究の特性について理解する ①データ収集方法、②分析手法	濵田（看護）
7		・質的記述的分析に取り組む ・事例研究論文のクリティークの実際	阿部（看護）
8 9	研究課題の抽出	・研究計画書の構成要素・作成上の確認事項について理解する：①テーマ②研究の背景（文献検討の重要性）③研究目的と意義④予測される結果（仮説）⑤研究デザイン方法）⑥研究の進行計画　⑦看護への示唆 ・研究の準備性について（想起） ・看護研究テーマの源泉	伊藤（看護）
10～21	研究計画書の作成・提出	・模擬指導 ・研究計画書の作成・提出 ・発表用の PowerPoint の作成・提出 研究計画書の作成指導１ ・８月19日（木）　１－３講目 ・９月２日（木）　１－３講目 ・９月24日（金）　１－３講目	看護学科教員
22～24	研究計画発表会	・自身の研究計画を PowerPoint を使って発表する。	看護学科教員
25～30	研究発表会への参加	・卒業研究発表会における４年生発表を学ぶ ・興味のある研究テーマのディスカッションに参加し、その内容をレポートする	看護学科教員

必 修 科 目 実 習

【第３学年】

61. 成人看護学実習Ⅰ（急性期）（必修）

担当教員	◎苫米地真弓、山口　希美、阿部　修子、非常勤講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	後　期	３単位	３週間

履修目的・授業概要

１．周手術期にある対象者の特徴を理解し、援助関係を成立させ、対象者のニーズに応じた援助ができる。また、対象者のセルフケア能力が最大限に発揮されるとともに、ＱＯＬが向上するような看護援助を実践できる。
２．看護実践の体験から自己の看護観を深めることができる。

到達目標

１．対象者の健康問題や手術について理解し、麻酔および手術侵襲による生体反応をふまえ、周手術期に必要な援助ができる。
２．対象者が手術に伴う身体機能の変化に適応するために必要な援助ができる。
３．手術からの回復状態に応じた、日常生活の自立への援助ができる。
４．医療チームや家族との連携を保ちながら援助ができる。
５．継続看護や社会資源の活用を理解し、社会復帰に向けた援助ができる。

授業の形式

周手術期にある対象者を１名から数名受持ち、看護過程を展開し、看護援助を実践する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

事前に看護過程や実習に関連する看護技術などをしっかりと復習してくことが望ましい。実習は既習学習の統合なので、これまでの講義・演習の資料などをすぐに活用できるように整理しておくようにしましょう。

成績評価の基準等

実習内容、実習記録、レポート、看護サマリー、出席状況等により総合的に評価する。成績は、各評価による合計得点により、90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、60点未満を不可とする。３分の２以上の出席をした場合を評価対象とする。なお、３年次に実施されるＯＳＣＥ（客観的臨床能力試験）に合格していることが履修の条件となる。

学生へのメッセージ

自己の健康管理と主体的な学習姿勢を期待します。また、実習の目的･目標のほかに『成人看護学実習Ⅰにおける自己の課題と目標』を明らかにして実習に臨みましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 周術期看護－安楽･安全な看護の実践（改訂版）	中村美知子監修	インターメディカ	3,900円+税
(教) 成人看護技術(改訂第２版)	野崎真奈美他編	南江堂	3,000円+税
(参) 症状別看護過程＋病態関連図（第３版）	井上智子・窪田哲朗	医学書院	5,000円+税
(参) 疾患別看護過程＋病態関連図（第３版）	井上智子・窪田哲朗	医学書院	7,000円+税
(参) 疾患別看護過程の展開（第６版）	石川ふみよ・高谷真由美	学研メディカル秀潤社	6,600円+税

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
３週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。 １、２、３週目：病棟実習、カンファレンスの実施。周手術期にある対象者を１～数名受持ち、看護過程を展開し、看護実践を行う。	

62. 成人看護学実習Ⅱ（外来）（必修）

担当教員	◎荒　ひとみ、松田奈緒美、阿部　修子、稲垣　邦子（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	後　期	１単位	１週間

履修目的・授業概要

１．健康障害をもち外来を受診する成人期にある対象者を理解し、対象者に必要な看護支援ができる能力を養う。
２．医療チームにおける看護の役割を理解し、継続看護を実践するために必要な能力を養う。

到達目標

１．健康障害により外来を受診する対象者を、ライフスタイルや成人期の発達段階をふまえ、身体・心理・社会的特徴にそって、総合的にアセスメントができる。
２．外来で行われている看護を通して、対象者のセルフマネジメント能力を高めるための看護支援について説明することができる。
３．地域連携および入退院に関する機能を知り、対象者に必要な継続看護について説明することができる。
４．外来で行われる治療・検査に必要な看護援助を説明することがができる。
５．外来実習を通して、チーム医療の意義や看護職の役割について説明することができる。

授業形式

臨地実習及び臨床講義と学内演習

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

配付資料の中にある各実習場所における事前学習の内容をピックアップしてあるので各自学習しておくこと。
実習中に不明だった点などはカンファレンスで必ず解決すること。

成績評価の基準等

実習内容、実習記録類（レポート含む）、出席状況などにより総合的に評価する。
詳細は「臨地看護学実習実践編（評価表）」を参照のこと。
総合評価にて90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、59点以上を不可とする。

学生へのメッセージ

外来を受診する対象者および医療者の活動状況を観察して、自己の看護観を深めましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護学成人看護技術（改訂第２版）	野崎真奈美他編	南　江　堂	3,000円(税別)
(参) 成人看護学実習ガイドⅡ（慢性期・回復期）	野　並　葉　子	照　林　社	3,300円(税別)
(参) The 外来看護　時代を超えて求められる患者支援	数間恵子編著	日本看護協会出版会	2,000円(税別)

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
１週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」、②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。	荒 松田 稲垣 (非常勤)

63. 成人看護学実習Ⅲ（慢性期）（必修）

担当教員	◎荒　ひとみ、松田奈緒美、阿部　修子、稲垣　邦子（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	後　期	２単位	２週間

履修目的・授業概要

1. 慢性期にある対象者の特徴を理解し、援助関係を発展させながら、対象者のセルフマネジメント能力が最大限発揮されるとともに、ＱＯＬが向上するような看護援助を実践する。
2. 終末期の対象者の特徴を理解し、援助関係を発展させながら、苦痛の緩和とＱＯＬが向上するような看護援助を実践する。
3. 慢性期および終末期にある対象者にかかわる専門職やチーム医療、および継続的な医療・看護の役割機能について理解する。
4. 看護実践の体験から自己の看護観（死生観）を深める。

到達目標

「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。

授業の形式（板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など）

臨地実習

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

看護過程をしっかり復習しておく。実習は既習学習の統合なので、今までの講義演習の資料などを、すぐに活用できるように整理しておく。実習の目的目標の他に『成人看護学実習Ⅰにおける自己の課題と目標』を明らかにしておく。実習後は自己の課題の達成度を含め今後の課題を明らかにする。

成績評価の基準等

実習内容、実習記録類、出席状況などにより、総合的に評価する。
詳細は「臨地看護学実習実践編（評価表）」を参照のこと。
総合評価にて90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、59点以上を不可とする。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

自己の健康管理と主体的な学習を期待します。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護学　成人看護技術（改訂第２版）	野崎真奈美他編	南　江　堂	3,000円+税
(参) 疾患別看護過程の展開 第４版	山口端穂子 関口恵子	学習研究社	6,400円+税
(参) 疾患別看護過程第２版	井上智子	医学書院	7,000円+税
(参) 症状別看護過程	井上智子	医学書院	5,000円+税
(教) 成人看護学慢性期看護（改訂第３版）	鈴木久美他編	南　江　堂	3,300円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
２週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。	荒 松田 稲垣 (非常勤)

64. 母性看護学実習（必修）

担　当 教　員	◎巻島　　愛、山内まゆみ、杉山　結理、 伊藤　幸子（非常勤）、他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	後　期	２単位	２週間

履修目的・授業概要

妊産褥婦および新生児とその家族の特徴を理解し、個別性を考慮した看護過程を展開し、基本的な母性看護におけるケア実践ができる能力を養う。また、実習を通し、看護学生としての責務、倫理的行動、生命や人権の尊重について学ぶ。

到達目標

＜周産母子センター４階東病棟実習＞
１．対象の看護に必要なアセスメントができる。
　１）受け持ち対象の身体的特徴を具体的に記述することができる。
　２）受け持ち対象の日常生活の特徴を記述することができる。
　３）受け持ち対象を通して、母児（妊婦含む）の心理的特徴を記述することができる。
　４）受け持ち対象の看護実践を通して、母児（妊婦含む）の相互関係を記述することができる。
　５）受け持ち対象とその家族の日常生活の変化を記述することができる。
　６）受け持ち対象の胎児および新生児の成長・発達に必要なケアを記述することができる。
　７）受け持ち対象の退院後の生活に必要な保健指導を記述することができる。
　８）受け持ち対象の退院後の生活に必要な社会資源を記述することができる。
２．看護問題を抽出できる。
３．目標・評価基準を設定できる。
４．看護計画が立案できる。
５．看護計画に基づき、援助が実践できる。
６．実践した援助に基づいて評価することができる。
７．看護チームの一員として、看護スタッフ･多職種との情報交換･報告をすることができる。

＜周産母子センターＮＩＣＵ実習＞
１．受け持ち対象のケアを指導者と共に実施、あるいは見学し、記述することができる。
２．実施（見学含む）したケアの必要性について、病態、日常生活環境、母性相互作用等の観点から理解し、アセスメントとして記述できる。
３．受け持ち対象の看護実践を通して母児関係について記述できる。
４．ＮＩＣＵにおける看護の必要性、看護師の役割を実習体験から考察し、述べることができる。

＜周産母子科外来実習＞
１．妊婦健康診査を教員と共に実施できる。
２．妊婦健康診査項目の結果の評価を試みることができる。
３．妊婦健康診査結果、および妊婦に必要な保健指導について内容を記述できる。
４．妊婦健康診査と保健指導の必要性、看護の役割を実習体験から考察し、述べることができる。
５．産後２週間健康診査（すくすく外来）または１か月健康診査の受け持ち対象を通して、退院後の褥婦、新生児の特徴について記述できる。
６．産後２週間健康診査（すくすく外来）または１か月健康診査の結果、および褥婦と新生児に必要な保健指導について内容を記述できる。
７．産後２週間健康診査（すくすく外来）または１か月健康診査と保健指導の必要性、看護の役割を実習体験から考察し、述べることができる。

＜共通＞
・Ｔ・Ｐ・Ｏに応じた態度・言葉遣い・行動をとることができる。
・対象に関心を示し、積極的な姿勢で看護実践をすることができる。
・カンファレンスに積極的に参加することができる。

授業の形式

周産母子センター（４階東病棟、ＮＩＣＵ）実習、周産母子科外来実習
※大学のＢＣＰレベルにより分散登校の可能性、方法変更の可能性がある。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

看護過程に関する知識および２年次で学習した母性看護学の基本的な知識を復習し、実習に活用できるように整理しておくこと。母性看護学演習で修得した技術および紙上事例の展開を必ず復習しておくこと。
実習中の不明点は、自己学習を進めると共に、指導者や教員を活用し、できるだけ早期に解決すること。

成績評価の基準等

母性看護学実習評価表（周産母子センター４階東病棟実習、周産母子科外来･周産母子センターＮＩＣＵ実習）に基づき、実習内容･実習記録および出席状況等により、総合的に評価する。出席３分の２以上で評価の対象とする。
※大学のＢＣＰレベルにより成績評価方法変更の可能性がある。

学生へのメッセージ

周産期は、その特性から展開の早い実習になりますが、妊娠出産は受け持ちの対象やご家族にとって、新たな家族を育み迎える、大切なライフイベントです。その機会に看護学生として関わることの貴重さ、意味を考えて、自己の健康管理に留意し、主体的に実習に臨んでください。

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
２週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編』を参照のこと	山内 巻島 杉山 伊藤 (非常勤) 他

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 母性看護学［1］母性看護学概論　第14版	森　恵美　他	医学書院	2,500円+税
(教) 母性看護学［2］母性看護学各論　第13版	森　恵美　他	医学書院	3,000円+税
(教) 新訂版　写真でわかる母性看護技術アドバンス	平澤美恵子他	インターメディカ	3,200円+税
(参) 新生児学入門　第５版	仁志田博志	医学書院	5,800円+税
(参) パーフェクト臨床実習ガイド母性看護＜第２版＞	堀内成子編	照　林　社	3,200円+税

65. 精神看護学実習（必修）

担当教員	◎石川　千恵、長谷川博亮、他（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	後　期	２単位	60コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

履修目的

精神の健康問題を抱えながら病院･地域で生活する人々を理解し、学生と対象者の関係性を基盤に看護の方向性について探索しながらチーム医療に参画し、看護を実践する。さらに、リカバリーを実現する多様な場の機能や特性を理解し、社会状況に応じた精神保健と看護の多様性を考える。

到達目標

1．精神の健康問題を抱えながら病院・地域で生活する人々を理解できる。
2．学生と対象者の関係性を基盤にした看護の方向性を探索することができる。
3．ケアに参画しながらチームの一員としての態度を養うことができる。
4．受け持ち患者のリカバリーを考慮した看護過程を展開できる。
5．社会状況に応じた精神保健と看護の役割を理解できる。
6．倫理的態度を踏まえた行動をとることができる。

事前学習（予習・復習）等の内容と分量

･精神看護学演習（３年次）において各自作成した資料を振り返る。
･対象者のリカバリー、病院における安全管理に関する学習を行う。

＊実習で使用する記録物は、manaba に保存しておく。

授業の形式

１週目は病院実習を行い、一病棟で受け持ち患者を１名担当し実習を行う。２週目は学生は２か所の社会復帰施設で実習を行う。

大学のＢＣＰレベルに準じ、オンライン実習を行う。オンライン実習ではzoomを使用し仮想病棟で１名の患者を担当し実習を行う。

成績評価の基準等

1．実習到達目標の達成状況における教員評価　85％
2．実習到達目標の達成状況における自己評価　15％
3．欠席は減点とし、１回の欠席は上記総合点から－10点とする。
＊ただし、病院実習において３回以上の欠席があった場合は、評価の対象にはならない。

学生へのメッセージ

自己の健康管理に留意し、主体的に実習に望んで欲しい。

患者との関わりの中で、自己の傾向に気づき、自己洞察をしながら、実習を進めていってほしい。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
精神看護実習ガイド	萱間真美	照林社	2,940 円
精神看護臨地実習	川野雅資編著	医学書院	2,625 円
ナーシング・ポケットマニュアル精神看護学	田中恵美子他	医学書院	2,400 円
援助技法としてのプロセスレコード	宮本真己	精神看護出版	2,700 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
60コマ		①「臨地看護実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編Ⅰ」を参照のこと	長谷川 石川

選 択 必 修 科 目

【専門科目】

66. 看護英語文献講読（選択必修）

担当教員	◎濵田　珠美、石川　洋子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

【履修目的】英文で書かれた看護・保健・医療の文献や論文を教材として、グローバルな視点から健康問題を意識し、看護師や保健師として活躍する際に活用できる英文読解力や実践的英語力の基礎を養う。

到達目標

１．看護、保健、医療に関する英語表現の語彙を増やす。
２．英文の構造に慣れ、短時間で内容を正確に読み取ることができる。
３．ＷＨＯからのレポートなど、英文の文献･資料の内容を理解し、グローバルな視点から、健康問題について説明できる。
４．欧米の看護師が活用する実践的英語表現の基礎的内容を理解し、日本の看護師が臨床適用できる表現を考察できる。

授業の形式

看護・保健・医療に関する英語文献の抄読とディスカッション、ミニＧＷをします。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

教材を前もって読解し、分らない単語や熟語を辞書で調べておくなどの準備が必要です。３コマあたり１時間程度を想定しています。

成績評価の基準等

教材を前もって読解し、分らない単語や熟語を辞書で調べておくこと。辞書を何回も引くことを薦めます。１コマあたり１時間程度を想定しています。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
教材は適宜示します。			

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
１～３	日米の看護	ガイダンス 英文資料の抄読	濵田 石川
４～６	文献・論文の抄読	英文資料の抄読	濵田 石川
７～８	文献・論文の抄読	英文資料の抄読	濵田 石川
９～12	文献・論文の抄読	英文資料の抄読	濵田 石川
13～15	文献・論文の抄読	グローバルな視点、知識、思考について 成果発表	濵田 石川

67. 医療経済・看護経営論（選択必修）〔医療保険、国民医療費、費用対効果、医療機関の経済性、職場の活性化〕

担当教員	廣岡　憲造（非常勤講師）、 江口　尚文（非常勤講師）、 ◎升田由美子（コーディネータ）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	通　年	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

当講義の前半は、マクロの視点で医療の経済性を論じます。日本の国民医療費は人口高齢化とともに増加しています。なぜ、高齢者が増えると医療費が増加するのか。その理由は、決して高齢者の有病率が高いからという理由だけでなく、日本の医療制度そのものにも原因があります。日本の医療費から医療制度の課題を理解し、その解決策を考えます。

後半では、ミクロの視点、いわゆる病院組織を対象に医療の経済性を論じます。医療機関も一般企業と同じく、経済性の追究が必要です。いまや経営が破綻する病院が散見されます。医療機関も利益概念なしの運営はできません。ただ病院の場合、一般企業とは異なり競争に一定の制約が課されています。それを踏まえた上で、経済性を実現できる病院経営を模索します。

到達目標

1．現代の医療保険制度について説明することができる。
2．経済の視点から保健医療福祉制度と看護を考えることができる。
3．医療機関における経済性の大切さを知る。
4．職場の活性化が医療組織の経済性をもたらすことを知る。
5．優れた職場の創造を理論的に考えられるようになる。

授業の形式

講義形式で行う。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

新聞等の各種メディアを通して社会、経済、経営に興味を持ち、そこから医療･看護に関わる問題意識を持つ（予習）。その問題について、講義で得た知識を用い解決できないか考える（復習）。疑問点があれば、講義担当教員に質す。日々学習。

成績評価の基準等

正規の最終試験80点、講義における平常点20点、計100点満点。最終試験は上記到達目標の達成度を探るものとし、その程度を点数化する。平常点は毎回の講義態度を、たとえば小テストあるいは出席で探り、それを点数化する。

学生へのメッセージ

本授業の前半部には看護師国家試験における必修問題の範囲が含まれます。授業のなかで逐次、過去問を出題して授業と国試の関連を意識づけたいと思います。後半部は、卒業して医療現場へ従事した際に役立つ実践的知識が獲得できます。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 市場原理に揺れるアメリカの医療	李　啓充	医学書院	2,200 円
(参) 医療の経済評価	池上直己･池田俊也･土屋有紀監訳	医学書院	3,700 円
(参) 経営管理	塩次喜代明ほか	有斐閣	1,900 円
(参) ゼミナール経営学入門	加護野・伊丹	日本経済新聞社	3,000 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	社会保障制度としての医療	日本の社会保障制度を学び、社会保障の一分野に医療が位置づけられる意義を理解する。	廣岡(非常勤)
2	日本の医療保障制度	日本の医療保険制度を理解する。	〃
3		各国の診療報酬支払い方法を比較し、日本の特徴と課題を理解する。	〃
4	国民医療費の動向	国民医療費の内訳を学び、経年比較による変化の特徴を理解する。	〃
5		人口高齢化、地域による医療の偏在など、医療費増加の理由を理解する。	〃
6	医療の最適配分による国民医療費の節約	医療法改正を例に、最適医療供給を実現する医療政策を理解する。	〃
7		現代的課題である「保健・医療・福祉の連携」「地域包括ケアシステム」の意義を理解する。	〃
8	国民医療の経済評価の方法	「最適な医療供給」を検討する、ひとつの手段として費用対効果による分析例を学ぶ。	〃
9	企業としての医療機関	企業は技術を用いて価値を生み出す。医療機関も同様に医療・看護技術で価値を生み出す企業であることを理解する。	江口(非常勤)
10	医療における経営理論の必要性	ある費用で達成される効果の度合が経済性である。病院は経済性と医療効果を追究する経営主体であることを理解する。	〃
11	動因と誘因で決まる働く意欲	働く意欲は経済性を左右する。職場のモチベーション高揚が課題となる。意欲は動因と誘因に規定されることを理解する。	〃
12	働く意欲が湧くプロセス	魅力的な誘因が意欲を高めるとは限らない。片や誘因なしでも意欲的になれる。モチベーションのプロセスを理解する。	〃
13	人を動かすパワーとリーダーシップ	一人で大きな仕事はできない。目的へ向け人を凝集するのがリーダーである。リーダーシップの２つの側面を理解する。	〃
14	リーダーシップの状況適合理論	あらゆる状況に適合する唯一最善のリーダーシップはあるのか。状況に応じたリーダーシップスタイルを理解する。	〃
15	優れた病院組織の構築を目指して	優れた組織は、成員が自ら動き、かつまとまりがある。本来は難しい自律性と統一性の両立を実現する鍵を理解する。	〃

68. 家族看護論（選択必修）〔家族看護論〕

担当教員	◎森　浩美、石川　千恵、野中　雅人、奥田　久美、学内特別講師、岡田みゆき（非常勤講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	通　年	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

現代の多様性ある社会における「家族」を探求し、少子高齢化、疾病構造の変化、在宅療養への転換などに伴う家族のあり様やニーズを理解する。

家族構成員（個人）の健康は家族（全体）に影響し、家族の健康は家族構成員に影響する。家族を看護の対象と捉え、家族のエンパワメントの実現に向けた看護活動について理解する。

到達目標

1．現代社会における家族の構造･機能、過程（変化）を説明できる。
2．家族構成員と家族、家族と社会の関係を説明できる。
3．家族を理解するための理論や考え方を説明できる。
4．患者（生活者）の家族としての病気体験を説明できる。
5．家族と看護師のパートナーシップについて説明できる。
6．家族のエンパワメントの実現に向けた看護活動を説明できる。

授業の形式

講義資料は manaba を通じて配付する。配付資料を基にした講義を中心に授業を展開し、一部、グループワークを取り入れる。

状況によりオンライン授業と分散登校による対面授業を併用することもある。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

家族看護は各看護学領域を横断します。これまでの授業で学んだ「家族への看護」を復習することが本科目の予習となります。既習内容、参考書、配付された講義資料を元に、シラバスに記載されている内容について予習して授業に臨んでください。

成績評価の基準等

1．全コマ数の２／３以上を出席することにより成績評価の対象となる。
2．ロールプレイの内容を20％、授業終了後のレポート課題を80％とし、全体の60％以上の獲得により合格とします。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 家族看護学　理論と実践	鈴木和子他	日本看護協会出版会	3,200＋税
(参) 家族看護学	中野綾美他	メディカ出版	2,200＋税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス	授業ガイダンス	森
2	家族の理解	統計学から家族形態や家庭生活の変化について理解する	岡田(非常勤)
3		ステップファミリー、事実婚カップル、ＬＧＢＴカップルなど家族の多様性について理解する	岡田(非常勤)
4		家庭内の地位や役割変化から円満な家族関係の維持を考える	岡田(非常勤)
5		結婚・離婚による家族関係の変化や課題について理解する	岡田(非常勤)
6		子育て家族や高齢者家族の現状と課題について理解する	岡田(非常勤)
7		家族を理解するための諸理論・看護過程について理解する	野中
8		家族を理解するための諸理論・看護過程について理解する	野中
9	家族看護の実践	脳卒中と共に生きる人の家族への看護について理解する	未定(学内特別)
10		精神疾患と共に生きる人の家族への看護について理解する	石川(千)
11		医療的ケアが必要な子どもの家族への看護について理解する	未定(非常勤)
12		終末期にある人の家族への看護について理解する	奥田
13		家族看護の方法を体験する（ロールプレイング）	森
14		家族看護の方法を体験する（ロールプレイング）	森
15	まとめ	まとめ	森

69. 認知症ケア論（選択必修）

担　当 教　員	◎服部ユカリ、牧野　志津、野中　雅人、 非常勤講師、学内特別講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	後　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

認知症看護の理念を学ぶ。認知症のある人およびその家族のニーズを理解するため、文献・映画・動画・新聞記事などを用いて学習する。また、当事者や家族、施設の職員等の地域の専門職からの話を聞いて実践的な理解をする。学習したことを発表し全員で討論する。これらを通して認知症ケアのについて理解を深め、看護観を育む。

到達目標

1　認知症について理解を深めることができる。
2　認知症高齢者の看護の実践能力を高めることができるできる。
3　認知症高齢者の介護家族のニーズを理解し必要な援助を考えることができる。
4　在宅および施設で生活する認知症高齢者への援助が理解できる。

授業の形式

manaba での講義、分散登校＋zoom
COVID-19 の感染状況が収束に向かえば、地域の関連行事（家族会、ケアカフェなど）に参加する。

準備学習（予習・復習）

シラバスの内容について、教科書･参考書等で予習してください。

成績評価の基準等

小テスト20%。レポート50%。発表・プレゼンテーション30%。感染状況により変更する場合は、事前に連絡します。
また、レポートを提出しない場合は単位を認定しないことがありますので注意してください。
通信状態等の影響がある場合は、学生の不利益にならないよう対処します。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

自ら考え主体的に学んでください

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	ガイダンス	学習内容・学習方法について理解する	服部 牧野 野中
2	認知症ケアの視点	認知症がある人に対するケアの視点を理解する	服部
3	認知症のある人の理解	認知症がある人の心理・ニーズを理解する１	服部
4	認知症のある人の理解	認知症がある人の心理・ニーズを理解する２	服部
5	認知症のある人の理解	認知症がある人の心理・ニーズを理解する３	服部
6	認知症のある人の家族への援助	認知症がある人の家族のニーズを理解する１	服部
7	認知症のある人の家族への援助	認知症がある人の家族のニーズを理解する２	服部
8	認知症ケアの実際	認知症がある人に対する施設ケア	非常勤講師
9	認知症ケアの実際	認知症がある人に対する施設ケア	非常勤講師
10	認知症ケアの実際	認知症がある人に対する地域での援助	非常勤講師
11	認知症ケアの実際	認知症がある人に対する地域での援助	非常勤講師
12	認知症ケアの実際	急性期病院での認知症ケア	学内特別講師
13	発表会	発表準備・通信状態等の確認	服部 牧野 野中
14		学習内容を発表し、成果を共有する	
15			

70. クリティカルケア論（選択必修）〔クリティカルケア、集中治療、救急看護〕

担当教員	阿部　修子、学内特別講師		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	通　年	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

クリティカルケアは、急激な侵襲を受けている患者に生じている様々な生体反応に対して、その緩和や患者自身の持つ生体機能を最大限に高めるための看護といえます。クリティカルケアの対象は、患者のみならず、その家族も含まれます。こうしたクリティカルケアは、高度化する医療技術のもとに重症患者を集中的に看護するために必要な知識や技術に基づき提供されています。このクリティカルケア論では、このような背景を含め、クリティカルケアの基本を理解するための知識と学内特別講師によるクリティカルケアの実際を学びます。またグループワーク等により、クリティカルな状態にある患者の特徴や倫理的な問題についての理解を深めます。

到達目標

一般目標：

クリティカルケアの基本を理解し、クリティカルケアがどのようなものか、必要とされる知識と態度、クリティカルケアの実際を説明できる。

行動目標：

・クリティカルケアが必要な患者および家族の状態、アセスメント、看護援助について説明できる
・クリティカルケアの実際について説明できる。
・クリティカルケアの必要な患者家族に対する倫理的問題とその援助について説明できる

授業の形式

講義・グループワーク

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

シラバスに記載されているキーワード及び各講義時に示された履修主題について教科書参考書にて予習してくること。講義終了後は、配布されたプリント等を整理し当該主題についてまとめを行うこと。グループワークでは、講義主題をまとめたノート・教科書・参考書を持参して臨むこと。

成績評価の基準等

筆記試験（70%）、グルーワーク（レポート）の成果（20%）、出席点（10%）で評価する。

学生へのメッセージ

クリティカルケアの知識は、将来病院医療に携わるときに欠かせないものとなります。まだ臨床経験の少ない皆さんにクリティカルな状態にある患者ををイメージすることは難しいかと思いますが、この講義を通してクリティカルな状態にある患者・家族に提供する看護を一緒に考えていきましょう。教科書は成人看護学Ⅰ・Ⅱ、実践看護技術学Ⅰで使用したものと同じものを使用します。また講義時に別途紹介します。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	ガイダンス・クリティカルケアとは	講義の概要。クリティカルケアの特性を学ぶ	阿部
2	クリティカルケアの対象（1）	クリティカルケアを必要とする患者の特徴を学ぶ	阿部
3	クリティカルケアの対象（2）	クリティカルケアを必要とする患者の特徴を学ぶ	阿部
4	クリティカルケアの対象（3）	クリティカルケアを必要とする患者の特徴を学ぶ	阿部
5	クリティカルケアの対象（4）	クリティカルケアを必要とする患者とその家族の特徴を学ぶ	阿部
6	クリティカルケアにおける看護管理	クリティカルケアにおける看護管理を学ぶ	阿部
7	集中治療室における看護の実際（1）	集中治療室における看護の実際を学ぶ	学内特別講師
8	集中治療室における看護の実際（2）	集中治療室における看護の実際を学ぶ	学内特別講師
9	集中治療室における看護の実際（3）	集中治療室における看護の実際を学ぶ	学内特別講師
10	集中治療室における看護の実際（4）	集中治療室における看護の実際を学ぶ	学内特別講師
11	救急部門における看護の実際（1）	救急部門における看護の実際を学ぶ	学内特別講師
12	救急部門における看護の実際（2）	救急部門における看護の実際を学ぶ	学内特別講師
13	救急部門における看護の実際（3）	救急部門における看護の実際を学ぶ	学内特別講師
14	クリティカルケアにおける倫理的問題（1）	クリティカルケアにおける倫理的問題を学ぶ	阿部
15	クリティカルケアにおける倫理的問題（2）	クリティカルケアにおける倫理的問題を学ぶ	阿部

選　択　科　目

【一般基礎科目】

71. 生命科学（入門）（選択）〔代謝、ＤＮＡ、細胞、生殖、発生〕

担当教員	◎津村　直美（生命科学）、 立野　裕幸（生物学）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	１単位	15コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

【履修目的】

地球上には多種多様な生物が生息しており、それぞれ特徴的な生命活動を営んでいる。しかし、細胞でできていること、エネルギーを利用すること、遺伝子をもつこと、子孫を残すことなど、基本的な生命のしくみはすべての生物種に共通である。本科目では、初めに、生命を構成する物質の種類と役割について学び、続いて、生命の最小単位である細胞の構造と働き、ＤＮＡの構造と働き、細胞分裂のしくみ、ヒトの生殖について学び、最後に、生命を育む生態系の役割について学ぶ。

【到達目標】

1）糖、タンパク質、脂質の種類と役割について説明できる。
2）ビタミンとミネラルの種類と役割について説明できる。
3）細胞の構造と細胞小器官の働きについて説明できる。
4）ＤＮＡの構造と働きについて説明できる。
5）細胞内外の情報伝達のしくみについて説明できる。
6）体細胞分裂と減数分裂の過程について説明できる。
7）無性生殖と有性生殖の過程について説明できる。
8）ヒトの配偶子形成、受精、発生について説明できる。
9）生態系の物質生産とエネルギー循環について説明できる。

授業の形式

基本的に manaba を活用するオンライン授業となる。授業の前日までに、各コマ数に対応した講義資料（ＰＤＦファイルなど）を manaba コンテンツ内にアップする。講義室で対面授業を行う場合はパワーポイントスライドを提示する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

時間割で講義日時を確認し、manaba コンテンツ内の対応する資料に目を通してください。インターネットだけでなく高校生物の教科書・参考書等も活用してください。質問は manaba を利用するか、もしくはメールで問い合わせてください。各教員のメールアドレスは履修要項のオフィスアワー一覧に掲載されています。

成績評価の基準等

毎回、授業終了後に manaba 上で小テストを行う。このテストは資料を学修したことの確認と授業への出席確認を兼ねる。成績評価は小テスト（30％）と前期試験週に実施予定の最終試験（70％、教員間の点数配分は半々）で判定する。合計60点以上で単位が認定される。ただし、最終試験が実施できない場合は改めて成績の評価基準を提示する。いずれの場合も全講義数の３分の２（10コマ）以上の出席が必要である。再試験は行わない。

学生へのメッセージ

生命科学は生命すべてに関わる学問です。本講義を通して、生命の不思議さ、すばらしさを知ってください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 大学で学ぶ身近な生物学	吉村成弘	羊土社	2,800円+税
(参) 楽しくわかる生物・化学・物理	岡田隆夫	羊土社	2,600円+税
(参) サイエンスビュー生物総合資料　四訂版		実教出版	850円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	生命と物質（1）	生体の階層性を踏まえて、糖・タンパク質・脂質の種類、サイズ、性質を学ぶ。	津村
2	生命と物質（2）	糖からエネルギーを得るしくみを学ぶ。独立栄養生物と従属栄養生物との相違を学ぶ。	〃
3	生命と物質（3）	タンパク質の代謝と細胞内外での様々な役割を学ぶ。	〃
4	生命と物質（4）	脂質の輸送・分布と代謝を学ぶ。ビタミンとミネラルの種類、役割が生物種により異なることを学ぶ。	〃
5	生命の最小単位：細胞（1）	細胞の基本構造と細胞小器官などの働きを学ぶ。	〃
6	生命の最小単位：細胞（2）	ＤＮＡの構造と働き、細胞周期との関わりを学ぶ。	〃
7	生命の最小単位：細胞（3）	ＤＮＡからタンパク質がつくられる過程を学ぶ。	〃
8	生命の最小単位：細胞（4）	細胞内外のコミュニケーション（細胞内･細胞間の情報伝達）を学ぶ。	〃
9	生命の連続性と多様性（1）	体細胞分裂の過程を学び、それらの意義について理解する。	立野
10	生命の連続性と多様性（2）	減数分裂の過程を学び、それらの意義について理解する。	〃
11	生命の連続性と多様性（3）	生物の繁殖戦略として、無性生殖と有性生殖の特徴と意義を学ぶ。	〃
12	生命の連続性と多様性（4）	ヒトの精子形成と卵子形成について学ぶ。	〃
13	生命の連続性と多様性（5）	ヒトの発生（受精、着床）について学ぶ。	〃
14	生命の連続性と多様性（6）	ヒトの発生（器官形成）について学ぶ。	〃
15	生命の連続性と多様性（7）	生態系における物質生産とエネルギー循環について学ぶ。	〃

72. 生命科学（発展）（選択）〔細胞、発生、遺伝〕

担当教員	◎日下部　博一、日野　敏昭（生物学） 津村　直美（生命科学）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	後　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

生命科学（発展）の履修目的は、これまでに講義や書物などから得た生物・医学的な知識を、観察や実験を通して深く理解することである。この科目は細胞、発生、遺伝の３つの柱からなり、「見る」を共通テーマとした実習形式で行われる。

到達目標

１）顕微鏡や実験器具等を正しく使うことができる。
２）ヒト末梢血における各種細胞の特徴を説明できる。
３）体外受精法、受精卵の特徴とその発生過程を説明できる。
４）ＰＣＲ法の原理と応用方法を説明できる。（または、ヒトの核型分析ができる。）
５）観察･実験結果を科学的レポートとしてまとめることができる。

授業の形式

授業は、連続３日間（１日５コマ）の実習形式で行われる。実験の目的、方法、原理などについて、配付資料などによる説明を受けた後、実際の実習に入る。顕微鏡観察を中心とした実習は個人単位で行われるが、体外受精とＰＣＲのテーマは当該科目の選択者の人数によって個人単位で行うか、グループの共同実験形式で行うかを決める。（なお、選択者数によっては、ヒトの染色体のテーマに変更することもある。）各人は観察･実験結果をスケッチまたはレポートにまとめて提出期限までに提出する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

実験や実習を手際よく確実に進めるためには、実習で取り扱う細胞（血球、精子、卵子、受精卵）、遺伝子増幅法（ＰＣＲ法）、ヒトの染色体について、予め参考書などで確認しておくことが大切である。

成績評価の基準等

成績評価は全ての履修主題（実習テーマ）を履修した学生に対し、観察・実験に取り組む姿勢（10％）と、スケッチ・レポートの内容（90％）で評価する。

学生へのメッセージ

開始時間に遅れないように集合すること。実習室（実験室）では上履き（動きやすいもの）を履き、白衣を着用すること。体調不良などで欠席しないように、日頃の健康管理には十分注意すること。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) ＺＥＲＯからの生命科学	木下勉・他	南山堂	2,400 円
(参) 医療･看護系のための生物学	田村隆明	裳華房	2,700 円
(参) 人の生命科学（第３版）	佐々木史江･他	医学書院	2,600 円
(参) 機能を中心とした図説組織学（第５版）	澤田元・他訳	医学書院	9,500 円
(参) キャンベル生物学（原書11版）	池内昌彦・他監訳	丸善	15,000 円
(参) 超実践バイオ実験イラストレイテッド	西方敬人・真壁和裕著	秀潤社	3,800 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ヒト末梢血細胞の観察	ヒト末梢血塗抹標本を使って生物顕微鏡の構造と使用方法を学ぶ。次に、血液における各種細胞（赤血球、白血球）や血小板などを、油浸対物レンズを用いて総合倍率1000倍で観察し、それらの特徴を理解する。	日下部 日野 津村
2			
3			
4			
5			
6	体外受精と受精卵の観察	哺乳動物またはヒトにおける体外受精法の歴史、医療への応用について学ぶ。次に、マウスの精子と卵子を顕微鏡で観察する。さらに体外受精法により受精卵を作製し、体外培養法により２細胞期胚まで発生させて観察することにより、胚発生の過程と生命の尊さを深く理解する。	日下部 日野 津村
7			
8			
9			
10			
11	ＰＣＲ法による遺伝子の増幅と解析 （または、ヒトの染色体観察と核型分析）	基礎医学研究や遺伝子診断などで広く使われている遺伝子増幅法（ＰＣＲ法）の原理について学ぶ。さらに、アルデヒドデヒドロゲナーゼ遺伝子を例として遺伝子の多型を調べるとともに、遺伝子診断で生じる倫理問題について理解を深める。 （ヒトの末梢血リンパ球から作製した染色体標本を観察し、正常核型における各染色体の特徴を理解する。）	日下部 日野 津村
12			
13			
14			
15			

73. 看護化学（選択）〔原子・分子、酸・塩基、酸化・還元、エネルギー、反応速度論、生体分子〕

担当教員	◎秋田谷龍男、眞山　博幸、室﨑　喬之（化学）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第１学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

本科目は高校化学の復習、ならびに１年次で開講される生命科学分野緒科目への準備・接続科目として位置づけられる。

将来、疾病と治療法の理解に到達するためには、生命・生体の基本原理を理解する必要がある。また医療現場にある物質についての基本知識も重要である。生体を構成する分子や分子集合体の分子構造と高次構造、それらの変化を駆動する法則を学ぶ。自己組織化、恒常性など生命に特徴的な性質や物質の性質を理解する化学的な考え方を養成する。

到達目標

・化学の理解に必要な基礎知識を説明し、濃度計算などの基本技能を実施できる。
・原子や分子の基本的な構造と化学反応性を説明できる。
・酸と塩基、酸化と還元を説明できる。
・物質の状態を定量的に表す基本法則を説明できる。
・平衡状態の基本的性質を説明できる。
・化学変化の速度（反応速度論）の基本原理を説明できる。
・生体分子や分子集合体の構造と性質、医学との関係を説明できる。

授業の形式（板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など）

講義（スライド提示、板書、プリント）。講義資料、補足プリントを配布する。一部ホームページにも掲載する。講義中に問題練習を行うことがある。オンライン授業の場合は、別途 manaba に掲示する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

短い期間で上級科目に必要な知識・技能を確実に身につけることが要求されています。さらに大学の勉強を理解するには高等学校より質的に数段高い思考活動（帰納・演繹・抽象化・論理展開など）が必要です。十分な学習とその他の活動を両立させる“けじめ”が重要です。

成績評価の基準等

筆記試験を行い、総合で60％以上の得点を合格とする。オンライン授業の場合は別途 manaba に掲示する。

学生へのメッセージ

“正しい”勉強は何かということをよく考えて下さい。術語を単純に記憶するだけで、背景にある論理や概念、歴史的経緯を理解しない行為は勉強ではありませんし、良い評価（成績）に結びつきません。“わからない”こと（勉強法も）を早くみつけて質問に来てください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座 基礎分野　化学　第７版	奈良雅之	医学書院	2,640 円
(参) コ・メディカル化学 医療･看護系のための基礎化学	齋藤勝裕・荒井貞夫・久保勘二	裳華房	2,640 円
(参) 生命系のための有機化学Ⅰ 基礎有機化学	齋藤勝裕	裳華房	2,640 円
(参) 新しい高校化学の教科書	左巻健男	講談社	1,430 円
(参) 高校で教わりたかった化学	渡辺匡、北條博彦	日本評論社	2,090 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	身の回りの化学	混合物、純物質、水の性質、モル、分子の重さ、電解質、非電解質、生理食塩水について理解する。	眞山
2	化学の単位と元素の周期表	元素の周期表、イオンになりやすい元素、一般的な単位（ＳＩ単位）、医療で用いられる特別な単位について理解する。	眞山
3	物質の三態と気体の性質	固体、液体、気体、状態変化、融点、沸点、気体の圧力について理解する。	眞山
4	液体・溶液の性質	気体の状態方程式、気体の体積、圧力、温度、溶液の浸透圧について理解する。	眞山
5	溶液の濃度と浸透圧	溶液の濃度と注射液の浸透圧について理解する。	眞山
6	化学平衡－1	化学平衡と平衡定数、ルシャトリエの原理、酸塩基平衡の基本を理解する。	秋田谷
7	化学平衡－2	酸塩基平衡の発展として、電離と電解質、酸と塩基の定義、酸塩基の価数と強弱、水素イオン濃度とｐＨを理解する。	秋田谷
8	化学平衡－3	中和反応と塩の生成、電離平衡と電離定数、緩衝液、中和滴定と滴定曲線を理解する。	秋田谷
9	生体分子の化学－1	生体分子を理解するための有機･無機･物理化学の基礎を理解する。	秋田谷
10	生体分子の化学－2	アミノ酸の分子構造と化学的性質、タンパク質の分子構造と化学的性質の基礎を理解する。	秋田谷
11	化学反応－1	化学反応の基本法則と種類について理解する。	室﨑
12	化学反応－2	酸化と還元の基本原理について理解する。	室﨑
13	化学反応－3	反応速度の表し方と反応機構について理解する。	室﨑
14	化学平衡－4	酸化還元平衡、平衡定数と溶解平衡について理解する。	室﨑
15	生体分子の化学－3	糖質、核酸のような高分子化合物や脂質のような分子集合体、含水軟組織（ハイドロゲル）について理解する。	室﨑

74. 看護遺伝学（選択）〔ゲノム、遺伝性疾患、遺伝カウンセリング〕

担当教員	◎立野　裕幸（生物学／内線2729、email：htateno@～）、蒔田　芳男（遺伝子診療カウンセリング室／内線2870、email：makita5p@～） ※（@の後は asahikawa-med.ac.jp）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	後　期	２単位	15コマ

授業の概要（履修目的・授業概要）

遺伝医学の急速な発展とともに、医療や患者に関わる遺伝情報も医療現場で増大してきている。医療従事者は、それらの遺伝情報を正しく理解しながら日常の業務に従事することが求められている。本科目では、人類遺伝学や臨床遺伝学の基礎知識の習得から看護介入を進めるまでの全体像を理解することを目標とする。本科目は、助産学に必要な内容を網羅する内容となっている。

到達目標

①ゲノムの基本である遺伝子の本体と機能を説明できる。
②常染色体遺伝様式とＸ連鎖遺伝様式を説明できる。
③非メンデル遺伝の遺伝性疾患について説明できる。
④エピゲノムと遺伝性疾患の関係について説明できる。
⑤遺伝子診断に係る生命倫理および法的･社会的課題を概説できる。
⑥遺伝カウンセリングの具体例をもとに、クライエントに提案するシナリオを作成し、ロールプレイを行うことができる。

授業の形式

指定された登校週に関わらず、履修者全員への対面授業とする。ただし新型コロナ感染症拡大のため登校できない場合は、Zoom によるオンライン授業とする。講義内容によってはビデオ等の視聴覚教材を利用することもある。遺伝疾患の事例をもとに、ロールプレイによる擬似遺伝カウンセリングを体験する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

教科書「遺伝看護学」や manaba で配付された資料にあらかじめ目を通し、その日の講義内容を知っておくこと。質問があれば、授業や manaba の個別質問コーナーを利用すること。研究室を訪問する場合は、事前にメールで教員の都合を確認すること。

成績評価の基準等

manaba の小テスト、定期試験（２月）の成績およびグループ討論への参加やロールプレイへ取組む姿勢により評価する。評価配分は、小テスト30％、試験50％、その他20％を原則とする。定期試験を受けるためには講義時間の３分の２以上の出席が必要である。基準を変更する場合は通知する。

学生へのメッセージ

遺伝学はヒトの多様性を理解する学問です。そのため、倫理的・心理的・社会的な側面からの理解も求められます。下記の参考書にはそれらに関する内容も扱われているので、自らの学修に活用してください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 遺伝看護学	西垣・渡邉編	羊　土　社	2,400円+税
(参) 助産学講座２：母子の基礎科学	我部山･武谷編	医 学 書 院	4,300円+税
(参) 遺伝／ゲノム看護	有森・溝口編	医歯薬出版	3,200円+税

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	ゲノムの基本	ＤＮＡ・遺伝子・染色体の構造と役割およびそれらの関連性を学び、ヒトのゲノムの全体像を理解する。	立野－１(生物学)
2	細胞周期と細胞分裂	細胞周期のＳ期におけるＤＮＡ複製とＭ期における染色体分配の仕組みを学び、体細胞分裂による遺伝の伝承性と減数分裂による遺伝の多様性を理解する。	立野－２(生物学)
3	遺伝情報の発現と制御	ＤＮＡの塩基配列がｍＲＮＡに転写され、タンパク質のアミノ酸配列に翻訳される仕組みを学び、遺伝子発現の制御と意義について理解する。	立野－３(生物学)
4	単一遺伝子病（１）：常染色体遺伝	ヒトの常染色体優性遺伝病と劣性遺伝病の遺伝形式、発症の仕組み、および発症に影響する因子について学ぶ。	立野－４(生物学)
5	単一遺伝子病（２）：Ｘ連鎖遺伝	ヒトの伴性遺伝病（Ｘ連鎖劣性）の遺伝形式を学び、性による発症リスクの違いについて理解する。	立野－５(生物学)
6	非メンデル遺伝の遺伝性疾患（１）	遺伝要因と環境要因との相互作用によって発症する多因子病について学ぶ。	立野－６(生物学)
7	非メンデル遺伝の遺伝性疾患（２）	ミトコンドリア病の原因と遺伝形式およびエピジェネティクス異常による疾患について学ぶ。	立野－７(生物学)
8	がんと遺伝子変異	がんの発生に関わる原がん遺伝子、がん抑制遺伝子、ＤＮＡ修復遺伝子の機能について学ぶ。	立野－８(生物学)
9	染色体異常	染色体の数的異常（異数性、倍数性、モザイク）と構造異常（欠失、転座）の生成機序について学び、代表的な染色体異常症の特徴を理解する。	立野－９(生物学)
10	エピゲノムと遺伝性疾患	DOHaD (Developmental Origin of Health and Disease) の中心的機構と考えられているエピゲノム修飾について学び、現在の私たちの生活習慣が健康に与える影響の機序の一つを述べることができる。	蒔田－１(遺伝子診療カウンセリング室)
11	遺伝子診断（１）	出生前診断の背景と方法を知ることで、そのＥＬＳＩ（Ethical, Legal, and Social Issue）について概説できる。	蒔田－２(遺伝子診療カウンセリング室)
12	遺伝子診断（２）	がんパネル検査に代表される体細胞遺伝子診断の背景と方法を知ることでそのＥＬＳＩについて概説できる。	蒔田－３(遺伝子診療カウンセリング室)
13	遺伝カウンセリング（１）	遺伝医学の医療応用において欠くことのできない遺伝カウンセリングについて、その必要性について述べることができる。	蒔田－４(遺伝子診療カウンセリング室)
14	遺伝カウンセリング（２）	カウンセリングの具体例をもとに、どのようにクライエントに提案するかをグループで話し合い、シナリオを作成することができる。	蒔田－５(遺伝子診療カウンセリング室)
15	遺伝カウンセリング（３）	カウンセリングの具体例をもとに、どのようにクライエントに提案するかをグループで話し合い、シナリオに基づいたロールプレイをすることができる。	蒔田－６(遺伝子診療カウンセリング室)

選　択　科　目

【専門基礎科目】

75. 保健医療福祉行政論（選択）

担当教員	佐々木　健（非常勤）、工藤　康子（非常勤）、 糸田　尚史（非常勤）、深津　恵美（非常勤）、 ◎藤井　智子（看護学科）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	後　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

保健医療福祉行政とは国民の基本的人権である健康で文化的な生活を営む権利を保障するために、行政権の主体である国・地方自治体が行う活動である。その基本原則や社会情勢に伴う変遷を学び、様々なライフサイクル、健康課題をもつ人々の支援に向けての施策、保健医療福祉計画の立案について理解を深める。

到達目標

・基本的な法体系や保健医療福祉行政の目的、制度、仕組み、財政について理解する。
・保健医療福祉計画の作成、評価の方法、策定のプロセスについて理解する。
・将来、専門職として保健医療福祉施策を担い、社会情勢に応じた新たな施策の構築に主体的に参画するための役割を探求する。

授業の形式

・講義およびディスカッション
・保健・福祉分野の第一線で活躍、研究されている方々を講師に迎え、オムニバス方式の講義です。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

講義前には教科書の該当部分をよく読み臨んでください。配られた資料、プリントは講義終了後よく読んでください。

成績評価の基準等

試験（70％）及び出席状況（30％）で評価します。
試験は各講師から出題し、合計します。

学生へのメッセージ

地域で暮らす住民の健康を守るには保健、医療、福祉が連携をとりながら、地域にあったしくみをつくっていくことが不可欠であり、多様な専門職が活躍していることを理解することが大事です。選択制で少人数であることが予想されますので積極的な発言、態度で参加することを期待しています。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 保健医療福祉行政論	藤内修二他	医学書院	3,024 円
(教) 厚生の指標・国民衛生の動向	厚生統計協会	厚生統計協会	2,500 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	保健医療福祉行政のめざすもの	・保健医療福祉行政の基本理念と目標	佐々木(非常勤)
2	公衆衛生行政の機能	・地域保健法と地方自治 ・国、都道府県、市町村の行政の仕組みと役割	佐々木(非常勤)
3	保健医療福祉制度の変遷	・公衆衛生の基盤形成	佐々木(非常勤)
4	保健医療福祉行政と政策	・ライフサイクルに応じた各対策、施策	佐々木(非常勤)
5	保健医療福祉行政と政策	〃	佐々木(非常勤)
6	保健医療福祉行政と政策	〃	佐々木(非常勤)
7	保健医療福祉行政と保健師活動	・地域保健の体系 －地域保健に関する公的機関 保健所・市町村における保健師活動と連携	工藤(非常勤)
8	保健医療福祉行政と保健師活動	・健康課題に応じた各対策、施策	工藤(非常勤)
9	保健医療福祉行政と保健師活動	〃	工藤(非常勤)
10	社会福祉の制度	・社会福祉の法規と行政体系 ・児童家庭福祉－児童福祉の制度 －神経発達症群（発達障害）への支援を通して－	糸田(非常勤)
11	社会福祉の制度	〃	糸田(非常勤)
12	社会福祉の制度	〃	糸田(非常勤)
13	保健医療福祉計画と評価	・地方自治体の保健医療福祉計画	深津(非常勤)
14	保健医療福祉計画と評価	・保健医療福祉計画の策定プロセス ・計画の推進と評価 ・住民と行政の協働	深津(非常勤)
15	保健医療福祉計画と評価	・計画策定における保健師の役割と責任	深津(非常勤)

選　択　科　目

【専門科目】

76. 公衆衛生看護学概論（選択）

担　当 教　員	◎藤井　智子、北村久美子（非常勤）、塩川　幸子、 杉浦　圭輔（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２学年	後　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

公衆衛生看護学は、地域社会の大きなヘルスケアシステムの中に位置づけられる固有の看護専門機能である。その定義は、それぞれの時代の健康問題を反映し実践活動の積み重ねの中で形成されてきた。

どの時代にも共通する要素として公衆衛生看護学は、公衆衛生学および看護学という２領域が統合したひとつの専門領域であるということである。

そこで目的は、地域社会で生活をしている人々の健康レベルの向上と地域全体の健康レベルの向上を目指す活動について理解する。

到達目標

・地域で生活している人々が健康に関心を持ち、自ら健康問題と課題を（認識し）解決できる力を高める必要性を学ぶ。
・既習の教育課程で学んだ知識・技術をさらに地域・対象特性に合わせ工夫し発展させることを学ぶ。
・常に実態ニーズ把握、計画、実施、評価を行い“無”から“有”を生み出す創造力と実践力が求められることを学ぶ。

授業形式

講義、グループワーク、視聴覚機器の活用

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

看護とは、公衆衛生とは、福祉とは、について復習・予習を充分に行って臨むこと。１学年に履修した地域看護学の「地域見学レポート」を持参して臨むこと。

成績評価の基準等

出席（15%）、レポート・試験（85%）から総合的に評価します。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

公衆衛生とは何か、福祉とは何か、地域の健康レベルの向上とは何か……など次々と疑問が湧き社会が求める公衆衛生看護について考えましょう。人々の健康・福祉に関する日常の出来事（新聞記事など）にも大いに関心を持ち物事の見方、考え方の視野を広めましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 公衆衛生看護学概論	金川克子編集	メジカルフレンド	3,240 円
(参) 公衆衛生看護学	荒賀直子他	インターメディカル	4,400 円
(参) 新版保健師業務要覧	井伊久美子他	日本看護協会出版会	4,536 円
(参) 沢内村奮戦記	太田祖電他	あけび書房	3,000 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	看護の本質	・既習の教育課程で得た自己の看護観を明確にすることにより、公衆衛生看護学は、看護が基盤になっていることを理解する。	北村 (非常勤)
2		〃	〃
3		〃	〃
4		〃	〃
5	公衆衛生看護活動の意義と目的	・公衆衛生の本質や健康管理活動を理解し、公衆衛生看護学は看護学と公衆衛生学から成る専門領域であることを学ぶ。	〃
6		〃	〃
7		・保健師の活動事例をとおして公衆衛生看護活動の目的、目標、意義について理解する。	〃
8		〃	〃
9	わが国の保健師活動の特徴	・保健師が誕生した背景について学ぶ。	〃
10		〃	〃
11		・特に保健所・市町村の行政機関に勤務する保健師と憲法第25条、地方自治法との関連、社会的責任について学ぶ。	〃
12		〃	〃
13	公衆衛生看護活動と看護理論	・履修内容の地域保健法・社会福祉法・介護保険法などの法律、ヘルスプロモーション、ナイチンゲール等の理論を通しサポートネットワークづくり、政策づくりなど公衆衛生看護活動の本質を学ぶ。	〃
14			〃
15	公衆衛生看護活動の芽生え・時代的背景推移とその要因		〃

公衆衛生看護学概論　　第２学年・後期・30コマ（選択）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	公衆衛生看護活動の芽生え・時代的背景推移とその要因	・公衆衛生や公衆衛生看護は、社会情勢が深く関連していることについて学ぶ。 ・先輩保健師の活動から、地域の人々の健康上のニーズを行政施策、制度化に反映するとはどういうことなのかについて学ぶ。 ・歴史的事実に照らして考察した公衆衛生看護活動をふまえ、現代にどのように影響しているのか、さらに将来を展望する意義について学ぶ。	北村 (非常勤)
17			〃
18			〃
19			〃
20			〃
21			〃
22			〃
23	保健師と公衆衛生看護活動	・対象となる個人・家族の特性および保健行動と保健活動について学ぶ。 ・保健師の活動モデルについて学ぶ。	〃
24		・個人・家族・集団・地域社会全体が対象となり、さらに有機的なつながりについて理解する。・施設内看護との違いを明確に理解する。	〃
25	公衆衛生看護活動の展開とその特性	・地域観察の俯瞰的・緻密な視点について理解する。 ・情報収集は多面的に行い、情報の“意味あい”を明確にする意義について学ぶ。	杉浦 (非常勤)
26		・個人・家族・集団・地域全体の相互関係を考慮した支援の継続性の意義について学ぶ。 ・ソーシャルキャピタルについて学ぶ。	〃
27		・活動計画や評価において、量的・質的の両側面を重視することの意義を学ぶ。	〃
28	公衆衛生看護活動の将来と展望	・保健所保健師の役割と活動の実際について学ぶ。	塩川
29		・専門職業人とは何か、その本質について理解し、保健師の現任教育、生涯学習の必要性について学ぶ。	〃
30		・公衆衛生看護活動の展望について考える。	〃

77. 助産学概論（選択）〔助産学、保助看法、母子保健統計、外国の母子保健、助産にかかわる概念と理論〕

担当教員	◎山内まゆみ、原口眞紀子（学内特別講師）、石倉かおり（学内特別講師）、伊藤　幸子（非常勤）、金井　麻子（学内特別講師）、西野　共子（非常勤）、北田　恵美（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	後　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

助産学の基本として、助産師の専門性、役割を法律や倫理から学び、助産師に求められる能力（知識・態度）を理解する。また、助産師として、母子保健の向上に果す責務を考えることができる。

到達目標

1．助産の定義を述べることができる。
2．法に基づいた助産師の責務、業務と役割を説明できる。
3．母子保健の動向と課題を外国と比較して説明できる。
4．母子保健の施策、制度について述べることができる。
5．母子保健に関わる法律の種類と内容を述べることができる.
6．助産管理について学び、産科施設、対象者、助産管理の特徴を説明できる。
7．助産師教育の基礎教育、現任教育、継続教育を理解し、助産学の発展に寄与する看護研究の必要性を説明できる。

授業の形式

講義（ほぼオムニバス形式）、一部グループワーク

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

母性看護学のテキストは既習のこととして進めるので、準備として復習をしておくこと。履修内容を事前に自己学習・予習（復習）してから出席すること。母子保健やリプロダクションに関連する新聞記事やカレント情報などを積極的に収集し、そのことについて、既習の専門的知識を用いて自己学習まで行い、学生間で共有すること。

成績評価の基準

出席３分の２以上のものを評価対象とする。助産師課程希望者には必須科目である。オムニバス形式の講義となるため、全日出席を期待する。成績評価は、筆記試験（70％）、レポート等の課題提出（20％）、出席･授業態度（10％）で判定する。合計60％以上を合格とする。追試験は行なわない。

学生へのメッセージ

助産師課程選択希望者には必修科目である。助産師の役割や業務内容、法的責任の位置づけを学び、国際倫理綱領、等、国際的な視野からも理解を深め、目指したい助産師像を描けるようになること。なお、下記参考図書については、助産師を目指す学生は教科書として活用すること。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 助産学講座1　助産学概論　第5版	我部山キヨ子他編	医学書院	3,800円+税
(教) 助産学講座５　助産診断・技術学Ⅰ第６版	我部山キヨ子他編	医学書院	3,800円+税
(教) 助産学講座10　助産管理　第5版	我部山キヨ子他編	医学書院	3,200円+税
(参) 新版　助産師業務要覧第３版Ⅰ基礎編	福井トシ子編	日本看護協会出版会	2,800円+税
(参) 新版　助産師業務要覧第３版Ⅱ実践編	福井トシ子編	日本看護協会出版会	3,000円+税
(参) 母子保健の主なる統計　最新版	母子衛生研究会	母子保健事業団	2,200円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	ガイダンス／助産師の定義、責務、業務範囲	・ガイダンス：助産学履修の方法と今後の予定、学習・実習の進め方、試験について説明する。 ・助産の基本概念、について学習する。助産師に求められる役割と能力、業務範囲、助産に関する関係法規と助産師の責務について、学習する。	山内
2			山内
3	母子保健の動向	母子保健統計から母子保健の課題と動向を学ぶ。	伊藤
4	母子保健に関する法律と施策	我が国の母子保健にかかわる法律と施策について学ぶ。	伊藤
5	助産師と倫理１	助産師としてかかわる倫理的問題について学ぶ	山内
6	助産師と倫理２	助産師の倫理綱領について学習し、助産師の職業倫理について学ぶ	山内
7	外国の母子保健	外国の母子保健の現状と課題について学ぶ。	西野
8	助産師が扱う超音波診断の基礎１	助産師が扱う超音波診断の基礎（危機の基礎、胎児発育の味方）について学ぶ（講義）。	金井
9	助産師が扱う超音波診断の基礎２	助産師が扱う超音波診断の基礎（危機の基礎、胎児発育の味方）について学ぶ（演習）。	金井
10	お産の歴史と産習俗	日本における助産の歴史と参習俗について学ぶ。	伊藤
11	助産師の活動の場と助産管理（総論）	助産師の活動の場の特徴と業務管理について学ぶ。	原口
12	助産管理－産科病棟	周産母子センターの産科病棟の助産管理とその実際、課題ｔについて学ぶ。	石倉
13	助産管理－助産所	助産所の特徴、助産管理とその実際、課題について学ぶ。	北田
14	助産師教育	助産基礎教育、現任教育、継続教育について、助産学と看護研究の意義と必要性について学ぶ。	山内
15	助産に関わる理論	助産ケアに活用される理論と技術（援助の基本、健康教育、女性中心のケア、家族中心のケア）について学ぶ。	山内

78. 助産活動論Ⅰ（選択）〔リプロダクションと健康・様々な健康問題を抱える女性と家族への支援〕

担当教員	◎山内まゆみ、巻島　愛、長谷川博亮、 蒔田　芳男（学内特別講師）、 水無瀬　学（学内特別講師）、 伊藤　幸子（非常勤）、 林　時仲（非常勤）、 金森　聖美（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	後　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

女性の生涯をとおして、リプロダクティブヘルス／ライツを支援するために必要な女性特有の課題と支援を学ぶ。
※大学のＢＣＰレベルにより分散登校の可能性、方法変更の可能性がある。

到達目標

１．リプロダクティブヘルス／ライツの概念を述べることができる。
２．家族の発達、家族システムについて説明できる。
３．愛着理論、母子・父子関係と相互作用について説明できる。
４．不妊症と生殖補助医療について理解し、看護者の役割を説明できる。
５．母乳育児の意義と支援について理解し、看護者の役割を説明できる。
６．周産期におけるグリーフワークを理解し、看護者の役割を説明できる。
７．児童虐待や家庭内暴力について理解し、看護職の役割を考える。
８．遺伝と遺伝カウンセリングの必要性について学び、看護者の役割を説明できる。

授業の形式

課題となるテーマを専門とする講師によるオムニバス形式の講義が中心となる。それをふまえて、各履修主題を理解し、不明点・疑問点は積極的に質問や自己学習により解決して学習を重ねること。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

関連トピックスについて様々なメディアを通して予習し、自己の考えをもって参加すること。また、復習として、学習した内容について、看護職者としての役割を考察し、記述しておくなど、自己学習を工夫すること。

成績評価の基準等

出席３分の２以上のものを評価対象とする。オムニバス形式の講義となるため、全日出席を期待する。試験は後期試験で60点以上を合格とする。再試験は行わない。各トピックスに関するレポートがある場合は、適切なレポートの書き方となっていなければ成績から減点する（レポートの体裁、文章の構成は正しいか、引用文献は活用しているか、引用方法は正しいか、引用が長すぎないか、引用した内容は自分の意見は区別できる記述となっているか、文献活用により自己の考え導いているか、などを評価）。
※大学のＢＣＰレベルにより成績評価方法変更の可能性がある。

学生へのメッセージ

助産師課程選択希望者には必修科目である。女性のライフサイクル上、発生する健康課題や社会的に問題となっている課題が学修テーマである。そのため、ニュースやカレントトピックスに注意し、関心を寄せ、自分自身の考えを持って参加すること。下記参考図書については、助産師を目指す学生は教科書として活用すること。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 助産学講座２　母子の基礎科学　第６版	我部山キヨ子他編	医学書院	4,400円+税
(参) 助産学講座３　母子の健康科学　第５版	我部山キヨ子他編	医学書院	3,800円+税
(参) 助産学講座４　母子の心理・社会学　第５版	村瀬聡美他編	医学書院	3,800円+税
(参) 助産学講座５　助産診断・技術学Ⅰ第６版	堀内成子編	医学書院	3,800円+税
(参) 赤ちゃんの死を前にして－流産・死産・新生児死亡への関わり方とこころのケア	竹内正人編	中央法規	3,024円(税込)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	女性のライフサイクルとリプロダクション	女性の発達の特徴と健康問題をリプロダクションの視点から学ぶ（不妊症、若年妊娠、高齢の妊婦・産婦・褥婦）。	伊藤
2	健康問題を抱える女性や家族への支援	さまざまな健康問題を抱える女性とその家族を支える支援を学ぶ。	伊藤
3	家族の発達親子関係	家族システム論、家族の発達について学ぶ。	伊藤
4	母子・父子関係	アタッチメント、愛着・愛着障害、親子関係･父親の役割（父性の発達）、母子相互作用について学ぶ。	山内
5	思春期・青年期のケア	思春期･青年期のメンタルヘルスケア、思春期の栄養など思春期・青年期の課題と看護について学ぶ。	巻島
6	不妊症の現状と生殖補助医療	不妊症の現状と治療、生殖補助医療を学ぶ。	学内特別講師
7	不妊症の女性・家族に対する支援	不妊症の女性・家族への支援と看護職の役割を学ぶ。	伊藤
8	母乳育児	母乳育児について学び、支援について考察する。	林
9	小児医療・キャリーオーバーと育成医療	小児医療の進歩とキャリーオーバー患者の現状、育成に関する様々な課題と支援、助産師（看護職）との連携について学ぶ。	林
10	周産期におけるグリーフケア	死産、新生児死亡を体験した女性、終末期の子どもを育てる女性と家族への支援について学ぶ。	林
11	遺伝とカウンセリング	家系図の書き方、遺伝について学ぶ。	蒔田
12	出生前診断	出生前診断、遺伝カウンセリングについて学ぶ。	蒔田
13	カウンセリングの技術	遺伝カウンセリングや助産ケアに活用できる相談技術（カウンセリング、アサーション）について学び、具体的にイメージできる。	長谷川
14	児童虐待防止に向けた周産期からの支援	児童虐待の現状について学び、周産期から有効な予防に向けた看護職（助産師）ができる支援と役割について考察する。	伊藤
15	双胎育児支援	双胎児の育児の実際について理解し、育児支援について考察する。	金森

79. 公衆衛生看護活動論Ⅰ（個人・家族・集団）（選択）

担当教員	◎塩川　幸子、水口和香子、吉田　貴彦、高松　葉子（非常勤）、断酒会（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	前　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要
・地域で生活する人々のライフサイクル、健康課題の特性に応じた健康と生活を守るために必要な基本的な知識・技術を学ぶ。
・公衆衛生看護活動の特徴と具体的な展開を理解し、地域の健康課題の解決に結びつけていく保健師の役割について探求することができる。

到達目標
・乳幼児期から高齢期に至る発達段階の特性を踏まえて全てのライフサイクルにある人々の健康を保持・増進するために、地域で行われる保健福祉活動の展開方法を理解する。
・行政、産業保健、学校保健における場の特性に応じた健康課題と看護の役割を理解する。
・時代や社会の変化から多様化する健康課題の特性に応じた保健福祉活動について、その背景を理解し、保健師が果たす役割と具体的な展開方法を理解する。

授業の形式
・講義、グループワーク、課題学習を組み合わせて進める。毎回、プリントを配布する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量
・公衆衛生看護活動の目的、活動展開方法について教科書・参考書にて予習してくること。配付資料、教科書等に掲載されている事例を読み、様々なライフサイクル、健康課題を持つ人々への支援方法についてまとめる。

成績評価の基準等
出席状況（15%）、課題レポート（20%）、試験（65%）とし、総合的に評価します。

学生へのメッセージ
様々なライフサイクル、健康課題に対する公衆衛生看護活動の展開方法について、地域でよく出会う事例を通して具体的に理解を深めていきましょう。積極的な発言、主体的な学習を期待します。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 標準保健師講座３　対象別公衆衛生看護活動	松田正己他	医学書院	3,740円
(教) 国民衛生の動向(2020／2021)		厚生統計協会	2,695円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	公衆衛生看護活動とは	個人、家族、集団、組織、地域全体を対象とする公衆衛生看護活動とは何か	塩川
2		ライフサイクル、健康課題の特性に応じた公衆衛生看護活動の考え方と活動展開方法について学ぶ。	〃
3	健康課題別保健活動①難病保健福祉活動	難病対策の現状と課題について学ぶ。	〃
4		難病患者・家族が抱える課題と保健師の支援について理解する。	〃
5		難病患者・家族を支える地域ケアシステムづくりにおける保健師の役割を学ぶ。	〃
6	健康課題別保健活動②感染症保健福祉活動	感染症対策の基本となる法律と考え方、感染症の予防対策と発生時における保健師の役割を学ぶ。	〃
7		結核の基礎知識と法律、結核対策の実際と保健師の役割について理解する。	〃
8		主な感染症（エイズ、肝炎、インフルエンザ等）の予防と対策、保健福祉活動について学ぶ。	〃
9	健康課題別保健活動③地域精神保健福祉活動	精神障害者に関わる施策の歴史と支援活動について学ぶ。	〃
10		地域で生活する精神障害者の相談、家庭訪問、グループ支援、地域づくりについて学ぶ。	〃
11		断酒会の活動とアルコール依存症の回復について学ぶ。	断酒会(非常勤)
12		自殺対策と心の健康づくり活動における保健師の役割について理解する。	塩川
13	産業保健①労働衛生行政	労働衛生行政と産業保健の考え方について学ぶ。	吉田
14		〃	〃
15	産業保健②産業保健における看護活動	産業保健活動の現状、地域保健と産業保健の連携について学ぶ。	塩川

公衆衛生看護活動論Ⅰ　　第３学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	学校保健①	学校保健の現状と課題、地域保健と学校保健の連携について学ぶ。	塩川
17	学校保健②	学校保健の実際と養護教諭の役割について学ぶ。	高松(非常勤)
18	ライフサイクル別保健活動①母子保健福祉活動	母子保健福祉活動の理念と変遷、子育て支援施策について学ぶ。	塩川
19		子育て支援における保健師の役割と活動（乳幼児健診、予防接種）について理解する。	〃
20		子育て支援における保健師の役割と活動（母子健康手帳の交付、新生児訪問）について理解する。	〃
21		地域の子育て支援体制づくりについて事例をもとに考える。	〃
22		障害児の支援活動や児童虐待予防活動における保健師の役割について学ぶ。	〃
23	ライフサイクル別保健活動②成人保健活動	成人保健の現状と課題、健康づくりの基盤となる施策・制度・事業について学ぶ。	〃
24		〃	〃
25		生活習慣病予防活動と保健指導について学ぶ。	〃
26		〃	〃
27	ライフサイクル別保健活動③高齢者保健福祉活動	高齢者保健福祉の現状と課題、介護予防活動の基盤となる施策・制度・事業について学ぶ。	水口
28		介護予防に向けた保健師活動の展開について学ぶ。	〃
29		高齢者保健福祉活動における保健師の役割について学ぶ。	〃
30	まとめ	公衆衛生看護活動の特徴と保健師の役割について考える。	塩川

80. 公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域アセスメント）（選択）

担当教員	◎藤井　智子、工藤　裕子（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第３学年	後　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

公衆衛生看護活動とは、地域の特性やそこで生活する人々の健康・生活のニーズをとらえ、どのような地域になることが望ましいのかその姿を描き、実現に向け人々が協働して活動することです。この活動の中で看護の立場で地区活動、すなわち地域を看護の対象として、受け持ち地区に責任を持ち、活動を展開していく一連の看護過程を学習します。地区活動の目的、対象の捉え方、活動方法の特徴を理解し、そのダイナミックな動きを学んでください。

到達目標

・地区活動の目的、対象の捉え方、活動方法の特徴を理解する。
・地域の特性を把握し、地域の健康課題を明確するための地区診断の視点を理解する。
・地域の健康課題を解決していくための地区活動計画作成における目標設定、事業計画の立案、評価方法を理解できる。

授業の形式

講義、グループワーク、課題学習を組み合わせて進めます。毎回、プリントを配ります。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

履修主題にかかわる部分の教科書を事前に読んでくること。

成績評価の基準等

・試験（70%）、出席状況（30%）で評価します。

学生へのメッセージ

看護の対象を個人から地区へと広げます。地域に住むすべての人々の健康を守るという責任について考えてみましょう。自由に発言しながら皆さんの考える力を大切にした構成にしたいと思っています。主体的な学習を期待しています。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 公衆衛生看護管理論	平野かよ子編集	メジカルフレンド社	2,808 円
(教) 地域看護アセスメントガイド	佐伯和子編著	医歯薬出版	2,592 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	地区活動の基本と対象の捉え方	・公衆衛生看護活動における地域とはなにか	藤井
2		・地区活動の目的～なぜ地区が看護の対象となるのか	〃
3		・地区活動を支えている理念 ヘルスプロモーション	〃
4		・地区を看護の対象とした活動を支えるモデル コミュニティ・アズ・パートナーモデルなど	〃
5	地区の看護過程① 地区把握	・地区の看護過程の概要 ・地区把握の方法	〃
6		・地区把握に必要な情報 ○地域特性・基本構造 ○地域の健康課題 ○地域の力	〃
7		〃	〃
8		〃	〃
9	地区の看護過程② データ収集と分析	・データ収集方法とデータの加工	〃
10		〃	〃
11		〃	〃
12		〃	〃
13	地区の看護過程③ 健康課題の明確化	・健康課題の種類 ・地区アセスメントから健康課題を抽出 ・健康課題の種類と優先順位	〃
14		〃	〃
15	地区の看護過程④ 地区活動計画	・地区活動計画の種類と位置づけ ・計画の構成要素	〃

公衆衛生看護活動論Ⅱ　　第３学年・後期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	地区の看護過程④ 地区活動計画	・計画づくりの方法とプロセス ・目標の構造と事業	藤井
17		〃	〃
18	地区の看護過程⑤ 地区活動の評価	・評価とは ・評価の指標 ・評価計画	〃
19		〃	〃
20	地区活動の実際①	・事例を使って地区活動を考える ・グループワーク	〃
21		〃	〃
22		〃	〃
23	地区活動の実際②	市町村保健師の地区活動の実際	工藤 (非常勤)
24		〃	〃
25		〃	〃
26	地区活動の実際③	・事例を使って地区活動を考える ・グループワーク	藤井
27		〃	〃
28	行政組織に所属する看護職の特徴	・行政に所属する看護職の役割 ・全住民を対象とした活動とは ・保健師活動と自治体の政策との関連	〃
29		〃	〃
30		〃	〃

81. 看護英語（選択）

担　当 教　員	◎桑名　保智 Gwendolyn Gallagher（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第２・３学年	後　期	１単位	30コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

The purpose of this class is to improve students' communication skills, and students aim to express their opinions in English by participating in the discussion about general issues on nursing and medicine.

この授業の主な対象は、国際看護に関心があり、平易な英語を書く基礎的能力が身についている学生とする。

授業の形式

We will begin by exploring the nursing profession by sending questions to several veteran nurses in the United States, especially about their various experiences, nursing specialties, and work-life balance. We will study and discuss their answers. Later we will talk about students' ambitions as nurses.　No textbook is required.

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

Students will prepare questions for American nurses and study the resulting answers for a quiz. We will also have an opportunity to talk about news, small or large, personal or public, at the beginning of each class. In order to participate, students should reflect on recent happenings in their life before each class and think about how to explain them in English. Students should expect to do about one hour of preparation.

成績評価の基準等

Students will be evaluated on class participation (70%), and on a final pair conversation (30%).

GRADING CRITERIA:

S:Top 5 % of students with 90 or more points, A:89-80, B:79-70, C:69-60, D (Fail):59-0

学生へのメッセージ

The schedule below is subject to change and adjustment.

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	Introduction	Getting to Know You：Class Mechanics	桑名 Gallagher (非常勤)
2	Introduction	Getting to Know You：Class Mechanics	桑名 Gallagher (非常勤)
3	Introduction	Getting to Know You：Class Mechanics	桑名 Gallagher (非常勤)
4	US nurses	Introducing profiles of veteran US nurses	Gallagher (非常勤)
5	US nurses	Introducing profiles of veteran US nurses	Gallagher (非常勤)
6	US nurses	Introducing profiles of veteran US nurses	Gallagher (非常勤)
7	Writing	Writing questions to American nurses	Gallagher (非常勤)
8	Writing	Writing questions to American nurses	Gallagher (非常勤)
9	Writing	Writing questions to American nurses	Gallagher (非常勤)
10	Discussion	Reading, understanding, and discussing answers from American nurses	Gallagher (非常勤)
11	Discussion	Reading, understanding, and discussing answers from American nurses	Gallagher (非常勤)
12	Discussion	Reading, understanding, and discussing answers from American nurses	Gallagher (非常勤)
13	Discussion	Reading, understanding, and discussing answers from American nurses	Gallagher (非常勤)
14	Discussion	Reading, understanding, and discussing answers from American nurses	Gallagher (非常勤)
15	Discussion	Reading, understanding, and discussing answers from American nurses	Gallagher (非常勤)

看護英語　　第２・３学年・後期・30コマ（選択）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	Discussion	Reading, understanding, and discussing answers from American nurses	Gallagher (非常勤)
17	Discussion	Reading, understanding, and discussing answers from American nurses	Gallagher (非常勤)
18	Discussion	Reading, understanding, and discussing answers from American nurses	Gallagher (非常勤)
19	Discussion	Nursing as a profession：advantages and disadvantages	Gallagher (非常勤)
20	Discussion	Nursing as a profession：advantages and disadvantages	Gallagher (非常勤)
21	Discussion	Nursing as a profession：advantages and disadvantages	Gallagher (非常勤)
22	Discussion	Our nursing ambitions	Gallagher (非常勤)
23	Discussion	Our nursing ambitions	Gallagher (非常勤)
24	Discussion	Our nursing ambitions	Gallagher (非常勤)
25	Review	Board game for nursing!	Gallagher (非常勤)
26	Review	Board game for nursing!	Gallagher (非常勤)
27	Review	Board game for nursing!	Gallagher (非常勤)
28	Conversation	Pair conversation about nursing	Gallagher (非常勤)
29	Conversation	Pair conversation about nursing	Gallagher (非常勤)
30	Conversation	Pair conversation about nursing	Gallagher (非常勤)

第　4　学　年

旭川医科大学医学部看護学科（学士課程）
カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

看護学科では、高齢社会の到来、医療の高度化など、新たな医療・看護に対する社会の要請に応え、広い教養基盤に支えられ看護実践力を備えた看護専門職を養成するための看護基礎教育を行っています。また、保健師・助産師になるための選択履修科目をそれぞれ設けています。

教育課程は、一般基礎科目・専門基礎科目・専門科目の３群で構成し、さらに専門科目は「看護の基礎」「特性と看護」「看護の発展と探求」の３段階に配置し、看護学を体系的に学習できるよう配慮してあります。

当学科では講義・演習・実習の授業形態を有機的に組み合わせ、段階的かつ系統的な教育によって、看護実践ができる人材の養成を目指しています。

看護学科の学位授与の方針を実現するために、上記の方針を以下のとおり具体化して、カリキュラムを編成しています。

①「倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行」（姿勢・態度）

医療チームの一員として高度な生命倫理に基づいた誠実で良識ある看護実践を行う姿勢・態度を身につけている。

社会に対して看護の使命を認識して実践する姿勢・態度を身につけている。

１．看護職に必須な倫理を理解するために、看護の基礎となる科目として「看護学概論」「対人関係論」を第１学年に、「看護倫理」を第２学年に配置しています。

２．また、医療チームの一員としての看護実践に備えるために、第１学年に「早期体験実習Ⅰ」を、第２学年に「早期体験実習Ⅱ」を配置しています。

②「看護学と医療・保健・福祉の看護関連領域に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識）幅広い教養を身につけ、看護の専門的知識を習得している。

3．文化・社会・自然等に関する幅広い知識を身につけ多様な価値観等に触れるために、教養科目を一般基礎科目として位置づけ、個人の希望に合わせた履修選択ができるようにしています。

4．専門分野を学ぶうえで必要な基礎的知識を習得するために専門基礎科目を設定し、その履修を必修としています。生活体である人間を理解する基礎として、生物体である人間の特性を学べるよう「生体観察実習」を配置しています。

5．専門科目については、看護の基礎的知識を学び、人間の各発達過程の特性と看護とに関する科目を習得し、臨床全般の看護の知識を学べるよう配置しています。

6．看護の学びを探求し生涯にわたって学習する出発点となる基礎能力を培うことができるように、第１学年から学んできた知識をさらに発展させた「在宅看護学」「がん看護学」「総合実習」を配置しています。

③「根拠に基づいた基礎的看護実践能力」（技能・表現）

すべてのライフステージ・健康レベルに応じた、根拠に基づく基本的看護実践ができる技能及び表現力を身につけている。

7．基礎的な看護技術を身につけるために第１学年から第２学年において「基礎看護技術学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を配置しています。また、看護への関心を高めるよう「基礎看護学実習Ⅰ」を、患者を担当し看護援助を行うことによって看護実践力を養うよう「基礎看護学実習Ⅱ」を配置しています。

8．さらに、第２学年に学んだ各領域別の看護学の知識を基に、第３学年には「小児看護学」「成人看護学」「高齢者看護学」「母性看護学」「精神看護学」「実践看護技術学Ⅰ・Ⅱ」の各演習科目を配置し、講義内容と関連づけて看護技術の学びを深め看護の実践能力を身につけることができるようにしています。

9．第３学年から第４学年では看護学実習を行い、ライフステージの特徴や健康レベルを的確に把握し個別的看護実践に結びつけることができるようカリキュラムを展開しています。

10. 第４学年には夜間の実習や複数の患者を担当するなどの「総合実習」を配置し、看護の実際的体験を通して看護実践力をより向上できるようカリキュラムを展開しています。

④「問題解決能力、発展的思考能力、研究心」（思考・判断）

研究的視点から看護に関する問題を発見し、その解決のための思考力・判断力を身につけている。

11. 個人や集団の健康現象を論理的に思考・判断することができるように、第１学年には、保健師･助産師選択者にも必須の科目である「健康教育論」「地域看護学」、第２学年には「看護過程論」、第３学年には「保健医療福祉システム論」などを配置しています。
12. 獲得したさまざまな知識を用いて看護の現実問題の解決に取り組むことのできる素養を身につけるために、第３学年に「看護研究Ⅰ・Ⅱ」、第４学年に「卒業研究」を配置しています。

⑤「地域社会・国際社会へ貢献するための能力」（意欲・関心）

地域から国際社会に至るまで保健・医療・福祉に関する社会的ニーズを踏まえ、看護の実践・研究を通して課題を解決する意欲を有する。

看護の専門職として、たえず自己研鑽する意欲を有する。

13. 北海道の医療ニーズを探索するための実習科目として「早期体験実習Ⅰ・Ⅱ」を第１学年と第２学年に配置しています。
14. 看護実践や看護研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献することが可能となるよう、第３学年に「英語文献講読」「保健医療福祉行政論」、第４学年に「国際保健看護論」を配置しています。

旭川医科大学医学部看護学科　平成24看護カリキュラム　カリキュラムマップ

一般基礎科目
専門基礎科目
専門科目（看護の基礎）
専門科目（特性と看護）
専門科目（看護の発展と探求）

領域	態度	知識	技能	思考・判断	意欲・関心
キーワード	倫理観に基づいた看護の社会的使命の遂行	看護学と医療・保健・福祉の看護関連領域に関する十分な知識と生涯学習能力	根拠に基づいた基礎的看護実践能力	問題解決能力、発展的思考能力、研究心	地域社会・国際社会へ貢献するための能力
ディプロマ・ポリシー	医療チームの一員として人間の尊厳と倫理観に根ざした看護を実践できるための態度を身につけている。	幅広い教養を身につけ、看護実践のための基本的知識を有している。看護の発展を探求する生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	ライフステージに応じた健康レベルのアセスメントを行い、根拠に基づいた看護を計画できる。	看護研究の意義を理解し、関連する科学的情報を収集し評価するとともに、看護実践のための計画を立案できる。	医療・保健・福祉に関する社会的ニーズを踏まえ、看護の実践・研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。
第４学年	医療安全論 公衆衛生看護学実習Ⅰ・公衆衛生看護学実習Ⅱ 助産学実習 総合実習 成人看護学実習Ⅰ（慢性期）・成人看護学実習Ⅱ（急性期）・成人看護学実習Ⅲ（外来機能）・高齢者看護学実習・小児看護学実習Ⅰ・Ⅱ・母性看護学実習・精神看護学実習・在宅看護学実習 在宅看護学実習	母性看護学演習 成人看護学演習 高齢者看護学演習	卒業研究	公衆衛生看護学実習Ⅰ・公衆衛生看護学実習Ⅱ 助産学実習 総合実習 成人看護学実習Ⅰ（慢性期）・成人看護学実習Ⅱ（急性期）・成人看護学実習Ⅲ（外来機能）・高齢者看護学実習・小児看護学実習Ⅰ・Ⅱ・母性看護学実習・精神看護学実習・在宅看護学実習 在宅看護学実習	国際保健看護論
第３学年	在宅看護学 高齢者看護学Ⅱ 成人看護学Ⅱ がん看護学 実践看護技術学Ⅰ	小児看護学演習 精神看護学演習	実践看護技術学Ⅱ	疫学Ⅱ 保健統計Ⅱ 看護研究Ⅱ 看護研究Ⅰ 保健医療福祉システム論	保健医療福祉行政論 英語文献講読
第２学年	看護倫理 基礎看護学実習Ⅱ 早期体験実習Ⅱ 小児看護学 母性看護学 高齢者看護学Ⅰ リハビリテーション看護学 公衆衛生論 薬理学 疫学Ⅰ 疾病論Ⅱ 看護理論 精神看護学Ⅰ 疾病論Ⅰ 病態学 保健統計Ⅰ 統計学 英語ⅡA 英語ⅡB 精神看護学Ⅱ 成人看護学Ⅰ 一般基礎科目（一般教養）	看護過程論 基礎看護技術学Ⅲ			早期体験実習Ⅱ
第１学年	地域看護学 基礎看護技術学Ⅱ 自然科学実験 英語ⅠA 英語ⅠB 代謝栄養学 生体観察実習 臨床心理学 感染免疫学 発達心理学 情報リテラシー 生命科学 看護基礎物理 看護化学 医療史・医療哲学 看護社会論 対人関係論 早期体験実習Ⅰ 形態機能学 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護技術学Ⅰ 看護学概論			健康教育論	早期体験実習Ⅰ

令和３年度　看護学科授業科目一覧および卒業要件（第４学年）

区分	授業科目	単位数	授業形式	第１学年		第２学年		第３学年		第４学年		必修・選択の別
				前	後	前	後	前	後	前	後	
一般基礎科目	英語ＩＡ	1	演習	○								必修
	英語ＩＢ	1	〃	○								
	英語ⅡＡ	1	〃			○						
	英語ⅡＢ	1	〃			○						
	情報リテラシー	1	講義	○								
	統計学	1	〃			○						
	生命科学	2	〃	○								
	看護基礎物理	1	〃	○								
	看護化学	1	〃	○								
	自然科学実験	1	実験		○							
	医療史・医療哲学	1	講義	○								
	看護社会論	1	〃	○								
	教育学	1	講義	○		○						選択
	社会学Ⅰ	1	〃	○		○						
	社会学Ⅱ	1	〃	○		○						
	地域社会論	1	〃	○		○						
	現代言語学概論	1	〃	○		○						
	感情心理学	1	〃	○		○						
	社会福祉論	1	〃	○		○						
	環境科学	1	〃	○		○						
	社会の中の物理	1	〃	○		○						
	数学概論	1	〃		○							
	医学古典講読	2	〃	○		○						
	ドイツ語講読	2	〃	○		○						
	フランス語講読	2	〃	○		○						
	ロシア語講読	2	〃	○		○						
	中国語講読	2	〃	○		○						
	医事評論抄読	1	〃		○							
	哲学基礎	1	〃		○							
	教養論	1	〃	○		○						
	言葉と文化	1	〃		○							
	医療文化史	1	〃		○							
	医系文学	1	〃	○		○						
	法学	1	〃		○							
	経済学	1	〃		○							
	医療人間学	1	〃		○							
	比較文化論	1	〃		○							
	医療のラテン語	1	〃	○		○						
	心身論	1	〃		○							
	世相史	1	〃		○							
	青少年文化論	1	〃		○							
	科学論文の読み方・書き方	1	〃		○							
	教養連携科目Ⅰ	1	〃	○	○							
	教養連携科目Ⅱ	2	〃	○	○							
専門基礎科目	形態機能学	4	講義	○								必修
	生体観察実習	1	実習		○							
	代謝栄養学	2	講義		○							
	病態学	2	〃			○						
	薬理学	1	〃				○					
	感染免疫学	2	〃		○							
	疾病論Ⅰ	3	〃			○						
	疾病論Ⅱ	2	〃				○					
	健康教育論	1	〃		○							
	疫学Ⅰ	1	〃			○						
	保健統計Ⅰ	1	〃			○						
	公衆衛生論	1	〃				○					
	保健医療福祉システム論	2	〃					○				
	発達心理学	2	〃	○								
	臨床心理学	2	〃		○							
	疫学Ⅱ	1	講義						○			選択（公衆衛生看護学選択者は必須）
	保健統計Ⅱ	1	〃						○			
	保健医療福祉行政論	1	〃						○			
	臨床検査論	1	〃							○		選択

※　教養連携科目Ⅰ及び教養連携科目Ⅱは、複数の講義題目により行われ、それぞれ一の授業科目として履修することができる。

区分		授業科目	単位数	授業形式	第１学年 前	第１学年 後	第２学年 前	第２学年 後	第３学年 前	第３学年 後	第４学年 前	第４学年 後	必修・選択の別
専門科目	看護の基礎	看護学概論	2	講義	○								必修
		基礎看護技術学Ⅰ	1	演習	○								
		基礎看護技術学Ⅱ	2	〃		○							
		基礎看護技術学Ⅲ	1	〃			○						
		対人関係論	1	講義		○							
		看護過程論	2	〃			○						
		看護倫理	1	〃				○					
		看護理論	1	〃				○					
		地域看護学	1	〃		○							
		リハビリテーション看護学	1	〃			○						
		早期体験実習Ⅰ	1	実習	○								
		早期体験実習Ⅱ	1	〃			○						
		基礎看護学実習Ⅰ	1	〃	○								
		基礎看護学実習Ⅱ	2	〃				○					
	特性と看護	成人看護学Ⅰ	4	講義			○						
		成人看護学Ⅱ	1	〃					○				
		成人看護学演習	1	演習					○				
		高齢者看護学Ⅰ	1	講義				○					
		高齢者看護学Ⅱ	1	〃					○				
		高齢者看護学演習	1	演習					○				
		小児看護学	2	講義				○					
		小児看護学演習	1	演習					○				
		母性看護学	2	講義			○						
		母性看護学演習	1	演習						○			
		精神看護学Ⅰ	1	講義			○						
		精神看護学Ⅱ	2	〃				○					
		精神看護学演習	1	演習					○				
		成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	2	実習						○			
		成人看護学実習Ⅱ（急性期）	3	〃						○			
		成人看護学実習Ⅲ（外来機能）	1	〃						○			
		高齢者看護学実習	4	〃						○			
		小児看護学実習Ⅰ	1	〃						○			
		小児看護学実習Ⅱ	2	〃						○			
		母性看護学実習	2	〃						○			
		精神看護学実習	2	〃						○			
	看護の発展と探求	実践看護技術学Ⅰ	1	演習					○				
		実践看護技術学Ⅱ	1	〃						○			
		在宅看護学	2	講義					○				
		がん看護学	1	〃					○				
		医療安全論	1	〃							○		
		国際保健看護論	1	〃							○		
		英語文献講読	1	演習					○				
		看護研究Ⅰ	1	〃					○				
		看護研究Ⅱ	1	〃						○			
		卒業研究	2	〃								○	
		在宅看護学実習	2	実習							○		
		総合実習	2	〃								○	
		看護管理論	1	講義							○		選択
		看護教育論	1	〃							○		選択
		助産学基礎理論Ⅰ	1	〃						○			選択（助産学選択者は必須）
		助産活動論Ⅰ	1	〃						○			選択（助産学選択者は必須）
		公衆衛生看護学概論	2	〃				○					選択（公衆衛生看護学選択者は必須）
		公衆衛生看護活動論Ⅰ（個人・家族・集団）	2	〃					○				選択（助産学及び公衆衛生看護学選択者は必須）

卒業要件単位数	必修科目110単位および選択科目14単位以上（一般基礎科目７単位以上、専門基礎科目および専門科目７単位以上）、合計124単位以上を修得すること。
助産学選択者	助産師国家試験受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を満たし、助産学科目の全てを修得すること。次頁、助産学選択者履修科目参照。
公衆衛生看護学選択者	保健師国家試験受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を満たし、公衆衛生看護学科目の全てを修得すること。次頁、公衆衛生看護学選択者履修科目参照。

助産学選択者履修科目

科　目　名	単位数	授業形式	第１学年		第２学年		第３学年		第４学年		備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
形態機能学	1	講義	○								必修科目として修得する科目
疾病論Ⅱ	1	〃				○					
保健医療福祉システム論	2	〃					○				
健康教育論	1	〃		○							
公衆衛生論	1	〃				○					
地域看護学	1	〃		○							
医療安全論	1	〃							○		
国際保健看護論	1	〃							○		
公衆衛生看護活動論Ⅰ	1	〃					○				注１
小　　計	10										
助産学基礎理論Ⅰ	1	講義						○			注１
助産学基礎理論Ⅱ	2	〃							○		注２
助産活動論Ⅰ	1	〃						○			注１
助産活動論Ⅱ	1	演習							○		注２
助産活動論Ⅲ	2	〃							○		
助産学実習	11	実習								○	
小　　計	18										
合　　計	28										

注１）卒業要件の選択科目（専門科目）単位数に含まれる。
注２）卒業要件とは別に履修する科目。
注３）上記単位数は助産師国家試験受験資格取得に必要な単位数であり、本学の修得単位数とは異なります。

公衆衛生看護学選択者履修科目

科　目　名	単位数	授業形式	第１学年		第２学年		第３学年		第４学年		備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
健康教育論	1	講義		○							必修科目として修得する科目
公衆衛生論	1	〃				○					
保健医療福祉システム論	2	〃					○				
疫学Ⅰ	1	〃			○						
保健統計Ⅰ	1	〃			○						
地域看護学	1	〃		○							
在宅看護学	2	〃					○				
国際保健看護論	1	〃							○		
小　　計	10										
公衆衛生看護学概論	2	講義				○					注１
公衆衛生看護活動論Ⅰ（個人・家族・集団）	2	〃					○				
公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域アセスメント）	2	〃						○			注２
公衆衛生看護活動論Ⅲ（公衆衛生看護管理）	2	〃							○		
公衆衛生看護技術論	2	演習							○		
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	実習								○	
公衆衛生看護学実習Ⅱ	2	〃								○	
疫学Ⅱ	1	講義					○				注１
保健統計Ⅱ	1	〃					○				
保健医療福祉行政論	1	〃						○			
小　　計	18										
合　　計	28										

注１）卒業要件の選択科目（専門科目）単位数に含まれる。
注２）卒業要件とは別に履修する科目。

必 修 科 目 実 習

【第４学年】

82. 成人看護学実習Ⅰ（慢性期）（必修）

担当教員	◎荒　ひとみ、松田奈緒美、阿部　修子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	２単位	２週間

履修目的・授業概要

1. 慢性期にある対象者の特徴を理解し、援助関係を発展させながら、対象者のセルフマネジメント能力が最大限発揮されるとともに、ＱＯＬが向上するような看護援助を実践する。
2. 終末期の対象者の特徴を理解し、援助関係を発展させながら、苦痛の緩和とＱＯＬが向上するような看護援助を実践する。
3. 慢性期および終末期にある対象者にかかわる専門職やチーム医療、および継続的な医療・看護の役割機能について理解する。
4. 看護実践の体験から自己の看護観（死生観）を深める。

到達目標

「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。

授業の形式（板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など）

臨地実習

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

看護過程をしっかり復習しておく。実習は既習学習の統合なので、今までの講義演習の資料などを、すぐに活用できるように整理しておく。実習の目的目標の他に『成人看護学実習Ⅰにおける自己の課題と目標』を明らかにしておく。実習後は自己の課題の達成度を含め今後の課題を明らかにする。

成績評価の基準等

実習内容、実習記録類、出席状況などにより、総合的に評価する。
詳細は「臨地看護学実習実践編（評価表）」を参照のこと。
総合評価にて90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、59点以上を不可とする。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

自己の健康管理と主体的な学習を期待します。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 成人看護学　成人看護技術（改訂第２版）	野崎真奈美他編	南　江　堂	3,000円+税
(参) 疾患別看護過程の展開 第４版	山口端穂子 関口恵子	学習研究社	6,400円+税
(参) 疾患別看護過程第２版	井上智子	医学書院	7,000円+税
(参) 症状別看護過程	井上智子	医学書院	5,000円+税
(教) 成人看護学慢性期看護（改訂第２版）	鈴木久美他編	南　江　堂	3,300円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
２週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。	荒 松田

83. 成人看護学実習Ⅱ（急性期）（必修）

担当教員	◎苫米地真弓、山口　希美、阿部　修子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	３単位	３週間

履修目的・授業概要

1．周手術期にある対象者の特徴を理解し、援助関係を成立させ、対象者のニーズに応じた援助ができる。また、対象者のセルフケア能力が最大限に発揮されるとともに、ＱＯＬが向上するような看護援助を実践できる。
2．看護実践の体験から自己の看護観を深めることができる。

到達目標

1．対象者の健康問題や手術について理解し、麻酔および手術侵襲による生体反応をふまえ、手術前・手術中・手術後に必要な援助ができる。
2．対象者が手術に伴う身体機能の変化に適応するために必要な援助ができる。
3．手術からの回復状態に応じた、日常生活の自立への援助ができる。
4．医療チームや家族との連携を保ちながら援助ができる。
5．継続看護や社会資源の活用を理解し、社会復帰に向けた援助ができる。

授業の形式

周手術期にある対象者を１名から数名受持ち、看護過程を展開し、看護援助を実践する。実習に関連した技術演習と臨地実習。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

事前に看護過程や実習に関連する看護技術などをしっかりと復習してくことが望ましい。実習は既習学習の統合なので、これまでの講義・演習の資料などをすぐに活用できるように整理しておくようにしましょう。

成績評価の基準等

実習内容、実習記録（課題やレポートを含む）、出席状況等により総合的に評価する。成績は、各評価による合計得点により、90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、60点未満を不可とする。なお、３分の２以上の出席をした場合を評価対象とする。

学生へのメッセージ

自己の健康管理と主体的な学習姿勢を期待します。また、実習の目的･目標のほかに『成人看護学実習Ⅱにおける自己の課題と目標』を明らかにして実習に臨みましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 周術期看護－安楽･安全な看護の実践（改訂版）	中村美知子監修	インターメディカ	3,900円+税
(教) 成人看護技術(改訂第２版)	野崎真奈美他編	南江堂	3,000円+税
(参) 症状別看護過程＋病態関連図（第３版）	井上智子・窪田哲朗	医学書院	5,000円+税
(参) 疾患別看護過程＋病態関連図（第３版）	井上智子・窪田哲朗	医学書院	7,000円+税
(参) 疾患別看護過程の展開（第６版）	石川ふみよ・高谷真由美	学研メディカル秀潤社	6,600円+税

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
３週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。 １週目：急性期、周手術期に関連した技術チェック、演習 ２週目・３週目：病棟実習、カンファレンスの実施。周手術期にある対象者を１～数名受持ち、看護過程を展開し、看護実践を行う。	

84. 成人看護学実習Ⅲ（外来機能）（必修）

担当教員	◎荒　ひとみ、松田奈緒美、阿部　修子		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	１単位	１週間

履修目的・授業概要

１．健康障害をもち外来を受診する成人期にある対象者を理解し、対象者に必要な看護支援ができる能力を養う。
２．医療チームにおける看護の役割を理解し、継続看護を実践するために必要な能力を養う。

到達目標

１．健康障害により外来を受診する対象者を、ライフスタイルや成人期の発達段階をふまえ、身体・心理・社会的特徴にそって、総合的にアセスメントができる。
２．外来で行われている看護を通して、対象者のセルフマネジメント能力を高めるための看護支援について説明することができる。
３．地域連携および入退院に関する機能を知り、対象者に必要な継続看護について説明することができる。
４．外来で行われる治療・検査に必要な看護援助を説明することができる。
５．外来実習を通して、チーム医療の意義や看護職の役割について説明することができる。

授業形式

臨地実習及び臨床講義と学内演習

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

配付資料の中にある各実習場所における事前学習の内容をピックアップしてあるので各自学習しておくこと。
実習中に不明だった点などはカンファレンスで必ず解決すること。

成績評価の基準等

実習内容、実習記録類（レポート含む）、出席状況などにより総合的に評価する。
詳細は「臨地看護学実習実践編（評価表）」を参照のこと。
総合評価にて90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、59点以上を不可とする。

学生へのメッセージ

外来を受診する対象者および医療者の活動状況を観察して、自己の看護観を深めましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 成人看護学実習ガイドⅡ（慢性期･回復期）	野並葉子	照林社	3,300円(税別)
(参) 高齢者と成人の周手術期看護　外来／病棟における術前看護 第２版	竹内登美子	医歯薬出版	1,900円(税別)
(参) The外来看護　時代を超えて求められる患者支援	数間恵子編著	日本看護協会出版会	2,000円(税別)
(教) 成人看護学成人看護技術（改訂第２版）	野崎真奈美他編	南江堂	3,000円(税別)

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
１週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」、②「臨地看護学実習実践編」を参照のこと。	荒 松田

85. 高齢者看護学実習（必修）［高齢者、看護過程、高齢者専門病棟、通所サービス、地域資源］

担当教員	◎牧野　志津、野中　雅人、服部ユカリ、 斉藤　祐子（非常勤講師）、 非常勤講師（未定）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	４単位	４週間

履修目的・授業概要

健康障害や生活障害がある高齢者やその家族を理解し、個別性に応じた看護を実践できる能力を養う。

高齢者に対する地域資源の活用方法を理解し、看護の役割を学ぶ。

到達目標

1．高齢者の健康障害と生活障害が説明できる。
2．高齢者の尊厳を守り、高齢者の健康障害と生活障害に応じた援助ができる。
3．高齢者の家族への援助を考えることができる。
4．高齢者の個別性に合わせて看護過程が展開できる。
5．地域の高齢者に関する資源について理解できる。
6．地域での暮らしや看取りまで見据えた看護について考察できる。

授業の形式（板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など）

体験型実習、病院実習、統合学習を通して、高齢者とその家族への支援方法を学ぶ。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

1．高齢者看護学Ⅰ・Ⅱの講義のプリント、教科書の内容を整理し、復習して実習に臨むこと。
2．高齢者看護学演習で演習した技術、基礎看護学領域で学んだ技術を復習し実施できるようにしておくこと。
3．実習ガイダンスで提示する。事前課題を実施する。

成績評価の基準等

実習内容、実習記録、出席日数などにより総合的に評価する。

体験型実習、病院実習、統合学習、それぞれ出席３分の２以上の場合を、評価対象とする。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

自己の健康管理に留意し、主体的に実習に臨んでほしい。

これまでの実習・演習を振り返って、自分の課題と目標を考えて臨むこと。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参)生活機能からみた老年看護過程	山田律子編	医学書院	3,780円
(参)老年看護の実際	大渕律子編	メディカ出版	3,570円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
４週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編Ⅰ』『実習ガイダンス資料』 ③高齢者看護学実習要項を参照すること。	服部 牧野 野中 非常勤

86. 小児看護学実習Ⅰ（必修）

担当教員	◎森　浩美、矢田しずえ 舟林　綾子（非常勤講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	１単位	１週間

履修目的・授業概要

本科目の目的は、健康な小児とその家族を理解し、対象に応じた看護の基礎を養うことである。健康な子どもの成長･発達を理解し、それに応じた看護技術、倫理的態度の基礎を修得するための実習である。また、子どもをとりまく家族や大人の役割についても考察する。

到達目標

1．小児をありのままに理解する。
2．小児における家族・大人の役割・機能について理解する。
3．小児の成長･発達段階、発達課題に応じた看護技術を修得する。
4．看護学生として倫理的責任ある行動をとる。

授業の形式

旭川市内の保育所（緑が丘東保育園、または旭川おおぞら認定子ども園）で実習し、毎日異なる年齢のクラスをローテーションする。実習終了日は学内カンファレンスを行い、学びを共有する。

また、状況によりオンライン実習も組み込まれる。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

『臨地看護学実習ガイドライン』『臨地看護学実習実践編』を熟読し、実習内容を周知してください。小児看護学講義・演習で学習した内容を復習してから臨んでください。カンファレンスでは活発に討議し、学びを深めてください。

成績評価の基準等

実習内容、実習記録、出席日数などにより総合的に評価する。評価項目、評価配分割合、評価基準については、「臨地看護学実習実践編･小児看護学実習Ⅰ」を参照してください。評価表の得点を100％とします。全コマ数の２／３以上出席しないと単位は取得できません。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

これまでに小児と接する機会が少なく、関わりに困難を感じることも多いかもしれません。しかし、小児との体験一つ一つが学習ですから、積極的にコミュニケートしてください。また、小児の安全、事故防止に十分留意して行動し、自己の健康管理に努めてください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 小児看護学Ⅰ	岡田洋子他	医歯薬出版	2,730円
(教) 小児看護学Ⅱ	岡田洋子他	医歯薬出版	2,940円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
１週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編』を参照のこと	森 矢田 舟林 (非常勤)

87. 小児看護学実習Ⅱ（必修）

担当教員	◎森　浩美、矢田しずえ 舟林　綾子（非常勤講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	２単位	２週間

履修目的・授業概要

本科目の目的は、健康問題をもつ子どもとその家族を理解し、子どもと家族に応じた看護実践能力を養うことである。子どもと家族の看護を計画・実施・評価するために必要な基本的知識・技術・態度の修得に向けた実習である。

到達目標

1．健康問題をもつ子どもと家族を身体的・心理的・社会的側面から捉え、ありのままに理解する。
2．健康問題をもつ子どもにおける家族の役割を理解する。
3．健康問題をもつ子どもと家族の成長・発達段階、発達課題、個別性にあった看護を計画・実施し、評価できる。
4．看護学生としての倫理的かつ責任ある行動･態度を身につける。

授業の形式

実習は旭川医科大学病院４階西ナースステーションと小児科外来で行う。病棟実習では入院している子ども一人を受け持ち、看護過程を展開する。外来実習では、一般外来や専門外来等を受診する子どもの看護を見学または実施する。

また、状況によりオンライン実習も組み込まれる。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

小児看護学講義・演習、小児看護学実習Ⅰで学習した内容を復習して臨んでください。教科書や参考書を活用しながら、日々の看護を振り返り、実習終了後には学んだことをレポートにまとめてください。

成績評価の基準等

実習内容、実習記録、出席日数などにより総合的に評価する。評価項目、評価配分割合、評価基準については、「臨地看護学実習実践編・小児看護学実習Ⅱ」を参照してください。評価表の得点を100％とします。全コマ数の２／３以上出席しないと単位の取得はできません。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

健康問題をもつ小児と家族には何が必要か、看護として何をするべきかを考えながら、小児看護を学んでください。そして、子どもの目線に立ち、一人の人として尊重することが最も重要です。小児の安全を守る事故防止を徹底し、自己の健康管理にも努めてください。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 小児看護学Ⅰ	岡田洋子他	医歯薬出版	2,730円
(教) 小児看護学Ⅱ	岡田洋子他	医歯薬出版	2,940円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
２週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編』を参照のこと	森 矢田 舟林 (非常勤)

88. 母性看護学実習（必修）

担　当 教　員	◎巻島　　愛、山内まゆみ、杉山　結理、 伊藤　幸子（非常勤）、他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	２単位	２週間

履修目的・授業概要

妊産褥婦および新生児とその家族の特徴を理解し、個別性を考慮した看護過程を展開し、基本的な母性看護におけるケア実践ができる能力を養う。また、実習を通し、看護学生としての責務、倫理的行動、生命や人権の尊重について学ぶ。

到達目標

＜周産母子センター４階東病棟実習＞
１．対象の看護に必要なアセスメントができる。
　１）受け持ち対象の身体的特徴を具体的に記述することができる。
　２）受け持ち対象の日常生活の特徴を記述することができる。
　３）受け持ち対象を通して、母児（妊婦含む）の心理的特徴を記述することができる。
　４）受け持ち対象の看護実践を通して、母児（妊婦含む）の相互関係を記述することができる。
　５）受け持ち対象とその家族の日常生活の変化を記述することができる。
　６）受け持ち対象の胎児および新生児の成長・発達に必要なケアを記述することができる。
　７）受け持ち対象の退院後の生活に必要な保健指導を記述することができる。
　８）受け持ち対象の退院後の生活に必要な社会資源を記述することができる。
２．看護問題を抽出できる。
３．目標・評価基準を設定できる。
４．看護計画が立案できる。
５．看護計画に基づき、援助が実践できる。
６．実践した援助に基づいて評価することができる。
７．看護チームの一員として、看護スタッフ･多職種との情報交換･報告をすることができる。

＜周産母子センターＮＩＣＵ実習＞
１．受け持ち対象のケアを指導者と共に実施、あるいは見学し、記述することができる。
２．実施（見学含む）したケアの必要性について、病態、日常生活環境、母性相互作用等の観点から理解し、アセスメントとして記述できる。
３．受け持ち対象の看護実践を通して母児関係について記述できる。
４．ＮＩＣＵにおける看護の必要性、看護師の役割を実習体験から考察し、述べることができる。

＜周産母子科外来実習＞
１．妊婦健康診査を教員と共に実施できる。
２．妊婦健康診査項目の結果の評価を試みることができる。
３．妊婦健康診査結果、および妊婦に必要な保健指導について内容を記述できる。
４．妊婦健康診査と保健指導の必要性、看護の役割を実習体験から考察し、述べることができる。
５．産後２週間健康診査（すくすく外来）または１か月健康診査の受け持ち対象を通して、退院後の褥婦、新生児の特徴について記述できる。
６．産後２週間健康診査（すくすく外来）または１か月健康診査の結果、および褥婦と新生児に必要な保健指導について内容を記述できる。
７．産後２週間健康診査（すくすく外来）または１か月健康診査と保健指導の必要性、看護の役割を実習体験から考察し、述べることができる。

＜共通＞
・Ｔ・Ｐ・Ｏに応じた態度・言葉遣い・行動をとることができる。
・対象に関心を示し、積極的な姿勢で看護実践をすることができる。
・カンファレンスに積極的に参加することができる。

授業の形式

周産母子センター（４階東病棟、ＮＩＣＵ）実習、周産母子科外来実習
※大学のＢＣＰレベルにより分散登校の可能性、方法変更の可能性がある。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

看護過程に関する知識および２年次で学習した母性看護学の基本的な知識を復習し、実習に活用できるように整理しておくこと。母性看護学演習で修得した技術および紙上事例の展開を必ず復習しておくこと。
実習中の不明点は、自己学習を進めると共に、指導者や教員を活用し、できるだけ早期に解決すること。

成績評価の基準等

母性看護学実習評価表（周産母子センター４階東病棟実習、周産母子科外来･周産母子センターＮＩＣＵ実習）に基づき、実習内容･実習記録および出席状況等により、総合的に評価する。出席３分の２以上で評価の対象とする。
※大学のＢＣＰレベルにより成績評価方法変更の可能性がある。

学生へのメッセージ

周産期は、その特性から展開の早い実習になりますが、妊娠出産は受け持ちの対象やご家族にとって、新たな家族を育み迎える、大切なライフイベントです。その機会に看護学生として関わることの貴重さ、意味を考えて、自己の健康管理に留意し、主体的に実習に臨んでください。

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
２週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』 ②『臨地看護学実習実践編』を参照のこと	山内 巻島 杉山 伊藤 (非常勤) 他

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 母性看護学［1］母性看護学概論　第14版	森 恵 美 他	医 学 書 院	2,500円+税
(教) 母性看護学［2］母性看護学各論　第13版	森 恵 美 他	医 学 書 院	3,000円+税
(教) 新訂版　写真でわかる母性看護技術アドバンス	平澤美恵子他	インターメディカ	3,200円+税
(参) 新生児学入門　第５版	仁志田博志	医 学 書 院	5,800円+税
(参) パーフェクト臨床実習ガイド母性看護＜第２版＞	堀内成子編	照　林　社	3,200円+税

89. 精神看護学実習（必修）

担当教員	◎石川　千恵、長谷川博亮、他（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	２単位	60コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

履修目的

精神の健康問題を抱えながら病院･地域で生活する人々を理解し、学生と対象者の関係性を基盤に看護の方向性について探索しながらチーム医療に参画し、看護を実践する。さらに、リカバリーを実現する多様な場の機能や特性を理解し、社会状況に応じた精神保健と看護の多様性を考える。

到達目標

1．精神の健康問題を抱えながら病院・地域で生活する人々を理解できる。
2．学生と対象者の関係性を基盤にした看護の方向性を探索することができる。
3．ケアに参画しながらチームの一員としての態度を養うことができる。
4．受け持ち患者のリカバリーを考慮した看護過程を展開できる。
5．社会状況に応じた精神保健と看護の役割を理解できる。
6．倫理的態度を踏まえた行動をとることができる。

事前学習（予習・復習）等の内容と分量

・精神看護学演習（３年次）において各自作成した資料を振り返る。
・対象者のリカバリー、病院における安全管理に関する学習を行う。
＊実習で使用する記録物は、manaba に保存しておく。

授業の形式

１週目は病院実習を行い、一病棟で受け持ち患者を１名担当し実習を行う。２週目は学生は２か所の社会復帰施設で実習を行う。

大学のＢＣＰレベルに準じ、オンライン実習を行う。オンライン実習ではzoomを使用し仮想病棟で１名の患者を担当し実習を行う。

成績評価の基準等

1．実習到達目標の達成状況における教員評価　85％
2．実習到達目標の達成状況における自己評価　15％
3．欠席は減点とし、１回の欠席は上記総合点から－10点とする。
＊ただし、病院実習において３回以上の欠席があった場合は、評価の対象にはならない。

学生へのメッセージ

自己の健康管理に留意し、主体的に実習に望んで欲しい。

患者との関わりの中で、自己の傾向に気づき、自己洞察をしながら、実習を進めていってほしい。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
精神看護実習ガイド	萱間真美	照林社	2,940 円
精神看護臨地実習	川野雅資編著	医学書院	2,625 円
ナーシング・ポケットマニュアル精神看護学	田中恵美子他	医学書院	2,400 円
援助技法としてのプロセスレコード	宮本真己	精神看護出版	2,700 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
60コマ		①「臨地看護実習ガイドライン」 ②「臨地看護学実習実践編Ⅰ」を参照のこと	長谷川 石川

90. 在宅看護学実習（必修）

担当教員	◎山田　咲恵、山根由起子、菊地　　忍		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	２単位	２週間

履修目的・授業概要

多様な健康課題を抱える在宅療養者および、その家族の生活と健康に対する支援の実際を理解する。また、訪問看護を取り巻く社会資源の機能と役割、それらとの連携について学習することを目的とする。保健医療福祉介護チームの一員として、多職種・多機関と連携して行う訪問看護師の看護活動について、プログラムに沿って系統的に学習する。

到達目標

1．在宅看護の場、対象者の特性に応じたコミュニケーションを図ることができる。
2．在宅療養者と家族の生活を包括的にとらえ、健康課題および生活課題（強み、弱み）をアセスメントすることができる。
3．在宅療養者と家族に対する看護の方向性を示すことができる。
4．在宅における生活援助技術を経験し、在宅看護技術の特徴を説明できる。
5．訪問看護を取り巻く社会資源の機能と役割、連携について説明できる。
6．療養の場に応じた倫理的態度・行動が実践できる。

授業の形式

旭川市内および近郊町村の訪問看護ステーションで実習する。

新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、実習形態の変更を行う場合がある。大学からの指示があった場合、オンライン実習へ変更する。詳細は別途指示する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

各自が実習する訪問看護ステーションの特徴や、掌握する地区の特徴を旭川市役所のホームページなどを活用し事前に学習すること。また、旭川市のホームページに記載されている、いきいき長寿旭川2020年度版を参考に、介護保険サービスについて事前に学習すること。

成績評価の基準等

評価方法：
1．①実習記録②レポート③実習カンファレンス・クラスカンファレンス④実習態度・出席状況（２／３、60時間以上の出席）などにより、総合的に判断し、60点以上を合格とする。
詳細は臨地看護学実習実践編を参照のこと。

学生へのメッセージ

協力して下さる方がいるからこそ実習が成立していることを自覚し、積極的かつ、実践から多くのことを学習することを期待します。対象者の生活の場に足を踏み入れることの意味を充分にわきまえた態度・行動をとることを望みます。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 在宅看護論	河原佳代子	医学書院	2,808 円
(教) 在宅看護過程	河野あゆみ	医学書院	4,104 円
(教) やさしくわかる訪問看護	椎名美恵子	ナツメ社	2,700 円
(参) 訪問看護アドバンス	押川真喜子	インターメディカ	2,916 円
(参) 在宅看護を支える技術	臺　有　桂	メディカ出版	3,024 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
２週間		①「臨地看護学実習ガイドライン」 ②臨地看護学実習実践編」を参照のこと	山田 山根 菊地

必　修　科　目

【第４学年】

91. 母性看護学演習（必修）

担　当 教　員	◎巻島　　愛、山内まゆみ、杉山　結理、 伊藤　幸子（非常勤）、他		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	１単位	30コマ

履修目的・授業概要

母性看護学（第２学年）の学習をふまえ、褥婦および新生児を対象とした事例の看護過程を展開し、具体的なケアを立案する。また、母性看護学に特有の看護技術を修得する。

到達目標

１．事例展開を通して褥婦および新生児の看護過程を学ぶ。
　・アセスメントに必要な情報を整理できる。
　・アセスメントに基づいた看護問題と解決目標を設定できる。
　・目標達成のための具体的な計画が立案できる。
２．妊婦・褥婦・新生児の看護に必要な看護技術が実施できる。
　・技術の目的、方法論の根拠に基づいて実施できる。
　・安全性に配慮した方法で実施できる。
３．学習・技術練習を主体的に進めることができる。
４．看護過程の展開と技術演習を通して、対象を尊重した内容であったか、自己の振り返りができる。

授業の形式

第２学年で学習した内容を基に、翌週から始まる実習に備えた演習である。事例による看護過程の展開はグループワークで行う。技術演習は実習で実践できるように、学生個々の練習が必要となる。
※大学のＢＣＰレベルにより分散登校の可能性、方法変更の可能性がある。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

第２学年で学習した母性看護学を基に看護過程を展開するので、使用した教科書・講義資料・参考図書を復習し、参加すること。学習した技術は実際の対象に実践できるように、復習・反復練習すること。

成績評価の基準等

看護実践能力試験（ポイントの理解、技術の正確性、危険性の排除など）を実施し、60％以上の達成度の者を合格とする。出席３分の２以上で評価の対象とする。
※大学のＢＣＰレベルにより成績評価方法変更の可能性がある。

学生へのメッセージ

主体的な姿勢で出席し、看護過程の展開、技術の取得に取り組むこと。短い期間での看護過程の展開、技術の取得になるので、健康上の自己管理に努めること。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 母性看護学［１］　母性看護学概論　第14版	森　恵　美　他	医　学　書　院	2,500円+税
(教) 母性看護学［２］　母性看護学各論　第13版	森　恵　美　他	医　学　書　院	3,000円+税
(教) 新訂版　写真でわかる母性看護技術アドバンス	平澤美恵子他	インターメディカ	3,200円+税
(参) 新生児学入門　第５版	仁志田博志	医　学　書　院	5,800円+税
(参) 新生児ベーシックケア　家族中心のケア理念をもとに	横　尾　京　子	医　学　書　院	3,200円+税
(参) パーフェクト臨床実習ガイド母性看護＜第２版＞	堀内成子編	照　林　社	3,200円+税

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	オリエンテーション	コースガイダンス（日程と進め方） 看護過程の事例紹介と進め方	山内 巻島 杉山 伊藤 (非常勤) 他
2	事例展開	看護過程の展開（母子の紙上事例を用いる）	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10	技術演習１	教員によるデモンストレーションあるいは映像学習 １．褥婦のフィジカルアセスメント ２．沐浴・洗髪・更衣・おむつ交換 ３．新生児の出生時の身体計測 ４．新生児のバイタルサインの測定とフィジカルアセスメント ５．妊婦健康診査	
11			
12			
13			
14			
15			

母性看護学演習　　第４学年・前期・30コマ（必修）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	技術演習	看護技術の自己学習	山内 巻島 杉山 伊藤 (非常勤) 他
17			
18			
19			
20			
21			
22	看護実践能力試験	与えられた課題に対する看護技術の試験を行う	
23			
24			
25	技術演習２	教員によるデモンストレーションあるいは映像学習 ６．乳頭乳輪マッサージと授乳援助 ７．産痛緩和法・分娩促進のケア ８．ノンストレステストと胎児心拍監視装置の装着	
26			
27			
28	技術演習	看護技術の自己学習	
29	見学演習	実習施設（周産母子センター・周産母子科外来）の見学演習	
30			

92. 卒業研究（必修）〔看護学、卒業研究〕

担　当 教　員	及川　賢輔、濵田　珠美、阿部　修子、伊藤　俊弘、長谷川博亮、服部ユカリ、藤井　智子、升田由美子、山根由起子、児玉真利子、荒　ひとみ、石川　洋子、一條　明美、塩川　幸子、平　　義樹、森　　浩美、山内まゆみ、石川　千恵、神成　陽子、苫米地真弓、綱元　亜依、野中　雅人、巻島　　愛、牧野　志津、松田奈緒美、水口和香子、矢田しずえ、山口　希美、山田　咲恵		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	通　年	４単位	120コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

【履修目的】

これまで看護学について学んできたことを基礎に、これらに対する関心や疑問を明らかにするために研究課題の決定、研究計画の作成、データの収集と分析、研究抄録の作成、研究発表までのプロセスを体験する。

【到達目標】

・研究課題の決定に際して、看護学をとおして学んだ知識や疑問を具体化し、研究の意義を明らかにするために必要な文献等を正しく検索できる。
・エビデンスに基づいた仮説の設定と研究目的に沿った研究デザインにより研究計画を作成できる。
・適切な方法に基づいた調査や実験からデータの収集と分析を適切に行える。
・研究結果や考察が明瞭な研究抄録を作成できる。
・研究発表では他人が容易に理解できるように研究内容を説明できる。

授業の形式

具体的な研究の進め方については、担当の指導教員と相談して決める。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

研究課題の内容については、これまで看護学科で学んできた全ての教科が基盤になっており、研究方法に関しては情報リテラシー・保健統計学･看護研究が基盤となるので十分に復習をしておくこと。

成績評価の基準等

研究抄録、研究発表会および研究への取り組み等についてルーブリック評価を用いて評価する。

学生へのメッセージ

卒業研究は知的好奇心・向上心を持ち、エビデンスの作成と発信をめざして主体的に取り組もう。そして卒業後の職場で期待される問題解決力と研究に対する力量を培おう。

93. 医療安全論（必修）

担当教員	◎児玉真利子 清水　由美子（学内特別講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

1999年に発生した大学病院における手術患者取り違え事故をきっかけに、わが国の医療安全対策は急激な変化を遂げた。そこで本科目においては、過去の医療事故や安全対策の背景と取り組み内容を学び、組織として医療安全に取り組む意義と体制について理解する。そして人間の行動特性を踏まえたヒューマンエラーの防止や、医療事故に伴う看護職の法的責任について学ぶ。また医療安全においては、医療の対象者と医療者の信頼関係の構築が重要であり、その基本となるインフォームド・コンセント（以下ＩＣ）についても学習する。

到達目標

1．過去の医療事故と医療安全における看護の責務について理解する。
2．医療安全の基本的な考え方と国の医療安全施策を理解する。
3．医療事故の報告制度や医療の質評価について理解する。
4．医療事故発生のメカニズムを説明できる。
5．人間の行動特性とヒューマンエラーの防止について説明できる。
6．医療安全におけるＩＣの重要性を理解する。
7．看護事故の特徴と安全対策について説明できる。
8．病院組織における安全対策と取り組みについて理解する。

授業の形式

配付資料およびビデオ視聴などによる講義、グループワークなど

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

予習は臨地看護学実習等で体験あるいは見聞きし医療安全に関連した事例の問題点や疑問点を整理して授業に臨んでください。復習は講義や文献等を参考に要点を整理し、各自思考したことをまとめておいてください。

成績評価の基準等

出席状況及び授業への参加態度（40％）、試験（60％）の配分で評価を行う。

学生へのメッセージ

医療安全論は統合科目であり、他の領域との重複部分については医療安全の視点から学んでください。安全な医療（看護）の提供は医療の基本であり、医療の質保証に関わる重要な課題です。医療安全の重要性を自分の課題として認識し、卒業後も学び続けることを期待します。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) ナーシング･グラフィカ 医療安全	松下由美子他	メディカ出版	3,000円+税
(参) 系統看護学講座　医療安全	川村治子	医学書院	2,200円+税
(参) 医療安全ワークブック	川村治子	医学書院	2,800円+税
(参) 医療倫理学のＡＢＣ	井部俊子監修	メヂカルフレンド社	2,900円+税
(参) 人は誰でも間違える	米国医療の質委員会他	日本評論社	2,500円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	医療安全と看護の責務	過去の医療事故事例や看護の責務、看護職の法的な規定について学ぶ。	児玉
2	医療安全の基本的な考え方と医療安全施策	医療安全の基本的な考え方と国の医療安全に関する取り組みを理解する。また、医療安全関連の用語の定義、医療事故の報告制度、医療の質の評価について学ぶ。	児玉
3			児玉
4	医療事故発生のメカニズムと防止対策	医療事故発生のメカニズムを理解する。また、ヒューマンエラーと対策、医療事故分析手法と防止対策について学ぶ。	児玉
5			児玉
6			児玉
7	医療安全とＩＣ	ＩＣの歴史と医療安全におけるＩＣの重要性を理解する。	児玉
8	看護における安全対策	看護業務と事故発生要因、看護事故と安全対策について学ぶ。	児玉
9			児玉
10	医療事故発生後の対応	医療事故発生時の初期対応と紛争化の防止について学ぶ。	児玉
11	病院組織における安全対策とその取り組み	病院組織における医療安全管理体制を理解する。また、医療事故防止活動、安全文化の醸成のための取り組みについて学ぶ。	清水
12			清水
13			清水
14			清水
15	試験	試験を実施し、医療安全に関する知識の習得度を評価する。	児玉

94. 国際保健看護論（必修）

担　当 教　員	◎藤井　智子、神田　浩路、三上　淳子（非常勤） 鈴木　智子（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	１単位	15コマ

授業の概要（履修目的・到達目標）

【履修目的】

今や、看護師、保健師、助産師は、国際的視点で保健・看護について考えることの必要性を理解する。人々の集まりを対象とする地域保健・地域看護を家族や学校、企業、地方自治体、さらには日本という国へと広げ、最終的に大きな視野でとらえると、国際保健看護になるという基本的なことを学ぶ。さらに、人々の生活や環境、健康は、日常的に世界とつながっており、世界の健康の状況の変化とその対応を理解し、将来に向けての目標をさまざまな立場の人々が共有していくことの重要性を理解する。

また、健康危機管理としての国際保健看護と災害看護の特徴を理解し活動の土台となる人道支援の原則および看護のあるべき役割を探索する。

【到達目標】

・国際協力の基本的な枠組みについて知る。
・保健医療分野での国際協力に関わる主な国際機関、非政府組織などの特徴とその活動について説明できる。
・世界の健康格差と国際協力の必要性を説明できる。
・プライマリヘルスケアと看護職への期待を説明できる。
・災害という特殊状況下における被災の場や被災者に必要とされる医療、看護の専門的知識、技術の必要性を理解する。

授業の形式

講義、グループワーク、視聴覚機器の活用

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

日常的に国際社会の情勢、世界的な健康課題に関する情報に関心を持つこと。特に印象深い情報については、その背景を調べまとめておくこと。

成績評価の基準等

出席（30％）およびレポート（70％）から総合的に評価する。

学生へのメッセージ

国内外の社会情勢、保健医療分野等の新聞、テレビ、ラジオのニュースに耳を傾け、「国際保健看護とは」、「国際協力とは」について興味と関心を持ち、世界の人々の健康、広く地球の健康まで考えが発展することを強く望んでいます。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 災害看護学･国際看護学 看護の統合と実践３	浦田喜久子他	医学書院	2,300 円
知って考えて実践する国際看護	近藤麻理	医学書院	1,800 円

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
1	国際保健看護とは	グローバル社会における日本の現状をとらえ、国際的な看護の視点の必要性を理解する。	神田
2	国際協力とは	国際協力の基本的な枠組み、政府開発援助（ＯＤＡ）について学ぶ。	〃
3	〃	保健医療分野での国際協力に関わる主な国際機関、非政府組織などの特徴とその活動について学ぶ。	〃
4	国内の健康の格差と世界の健康の格差	国内外の健康に関する格差・不平等について理解し、誰のため何のための国際保健看護なのかを学ぶ。	藤井
5	国際保健看護の場と対象	人々の生活や環境の変化と出現する健康問題について学ぶ。	〃
6	〃	健康問題と国際保健看護活動について理解する。	〃
7	日本の看護経験と国際協力	世界から求められている日本の看護の役割について考える。	〃
8	〃	保健師活動と技術協力について学ぶ。	〃
9	プライマリヘルスケアと看護職への期待	プライマリヘルスケアにおける看護職への期待について学ぶ。	〃
10	日本および世界における災害発生と救護活動	看護者に求められるグローバルな視点について学ぶ。 日本および世界における災害発生活動の実態、救護の歴史について学ぶ。	鈴木 (非常勤)
11	災害医療・災害看護の基礎知識	災害の定義、種類と健康障害、災害医療の特徴について学ぶ。	〃
12	災害サイクルに応じた活動現場の災害看護	急性期・亜急性期、慢性期・復興期、静穏期について学ぶ。	三上 (非常勤)
13	災害とこころのケア	災害時のこころのケアの基本について。 被災者と救済者のこころのケアについて学ぶ。	〃
14	災害救護の実際１	これまで経験した救護活動から、活動内容を知る。	〃
15	災害救護の実際２	〃	〃

95. 総合実習（必修）

担当教員	及川　賢輔、濵田　珠美、阿部　修子、長谷川博亮、服部ユカリ、藤井　智子、升田由美子、山根由起子、児玉真利子、荒　ひとみ、石川　洋子、一條　明美、塩川　幸子、森　浩美、山内まゆみ、石川　千恵、神成　陽子、苫米地真弓、奥田　久美、綱元　亜依、野中　雅人、巻島　愛、牧野　志津、松田奈緒美、水口和香子、矢田しずえ、山口　希美、山田　咲恵		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	通　年	２単位	２週間

履修目的・授業概要

・これまでに習得した看護学の学習内容を統合し、卒業後求められる看護職者として必要な自律性と看護実践能力を養う。

到達目標

1．看護チームのメンバーとして、受け持ち対象者のケア計画を説明し、情報提供やプランを提供できる。
2．複数の対象者を受け持ち、チームリーダーやメンバーの助言をうけて、ケアの優先度や役割分担を考えた行動計画が立案できる。
3．上記１と２に基づいて、ケアを実施できる。
4．実施したケアの結果と対象者について報告、情報交換ができる。
5．対象者の夜間の生活の特徴を把握し、必要な看護および日勤帯から夜間帯への継続看護について説明できる。
6．実習施設における看護の対象と看護の特徴を説明できる。
7．実習施設の特徴を踏まえた医療安全対策について説明できる。
8．６・７に基づいて、必要な管理、他職種との協働について説明できる。
9．この実習を通して、看護師の責務と倫理的行動について学んだことから、今後の自己の課題について省察できる。

授業の形式

・複数の患者あるいはグループを受け持ち、実習目的・目標にそって実施する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

一部施設の実習では準夜・深夜の看護を経験することはできませんが他機関・他施股の専門職との連携（他職種連携）や、看護管理が経験できるように工夫しています。

成績評価の基準等

・実習内容、実習記録および実習後のレポート、出席状況から総合的に評価する。

学生へのメッセージ

・この総合実習が、自己の卒業後の進路や将来像のイメージ化の助け･機会となり、役割発達･移行につながることを期待します。そのためにも、自ら実習場所の選択希望をして下さい。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
	○臨地看護学実習実践編を参照すること		
	複数の受け持ち患者	・複数の患者を受け持ち、必要な看護の優先順位を考え判断し、実施できる。	
	日勤･準夜･深夜の看護	・夜問実習を通して、日中とは異なる患者の訴えや心理を理解し、看護を実施する。	

選　択　科　目

【専門基礎科目】

96. 臨床検査論（選択）〔検体の基礎、検体検査、生体機能検査〕

担当教員	◎藤井　聡、河端　薫雄、赤坂　和美、幸村　近（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

臨床検査から得られる生体情報は、病気の診断や治療経過の観察など、日常診察、看護業務にも欠かせない。また、信頼性の高い検査結果を得るためには検査前後、検査中の患者への適切な対応が必須となる。看護の技術・実践においては、リスクマネージメントも念頭に入れ、検査にいたるまでの正しい前処置、適切な検体の採取・保存が正確な情報提供のための基本となる。検査法の原理、手技、測定法、検査値の意義、限界を十分に把握し、更には、得られたデータの統計量としての特性の理解を目標とする。

臨床検査は検体検査（細菌、生化学、血清、病理、輸血など）と、生理検査（心電図、超音波、呼吸機能、脳波など）から構成される。前者では検査の誤差要因、精度管理の原理・実際について、後者については患者との接し方の基本が主眼となる。急速に発展、多様化する検査技術のなかで患者の状態（緊急、在宅療養など）や、社会的要因（予防、経済性）にあわせて、検査項目や検査法を選択する意義を考える。生体臓器・組織を肉眼的、顕微鏡学的に検査する病理検査は、診断・病態把握に不可欠で、概要を学ぶ機会とする。

到達目標

①臨床検査の基本原理、意義について理解し、述べることができる。
②検査に関する基本的手技を適切に行うための手法について理解し、概説できる。

授業の形式（板書、プリント、視聴覚機器の活用、学外見学など）

板書、スライド、プリント、他の視聴覚機器など、講義内容の理解に適した種々の方法を用いる。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

履修内容に記載されている内容について、教科書等で予習する。
終了後は、配付プリント等を整理しまとめを行なう。
参考書を学期中に読み、知識を深める。

成績評価の基準等

試験、又はレポート。
試験の受験資格、又はレポートの提出資格は３分の２以上の出席とする。試験は６割以上の正答率、レポートは６割以上の評価をもって合格とする。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

病者の精神的、肉体的、社会的全体性の回復という医療行為の中でも、検査医学は疾病を自然科学的、合理的に把握する分野です。実践的、技術的、病理学的側面も多く、幅広く積極的に学習することを望みます。質問はいつでも歓迎いたします。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 系統看護学講座　別巻 臨床検査第７版	奈良信雄編集	医学書院	2,420 円
(参) ナースのための検査メモ　改訂第３版	扇谷茂樹編	南江堂	2,513 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	総論	診療における臨床検査の目的や意義を理解し、データの解釈、基準値、変動因子などを学ぶ。患者への適切な対応、検体採取、保存法などの重要性を理解する。	藤井
2	生理機能検査	心電図検査の代表的な所見と超音波検査の原理、患者への対応などを理解する。	赤坂
3	一般検査	尿、糞便、髄液など一般検査の内容を理解する。目的にかなった検体の採取、保存法を理解し、更に患者状態の管理、検査の説明ができるように学ぶ。	河端
4	細菌検査	細菌検査と検体採取におけるポイント。	藤井
5	血清検査	自己抗体などの免疫系疾患、感染症と血清検査について学ぶ。	河端
6	生化学検査	糖、脂質代謝障害と生活習慣病について理解する。	河端
7	輸血検査	種々の血液製剤、輸血適合性などについて学ぶ。	藤井
8	血液学検査	血球数および血球分類と病態との関連性を理解する。血液凝固の基礎と病態について学ぶ。	幸村（非常勤講師）
9	腎疾患の臨床検査	腎疾患の診断で必要となる臨床検査法を学ぶ。また、腎疾患が臨床検査におよぼす影響について理解する。	幸村（非常勤講師）
10	生化学検査	血中、尿中蛋白成分による病態解析の基礎を学ぶ。腫瘍マーカー検査について学ぶ。	河端
11	生化学検査	酵素による病態解析を学ぶ。非蛋白性窒素成分、ＢＵＮ、クレアチニンとビリルビン検査の意義を理解する。検査の目的に適した検体採取の意義を理解する。	河端
12	細胞性免疫検査	免疫とは微生物など外からの攻撃やガンによる内からの破壊から生体を守る仕組みである。そのメカニズムに関連するものとして、抗体や補体などの液性因子、顆粒球やマクロファージなどの貪食細胞、そして主として特異的免疫反応を担うリンパ球が存在する。生体の免疫反応において、これらの液性因子や細胞群がどのように関わるかを総論的に学ぶ。また免疫反応のまきぞえ効果として結果的にアレルギーが生じるが、それについても言及する。	河端
13	他の検査	他の検査について学ぶ。	河端
14	生理機能検査	呼吸機能検査を学び、その意義を知る。さらに、バルスオキシメーターや血液ガス分析の有用性を知る。	赤坂
15	遺伝子検査	多くの疾患や個人の健康状態を規定している遺伝子検査を学ぶ。	河端

選　択　科　目

【専門科目】

97. 看護管理論（選択）

担当教員	◎児玉真利子、藤井　智子、山本　明美、 原口眞紀子（学内特別講師）、 河地　範子（学内特別講師）、 黒崎　明子（学内特別講師）、 大宮　　剛（学内特別講師）、 尾崎　靖子（学内特別講師）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

看護を的確に提供し実践活動を発展させるため、資源や組織を効果的に活用し、組織における目標を達成する方法を学ぶ。さらに人々の健康向上に関わる看護サービスを担う組織としての機能や、社会に貢献するための看護管理の方法を理解することを目的とする。

到達目標

1．看護管理の基本と看護組織、看護提供システムについて説明できる。
2．チーム医療における多職種連携と看護職の役割について説明できる。
3．看護管理に必要な情報管理と看護ケアの質評価について理解する。
4．看護を取り巻く諸制度を理解し、病院経営と看護の経済的評価について理解する。
5．看護管理に関する諸理論とマネジメントスキルについて理解する。
6．地域の特性を踏まえた地域看護管理のあり方を理解する。
7．病院組織における人的資源管理、安全管理、キャリア開発システムについて理解する。
8．ワークライフバランスの取り組みとキャリア開発への視点を理解する。

授業の形式

講義形式を主とし、プリントの配布、グループワークなども取り入れて行う。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

履修内容に関する教科書や他の科目の関連内容について予習復習を行うこと。

成績評価の基準等

出席状況及び授業への参加態度（40％）、課題レポート（60％）の配分で評価を行う。

学生へのメッセージ

看護管理は看護管理者が行うものというイメージがあるかもしれませんが、臨床の看護職も重要なケアマネジメントを担っています。また、組織の一員として協働することで、医療・看護の質向上に大きく貢献しています。看護管理論の学びが将来の看護実践活動に役立ち、看護の発展につながることを講師一同願っています。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 系統看護学講座　看護管理	上泉和子他	医学書院	2,500円+税
(参) 看護サービス管理	中西睦子他	医学書院	3,000円+税
(参) もし高校野球の女子マネジャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎夏海	ダイヤモンド社	1,600円+税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	看護管理学概論	看護管理の定義・対象・範囲を理解する。また、組織構造と組織目的達成のマネジメントについて学ぶ。	児玉
2	看護ケアのマネジメント	看護ケアのマネジメントについて学ぶ。また、チーム医療と看護職の役割、多職種連携と協働について学ぶ。	児玉
3	看護サービスのマネジメント①	サービスの概念と看護サービス提供システムについて学ぶ。また、組織管理・運営に必要な情報管理について学ぶ。	児玉
4	看護サービスのマネジメント②	医療の質評価の枠組みを理解し、医療・看護の質を改善する取り組みについて学ぶ。	児玉
5	看護を取り巻く諸制度	看護管理の視点から法律・制度を概観し、最近の保健医療福祉政策の動向を理解する。	児玉
6	医療経営と看護	医療保険制度を理解し、病院経営と看護の経済的評価について学ぶ。	児玉
7	人的資源のマネジメント	人的資源の活用、労働環境の整備、働きやすい職場環境づくりについて学ぶ。	河地
8	安全管理と施設環境のマネジメント	組織におけるリスクマネジメント、災害対策について学ぶ。また、施設環境のマネジメント、物的資源管理について学ぶ。	原口
9	人材育成とキャリア開発	キャリアディベロップメント、新人教育、キャリア開発システムについて学ぶ。	黒崎
10	地域看護マネジメント論	コミュニティの特性を踏まえた地域看護管理の構造について学ぶ。	藤井
11	看護管理の諸理論①	リーダーシップと組織変革、組織の調整に必要な諸理論とマネジメントスキルについて学ぶ。	児玉
12	看護管理の諸理論②	組織調整に必要な諸理論と組織を形成する個人のマネジメントスキルについて学ぶ。	児玉
13	ワークライフバランス	ワークライフバランスについて学ぶ。（1）二輪草センターの活動	山本
14	ワークライフバランス	ワークライフバランスについて学ぶ。（2）キャリア開発の視点から	大宮 尾崎
15	課題レポート	これまでの学習を振り返り、課題レポートを作成する。	児玉

98. 看護教育論（選択）〔カリキュラム作成過程・カリキュラムデザイン・カリキュラムモデル〕

担当教員	◎長谷川博亮		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	１単位	15コマ

履修目的・授業概要

我が国の看護教育制度及び看護教育の変遷を概観し、看護教育の現状及び課題について学ぶ。

到達目標

1．我が国の看護教育制度の歴史的変遷を概観し、諸外国（アメリカ・イギリス）とは異なる日本の特徴を説明できる。
2．看護教育カリキュラムの作成過程について説明できる。
　1）実践科学の特徴
　2）カリキュラムの作成過程
　3）カリキュラムデザイン
　4）看護学の体系化と内容へのアプローチ
3．現行の看護教育制度及びカリキュラムについて概観し、看護教育の現状と課題について理解する。
　1）現行カリキュラム
　2）諸外国の看護教育制度の特徴

授業の形式

講義及びグループワークを中心に展開する。
※新型コロナの状況により、グループワークを中止し、manaba による自己学習になる場合がある。また分散登校になる場合もある。履修内容の変更の場合、修正シラバスを manaba に掲示する。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

関心のあるテーマを持参し、グループワークテーマに取り上げる。
例えば　1）自分が受けた教育時のカリキュラム
　　2）３年課程と大学（学士課程）カリキュラムの比較
　　3）看護教育カリキュラムにおける講義・演習・実習の割合

成績評価の基準等

成績評価は、①出席・参加状況（20%）、②プレゼンテーション（30%）、③最終レポート（15%）
※新型コロナの状況により、授業方法が変更になった場合、成績評価の基準を変更する。その場合、速やかに manaba に掲示する。

学生へのメッセージ

看護教育をうけながら、日頃わからないままにしてきたこと、あるいは関心がありじっくり考えてみたい、調べてみたいと思う事柄・話題等をテーマにディスカッション、意見交換ができるような学習方法・取り組みを期待します。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(参) 看護教育カリキュラム その作成過程	近藤潤子他訳	医学書院	2,575 円
(参) 看護教育新カリキュラム展開ガイドブック①～⑬	看護教育編集室編	医学書院	後日伝達
(参) 看護基礎教育における教育カリキュラムと「看護学体系」	金子道子	日本看護協会出版会	1,260 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	看護教育論導入	ガイダンス	長谷川
2	看護教育制度の変遷	看護教育制度の変遷を理解する 1）歴史的変遷の概略 2）諸外国と日本の特徴	長谷川
3	カリキュラムの作成過程	カリキュラムの作成過程を理解する 1）方向づけ段階 2）形成段階	長谷川
4	カリキュラムの作成過程	3）機能段階 4）評価段階	長谷川
5	カリキュラムの作成過程	代表的なカリキュラムデザインについて理解する 1）積み上げ型デザイン	長谷川
6	カリキュラムの作成過程	2）漸進的デザイン 3）平行型デザイン	長谷川
7	現行カリキュラム	代表的なカリキュラムモデルについて理解する 1）伝統的医学モデル	長谷川
8	現行カリキュラム	2）準医学モデル 3）統合看護モデル	長谷川
9	現行カリキュラム	関心のあるテーマに関するグループワーク （グループ構成は学生に一任）	長谷川
10	現行カリキュラム	関心のあるテーマに関するグループワーク （グループ構成は学生に一任）	長谷川
11	現行カリキュラム	関心のあるテーマに関するグループワーク （グループ構成は学生に一任）	長谷川
12	発　表	グループワーク成果の共有および意見交換	長谷川
13	看護教育の光と影	看護教育が抱える問題と課題について	長谷川
14	看護教育の課題	過密カリキュラムの解消 準医学モデルから統合看護モデルへ 看護における倫理原則＆倫理綱領	長谷川
15	まとめ	評価 看護基礎教育における到達目標 （基礎的看護実践能力）	長谷川

99. 助産学基礎理論Ⅱ（選択）〔生殖機能と形態、受精と着床、妊娠の成立、分娩の三要素、正常な分娩機転と分娩経過、胎児・新生児の健康〕

担当教員	◎山内まゆみ、巻島　愛、杉山　結理、長屋　健（学内特別講師）、伊藤　幸子（非常勤）、未定（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

妊娠、分娩及び産褥期・新生児の正常な経過を判断するために基本となる解剖生理、基礎的知識を理解する。生殖に関わる解剖生理、妊娠の成立機序、胎児発育と妊娠経過、分娩機序と母児への影響、分娩経過、褥婦、新生児の身体・心理・社会的特徴を理解する。

到達目標

①妊娠の成立に必要な男女の生殖器の形態・機能を説明できる。
②女性の性周期とホルモンについて説明できる。
③妊娠の成立（受精と着床）と検査法を説明できる。
④胎児の発育とその評価方法、胎児循環と胎盤機能、新生児の子宮外適応現象と生理的経過を説明できる。
⑤妊娠経過と母体の身体的心理的変化～妊娠時期を判断する情報を説明できる。
⑥分娩機転と正常分娩の経過、分娩が母児に及ぼす影響と心理的特徴を説明できる。
⑦産褥期の経時的な身体的変化と心理的特徴を説明できる。

授業の形式

一部講義を含めながら、学生が主体となるモジュール形式で行い、学習成果の積極的な報告を求める。講義中は適時ミニテストを積極的に取り入れる（結果から学修状況を自己確認すること）。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

シラバスや配布する資料から、学習内容について教科書・参考書から予習してくること。講義は自分自身の理解度を確認し、教科書をまとめるなどの復習をしておくこと。下記以外の参考書は授業中に適時紹介するので自己学習に役立ててほしい。特に、本講義前には、第３学年までに既習した母性看護学等の知識・技術の復習を終えておくこと。

成績評価の基準等

・出席３分の２以上のものを評価の対象とする（遅刻・早退は３回で１回の欠席とする）。
・講義ミニテストは原則評価点に加えない。
・プレゼンテーション内容は参考点とする。
・試験は２種行う（妊娠期、分娩期の各学習終了後）。各60点以上を合格とする。
・試験は各学習が終了後、履修時間外（７講目）に実施する。
※大学のＢＣＰレベルにより成績評価方法変更の可能性がある。

学生へのメッセージ

第４学年最初の助産師課程選択科目である。助産師課程選択学生に必須の知識として求められる基本的知識であることを理解して学修すること。本科目の学修状況は、今後の助産師課程の到達度に影響する。自ら積極的に学び、授業に参加し、知識を確実に理解してほしい。特に、第３学年までに既習した助産師課程必修科目の復習は確実に行い、参加すること。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 助産学講座（全10巻）	我部山キヨ子他編	医学書院	1冊3,200～5,000円＋税
(教) 最新産科学　改訂22版　正常編	荒木　勤	文光堂	5,000円＋税
(教) 最新産科学　改訂22版　異常編	荒木　勤	文光堂	7,000円＋税
(教) 産婦人科診療ガイドライン産科編2020	日本産婦人科学会他監	日本産婦人科学会	7,000円（税込）
(参) 新生児学入門　第５版	武谷雄二他編	医学書院	5,800円＋税
(参) プリンシプル産科婦人科学２　第３版	武谷雄二他編	医学書院	13,000円＋税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	科目ガイダンス	今後の助産履修のスケジュール、実習に向けての準備、卒業時到達目標について説明する。	山内 巻島 杉山 伊藤
2	自己の目標設定	ミニテストにより、自分に備わっている知識を確認し、不足点を明らかにする。助産師を目指す自己の目標を設定し、具体的な達成方法を考える。	山内 巻島 杉山 伊藤
3	助産診断と助産過程	①助産診断の定義、助産診断類型 ②課題提示	山内 巻島 杉山 伊藤
4	妊娠の基礎知識	以下の課題について、テーマごとに担当を決め、学習した内容を発表する。 1．妊娠 1）男女の生殖器の形態と機能 2）女性の性周期とホルモン、卵巣機能 3）妊師の成立機序（受精と着床） 妊娠の診断方法 4）不妊症の原因 2．胎児・胎盤系 1）胎芽の発生・発育、器官形成 2）胎児循環の構造と特徴 3）器官形成、胎児の発育評価 4）胎盤の形態機能、卵膜・臍帯の構造 羊水の源と役割、胎盤ホルモン 3．妊娠経過 1）妊娠経過に伴う生理的変化 （全身的変化、子宮増大とその影響） 2）妊婦の心理的変化 4．母児の免疫と感染 1）妊娠の維持機構と母体の免疫能 2）胎児・新生児の免疫学的特性 3）母子感染の機序 4）具体的な母子感染症と対策 5．上記の学習内容を発表し、学習を深める。	山内 巻島 杉山 伊藤 他 (非常勤)
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13	まとめ	学習課題に関する疑問を解決する。	山内 巻島 杉山 伊藤 他
14	振り返り	試験結果から、知識等の不足点の明確化、自己課題を具体化する。助産師になるための自己目標を設定し、学習計画と具体的な達成方法を再検討し決定する。	山内 巻島 杉山 伊藤他
15	分娩の基礎知識①	次ページ16コマからの内容参照	山内 巻島 杉山 伊藤 他

助産学基礎理論Ⅱ　　第４学年・前期・30コマ（選択）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	分娩の基礎知識①	１．分娩の分娩の三要素（Ｓｔ） ２．分娩機転（T） 第１～第４回旋と児頭の下降 胎児応形機能、軟産道開大機序 ３．分娩経過 １）正常分娩経過と経時的変化 ２）分娩予知とビショップスコア ３）フリードマン曲線と分娩経過 ４）分娩経過に伴う産道・胎児・娩出力の変化と関係 ５）分娩経過を判断するための観察項目と内容 ４．分娩経過に伴う産婦の身体的変化と分娩が母体に及ぼす影響 ５．産婦の分娩児のストレスと心理的特徴 ６．分娩が胎児に及ぼす影響と健康状態の観察	山内 巻島 杉山 伊藤 他
17			
18			
19			
20			
21	分娩の基礎知識②	以下の内容に関する講義 1. 分娩機転 2. 分娩経過 3. 分娩が胎児に及ぼす影響と健康状態の観察 4. 分娩経過に関連する異常 （羊水塞栓症、肺塞栓症、子宮内反症、等）	山内 巻島 杉山 伊藤 他
22			
23			
24			
25	新生児の知識（正常編）	正常新生児の適応生理とそれに基づいたケアを理解する。	ＮＩＣＵ 長屋医師
26	正常新生児の定型発達、発育を理解する。		
27	母子関係と母乳育児を理解する。		
28	産褥期の基礎知識	褥婦の身体的、心理的特徴とその経過の基礎知識を理解する。	山内 巻島 杉山
29			
30			

100. 助産活動論Ⅱ（選択）〔妊娠期の助産診断〕

担当教員	◎山内まゆみ、巻島　愛、杉山　結理、学内特別講師、伊藤　幸子（非常勤）、未定（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	１単位	30コマ

履修目的・授業概要

妊婦の健康管理に必須な妊婦健康診査や保健指導が実施できるために必要な助産診断とそれに基づく助産計画・助産技術について理解する。

到達目標

・妊娠の診断のための検査項目と基準について説明できる。
・妊娠時期について判断するための診査項目と基準について説明できる。
・妊娠各期の母児の状態を判断するための診査項目と基準について説明できる。
・妊娠に影響する健康状態や日常生活および家族関係等について説明できる。
・紙上事例（妊娠中期・後期）を用いて、妊娠の有無、妊娠時期、母児の健康状態、影響要因についてアセスメントし、必要な保健指導等、助産計画を立案する。
・妊婦健康診査に必要な助産技術が実施できる。

授業の形式

妊婦の紙上事例に対し、助産診断に用いる「妊娠期のアセスメント項目」を活用し、経時的に助産過程を展開する提出課題を求める。学生は展開した助産過程を基に期日までに自己学習（グループワーク含む）し、学生の疑問点等の解決に演習時間を使用することを基本とする。
※大学のＢＣＰレベルにより分散登校の可能性、方法変更の可能性がある。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

予習･復習は必須である。特に教科書『妊娠期』（６）は主体的に予習しておくこと。事例展開は指定した月日までに自己学習で進めること。看護過程の復習は授業開始前に必須である。既習の助産師課程選択科目、特に助産学基礎理論Ⅱの授業内容を確実に理解して授業に臨むこと。

成績評価の基準等

提出記録（妊娠中期の助産診断40％、妊娠後期の助産診断40％）、演習の取り組み姿勢20％で評価する。全体の60％以上を合格とし、出席３分の２以上で評価の対象とする。
※大学のＢＣＰレベルにより成績評価方法変更の可能性がある。

学生へのメッセージ

既習学習を統合し、助産過程を展開し、専門職としての判断と援助を修得することを目標としている。主体的に取り組む姿勢が求められる。前提条件として、看護過程を復習しておくこと。助産学実習に直結する内容であるため、積極的に出席・参加すること。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 助産学講座１～10（全10巻）	我部山キヨ子他編	医学書院	1冊3,200～5,000円＋税
(教) 最新産科学　改訂22版　正常編	荒木　勤	文光堂	5,000円＋税
(教) 最新産科学　改訂22版　異常編	荒木　勤	文光堂	7,000円＋税
(教) 産婦人科診療ガイドライン　産科編2020	日本産婦人科学会他監	日本産婦人科学会	7,000円（税込）
(参) 新生児学入門　第５版	武谷雄二他編	医学書院	5,800円＋税
(参) プリンシプル産科婦人科学２　第３版	武谷雄二他編	医学書院	13,000円＋税
(参) 今日の助産　改訂第４版	北川眞理子他編	南江堂	8,800円＋税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	学習の進め方	学習の進め方（ガイダンス） 妊娠期の助産過程の展開 妊娠期の助産診断	山内 巻島 杉山
2 3 4	妊娠期に起る異常・健康課題	・ハイリスク妊娠（心疾患・糖尿病・腎臓病等合併妊娠、他） ・妊娠期の異常（流早産・妊娠合併症、前置胎盤、胎児発育不全、絨毛膜羊膜炎、他）知っておくべき異常な妊娠経過について、産科学の基本的知識を理解する。	未定 （学内特別講師）
5	事例展開①妊娠中期	・妊婦事例を用い、①妊娠中期、②妊娠後期の助産過程に基づく助産診断を以下の項目を活用して行い、必要な助産計画（観察・ケアの実施・保健指導）を立案する。方法は、以下Ⅰ～Ⅲで進める。Ⅰ．教員から事例の提示、Ⅱ．学生は妊娠中期の助産過程の展開を行う（中期、後期ごとに、助産過程を記述し、提出期日までに提出予定）、Ⅲ．各提出期日以前に、疑問点等の解決に向け、フィードバックの時間を設ける。 １．妊娠の診断 １）妊娠（確定）の診断 ２）妊娠時期の診断 ３）分娩予定日の診断 ２．妊娠経過の診断 １）母体の生理的変化の診断 ２）母体の健康度の診断 ３）初産婦と経産婦の診断 ４）マイナートラブルの診断 ３．正常からの逸脱の診断 １）妊娠合併症の診断 ２）異常妊娠の診断 ４．胎児の診断 １）胎児の生死の診断 ２）胎児数の診断 ３）胎位の診断 ４）胎児発育の診断 ５）胎児の健康度の診断 ５．胎児付属物の診断 １）羊水の診断 ２）臍帯の診断 ３）胎盤の診断 ４）胎盤機能の診断 ５）卵膜の診断 ６．妊婦の日常生活への適応診断 １）日常生活行動の診断 ２）ボディイメージの診断 ７．妊婦の心理的適応の診断 １）妊娠の受容の診断 ２）胎児の受容の診断 ３）親役割準備状態の診断 ８．出産・育児準備の診断 １）出産・育児準備に伴う身体的準備の評価 ２）出産・育児準備に伴う心理的準備の評価 ３）出産・育児準備に伴う物品準備の評価 ４）バースプランの評価 ９．妊婦の社会的適応の診断 １）妊娠の伴う家族適応の診断 ２）妊娠に伴う社会的適応の診断 ・上記項目の助産診断から導きだした統合診断名に基づき、助産計画を立案する。	山内 巻島 杉山 伊藤 （非常勤） 未定 （非常勤）
6	事例展開①自己学習		
7	事例展開①自己学習		
8	事例展開①フィードバック		
9	事例展開①自己学習		
10	事例展開①自己学習		
11	事例展開①フィードバック		
12	事例展開①自己学習		
13	事例展開①自己学習		
14	事例展開①自己学習		
15	事例展開①フィードバック		

助産活動論Ⅱ　　第４学年・前期・30コマ（選択）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	事例展開② 妊娠中期	・妊婦事例を用い、①妊娠中期、②妊娠後期の助産過程に基づく助産診断を以下の項目を活用して行い、必要な助産計画（観察・ケアの実施・保健指導）を立案する。方法は、以下Ⅰ～Ⅲで進める。Ⅰ．教員から事例の提示、Ⅱ．学生は妊娠中期の助産過程の展開を行う（中期、後期ごとに、助産過程を記述し、提出期日までに提出予定）、Ⅲ．各提出期日以前に、疑問点等の解決に向け、フィードバックの時間を設ける。 1．妊娠の診断 １）妊娠（確定）の診断 ２）妊娠時期の診断 ３）分娩予定日の診断. 2．妊娠経過の診断 １）母体の生理的変化の診断 ２）母体の健康度の診断 ３）初産婦と経産婦の診断 ４）マイナートラブルの診断 3．正常からの逸脱の診断 １）妊娠合併症の診断 ２）異常妊娠の診断 4．胎児の診断 １）胎児の生死の診断 ２）胎児数の診断 ３）胎位の診断 ４）胎児発育の診断 ５）胎児の健康度の診断 5．胎児付属物の診断 １）羊水の診断 ２）臍帯の診断 ３）胎盤の診断 ４）胎盤機能の診断 ５）卵膜の診断 6．妊婦の日常生活への適応診断 １）日常生活行動の診断 ２）ボディイメージの診断 7．妊婦の心理的適応の診断 １）妊娠の受容の診断 ２）胎児の受容の診断 ３）親役割準備状態の診断 8．出産・育児準備の診断 １）出産・育児準備に伴う身体的準備の評価 ２）出産・育児準備に伴う心理的準備の評価 ３）出産・育児準備に伴う物品準備の評価 ４）バースプランの評価 9．妊婦の社会的適応の診断 １）妊娠の伴う家族適応の診断 ２）妊娠に伴う社会的適応の診断 ・上記項目の助産診断から導きだした統合診断名に基づき、助産計画を立案する。	山内 巻島 杉山 伊藤 (非常勤) 未定 (非常勤)
17	事例展開② 自己学習		
18	事例展開② 自己学習		
19	事例展開② フィードバック		
20	事例展開② 自己学習		
21	事例展開② 自己学習		
22	事例展開② フィードバック		
23	事例展開② 自己学習		
24	事例展開② 自己学習		
25	事例展開② 自己学習		
26	事例展開② フィードバック		
27	事例学習 まとめ	・助産過程の展開で、自己の課題点、今後の自己学習点を明確化する。・妊婦健診の目的、法的根拠の知識、助産師に必要なコミュニケーション技術を復習・再確認する。	山内 巻島 杉山 伊藤 他 (非常勤)
28	妊娠期の健康診査演習	・妊婦健康診査（保健指導を含む）を理解し、その実際を、シミュレーション学習により実施する。 1． 2．診査内容 3．必要性の説明 4．診査項目の正常範囲 5．健康診査の実施（ロールプレイ） 6．診査結果の説明 7．正常逸脱の判断 8．保健指導の立案・実施 9．母子手帳の記載	山内 巻島 杉山 伊藤 他 (非常勤)
29	妊娠期の健康診査演習		
30	妊娠期の健康診査演習		

101. 助産活動論Ⅲ（選択）〔分娩期の助産診断、診断に必要な技術、分娩介助法、分娩時の異常、新生児蘇生法〕

担当教員	◎山内まゆみ、巻島　愛、杉山　結理、長屋　建・横浜　祐子・吉澤明希子・中西研太郎（学内特別講師）、市川　英俊（学内特別講師）、本村　勅子（学内特別講師）、伊藤　幸子・未定（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	２単位	60コマ

履修目的・授業概要

分娩期の助産に必要な知識・技術を学び、シミュレーション学習で基本的な分娩介助技術を学修する。
・分娩期の助産診断能力を養う（紙上事例展開）
・診断に必要な診察方法を身につける
・分娩介助法の基本を身につける
・分娩期の正常逸脱や異常時の対応、新生児蘇生法を学ぶ
・「Woman centered care」の実践力を身につける

到達目標

①分娩経過判断に必要な観察項目、技術、判断基準が説明できる。
②分娩経過に応じた支援の必要性と内容を説明できる。
③分娩各期の予測をふまえた対応について説明できる。
④分娩介助準備の時期と内容を説明できる。
⑤分娩介助の根拠を理解し、基本的な介助技術ができる。
⑥分娩期の異常について、病態・治療・ケアを説明できる。
⑦出産にかかわる諸手続と書類について説明できる。
⑧新生児蘇生法の基本を説明・一部体験できる。

授業の形式

講義、演習はグループ学習、シミュレーション学習を基本に進行する。既習の専門知識の活用を求める。大学のＢＣＰレベルにより分散登校の可能性、方法変更の可能性がある。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

助産師選択課程の既習内容を必ず復習し受講すること。また、シラバスや配布する資料から、学習内容について教科書・参考書を予習してくること。授業内容は、自分自身の理解度を確認し、教科書をまとめるなどの復習をしておくこと。反復学習が必須の助産技術は、自己学習を通じて主体的に進めること。

成績評価の基準等

出席３分の２以上のものを評価の対象とする（遅刻・早退は３回で１回の欠席とする）。
①ペーパー試験（40％）は60点以上を合格とする（２回実施予定）。
②介助技術試験（ＯＳＣＥ）（40％）
③助産過程の展開（20％）（展開記録を提出すること）
④プレゼンテーション内容は参考点とする。
※ＯＳＣＥで100点満点中60点以上が臨地助産学実習に進む。
※大学のＢＣＰレベルにより成績評価方法変更の可能性がある。

学生へのメッセージ

分娩介助実習に向けて、分娩経過の診断技術、分娩介助技術を学ぶ科目である。介助技術は、産婦とその家族を想定した環境を想定した反復学習が必須である。仮想現実下でも、生命に対する畏敬の念を抱きながら、誠実で謙虚な態度を伴った演習の実施により助産実践能力を修得すること。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 助産学講座１～10（全10巻）	我部山キヨ子他編	医学書院	1冊3,200～5,000円＋税
(教) 最新産科学　改訂22版正常編	荒木　勤	文光堂	5,000円＋税
(教) 最新産科学　改訂22版異常編	荒木　勤	文光堂	7,000円＋税
(教) 産婦人科診療ガイドライン産科編2020	日本産婦人科学会他監	日本産婦人科学会	7,000円（税込）
(教) 日本版救急蘇生ガイドライン2020に基づく新生児蘇生法テキスト	細野茂春	MEDICAL VIEW	4,000円＋税
(参) 新生児学入門　第５版	仁志田博司	医学書院	5,800円＋税
(参) プリンシプル産科婦人科学２　第３版	武谷雄二他編	医学書院	13,000円＋税
(参) 今日の助産　第４版	北川眞理子他	南江堂	8,800円＋税

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	分娩期の助産診断①	分娩各期の分娩機転と進行を学習し、分娩進行の診断に必要な知識を確認する。	山内 巻島 杉山
2			
3			
4	分娩期の助産診断②	分娩三要素の診断に必要な項目と診察方法、判断基準、影響因子について学ぶ。	山内 巻島 杉山
5			
6			
7	産婦への支援の実際①	分娩第１期・第２期の支援 （入院時、破水時、産痛緩和法、日常生活支援、産痛緩和法、リラクゼーション法）	山内 巻島 杉山 未定 (非常勤)
8			
9	産婦への支援の実際②	分娩第３期・第４期の支援 （子宮収縮の促進、出血予防、愛着形成、等）	山内 巻島 杉山 未定 (非常勤)
10			
11	分娩期の助産診断③	分娩期の助産過程の展開 紙上事例を用いて、分娩第１期から第４期までのアセスメント・診断、助産援助を導く。	山内 巻島 杉山 未定 (非常勤)
12			
13			
14			
15			

助産活動論Ⅲ　　第４学年・前期・60コマ（選択）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	分娩期の助産診断③	分娩期の助産過程の展開 紙上事例を用いて、分娩第１期から第４期までのアセスメント・診断、助産援助を導く。	山内 巻島 杉山 未定 (非常勤)
17			
18			
19	分娩期の助産診断④	分娩期の助産過程の展開 紙上事例を用いて、分娩第１期から第４期までのアセスメント・診断、助産援助を導く。	山内 巻島 杉山 未定 (非常勤)
20			
21			
22	分娩介助の実際	①産道通過に伴う介助原理と要点 ②内診の観察項目と判断基準、手技の実際、注意点	山内 巻島 杉山 伊藤 (非常勤) 未定 (非常勤)
23			
24			
25	分娩介助技術演習	①機械の準備－清潔操作 ②清潔野の作成（外陰部消毒、ガウンテクニック） ③分娩介助 ・肛門保護 ・会陰保護 ・軀幹娩出 ④出生直後の新生児のケア ⑤胎盤娩出 ⑥分娩後精査 ⑦産婦の身仕舞い	山内 巻島 杉山 伊藤 (非常勤) 未定 (非常勤)
26			
27			
28			
29			
30			
31	分娩介助技術演習	①機械の準備－清潔操作 ②清潔野の作成（外陰部消毒、ガウンテクニック） ③分娩介助 ・肛門保護 ・会陰保護 ・軀幹娩出 ④出生直後の新生児のケア ⑤胎盤娩出 ⑥分娩後精査 ⑦産婦の身仕舞い	山内 巻島 杉山 伊藤 (非常勤) 未定 (非常勤)
32			
33			
34			
35			
36	子宮頸がんと分娩のリスク・検体採取法	子宮頸がんに関する基本的知識を理解し、検体採取方法について知る。	市川 (学内特別講師)
37	分娩介助技術試験	課題に基づいて分娩介助を行い、評価する。終了後、結果についてフードバックする。	山内 巻島 杉山 伊藤 (非常勤) 未定 (非常勤)
38			
39			
40	分娩時の書類と記録	分娩児の必要な諸文書や記録書き方を学ぶ（パルトグラム、助産録、出生証明書、母子手帳など）	山内 巻島 杉山
41	誘発分娩と麻酔分娩	誘発分娩・麻酔分娩の意義、適応、観察・注意点について学び適応産婦のケアを考察する。	吉澤 (学内特別講師)
42			
43	異常分娩	分娩三要素の正常からの逸脱・異常について学び、産婦のケアを考察する。	横浜 (学内特別講師)
44			
45			

助産活動論Ⅲ　　第４学年・前期・60コマ（選択）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
46	産科出血・産科手術	分娩時に起こる出血の特徴と産科出血に備えた管理、帝王切開を含む産科手術について学習し、ケアを考察する。	中西（学内特別講師）
47			
48			
49	試験	これまでの学習内容確認・評価	山内 巻島 杉山
50	会陰縫合術演習	軟産道の縫合について学習し、シミュレーターにより、練習する。	伊藤
51			
52	入院時の援助に関する演習	1. 問診 □問診の留意点を踏まえた入院の決定、入院時の助産録聴取（ロールプレイ） 2. 入院時に必要な助産技術 □①入院時に必須な検査方法 □②分娩監視装置による診断 □③分娩期の安全・安楽の確保	山内 巻島 杉山 伊藤（非常勤） 未定（非常勤）
53			
54			
55	新生児の異常	新生児仮死、早産低出生体重児、ハイリスク児の病態とケア、母親と家族への支援について学習する。	長屋（学内特別講師）
56			
57			
58	新生児蘇生	ＮＣＰＲ指導者による新生児蘇生演習	本村（学内特別講師）
59			
60			

102. 助産学実習（選択）〔助産学、継続事例実習、分娩介助実習〕

担当教員	◎山内まゆみ、巻島　愛、杉山　結理、伊藤　幸子（非常勤）、石崎（非常勤）、未定（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	第４学年通年	11単位	11週間

履修目的・授業概要

概要：助産学実習は、継続事例実習、分娩介助実習で構成する。
履修目的：
1. 妊婦・産婦・褥婦および新生児を受け持ち、助産過程を展開して助産診断に基づき助産援助を実践する能力を養う。
2. 助産学実習（継続事例実習、分娩介助実習）を通して、助産にかかわる助産師の責任と倫理的態度、省察する能力を養う。

到達目標

＜継続事例実習＞
①妊婦健康診査予定日に実施する助産計画を助産過程に基づいて健診前日までに立案できる。
②継続事例の妊婦健康診査、および健診結果に基づく保健指導を実施できる。
③産婦および家族に対して、安全で安楽な援助の提供を、臨床実習指導者・教員のもとで実施できる。
④産褥期・新生児期にある入院中の母子に必要な援助、新生児を新しい家族として迎えられる養育環境を整えるために必要な援助を助産過程を基に実施できる。
⑤退院後、産後（生後）１か月までの家族を含む母子の経過について、産褥経過や心理・社会的適応状態、新生児の成長・発達状態について、母子の産後（生後）２週間健診や１か月健診の機会を活用して把握し、各時期に必要な助産診断や考察ができる。
⑥妊娠・分娩・産褥・新生児期で実施した援助について、客観的事実と継続事例の反応から導いた評価を、臨床実習指導者や必要な医療従事者に報告できる。
⑦実習中、助産師としての役割を認識し、助産実践能力の向上に役立つ省察ができる。
⑧継続事例実習を通して、助産師に必要な責任と倫理的な行動を実践・考察することができる。
＜分娩介助実習＞
①分娩各期に必要な診断技術を用いて、分娩経過中に必要な援助を助産診断に基づき、臨床実習指導者の指導のもと助産が実施できる。
②分娩経過中の逸脱・異常の予防及び徴候の早期発見と対応を指導の下にできる。
③間接介助係、出生直後の新生児係の役割を担うことを通して、分娩直接介助係との協働、新生児の母体外生活適応の観察や促進の援助を臨床実習指導者の指導のもと実施できる。
④産褥期・新生児期の助産過程を展開し、対象に必要な援助が実施できる。
⑤助産援助を通し、助産師に必要な倫理的かつ責任ある行動を取ることができる。

授業の形式

継続事例実習では一人の妊婦を妊娠中期から産褥期まで受け持ち、助産過程を展開し、ケアを実践する。
分娩介助実習では10例の産婦を入院時から分娩後帰室まで受け持ち、分娩介助を中心としたケア実践を行う。
※大学のＢＣＰレベルによりオンライン、学内実習へ変更の可能性がある。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

既習内容を全て活用して助産過程を展開するため、母性看護学・助産学のみならず、基本的な看護技術の練習・修得や、解剖学生理学などの復習を助産師選択コースが決定した時期から始めておくこと。

成績評価の基準等

出席３分の２以上のものを評価の対象とする。各実習評価表、実習中の態度、実習記録から総合的に評価する。＊詳細は別途配布する各助産学実習要領を参照のこと。なお、助産活動論ⅢのＯＳＣＥ結果が60点以上の学生が臨地実習を行える。
※大学のＢＣＰレベルにより成績評価方法変更の可能性がある。

学生へのメッセージ

長期にわたる実習である。そのため、自己の生活を整え、体調管理に努めること。また、事前の演習や学習を積み重ね実習に臨むこと。母子が安全･安楽に過ごし、且つ母親の自立に向けた援助は「指導的」ではなく「支援的」を目指すこと。学生が身体的、心理的課題を抱えた時には、速やかに教員等へ相談し解決に努力すること。

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
11週間		①『臨地看護学実習ガイドライン』『臨地看護学実習実践編』を参照のこと ②後日配布される「継続事例実習編」、「分娩介助実習編」実習要領を参照のこと	山内 巻島 杉山 伊藤 (非常勤) 石崎 (非常) 未定 (非常勤)

〈教科書・参考図書〉

書名	著者名	発行所	価格
(教) 助産学講座１～10(全10巻)	我部山キヨ子他編	医学書院	1冊3,200～5,000円＋税
(教) 最新産科学　改訂22版　正常編	荒木勤	文光堂	5,000円＋税
(教) 最新産科学　改訂22版　異常編	荒木勤	文光堂	7,000円＋税
(教) 産婦人科診療ガイドライン産科編2020	日本産婦人科学会他監	日本産婦人科学会	7,000円（税込）
(参) 新生児学入門　第５版	仁志田博司	医学書院	5,800円＋税
(参) 写真でわかる助産技術（ＤＶＤ付）2021年「新訂版」アドバンス	平澤美恵子(監)	インターメディカ	3,700円＋税
(参) 分娩介助学　第２版	進純郎	医学書院	4,800円＋税

103. 公衆衛生看護活動論Ⅲ（公衆衛生看護管理）（選択）

担当教員	◎藤井　智子、塩川　幸子、工藤　裕子（非常勤）、佐藤　伸之（教育センター）、神田　浩路（社会医学講座）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	２単位	30コマ

履修目的・授業概要

公衆衛生看護活動とは、地域の特性やそこで生活する人々の健康・生活のニーズをとらえ、どのような地域になることが望ましいのかその姿を描き、実現に向け人々と協働して活動することです。そのために、地域が抱える健康課題を施策に反映させ、地域の実情に応じた地域ケアシステムを構築する役割が保健師には期待されています。これらの活動を進めていくための公衆衛生看護管理とは何か、人、モノ、金をどのように管理していくかを学びます。また、地域ケアシステムを構築していくためのプロセスには何が必要なのか、保健師としての姿勢について考察します。多職種の専門性を深く理解し、人々の力を育て、繋げ、同じ目標に向かって協力するための連携・調整技術としての事例検討会や地域ケア会議の企画・方法も学びます。

到達目標

・公衆衛生看護管理の目的および機能を理解する。
・施策・事業の円滑な運営のために必要な事例管理・予算管理の内容と方法を理解する。
・地域の健康課題を解決していくための施策化・システム化に向けた連携調整の技術を学ぶ。

授業の形式

講義、グループワーク、課題学習を組み合わせて進めます。毎回、プリントを配ります。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

履修主題にかかわる部分の教科書を事前に読んでくること。講義内でミニテストを数回実施します。これらのテスト内容がしっかり理解できるように講義を復習してください。

成績評価の基準等

・試験（50％）、レポート（35％）、出席状況（15％）から総合的に評価します。
・２／３以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

連携、調整とは何か？施策化、システム化とは？そこにどのような技術があるのか？そこでの保健師の動き方とは？自由に発言しながら皆さんの考える力を大切にした構成にしたいと思っています。主体的な学習を期待しています。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 公衆衛生看護管理論	平野かよ子	ﾒﾃﾞｨｶﾙﾌﾚﾝﾄﾞ社	2,808 円
(参) ケア会議の技術	野　中　猛	中央法規	2,808 円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	公衆衛生看護管理の目的と機能	・公衆衛生看護管理とは ・定義と特徴 ・前提となる公共性の理念	藤井
2		・新任期から担う公衆衛生看護管理の機能 地区管理、事例管理、事業･事務管理、情報管理、予算管理、健康危機管理	〃
3	公衆衛生看護の倫理	・日常生活の中の倫理を考える ・公衆衛生看護の倫理的実践における原則	〃
4	事例管理	・保健師が行う家庭訪問の特徴を学ぶ。 ・事例管理とは何か、事例管理のプロセスについて学ぶ ・支援台帳の作成方法と台帳管理	塩川
5		・事例管理から地区管理への広がり（事例を通して考える）	〃
6		・保健師の看護過程について学ぶ。	〃
7	予算管理	・市町村財政と保健師活動 ・法律と予算	工藤 (非常勤)
8		・予算編成のプロセス ・予算書を作成する －予防接種の予算を作ってみる－	〃
9		〃	〃
10	事業・業務管理	・地域の健康課題に応じた保健事業の内容と種類について学ぶ ・保健事業の企画・評価と考え方と具体的な手法について学ぶ	塩川
11		・保健事業の企画のプロセス	〃
12		〃	〃
13	地域ケアシステムの概念	・地域ケアシステムとは～その理念、構成要素、機能および必要性について理解する	藤井
14	地域ケアシステムの構築のプロセス	・社会資源とは何か、種類、内容 ・地域ケアシステムのアセスメント	〃
15	〃	・地域ケアシステム構築における保健師の役割	〃

公衆衛生看護活動論Ⅲ　　第４学年・前期・30コマ（選択）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	連携・調整の技術①（ケースカンファレンス技術）（プレゼンテーション技術）	・公衆衛生看護における連携調整の技術	藤井 塩川
17		・地区の健康管理の明確化 （地区把握や事例の共通するニーズから抽出、分析）	〃
18		・事例検討会とは	〃
19	まとめ	・公衆衛生看護管理のまとめ	〃
20	連携・調整の技術②（事例検討会）	・事例検討会の企画 ・事例検討会のねらいの検討、資料作成	〃
21		・事例検討会の実施	〃
22	連携・調整の技術③（ネットワーク技術・チームワーク技術）	・実態把握～他職種と共有すべき健康課題の分析・焦点化・抽出	〃
23		・課題を解決していくための方法の分析、役割分担の検討	〃
24		〃	〃
25		・地域ケア会議の企画 ・企画書、媒体（会議資料）の作成	〃
26		〃	〃
27		〃	〃
28	連携調整の技術の実践（地域ケア会議の実践）	・地域ケア会議のロールプレイ	藤井 塩川 佐藤 神田
29		〃	〃
30		・会議の評価およびまとめ	〃

104. 公衆衛生看護技術論（選択）

担当教員	◎塩川　幸子、藤井　智子、水口和香子、神戸　　愛（非常勤）、伊藤　俊弘		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	前　期	２単位	60コマ

履修目的・授業概要
・保健師が地域で出会う個人・家族・集団・地域を看護の対象として援助していくための基本的な技術を学び、実践力向上をめざす。
・公衆衛生看護活動における特徴のある看護場面を通して、支援の方法と看護技術について理解する。

到達目標
・公衆衛生看護における技術の体系について理解する。
・様々なライフサイクルや健康レベルに応じた公衆衛生看護技術について理解できる。
・援助関係の成立を目指した面接の技術と態度について学ぶ。
・生活の場において、保健師が行う家庭訪問や健康相談の技術を習得する。
・小集団に対して、対象者のセルフケア力を高める健康教育の企画および実施ができる。
・モデル地区の地区診断を行い、地域の健康課題をアセスメントし、地域の実態をとらえることができる。

授業の形式
・講義、グループワーク、ロールプレイ演習を組み合わせて進める。必要時、資料を配付する。ペーパーペイシェントを用いて、アセスメント、計画立案、ロールプレイによる実践、評価を行う。信頼関係を築くための面接技術を基本とし、対象の特徴に合わせた支援技術の獲得をめざす。詳細は演習要項に示す。

準備学習（予習・復習）等の内容と分量
・公衆衛生看護技術について教科書・参考書で予習して演習に臨むこと。各回の演習事例について事前にアセスメントを行い、支援計画を立案する。演習実施後は支援内容の記録および評価を行う。実際に地区視診を行う。

成績評価の基準等
・成績評価は、出席（15%）、技術（70%）、最終レポート（15%）とする。
・２／３以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）
公衆衛生看護活動における対象の広がりや様々なライフサイクル・健康レベルに応じた支援技術とは何か、自分なりにつかみとってください。対象者の生活背景や価値観の理解に努め、体験から学びを深める姿勢を大切にしましょう。

〈教科書・参考図書〉

書　名	著者名	発行所	価格
(教) 最新保健学講座２ 公衆衛生看護支援技術	村嶋幸代編集	メジカルフレンド社	4,644円
(教) 地域看護アセスメントガイド　第２版	佐伯和子	医歯薬出版株式会社	2,860円

コマ数	履修主題	履修内容	担当教員
1	公衆衛生看護の技術とは	公衆衛生看護における技術の体系について学ぶ	藤井 塩川 水口 神戸 (非常勤)
2		事例説明とアセスメント 「地域でよく出逢う事例」への看護	〃
3		援助関係の成立を目指した面接の技術と態度	〃
4	面接技術①	面接技術（ロールプレイ）	〃
5		〃	〃
6		〃	〃
7	面接技術②	面接技術（ロールプレイ）	〃
8		〃	〃
9		〃	〃
10	家庭訪問①	保健師が行う家庭訪問の基本的技術について学ぶ	〃
11		家庭訪問の事例について対象の理解	〃
12		アセスメント・看護計画の立案	〃
13	家庭訪問②	アセスメント・看護計画の立案 （グループワーク）	〃
14		〃	〃
15		〃	〃

公衆衛生看護技術論　　第４学年・前期・60コマ（選択）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
16	家庭訪問③	家庭訪問 ①新生児訪問　②高齢者・難病 （ロールプレイ）	藤井 塩川 水口 神戸 (非常勤)
17		〃	〃
18		〃	〃
19	家庭訪問④	家庭訪問の実施に対するフィードバック 家庭訪問の記録・評価の方法	〃
20		グループワーク「家庭訪問の技術とは」	〃
21		技術トレーニング	〃
22	健康相談①	母子健康手帳交付場面の面接における留意点	〃
23		健康相談（母子健康手帳交付）のロールプレイ	〃
24		〃	〃
25	健康診査②	乳幼児健診の進め方と技術	〃
26		乳幼児健診（３歳児健診の問診）のロールプレイ	〃
27		〃	〃
28	健康診査③	特定健診・特定保健指導について、健診から保健指導までのプロセスを理解する	〃
29		特定健診の進め方、問診のとり方	〃
30		健診結果の読みとりと指導案作成	〃

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
31	健康相談②	健康相談（特定保健指導）のロールプレイ	藤井 塩川 水口 神戸 (非常勤)
32		〃	〃
33		〃	〃
34	健康教育①	健康教育の企画・実施・評価	〃
35		健康教育におけるアセスメント・指導案・媒体作成 （グループワーク）	〃
36		〃	〃
37	健康教育②	〃	〃
38		〃	〃
39		〃	〃
40	健康教育③	健康教育の実践 （ロールプレイ）	〃
41		〃	〃
42		〃	〃
43	地区診断①	地区診断の方法	〃
44		グループワーク ・地区の基本構造の把握	〃
45		〃	〃

公衆衛生看護技術論　　第４学年・前期・60コマ（選択）

コマ数	履修主題	履　修　内　容	担当教員
46	地区診断②	地区診断（グループワーク） ・地区の社会資源に関する情報収集と分類、加工	藤井 塩川 水口 神戸 (非常勤) 伊藤
47		〃	〃
48		〃	〃
49	地区診断③	地区診断（グループワーク） ・情報からのアセスメント	藤井 塩川 水口 神戸 (非常勤)
50		〃	〃
51		〃	〃
52	地区診断④	地区診断（グループワーク） ・地区の健康課題の明確化・構造化	〃
53		〃	〃
54		〃	〃
55	地区診断⑤	地区診断（グループワーク） ・報告会準備	〃
56		〃	〃
57		〃	〃
58	地区診断⑥	地区診断の報告会	藤井 塩川 水口 神戸 (非常勤) 伊藤
59		〃	〃
60		グループワーク 「公衆衛生看護技術について学んだこと」	〃

105. 公衆衛生看護学実習Ⅰ（選択）

担　当 教　員	◎塩川　幸子、藤井　智子、水口和香子、 神戸　　愛（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	後　期	３単位	３週間

履修目的・授業概要

地域で生活する個人・家族、集団・組織、地域全体を対象とした公衆衛生看護活動のあり方を考え、実践できる基礎的能力を養う。

到達目標

・地域住民の健康と関連づけて地域特性を把握することができる。
・様々なライフサイクル、健康レベルにある地域住民の個人・家族、集団・組織、地域全体を対象とした公衆衛生看護活動が理解できる。
・地域住民の主体性を尊重するとともに予防の視点から効果的な支援のあり方を理解できる。
・保健医療福祉の連携･調整および地域ケアシステム構築において、保健師が果たす役割を理解できる。

＊詳細は実習要項に示す。

授業の形式

・実習施設：上川保健所・富良野保健所管内の市町村
・実習内容：地区診断、家庭訪問、健康相談、健康診査、健康教育、地域ケア会議、事例検討会、カンファレンス等

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

・実習前に配付される各市町村の事業計画書、保健統計資料、町政要覧等を読み込み実習市町村の健康課題をまとめましょう。
・公衆衛生看護技術の特徴をふまえ、実践する技術を事前に練習してください。

成績評価の基準等

・成績評価は、出席状況（10%）、実習状況・実習記録・最終レポート（90%）とする。
・２／３以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

実習に向けて、事前学習や準備を十分に行い、公衆衛生看護活動の実践に積極的に取り組むことを期待します。講義や演習で学んだことを生かし、実習地では地域の健康課題にどのように取り組んでいるのか体感してください。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(教) 最新保健学講座２ 公衆衛生看護支援技術	村嶋幸代編集	メヂカルフレンド社	4,730 円
(教) 最新保健学講座５ 公衆衛生看護管理論	平野かよ子編集	メヂカルフレンド社	3,300 円

106. 公衆衛生看護学実習Ⅱ（選択）

担　当 教　員	◎塩川　幸子、藤井　智子、水口和香子、 神戸　　愛（非常勤）		
対象学年	開講期	単位数	コマ数
第４学年	後　期	２単位	２週間

履修目的・授業概要

公衆衛生行政機関としての保健所の機能・役割を学ぶとともに公衆衛生に関わる看護の機能・役割を理解する。

到達目標

・地域の特性および健康課題を総合的に理解する。
・各種専門職で構成されている保健所の責任と役割を理解する。
・個人・家族、集団のセルフケア力を引き出す支援の重要性について考える。
・施策化・システム化の意義とそのプロセスにおける保健師の役割と技術を理解する。

＊詳細は実習要項に示す。

授業形式

・実習施設：上川保健所、富良野保健所
・実習内容：地区把握、家庭訪問、保健事業、事例検討会、カンファレンス等

準備学習（予習・復習）等の内容と分量

・実習前に配付される保健所事業計画書、保健統計資料等を参考に保健所管轄地域を広域に見た健康課題を考えましょう。
・教科書等を参考に地域ケアシステム構築のプロセスを事前学習しましょう。

成績評価の基準等

・成績評価は、出席状況（10%）、実習状況・実習記録・最終レポート（90%）とする。
・２／３以上の出席かつ計100点のうち60点以上を合格とする。

学生へのメッセージ（履修上の心得など）

公衆衛生行政の場における保健所の役割、保健所保健師として求められていることは何か、何ができるか、市町村との違いや共通点を考えてみましょう。事前学習や準備を十分に行い、主体的に実習に取り組むことを期待します。

〈教科書・参考図書〉

書　　名	著者名	発行所	価格
(参) 国民衛生の動向(2020/2021)		厚生統計協会	2,695 円
(参) 最新保健学講座５ 公衆衛生看護管理論	平野かよ子編集	メヂカルフレンド社	3,300 円

オフィスアワー　一覧表

オフィスアワー　一覧表

オフィスアワーとは、学生の皆さんからの授業に関すること、履修に関することなど、質問や相談等に応じるための時間帯をいいます。

学生の皆さんが、気軽に研究室を訪問してオフィス・アワーを積極的に活用することで、履修上の問題解決に役立てることを目的としています。

講座・学科目名	氏　名	実施場所	実施日時	摘　要
心理学	高橋雅治	講義実習棟４Ｆ　心理学教授室	随時	事前にメールで確認してください。（takam@asahikawa-med.ac.jp）
	池上将永	講義実習棟４Ｆ　心理学准教授室	随時	事前にメールで確認してください。（ikegamim@asahikawa-med.ac.jp）
数学	寺本　敬	講義実習棟４Ｆ　数学	随時	事前にメールで確認してください。（teramoto@asahikawa-med.ac.jp）
数理情報科学	高橋龍尚	講義実習棟４Ｆ　数理情報科学教授室	随時（昼休み時間も含む）	気軽に訪問してください。（ryushow@asahikawa-med.ac.jp）
物理学	本間龍也	講義実習棟３Ｆ　物理学教授室	随時	わからないことがあったら気軽に質問に来ること。（honma@asahikawa-med.ac.jp）
	稲垣克彦	講義実習棟３Ｆ　物理学研究室	随時	わからないことがあったら気軽に質問に来ること。（kina@asahikawa-med.ac.jp）
	藤井敏之	講義実習棟３Ｆ　物理学研究室	随時	わからないことがあったら気軽に質問に来ること。（tfujii@asahikawa-med.ac.jp）
化学	秋田谷龍男	講義実習棟３Ｆ　化学教授室	月～金	事前にメールで確認してください。（akitaya@asahikawa-med.ac.jp）
	眞山博幸	講義実習棟３Ｆ　化学研究室１	月～金	事前にメールで確認してください。（mayama@asahikawa-med.ac.jp）
	室﨑喬之	講義実習棟３Ｆ　化学研究室１	月～金	事前にメールで確認してください。（murosaki@asahikawa-med.ac.jp）
生物学	立野裕幸	講義実習棟３Ｆ　生物学教授室	随時	気軽に訪問してください。（htateno@asahikawa-med.ac.jp）
	日下部博一	講義実習棟３Ｆ　生物学准教授室	随時	気軽に訪問してください。（hkusa55@asahikawa-med.ac.jp）
	日野敏昭	講義実習棟３Ｆ　生物学研究室	随時	気軽に訪問してください。（hino@asahikawa-med.ac.jp）
生命科学	津村直美	看護学科棟４Ｆ　409号室	随時	気軽に訪問してください。（nshi@asahikawa-med.ac.jp）
英語	三好暢博	講義実習棟４Ｆ　英語２	随時	事前にメールで確認してください。（ed-miyoshi@ed.asahikawa-med.ac.jp）
	桑名保智	講義実習棟４Ｆ　英語３	随時	事前にメールで確認してください。（yasukuwa@asahikawa-med.ac.jp）
	戸塚　将	講義実習棟４Ｆ　英語１	随時	事前にメールで確認してください。（ed-m-totsuka@ed.asahikawa-med.ac.jp）
社会学	工藤直志	講義実習棟４Ｆ　社会学講師室	随時	事前にメールで確認してください。（kudot@asahikawa-med.ac.jp）
解剖学講座（機能形態学分野）	吉田成孝	総合研究棟２階 解剖学講座（機能形態学分野）教員研究室	金曜午後５時－６時	指定時間外でも対応可
	金本聡自		随時	事前にメールで確認してください。soshikanemoto@asahikawa-med.ac.jp
解剖学講座（顕微解剖学分野）	渡部　剛	解剖学講座（顕微解剖学分野）多目的研究室	月～金　17:00－18:00	会議などで渡部不在の場合には、甲賀准教授が対応します。
生理学講座（自律機能分野）	入部玄太郎	講座セミナー室	随時	前もって電話又はメールで相談してください。（iribe@asahikawa-med.ac.jp）
	山口陽平			気軽に来室してください。（yyamaguchi@asahikawa-med.ac.jp）
	金子智之			気軽に来室してください。（kaneko@asahikawa-med.ac.jp）
生理学講座（神経機能分野）	高草木　薫	生理神経機能スタッフ室	随時	事前に電話でご確認下さい。（68－2884）
	野口智弘			事前にメールで確認して下さい。（tnoguchi@asahikawa-med.ac.jp）
	千葉龍介			事前にメールで確認して下さい。（rchiba@asahikawa-med.ac.jp）
	髙橋未来			事前にメールで確認して下さい。（mirai@asahikawa-med.ac.jp）
生化学講座（統合生命科学分野）	川辺淳一	総合研究棟（８階）生化学講座図書室	随時	予め講座事務室（68－2352）へ予約
	大保貴嗣			
	山崎和生			
	矢澤隆志			

講座・学科目名	氏　　名	実　施　場　所	実　施　日　時	摘　　要
薬理学講座	中山　恒	薬理学講座オフィス	月～金　13:00－15:00	・気軽に訪問してください。 ・感染対策などで大学に来れない場合はメールで連絡してください。 e-mail：pharmacology@asahikawa-med.ac.jp
	結城幸一			
	今道力敬			
病理学講座（腫瘍病理分野）	西川祐司	腫瘍病理図書室	随時	事前に予約してください。 （nishikwa@asahikawa-med.ac.jp）
	後藤正憲		随時	気軽に訪問して下さい。 （gotom@asahikawa-med.ac.jp）
病理学講座（免疫病理分野）	小林博也	病理学講座	随時	気軽に訪問して下さい。 （hiroya@asahikawa-med.ac.jp）
	大栗敬幸			
	長門利純			
	小坂　朱			
微生物学講座	森　健一郎	微生物学講座図書室	随時	気軽に訪問してください。 （mori-ken@asahikawa-med.ac.jp）
	松田泰幸			気軽に訪問してください。 （matsuda@asahikawa-med.ac.jp）
社会医学講座	吉田貴彦	社会医学講座	随時	可能な限り事前にメールで確認してください。 （tyoshida@asahikawa-med.ac.jp）
	西條泰明			可能な限り事前にメールで確認してください。 （y-saijo@asahikawa-med.ac.jp）
	吉岡英治			可能な限り事前にメールで確認してください。 （e-yoshi@asahikawa-med.ac.jp）
	小笠原準悦			可能な限り事前にメールで確認してください。 （junetsu@asahikawa-med.ac.jp）
	神田浩路			可能な限り事前にメールで確認してください。 （kkanda@asahikawa-med.ac.jp）
	佐藤遊洋			可能な限り事前にメールで確認してください。 （yukihiro-sato@asahikawa-med.ac.jp）
寄生虫学講座	迫　康仁	総合研究棟 寄生虫学講座　図書室	随時	講座事務室に連絡してください。 Tel（68－2422） メール （msakai@asahikawa-med.ac.jp）
	中尾　稔			
	佐々木瑞希			
法医学講座	清水惠子	法医学講座	随時	講座事務室に連絡ください。 Tel　68－2433 メール （tsukumim@asahikawa-med.ac.jp）
	浅利　優			
	奥田勝博			
先端医科学講座	船越　洋	総合研究棟４Ｆ　先端医科学講座教授室	随時	気軽に訪問して下さい。 （hfuna@asahikawa-med.ac.jp）
内科学講座（循環・呼吸・神経病態内科学分野）	佐藤伸之	一内図書室・教育センター	随時	まずは、メールで相談ください。 （nsato@asahikawa-med.ac.jp）
	竹内利治	一内図書室	随時	まずはメールで相談ください。 （take21@asahikawa-med.ac.jp）
	田邊康子	一内図書室	随時	まずはメールで相談ください。 （yasuko-t@asahikawa-med.ac.jp）
	坂本　央	一内図書室	随時	まずはメールで相談ください。 （nakasaka@asahikawa-med.ac.jp）
	山本泰司	呼吸器センター	随時	まずはメールでご相談ください。 （yasuyama@asahikawa-med.ac.jp）
	澤田　潤	一内図書室	随時	まずはメールでご相談ください。 （sawajun@asahikawa-med.ac.jp）
	中川直樹	一内図書室	随時	まずはメールでご相談ください。 （naka-nao@asahikawa-med.ac.jp）

講座・学科目名	氏　　名	実　施　場　所	実　施　日　時	摘　　要
地域医療再生フロンティア研究室	長内　　忍	地域医療再生フロンティア研究室	随時	事務室に連絡ください。 TEL：0166－68－2839 メール：shinobuo@asahikawa-med.ac.jp
保健管理センター	川村　祐一郎	保健管理センター	月　14:00－16:00	事務室に連絡ください。（68－2768）
心血管再生・先端医療開発講座				※生化学講座（統合生命科学分野）事務室（68－2352）までご連絡ください。
呼吸器センター	佐々木　高　明	呼吸器センター　教授室	随時	医局に連絡してください。 （69－3290）
内科学講座（病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野）（旧第２内科）	滝　山　由　美	２内図書室（医局）	随時	いつでも気軽に訪問してください。
	麻　生　和　信			
	北　野　陽　平			
	岡　田　充　巧			
	岡　本　健　作			
	竹　田　安　孝			
	髙　橋　賢　治			
内科学講座（病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野）（旧第３内科）	奥　村　利　勝	総合研究棟 内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍制御内科学分野	随時	講座図書室で予約受付しています。
	藤　谷　幹　浩			
	水　上　裕　輔			
	進　藤　基　博			
	田　邊　裕　貴			
	澤　田　康　司			
精神医学講座	田　村　義　之	精神医学講座医局	火　10:00－12:00	事前に講座事務室に連絡し、アポイントを取ってからお越しください。 （68－2473）
	吉　澤　門　土		金　10:00－12:00	
	吉　原　慎　佑		木　15:00－17:00	
	高　崎　英　気		水　14:00－17:00	
	安　田　麻　美		金　15:00－17:00	
	関　根　暢　美		随時	
小児科学講座	東　　寛	小児科医局	随時	講座事務室までお越し下さい。 （総合研究棟７階小児科医局）
	長　屋　　建			
	岡　本　年　男			
	髙　橋　　悟			
	棚　橋　祐　典			
	中　右　弘　一			
	鈴　木　　滋			
	長　森　恒　久			
	更　科　岳　大			

講座・学科目名	氏　　名	実　施　場　所	実　施　日　時	摘　　要
外科学講座 (血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野)	東　信　良	一外医局	12:00－13:00 17:00以降	講座事務室に連絡してください。 (tel　68－2494)
	北田正博			
	齊藤幸裕			
	平澤雅敏			
	古屋敦宏			
	内田大貴			
	菊地信介			
	宮城久之			
	吉田有里			
	竜川貴光			
外科学講座 (心臓大血管外科学分野)	紙谷寛之	一外医局	12:00－13:00 17:00以降	講座事務室に連絡してください。 (tel　68－2494)
	石川成津矢			
	白坂知識			
	菊池悠太			
外科学講座 (肝胆膵・移植外科学分野)	古川博之	教授室	随時	事前に講座へ確認して下さい。 (2ge@asahikawa-med.ac.jp)
	松野直徒	移植医工学治療開発講座		
	横尾英樹	准教授室		
	今井浩二	カンファレンスルーム		
	萩原正弘			
	高橋裕之			
外科学講座 (消化管外科学分野)	角　泰雄	教授室	随時	事前に講座へ確認して下さい。 (2ge@asahikawa-med.ac.jp)
	長谷川公治	カンファレンスルーム		
	庄中達也			
	谷　誓良			
	大谷将秀			
整形外科学講座	松野丈夫	整形外科学講座医局 (図書室)	随時	事前にメールで確認してください。 (kuni38@asahikawa-med.ac.jp)
	伊藤　浩			
	小林徹也			
	丹代　晋			
	谷野弘昌			
	入江　徹			
	阿部里見			
	三好直樹			
	神保静夫			
	西田恭博			
	柴田宏明			
	小原和宏			
	佐々木祐介			
人工関節講座	佐藤　剛			
	光武　遼			

講座・学科目名	氏　　名	実　施　場　所	実　施　日　時	摘　　要
皮 膚 科 学 講 座	山 本 明 美	皮膚科図書室	随時	講座事務室に連絡してください。 68－2523
国際医療支援センター	本 間 大	皮膚科図書室	水　13:00－14:00	皮膚科秘書に連絡（2523）
腎泌尿器外科学講座	柿 崎 秀 宏	腎泌尿器外科学講座	随時	講座事務室に連絡してください。 68－2533
	玉 木 岳			68－2533に連絡して下さい。
	堀 淳 一			68－2533に連絡して下さい。
	和 田 直 樹			68－2533に連絡して下さい。
	阿 部 紀 之			68－2533に連絡して下さい。
	小 林 進			68－2533に連絡して下さい。
	宮 内 琴 菜			68－2533に連絡して下さい。
	石 川 万友美			68－2533に連絡して下さい。
眼 科 学 講 座	吉 田 晃 敏	眼科学講座　研究室１ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	随時	事前にメールで確認してください。 ganka@asahikawa-med.ac.jp
	廣 川 博 之			
	石 子 智 士			
	木ノ内 玲 子			
	西 川 典 子			
	大 前 恒 明			
	中 林 征 吾			
	大 野 晋 治			
	善 岡 尊 文			
	下 内 昭 人			
	神 谷 隆 行			
	宇都宮 嗣 了			
	宋 勇 錫			
	髙 橋 賢 伍			
	石 居 信 人			
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	原 渕 保 明	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	随時	まずはメールでご相談ください。 （3387beya@asahikawa-med.ac.jp） ＜先生の名前を必ず明記してください。＞
	林 達 哉			
	片 田 彰 博			
	高 原 幹			
	岸 部 幹			
	大 原 賢 三			
	山 木 英 聖			
	熊 井 琢 美			

講座・学科目名	氏　　名	実　施　場　所	実　施　日　時	摘　　要
産婦人科学講座	片山英人	産婦人科医局図書室	随時	（68－2562）に連絡して予約
	加藤育民			
	市川英俊			
	高橋知昭			
放射線医学講座	教員全員	放射線医学講座医局 又は読影室	随時	講座事務室に連絡（tel68－2572・メール radasahi@asahikawa-med.ac.jp）
麻酔・蘇生学講座	教員全員	総合研究棟３階 麻酔・蘇生学講座医局	随時	講座事務室に連絡（68－2583） またはメールでご相談ください。 （asahikawa.masui.office@gmail.com）
脳神経外科学講座	安栄良悟	総合研究棟 脳神経外科医局	随時	講座事務室に連絡・又は訪問ください。 （68－2594）
	和田始			
	広島覚			
臨床検査医学講座	藤井聡	機器センター４Ｆ 臨床検査医学講座事務室	随時	気軽に訪問してください。 事前に電話又はメールで確認してください。 Tel：0166－68－2745 rinken@asahikawa-med.ac.jp
	赤坂和美			
	河端薫雄			
歯科口腔外科学講座	竹川政範	臨床研究棟５Ｆ 歯科口腔外科図書室	随時	事前にメールで確認してください。 mt906@asahikawa-med.ac.jp
	吉田将亜			事前にメールで確認してください。 yo4718@asahikawa-med.ac.jp
	小神順也			事前にメールで確認してください。 gamioy@asahikawa-med.ac.jp
	佐藤栄晃			事前にメールで確認してください。 hide@asahikawa-med.ac.jp
	荒井五織			事前にメールで確認してください。 s8916@asahikawa-med.ac.jp
救急医学講座	藤田智	医局（急ぎの時は特定しない）	随時	講座事務室に電話してください。（68－2852） 事前にメール（kyukyuigaku@asahikawa-med.ac.jp）で相談してください。 急ぎの時の連絡は SP5970
	岡田基			
総合診療部	奥村利勝			事前にメールで確認してください。 okumurat@asahikawa-med.ac.jp
経営企画部	廣川博之	経営企画部 部長室	随時	事前にメールで確認してください。 whiro@asahikawa-med.ac.jp
	谷祐児	経営企画部　副部長室	随時	事前にメールで確認してください。 y_tani@asahikawa-med.ac.jp

講座・学科目名	氏　　名	実　施　場　所	実　施　日　時	摘　　要
看　護　学　科	阿　部　修　子	看護学科棟602号室	随時	事前にメールで確認してください。（学内メールアドレスを利用してください。）s-abe002@asahikawa-med.ac.jp
	伊　藤　俊　弘	看護学科棟607号室	随時	気軽に来室してください。部屋にいないことも多いので事前にメールで確認されることをお奨めします。（toshitoh@asahikawa-med.ac.jp）
	及　川　賢　輔	看護学科棟406号室	随時	気軽に来室してください。（oiken@asahikawa-med.ac.jp）
	長谷川　博　亮	看護学科棟507号室	随時	気軽に訪室してください。（hiroh@asahikawa-med.ac.jp）
	服　部　ユカリ	看護学科棟５階 501室　服部研究室	随時	気軽に訪問して下さい。事前にメールをいただけると確実です。（luna@asahikawa-med.ac.jp）
	濵　田　珠　美	看護学科棟401号室	随時	事前にメールで確認してください。（thamada@asahikawa-med.ac.jp）
	藤　井　智　子	看護学科棟608号室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールをいただけると確実です。（koitomo@asahikawa-med.ac.jp）
	升　田　由美子	看護学科棟４階403研究室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールをいただけると確実です。（y-yumiko@asahikawa-med.ac.jp）
	山　内　まゆみ	看護学科棟407号室	随時	気軽に来室してください。部屋にいないことも多いので事前にメールで確認されることをお奨めします。（asayama@asahikawa-med.ac.jp）
	山　根　由起子	看護学科棟502研究室	随時	事前にメールで確認してください。（yamane@asahikawa-med.ac.jp）
	児　玉　真利子	看護学科棟601号室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールして頂けると確実です。（m-kodama@asahikawa-med.ac.jp）
	荒　　ひとみ	看護学科棟603号室	随時	事前にメールで確認してください。（hitomara@asahikawa-med.ac.jp）
	一　條　明　美	看護学科棟402研究室	随時	気軽に訪問してください。（aichijo@asahikawa-med.ac.jp）
	塩　川　幸　子	看護学科棟606号室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールいただけると確実です。（shio32@asahikawa-med.ac.jp）
	平　　義　樹	看護学科棟408号室	随時	気軽に来室してください。（hira@asahikawa-med.ac.jp）
	森　　浩　美	看護学科棟413号室	随時	事前にメールで確認してください。（ekubo-h@asahikawa-med.ac.jp）
	石　川　洋　子	看護学科棟412号室	随時	事前にメールで確認してください。（hiroff@asahikawa-med.ac.jp）
	石　川　千　恵	看護学科棟405号室	随時	気軽に来室してください。（chiei@asahikawa-med.ac.jp）
	神　成　陽　子	看護学科棟５階　506研究室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールをいただけると確実です。件名に学籍番号と氏名を記してください。（ykannari@asahikawa-med.ac.jp）
	苫米地　真　弓	看護学科棟503号室	随時	事前にメールで確認してください。（bechieco@asahikawa-med.ac.jp）
	巻　島　　愛	看護学科棟505号室	随時	気軽に訪問してください。（sai-mizu@asahikawa-med.ac.jp）
	山　口　希　美	看護学科棟505号室	随時	気軽に来室してください。（nozomi-y@asahikawa-med.ac.jp）
	佐　藤　貴　子	看護学科棟504号室	随時	気軽に訪問してください。（kotakako@asahikawa-med.ac.jp）
	杉　山　結　理	看護学科棟505号室	随時	事前にメールで確認してください。（yuris@asahikawa-med.ac.jp）
	綱　元　亜　依	看護学科棟404号室	随時	事前にメールで確認してください。（march22@asahikawa-med.ac.jp）
	野　中　雅　人	看護学科棟505号室	随時	気軽に訪問してください。（masato-n@asahikawa-med.ac.jp）
	牧　野　志　津	看護学科棟404号室	随時	気軽に訪問してください。（km1208@asahikawa-med.ac.jp）
	松　田　奈緒美	看護学科棟404号室	随時	気軽に訪問してください。（kikuiri@asahikawa-med.ac.jp）
	水　口　和香子	看護学科棟504号室	随時	気軽に訪問してください。事前にメールをいただけると確実です。（mizu-w@asahikawa-med.ac.jp）
	矢　田　しずえ	看護学科棟504号室	随時	気軽に訪問してください。（chibi1@asahikawa-med.ac.jp）
	山　田　咲　恵	看護学科棟504号室	随時	気軽に訪問してください。（syamada@asahikawa-med.ac.jp）

講座・学科目名	氏　　名	実　施　場　所	実　施　日　時	摘　　要
遺伝子診療カウンセリング室	蒔田芳男	教育センター	不定時	事前にメールで予定を確認してね makita5p@asahikawa-med.ac.jp
教育センター	佐藤伸之	教育センター	随時	まずは、メールでご相談ください。 （nsato@asahikawa-med.ac.jp）
	野津　司	地域医療教育学　医局	随時	まずはメールで相談して下さい tnozu@asahikawa-med.ac.jp
	井上裕靖	教育センター	月～金　16:00－18:00	メールで予定確認 inoueh5p@asahikawa-med.ac.jp 医療安全、休業中の実習相談、学修全般など
医育統合センター	牧野雄一	医育統合センター（共通研究棟２F）	月火金　13:00以降	気軽に訪問してください
先進医工学研究センター	武輪能明	総合研究棟３F　R333b	随時	講座事務室に連絡して下さい （内線2332）
	井上雄介			
	寺澤　武			
	佐藤康史			
地域医療教育学講座	野津　司	地域医療教育学　医局	随時	まずはメールで相談して下さい。 tnozu@asahikawa-med.ac.jp
教育研究推進センター	松本成史	教育研究推進センター長・教授室	随時	まずはメールで相談して下さい。 matsums@asahikawa-med.ac.jp
	竹原有史	教育研究推進センター管理室／准教授室	随時	まずはメールで相談して下さい。 takenao@asahikawa-med.ac.jp
	伊藤拓哉			まずはメールで相談して下さい。 takuya@asahikawa-med.ac.jp
	笹島　仁			まずはメールで相談して下さい。 hits@asahikawa-med.ac.jp
	宮園貞治			まずはメールで相談して下さい。 miyazono@asahikawa-med.ac.jp
リハビリテーション科	大田哲生	臨床研究棟リハビリ科教授室	随時	事前にメールで確認してください。 tetsuota@asahikawa-med.ac.jp
	及川　欧	臨床研究棟リハビリ科医局	随時	事前にメールで確認してください。 oikawa@asahikawa-med.ac.jp
	伊達　歩	臨床研究棟リハビリ科医局	随時	事前にメールで確認してください。 ayudate@asahikawa-med.ac.jp
	遠藤寿子	臨床研究棟リハビリ科医局	随時	事前にメールで確認してください。 hendo66@asahikawa-med.ac.jp
形成外科	林　利彦	共用研究棟２階　形成外科医局	適宜	メール、電話等でご連絡下さい。 （toshi116@asahikawa-med.ac.jp、 医局　68－2801）
	山尾　健			電話等でご連絡下さい。 （医局　68－2801）
	西尾拓哉			メール、電話等でご連絡下さい。 （keisei-nishio@asahikawa-med.ac.jp、 医局　68－2801）
緩和ケア診療部	阿部泰之	緩和ケア診療部	月水金　9:00－17:00 火木　9:00－12:00	事務室で時間調整します。
病理部	谷野美智枝	病理部部長室	随時	まずはメールで相談して下さい。 mtanino@asahikawa-med.ac.jp
手術部	平田　哲	手術部視聴覚教育室	随時	事前にメールで確認してください。 hsatoshi@asahikawa-med.ac.jp
集中治療部	小北直宏	医局（急ぎの時は特定しない）	随時	救急医学講座事務室に電話してください。（68－2852） 事前にメール（kyukyuigaku@asahikawa-med.ac.jp）で相談してください。急ぎの時の連絡は SP5970
薬剤部	田﨑嘉一	病院２階　薬剤部内	随時	事前にメールで確認するか （tasakiy@asahikawa-med.ac.jp）、 病院２階の薬剤部薬務室を訪問してください。
	中馬真幸			事前にメールで確認するか （chuma-masayuki@asahikawa-med.ac.jp）、 病院２階の薬剤部薬務室を訪問してください。

令和３年度　学年暦

前期後期の区分	始業からの週数	月日～月日	医学科 1学年	医学科 2学年	医学科 3学年	医学科 4学年	医学科 5学年	医学科 6学年	看護学科 1学年	看護学科 2学年	看護学科 3学年	看護学科 4学年	備考
前期	1	4.1 ～ 4.2											
	2	4.5 ～ 4.9	入学式（4/6）※中止	授業（4/7～7/9）		授業（4/7～7/14）	臨床実習（4/5～6/18）	臨床実習（4/5～7/2）	入学式（4/6）※中止	授業（4/7～7/2）	授業（4/7～7/16）	授業（4/7～5/14）	４月６日（火）入学式（※中止）・ガイダンス ４月７日（水）・８日（木）新入生研修
	3	4.12 ～ 4.16	授業（4/9～7/9）						授業（4/9～7/16）				定期健康診断 ４月８日（木）・14日（水）・20日（火）・27日（火）12時30分～14時30分
	4	4.19 ～ 4.23											
	5	4.26 ～ 4.30											
	6	5.3 ～ 5.7											医学科第３学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン第１回接種日
	7	5.10 ～ 5.14											
	8	5.17 ～ 5.21											５月19日（水）15時20分～17時00分 医学科第４学年対象Ｂ型肝炎ワクチン第１回接種日
	9	5.24 ～ 5.28											４月16日（金）15時20分～17時00分 看護学科第２学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン第１回接種日
	10	5.31 ～ 6.4										臨地実習（5/17～7/16）	４月15日（木）受付は15時20分～16時20分 看護学科第３学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン第１回接種日
	11	6.7 ～ 6.11											
	12	6.14 ～ 6.18											４月14日（水）受付は15時20分～16時20分
	13	6.21 ～ 6.25					臨床実習（6/21～7/30）	臨床実習（6/21～8/13）					
	14	6.28 ～ 7.2											医学科第３学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン第２回接種日
	15	7.5 ～ 7.9								夏季休業（7/5～8/13）			６月23日（水）受付は16時30分～17時00分
	16	7.12 ～ 7.16	夏季休業（7/12～8/13）					夏季休業（7/7～8/27）	夏季休業（7/19～8/13）	【早期体験実習Ⅱ】15、16、18、19週のうち１週間（予定）	夏季休業（7/19～8/13）		医学科第４学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン第２回接種日
	17	7.19 ～ 7.23				試験週①（7/15～7/21）							５月18日（火）受付は15時20分～17時00分 看護学科第２学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン第２回接種日
	18	7.26 ～ 7.30				夏季休業（7/26～8/20）							
	19	8.2 ～ 8.6					夏季休業（8/2～9/3）						
	20	8.9 ～ 8.13											５月20日（木）受付は15時20分～16時20分 看護学科第３学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン第２回接種日
	21	8.16 ～ 8.20	授業（8/16～9/10）		授業（8/16～9/3）			夏季休業（8/16～9/17）	授業（8/16～9/10）【基礎看護学実習Ⅰ】8/26、8/30、8/31、9/2	授業（8/16～9/10）	授業（8/16～9/3）	授業（8/16～9/17）	
	22	8.23 ～ 8.27				授業（8/23～9/15）							５月21日（金）受付は15時20分～16時20分
	23	8.30 ～ 9.3											
	24	9.6 ～ 9.10			前期試験週（9/6～9/17）						前期試験週（9/6～9/16）		６月４日（金）～６月６日（日）医大祭（医学科５・６年及び看護学科４年を除き休業）
	25	9.13 ～ 9.17	前期試験週（9/13～9/24）						前期試験週（9/13～9/24）				６月７日（月）午前　医大祭後片付け（医学科５・６年及び看護学科４年を除き午前休講）
	26	9.20 ～ 9.24				試験週②（9/16～9/24）							
後期	27	9.27 ～ 10.1	授業（9/27～12/10）		授業（9/21～12/10）	共用試験ＣＢＴ（10/1予定）	臨床実習（9/6～12/24）	卒業時OSCE（10/ 9～10/10予定）	授業（9/27～12/10）	授業（9/27～10/15）	授業（9/17～10/22）	臨地実習（9/27～12/10）	９月22日（水）解剖体慰霊式
	28	10.4 ～ 10.8				医学研究特論（10/4～11/12）追再試験日（11/8～11/9）							
	29	10.11 ～ 10.15											医学科第３学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン第３回接種日
	30	10.18 ～ 10.22						統合演習及び統合演習試験（10/12～11/19）		基礎看護学実習Ⅱ（10/18～10/29）			11月11日（木）受付は15時20分～17時00分 医学科第４学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン第３回接種日
	31	10.25 ～ 10.29									後期試験週（10/25～11/4）		10月15日（金）受付は15時20分～17時00分 看護学科第２学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン第３回接種日
	32	11.1 ～ 11.5								授業（11/1～12/10）	臨地実習（11/8～12/17）看護研究Ⅱ（12/9）	卒業研究発表会（12/9）	
	33	11.8 ～ 11.12											
	34	11.15 ～ 11.19				臨床実習序論 チュートリアルⅤ（11/15～12/24）共用試験OSCE（12/11予定）							10月14日（木）受付は15時20分～16時20分 看護学科第３学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン第３回接種日
	35	11.22 ～ 11.26											
	36	11.29 ～ 12.3											10月13日（水）受付は16時30分～17時00分
	37	12.6 ～ 12.10											11月５日（金）本学記念日
	38	12.13～12.17			後期試験週（12/13～12/14）			冬季休業（12/13～1/3）	冬季休業（12/13～1/11）		冬季休業（12/20～1/14）	冬季休業（12/13～1/3）	医学科第４学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン効果測定等採血日
	39	12.20 ～ 12.24	冬季休業（12/13～1/11）		冬季休業（12/15～1/3）								11月19日（金）受付は15時20分～17時00分 看護学科第２学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン効果測定等採血日
	40	12.27 ～ 12.31				冬季休業（12/27～1/14）白衣式（1/13予定）	冬季休業（12/27～1/14）						
	41	1.3 ～ 1.7			授業（1/4～2/4）			臨床実習（1/4～3/18）	授業（1/12～2/4）				11月18日（木）受付は15時20分～16時20分 看護学科第３学年対象 Ｂ型肝炎ワクチン効果測定等採血日
	42	1.10 ～ 1.14	授業（1/12～2/4）								臨地実習（1/17～2/22）		
	43	1.17 ～ 1.21											11月24日（水）16時30分～17時00分
	44	1.24 ～ 1.28											
	45	1.31 ～ 2.4											１月14日（金）大学入学共通テスト設営 １月15日（土）・16日（日）大学入学共通テスト
	46	2.7 ～ 2.11	後期試験週（2/7～2/18）						後期試験週（2/7～2/18）				
	47	2.14 ～ 2.18				臨床実習（1/17～3/25）	臨床実習（1/17～3/25）						２月24日（木）一般入試前期日程設営（予定） ２月25日（金）26日（土）一般入試前期日程（予定）
	48	2.21 ～ 2.25	春季休業（2/21～4/6）						春季休業（2/21～4/6）		春季休業（2/28～4/6）		
	49	2.28 ～ 3.4											３月11日（金）一般入試後期日程設営（予定） ３月12日（土）一般入試後期日程（予定）
	50	3.7 ～ 3.11											
	51	3.14 ～ 3.18											
	52	3.21 ～ 3.25					春季休業（3/21～4/1）	学士学位記授与式（3/25）				学士学位記授与式（3/25）	３月25日（金）学位記授与式
摘要			令和４年度授業開始日４月７日（予定）										

備考　この学年暦の日程は，一部変更することがあります。
※covid-19 の影響により、今後も予定が変更となることがあります。

令和３年度　カ レ ン ダ ー

＊欄外は予定

始業からの週数	前期	始業からの週数	後期

4

始業からの週数	日	月	火	水	木	金	土
1					1	2	3
2	4	5	6	7	8	9	10
3	11	12	13	14	15	16	17
4	18	19	20	21	22	23	24
5	25	26	27	28	29	30	

10

始業からの週数	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
28	3	4	5	6	7	8	9
29	10	11	12	13	14	15	16
30	17	18	19	20	21	22	23
31	24	25	26	27	28	29	30
	31						

5

始業からの週数	日	月	火	水	木	金	土
							1
6	2	3	4	5	6	7	8
7	9	10	11	12	13	14	15
8	16	17	18	19	20	21	22
9	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

11

始業からの週数	日	月	火	水	木	金	土
32		1	2	3	4	5	6
33	7	8	9	10	11	12	13
34	14	15	16	17	18	19	20
35	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

6

始業からの週数	日	月	火	水	木	金	土
10			1	2	3	4	5
11	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	19
13	20	21	22	23	24	25	26
14	27	28	29	30			

12

始業からの週数	日	月	火	水	木	金	土
36				1	2	3	4
37	5	6	7	8	9	10	11
38	12	13	14	15	16	17	18
39	19	20	21	22	23	24	25
40	26	27	28	29	30	31	

7

始業からの週数	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
15	4	5	6	7	8	9	10
16	11	12	13	14	15	16	17
17	18	19	20	21	22	23	24
18	25	26	27	28	29	30	31

1

始業からの週数	日	月	火	水	木	金	土
							1
41	2	3	4	5	6	7	8
42	9	10	11	12	13	14	15
43	16	17	18	19	20	21	22
44	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

8

始業からの週数	日	月	火	水	木	金	土
19	1	2	3	4	5	6	7
20	8	9	10	11	12	13	14
21	15	16	17	18	19	20	21
22	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

2

始業からの週数	日	月	火	水	木	金	土
45			1	2	3	4	5
46	6	7	8	9	10	11	12
47	13	14	15	16	17	18	19
48	20	21	22	23	24	25	26
	27	28					

9

始業からの週数	日	月	火	水	木	金	土
23				1	2	3	4
24	5	6	7	8	9	10	11
25	12	13	14	15	16	17	18
26	19	20	21	22	23	24	25
27	26	27	28	29	30		

3

始業からの週数	日	月	火	水	木	金	土
49			1	2	3	4	5
50	6	7	8	9	10	11	12
51	13	14	15	16	17	18	19
52	20	21	22	23	24	25	26
53	27	28	29	30	31		

４／６　入学式　※中止
４／７　授業開始
４／７、４／８　新入生研修

６／４～６　医大祭

９／22　解剖体慰霊式

夏季休業
　医学科１・２・３学年
　　７／12～８／13
　医学科４学年　　７／26～８／20
　看護学科１・３・４学年
　　７／19～８／13
　看護学科２学年　　７／５～８／13

後期授業開始
　医学科１・２学年　　９／27
　医学科３学年　　９／21
　医学科４学年　　10／４
　看護学科１・２学年　９／27
　看護学科３学年　　９／21
　看護学科４学年　　９／27

11／５　本学記念日

冬季休業
　医学科１・２学年　12／13～１／11
　医学科３学年　　12／15～１／３
　医学科４学年　　12／27～１／14
　看護学科１・２学年
　　12／13～１／11
　看護学科３学年　　12／20～１／12
　看護学科４学年　　12／13～１／３

１／15～16　大学入学共通テスト

２／25・26　一般入試前期日程（予定）
２／21～　　春季休業
　　（医学科　４学年：３／22～）
　　（看護学科３学年：２／28～）
　　（看護学科４学年：２／15～）

３／12　一般入試後期日程（予定）
３／25　学位記授与式

令和４年度入学式　４月６日（水）　予定
※covid-19の影響により、今後も予定が変更となることがあります。

看護学科（令和３年度看護学科第１・３学年）
実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

区　分	授　業　科　目	単位	形式	１年	２年	３年	備考
一般基礎科目	初年次セミナー	1	講義	○			必修
	医療史・医療哲学	1	講義	○			必修
	生命科学（入門）	1	講義	○			選択
	生命科学（発展）	1	講義	○			選択
	看護化学	1	講義	○			選択
	看護遺伝学	1	講義		○		選択
専門基礎科目	形態機能学	4	講義	○			必修
	生体観察実習	1	実習	○			必修
	栄養学	1	講義	○			必修
	生化学	1	講義	○			必修
	病理学総論	1	講義	○			必修
	病理学各論	1	講義		○		必修
	薬理学	1	講義		○		必修
	臨床薬理学	1	講義			○	必修
	感染制御学	2	講義	○			必修
	臨床病態治療学Ⅰ	2	講義		○		必修
	臨床病態治療学Ⅱ	2	講義		○		必修
	臨床病態治療学Ⅲ	2	講義			○	必修
	疫学	2	講義			○	必修
	保健統計	2	講義		○		必修
	保健医療福祉システム論	2	講義			○	必修
	臨床心理学	2	講義	○			必修
	保健医療福祉行政論	1	講義			○	選択
専　門　科　目	看護学概論	1	講義	○			必修
	基礎看護技術学Ⅰ	1	演習	○			必修
	基礎看護技術学Ⅱ	2	演習	○			必修
	基礎看護技術学Ⅲ	1	演習		○		必修
	基礎看護技術学Ⅳ	1	講義		○		必修
	コミュニケーション論	1	講義	○			必修
	看護フィジカルアセスメント	1	講義		○		必修
	人間生涯発達論	1	講義	○			必修
	看護倫理	1	講義		○		必修
	看護理論	1	講義		○		必修
	地域看護学	1	講義	○			必修
	早期体験実習Ⅰ	1	実習	○			必修
	早期体験実習Ⅱ	1	実習		○		必修
	基礎看護学実習Ⅰ	1	実習	○			必修
	基礎看護学実習Ⅱ	2	実習		○		必修
	地域包括ケア論Ⅰ	1	講義	○			必修
	地域包括ケア論Ⅱ	1	講義		○		必修
	地域包括ケア論Ⅲ	1	講義			○	必修
	地域包括ケア実習	1	実習			○	必修
	成人看護学Ⅰ	2	講義		○		必修
	成人看護学Ⅱ	2	講義			○	必修
	高齢者看護学Ⅰ	1	講義		○		必修
	高齢者看護学Ⅱ	1	講義			○	必修
専　門　科　目	小児看護学	2	講義		○		必修
	母性看護学	2	講義		○		必修
	精神看護学Ⅰ	1	講義		○		必修
	精神看護学Ⅱ	1	講義		○		必修
	実践看護技術学Ⅰ（成人）	1	演習			○	必修
	実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）	2	演習			○	必修
	成人看護学実習Ⅰ（急性期）	3	実習			○	必修
	成人看護学実習Ⅱ（外来）	1	実習			○	必修
	成人看護学実習Ⅲ（慢性期）	2	実習			○	必修
	母性看護学実習	2	実習			○	必修
	精神看護学実習	2	実習			○	必修
	在宅看護学	2	講義			○	必修
	がん看護学Ⅰ	2	講義			○	必修
	チーム医療・リハビリテーション看護論	1	講義			○	必修
	看護研究	1	演習			○	必修
	看護英語文献講読	1	講義			○	選択必修
	医療経済・看護経営論	1	講義			○	選択必修
	家族看護論	1	講義			○	選択必修
	認知症ケア論	1	講義			○	選択必修
	クリティカルケア論	1	講義			○	選択必修
	助産学概論	1	講義			○	選択
	助産活動論Ⅰ	1	講義			○	選択
	公衆衛生看護活動論Ⅰ（個人・家族・集団）	2	講義			○	選択
公衆衛生看護学選択者のみ履修科目	公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域アセスメント）	2	講義			○	選択
	単　位　合　計	97					

※詳細については、看護学科履修要項をご覧ください。

看護学科（令和３年度看護学科第４学年）
実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

区　分	授　業　科　目	単位	形式	４年	備考
専門基礎科目	臨床検査論	1	講義	○	選択
専　門　科　目	母性看護学演習	1	演習	○	必修
	成人看護学実習Ⅰ（慢性期）	2	実習	○	必修
	成人看護学実習Ⅱ（急性期）	3	実習	○	必修
	成人看護学実習Ⅲ（外来機能）	1	実習	○	必修
	高齢者看護学実習	4	実習	○	必修
	小児看護学実習Ⅰ	1	実習	○	必修
	小児看護学実習Ⅱ	2	実習	○	必修
	母性看護学実習	2	実習	○	必修
	精神看護学実習	2	実習	○	必修
	医療安全論	1	講義	○	必修
	国際保健看護論	1	講義	○	必修
	卒業研究	2	演習	○	必修
	在宅看護学実習	2	実習	○	必修
	総合実習	2	実習	○	必修
	看護管理論	1	講義	○	選択
	看護教育論	1	講義	○	選択
助産学選択者のみ履修科目	助産学基礎理論Ⅱ	2	講義	○	選択
	助産活動論Ⅱ	1	演習	○	選択
	助産活動論Ⅲ	2	演習	○	選択
	助産学実習	1	実習	○	選択
公衆衛生看護学選択者のみ履修科目	公衆衛生看護活動論Ⅲ（公衆衛生看護管理）	2	講義	○	選択
	公衆衛生看護技術論	2	演習	○	選択
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	実習	○	選択
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	2	実習	○	選択
	単　位　合　計	44			

※詳細については、看護学科履修要項をご覧ください。